
小金井市
子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

令和6年3月
小金井市

目次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	1
2 調査対象者.....	1
3 調査期間.....	1
4 調査方法.....	1
5 配布数と回収状況.....	2
6 標本誤差について.....	2
7 調査結果の表示方法.....	3
8 調査項目.....	4
第2章 調査結果.....	13
ア) 就学前児童の保護者調査.....	13
A. 宛名のお子さんご家族の状況について.....	13
B. お子さんの保護者の就労状況について.....	18
C. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について.....	25
D. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について.....	36
E. お子さんの病気の際の対応について.....	39
F. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	44
G. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について.....	50
H. お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方について.....	55
I. 子どもの権利について.....	60
J. 子育て全般について.....	61
K. 小金井市の子育て環境や子育て支援施策について.....	65
イ) 小学校児童の保護者調査（小学校児童本人調査を含む。）.....	68
A. 宛名のお子さんご家族の状況について.....	68
B. お子さんの保護者の就労状況について.....	73
C. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	80
D. ファミリー・サポート・センターの利用について.....	84
E. お子さんの放課後の過ごし方について.....	85
F. 子どもの権利について.....	94
G. 子育て全般について.....	96
H. 小金井市の子育て環境や子育て支援施策について.....	99
小金井市 子ども子育てアンケート（小学生のみなさん向け）.....	106
ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者調査.....	114
A. 回答者属性.....	114
B. お子さんの保護者の就労状況について.....	116
C. 子どもの権利について.....	117
D. 子育て全般について.....	119

目次

E. 小金井市の子育て環境や子育て支援施策について	123
工) 中学校・高校年代の青少年本人調査	128
A. 回答者属性	128
B. 考え方について	129
C. 放課後や休日等の過ごし方について	136
D. 体験の機会について	138
E. 将来のことについて	140
F. 幸せについて	142
G. 困ったときの相談について	143
H. いじめや虐待などについて	145
I. 子どもの権利について	148
J. ヤングケアラーについて	149
K. 市の施設等について	150
オ) ひとり親家庭の保護者調査	152
A. 回答者属性	152
B. お子さんの保護者の就労状況について	157
C. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について	162
D. ひとり親家庭の経緯について	162
E. ひとり親になってからの状況について	164
F. 支援制度について	168
資料編 子どもの環境や子育て環境、子育て支援に関するご意見	179
ア) 就学前児童の保護者	179
イ) 小学校児童の保護者	188
ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者	194
エ) 中学校・高校年代の青少年本人	199
オ) ひとり親家庭の保護者	202

第1章 調査の概要

1 調査の目的

教育・保育・子育て支援に関する利用状況や今後の利用希望等を把握し、お子さんが健やかに成長できるまちとなるよう、更なる子どもと子育て家庭の支援の充実を推進する小金井市子ども・子育て支援事業計画である「のびゆくこどもプラン 小金井」（令和7年度から令和11年度まで）を策定するための基礎資料とすることを目的に調査を行いました。

2 調査対象者

- ア) 就学前児童の保護者
 - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 2,000 人
- イ) 小学校児童の保護者（小学校児童本人を含む。）
 - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 1,500 人
- ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者
 - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 1,250 人
- エ) 中学校・高校年代の青少年本人
 - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 1,250 人
- オ) ひとり親家庭の保護者
 - ・住民基本台帳から無作為に抽出した 500 人

3 調査期間

令和5年12月26日～令和6年1月25日

※WEBは令和6年1月31日到着分、郵送は令和6年2月5日到着分まで集計。

4 調査方法

配布方法：郵送

回収方法：郵送または調査票に示したWEBページから回答するインターネット方式

※調査対象者の方全員にお礼状と未記入の場合の送付をお願いするハガキを
令和6年1月15日に発送しました。

5 配布数と回収状況

区分	標本数	有効回答数	有効回答率
ア) 就学前児童の保護者調査	2,000 人	全体：1,059 通 郵送：630 通 WEB：429 通	全体：53.0% 郵送：31.5% WEB：21.5%
イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)	1,500 人	全体：654 通 郵送：435 通 WEB：219 通	全体：43.6% 郵送：29.0% WEB：14.6%
ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者調査	1,250 人	全体：586 通 郵送：378 通 WEB：208 通	全体：46.9% 郵送：30.2% WEB：16.6%
エ) 中学校・高校年代の青少年本人調査	1,250 人	全体：411 通 郵送：283 通 WEB：128 通	全体：32.9% 郵送：22.6% WEB：10.2%
オ) ひとり親家庭の保護者調査	500 人	全体：204 通 郵送：146 通 WEB：58 通	全体：40.8% 郵送：29.2% WEB：11.6%
合 計	6,500 人	全体：2,914 通 郵送：1,872 通 WEB：1,042 通	全体：44.8% 郵送：28.8% WEB：16.0%

6 標本誤差について

調査結果の比率から母集団（各調査属性を備えた対象者全体）の傾向を推測する際には、統計上の誤差（標本誤差）を考慮に入れる必要があります。本調査における各回答比率での標本誤差は、下の早見表のとおりとなります。例えば、ある質問の回答が50%のとき、回答者総数（1,059人）の標本値は、母集団の46.99%～53.01%の間にあると考えられます。

	標本数	回収数	回収率	標準誤差		
				10%選択	30%選択	50%選択
ア) 就学前児童の保護者調査	2,000 人	1,059 通	53.0%	1.81%	2.76%	3.01%
イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)	1,500 人	654 通	43.6%	2.30%	3.51%	3.83%
ウ) 中学校・高校年代の青少年 の保護者調査	1,250 人	586 通	46.9%	2.43%	3.71%	4.05%
エ) 中学校・高校年代の青少年 本人調査	1,250 人	411 通	32.9%	2.90%	4.43%	4.83%
オ) ひとり親家庭の保護者調査	500 人	204 通	40.8%	4.12%	6.29%	6.86%

7 調査結果の表示方法

- 集計は、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
- 回答の比率(%)は、その質問の回答者数(n値)を基数として算出しています。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- 本文中で、比率の比較をする際には、ポイント(小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位で示しています。)と表記しています。
- 平成30年度との比較のグラフにおいて、平成30年度の調査において項目がないものは、「0.0」を表示しないことで表現しています。
- 平成30年度との比較のグラフにおいて、平成30年度にあって令和5年度に項目のないものは、項目を表記していません。
- クロス集計の実施については、クロス集計の軸となる項目を、各設問から再集計して設定しています。それぞれの軸となる項目については、各調査結果の冒頭部分に、「■クロス集計の見方」として示しています。
- クロス集計については、原則として「無回答」を除いています。また、「その他」や回答者数が少なく、統計上有意でないと判断した項目などは、適宜除外しています。
- クロス集計結果についてのコメントは、回答者数が少なく、統計上有意でないと判断した項目については省略しています。
- 帯グラフについては、数字が重なると読解できなくなることから、3.0%未満の数値の表記は省略しています。

8 調査項目

ア) 就学前児童の保護者

項目	問	設問
A. お子さんと家族の状況	問1	居住地区
	問2	子どもの生年月
	問3	子どものきょうだい数
	問4	調査票の記入者
	問5	調査票の記入者の配偶関係
	問6	子育て（教育を含む）を主に行っている人
	問7	お子さんを見てもらえる親族、友人・知人はいるか
	問8	親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況
B. 保護者の現在の就労状況	問9	母親と父親の就労状況（就労の有無[就労形態]）
	問10	週当たりの日数、1日当たりの就労時間、出勤時間、帰宅時間
	問11	パート・アルバイト等で就労している母親・父親の、フルタイムへの転換希望
	問12	就労していない母親・父親の、就労希望、就労希望がある人の希望する就労形態（就労日数/週、時間/日）
	問13	世帯の年間収入
C. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	問14	現在の「定期的な教育・保育の事業」利用の有無
	問15	平日「定期的に」利用している教育・保育の事業の種類、利用希望
	問16	平日「定期的に」利用している教育・保育の事業の、「現在の」「希望の」利用日数/週、時間/日、時間帯（開始時間及び終了時間）
	問17	現在利用している教育・保育事業の実施場所（居住の市区町村内か、他か）
	問18	教育・保育事業の選定理由
	問19	平日「定期的に」教育・保育の事業を利用している理由
	問20	教育事業の利用への強い希望の有無（前回調査に追加済）
	問21	教育・保育の事業を利用していない理由
D. 土日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	問22	土曜日、日曜日・祝日の「定期的な教育・保育の事業」の利用希望と希望時間帯
	問23	幼稚園を利用している人の、夏休み・冬休み中の「教育・保育の事業」の利用希望
E. お子さんの病気の際の対応	問24	子どもの高熱など急病の場合に、すぐに診てくれる医療機関が見つからず困った経験
	問25	平日「定期的な教育・保育の事業」を利用している人のうち、この1年間、病気やケガで事業が利用できなかったことの有無
	問26	この1年間、病気やケガで普段利用している「教育・保育の事業」が利用できなかった日数と対処方法
	問27	できれば「病児・病後児の保育施設等」を利用したいと思ったか、利用したいと思った日数

項目	問	設問
F. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	問28	私用やリフレッシュ目的で一時的に預けた有無、日数/年
	問29	私用やリフレッシュ目的で一時的に預けたい意向、日数
	問30	この1年間、泊まりがけの外出の際、子どもを家族以外にみてもらわなければならないことの有無、あった際の対処方法と泊数
G. 地域の子育て支援事業の利用状況	問31	子育てに関する事業（両親学級、保健センターの相談事業など）の認知、利用状況、利用の有無・意向
	問32	地域子育て支援拠点事業（「ゆりかご」「ひろば事業」等）の現在の利用状況、利用回数/週、利用回数/月
	問33	地域子育て支援拠点事業（「ゆりかご」「ひろば事業」等）の利用意向、利用希望回数/週、利用希望回数/月
H. 小学校就学後の放課後の過ごし方	問34	小学校低学年のうち、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか、希望日数/週
	問35	小学校高学年になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか、希望日数/週
I. 子どもの権利	問36	子どもの権利条例とオンブズパーソンの認知度
	問37	子どもの権利が守られていると思うか
	問38	市権利条例で力を入れるべきもの
J. 子育て全般	問39	子どもは毎日朝食をとっているか
	問40	今後新たに子どもをもちたいと思うか
	問41	子育て・教育にかかる費用負担に不安があるか
	問42	家賃や光熱費、食料・衣料など、支払延滞や購入できなかった経験があるか
	問43	今後の暮らしに不安があるか
	問44	子育てに関して悩んでいること・気になること
K. 子育て環境や支援	問45	子育てについて相談できる人・場所
	問46	子どもがのびのびと遊べる環境が整備されていると思うか
	問47	子どもが自然、社会、文化などの様々な体験をしやすと思うか
	問48	小金井市で実施している子育て支援策についての情報収集方法
	問49	地域での子育て支援活動が充実していると思うか
	問50	小金井市の子育ての環境や支援への満足度
	問51	子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこと

第1章 調査の概要

イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人を含む。)

①保護者

項目	問	設問
A. お子さん と 家族の状況	問1	居住地区
	問2	子どもの生年月
	問3	子どものきょうだい数
	問4	調査票の記入者
	問5	調査票の記入者の配偶関係
	問6	子育て（教育を含む）を主に行っている人
	問7	お子さんを見てもらえる親族、友人・知人はいるか
	問8	親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況
B. 保護者の現 在の就労状況	問9	母親と父親の就労状況（就労の有無〔就労形態〕）
	問10	週当たりの日数、1日当たりの就労時間、出勤時間、帰宅時間
	問11	パート・アルバイト等で就労している母親・父親の、フルタイムへの転換希望
	問12	就労していない母親・父親の、就労希望、就労希望がある人の希望する就労形態（就労日数／週、時間／日）
	問13	世帯の年間収入
C. 一時預かり の利用	問14	私用やりフレッシュ目的で一時的に預けた有無、日数／年
	問15	私用やりフレッシュ目的で一時的に預けたい意向、日数／年
	問16	この1年間、泊まりがけの外出の際、子どもを家族以外にみてもらわなければならないことの有無、あった際の対処方法と泊数
D. ファミリー・サポ ート・センター利用	問17	ファミリー・サポート・センター利用の有無
E. 放課後の過 ごし方	問18	放課後の時間をどのような場所で過ごしているか、希望日数／週
	問19	今後放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいか、希望日数／週
	問20	学童保育所を利用していない人の利用していない理由
	問21	学童保育所での過ごし方として望むこと
	問22	放課後子ども教室を利用していない人の利用していない理由
	問23	長期休暇中の子ども教室・学童保育所の利用意向・時間帯
F. 子どもの権 利について	問24	子どもの権利条例とオンブズパーソンの認知度
	問25	子どもの権利が守られていると思うか
	問26	市権利条例で力を入れるべきもの

項目	問	設問
G. 子育て全般について	問27	子どもは毎日朝食をとっているか
	問28	不登校ではないが、学校に行きたくないと言われたか
	問29	子育て・教育にかかる費用負担に不安があるか
	問30	今後の暮らしに不安があるか
	問31	家賃や光熱費、食料・衣料など、支払延滞や購入できなかった経験があるか
	問32	子育てに関して悩んでいること・気になること
	問33	子育てについて相談できる人・場所
H. 子育て環境や支援	問34	子どもがのびのびと遊べる環境が整備されていると思うか
	問35	子どもが自然、社会、文化などの様々な体験をしやすと思うか
	問36	小金井市で実施している子育て支援策についての情報収集方法
	問37	小金井市の施策を知っているかどうか、利用の有無
	問38	地域での子育て支援活動が充実していると思うか
	問39	小金井市の子育ての環境や支援への満足度
	問40	子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこと

②小学校児童本人

項目	問	設問
小学生調査	問1	大事だと思うこと（子どもの権利）は何か
	問2	自分自身のことが好きか
	問3	ホッとできる場所はどこか
	問4	自分の意見が言えて話をきいてもらえているか
	問5	困ったときの相談相手は誰か
	問6	将来の夢ややりたい仕事はあるか
	問7	その夢やつきたい職業

第1章 調査の概要

ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者

項目	問	設問
A. お子さんと 家族の状況	問1	居住地区
	問2	子どもの生年月
	問3	子どもは学生か、就業者か
	問4	調査票の記入者
	問5	調査票の記入者の配偶関係
	問6	子どもと同居しているか
B. 保護者の現 在の就労状況	問7	母親と父親の就労状況（就労の有無[就労形態]）
	問8	世帯の年間収入
C. 子どもの権 利	問9	子どもの権利条例とオンブズパーソンの認知度
	問10	子どもの権利が守られていると思うか
	問11	市権利条例で力を入れるべきもの
D. 子育て全般	問12	子どもは毎日朝食をとっているか
	問13	不登校ではないが、学校に行きたくないとされたか
	問14	子育て・教育にかかる費用負担に不安があるか
	問15	家賃や光熱費、食料・衣料など、支払延滞や購入できなかった経験があるか
	問16	今後の暮らしに不安があるか
	問17	子育てに関して悩んでいること・気になること
	問18	子育てについて相談できる人・場所
E. 子育て環境 や支援	問19	子どもがのびのびと遊べる環境が整備されていると思うか
	問20	子どもが自然、社会、文化などの様々な体験をしやすいと思うか
	問21	小金井市で実施している子育て支援策についての情報収集方法
	問22	小金井市の施策を知っているかどうか、利用の有無
	問23	小金井市の子育ての環境や支援への満足度
	問24	子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこと

工) 中学校・高校年代の青少年本人

項目	問	設問
A. あなたと家族の状況	問1	居住地区
	問2	年齢
	問3	同居している方
B. あなたの考え方	問4	大事だと思うこと（こどもの権利）は何か
	問5	自分自身のことが好きか
	問6	ここに居たいと感じる居場所があるか
	問7	ここに居たいと感じる居場所はどこか
C. 放課後や休日等の過ごし方	問8	自分の言うことを聞いてもらえているか
	問9	放課後や休日をどこで、どのように過ごしているか
	問10	欲しい施設や遊び場
D. 体験の機会	問11	最近6か月の外出の状況
	問12	どのような体験の機会に参加したいか
E. 将来のこと	問13	将来の夢はあるか
F. 幸せについて	問15	主観的幸福感（10点満点）
	問16	主観的健康観
	問17	普段の生活に不安や悩みがあるか
G. 困ったときの相談	問18	困ったときの相談相手はいるか
	問19	困ったときの相談相手は誰か
H. いじめや虐待など	問20	いじめや虐待、不登校の経験はあるか
	問21	いじめや虐待、悩んだ時や困った時に相談したことがあるか、相談先として考えられるか
	問22	相談する場所の認知度
I. 子どもの権利	問23	子どもの権利条例とオンブズパーソンの認知度
	問24	子どもの権利が守られていると思うか
J. ヤングケアラー	問26	ヤングケアラーの認知度
	問27	ケアによる問題が起きているか
K. 市の施設	問28	市のサービスや事業の認知・利用状況、希望、満足度

第1章 調査の概要

オ) ひとり親家庭の保護者

項目	問	項目
A. お子さんと家族の状況	問1	居住地区
	問2	子どもの生年月
	問3	子どものきょうだい数
	問4	調査票の記入者
	問5	同居家族
	問6	子育て（教育を含む）を主に行っている人
	問7	お子さんを見てもらえる親族、友人・知人はいるか
	問8	親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況
B. 保護者の現在の就労状況	問9	保護者の就労状況（就労の有無[就労形態]）
	問10	週当たりの日数、1日当たりの就労時間、出勤時間、帰宅時間
	問11	パート・アルバイト等で就労している母親・父親の、フルタイムへの転換希望
	問12	就労していない母親・父親の、就労希望、就労希望がある人の希望する就労形態（就労日数/週、時間/日）
	問13	ひとり親家庭ホームヘルプサービスや、ファミリー・サポート・センターの制度の利用状況、利用していない理由
	問14	就労有無にかかわらず、仕事を探す際に重視すること
	問15	世帯の年間収入
C. 定期的な教育・保育事業の利用状況	問16	「定期的な教育・保育の事業」利用の有無
D. ひとり親家庭の経緯	問17	ひとり親になった理由
	問18	ひとり親になってからの年数
	問19	ひとり親になる前に誰かに相談したか
	問20	ひとり親になる前にどんな心配があったか
E. ひとり親になってからの状況	問21	ひとり親になって困ったこと
	問22	離婚時の取り決め（養育費、面会、取り決めなし）
	問22①	養育費受取状況
	問22②	面会交流状況
	問23	養育費をもらっているか
	問24	小金井市養育費確保支援事業の認知・利用経験
F. 支援制度	問25	小金井市ひとり親支援制度の利用有無、利用希望
	問26	のびのびこがねいっ子、ひとり親家庭のしおりの認知度
	問27	家計に係る情報でほしい情報（手当給付情報、相談場所、塾代目安、貯金方法、家計管理方法、返済計画）

項目	問	項目
G. 子育て全般	問28	子どもは毎日朝食をとっているか
	問29	不登校ではないが、学校に行きたくないと言われたか
	問30	子育て・教育にかかる費用負担に不安があるか
	問31	家賃や光熱費、食料・衣料など、支払延滞や購入できなかった経験があるか
	問32	今後の暮らし不安があるか
	問33	子育てに関して悩んでいること・気になること
	問34	子育てについて相談できる人・場所
	問35	小金井市で実施している子育て支援策についての情報収集方法
	問36	小金井市の子育ての環境や支援への満足度
	問37	子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいこと

第2章 調査結果

ア) 就学前児童の保護者調査

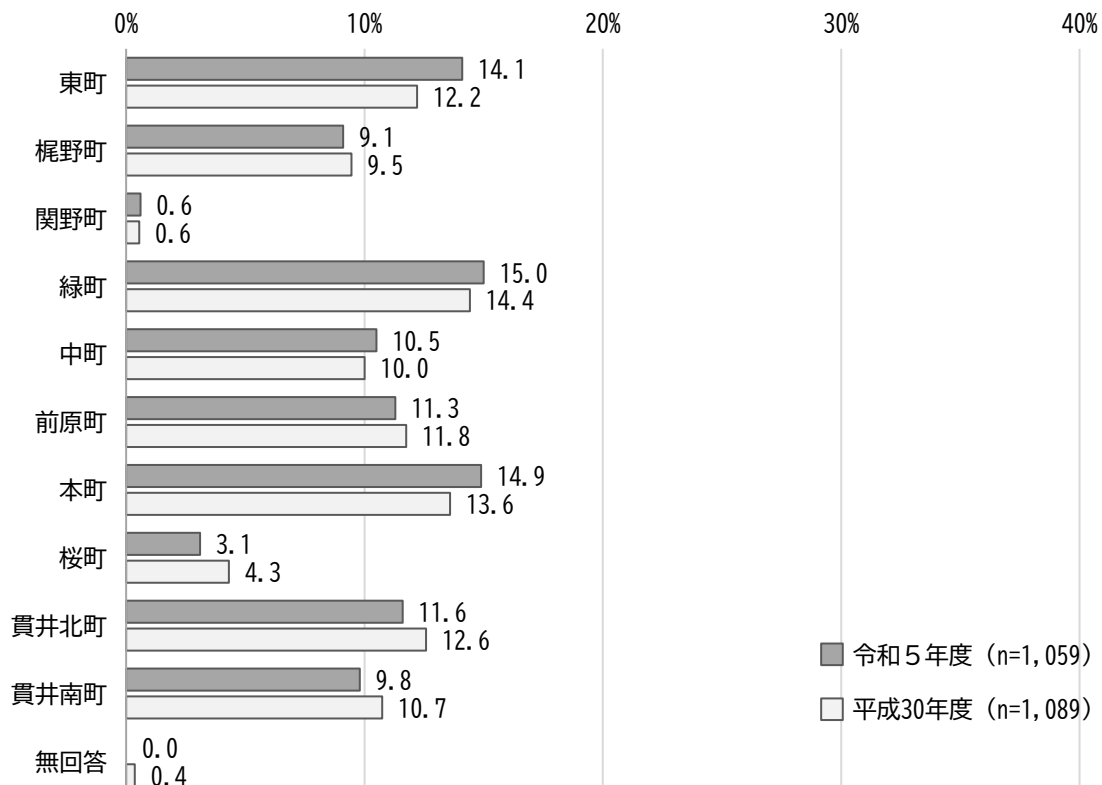
■クロス集計の見方

分類	分類のしかた
日常的に見てもらえる親族・知人	問7 お子さんを見てもらえる親族、友人・知人はいるか 日常的に見てもらえる親族・知人が「いる（日常的）」、 緊急時に見てもらえる親族・知人が「いる（緊急時）」、 それ以外を「いない」とし分類した。
家族類型	問9 母親と父親の就労状況（就労の有無[就労形態]） 両親ともフルタイムを「フル×フルタイム」、 片親がフルタイムで片親がパートタイムを「フル×パートタイム」、 片親が就労していない場合を「専業主婦（夫）」と分類した。
年齢	問2 宛名のお子さんの生年月 令和5年4月1日現在の年齢で集計し分類した。
教育・保育の実施場所	問17 現在、利用している教育・保育の実施場所 「小金井市内」と「他の市区町村」を分類した。

A. 宛名のお子さんご家族の状況について

問1 お住まいの地区はどこですか。（町名・丁目、それぞれ1つに○）

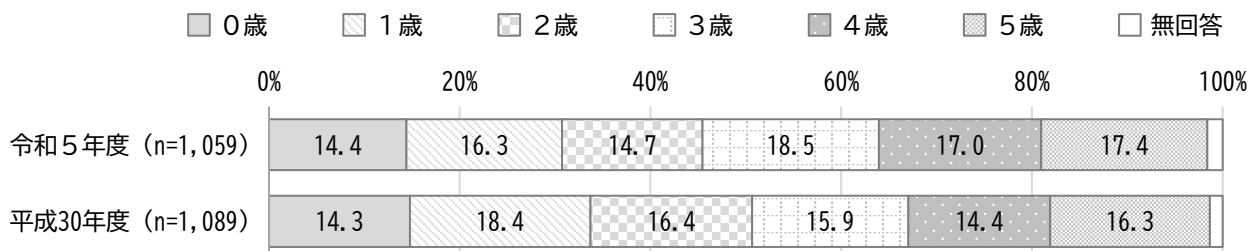
住まいの地区について、「緑町」の割合が15.0%と最も高く、次いで「本町」の割合が14.9%となっています。



第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

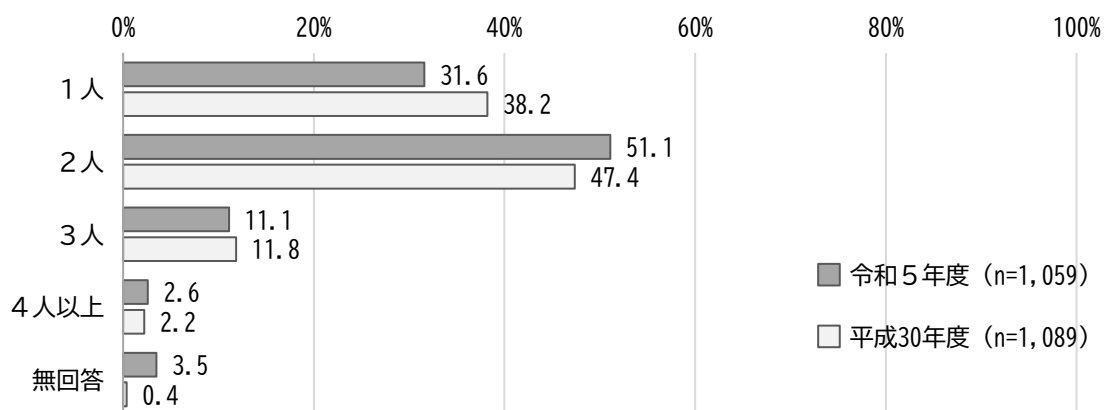
問2 宛名のお子さん（以降お子さんと記載）の生年月を記入してください。（数字を記入）

宛名のお子さんの生年月について、「3歳」の割合が18.5%と最も高く、次いで「5歳」の割合が17.4%となっています。



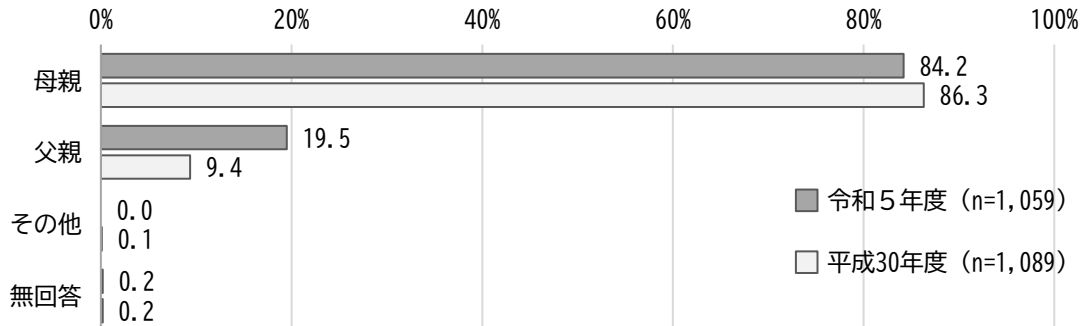
問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。（数字を記入）

きょうだいの人数について、「2人」の割合が51.1%と最も高く、次いで「1人」の割合が31.6%となっています。



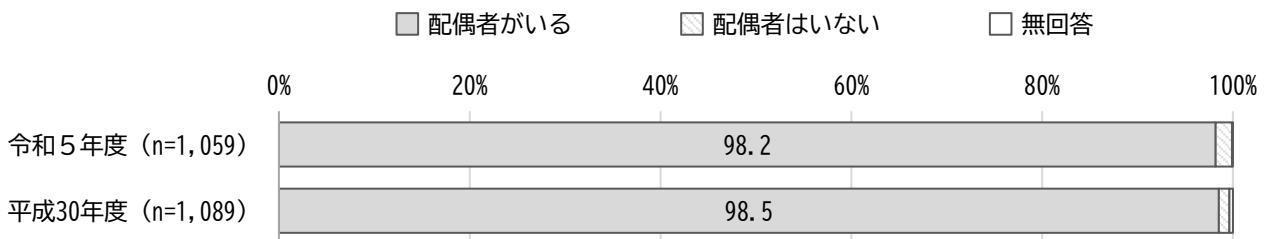
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

お子さんからみた調査票の回答者について、「母親」の割合が84.2%と最も高く、次いで「父親」の割合が19.5%となっています。



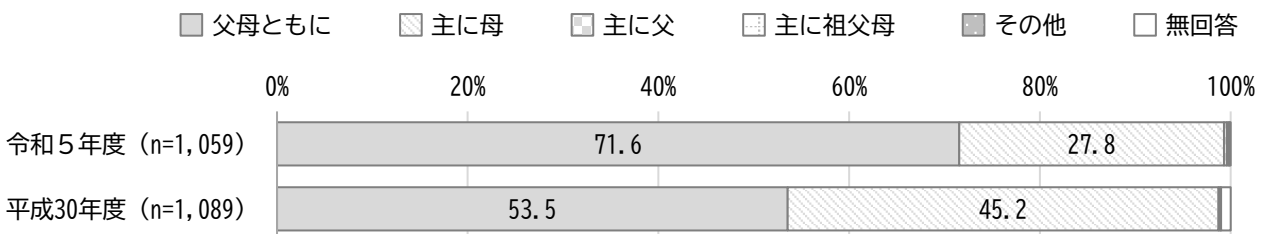
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

配偶関係について、「配偶者がいる」の割合が98.2%となっています。



問6 お子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

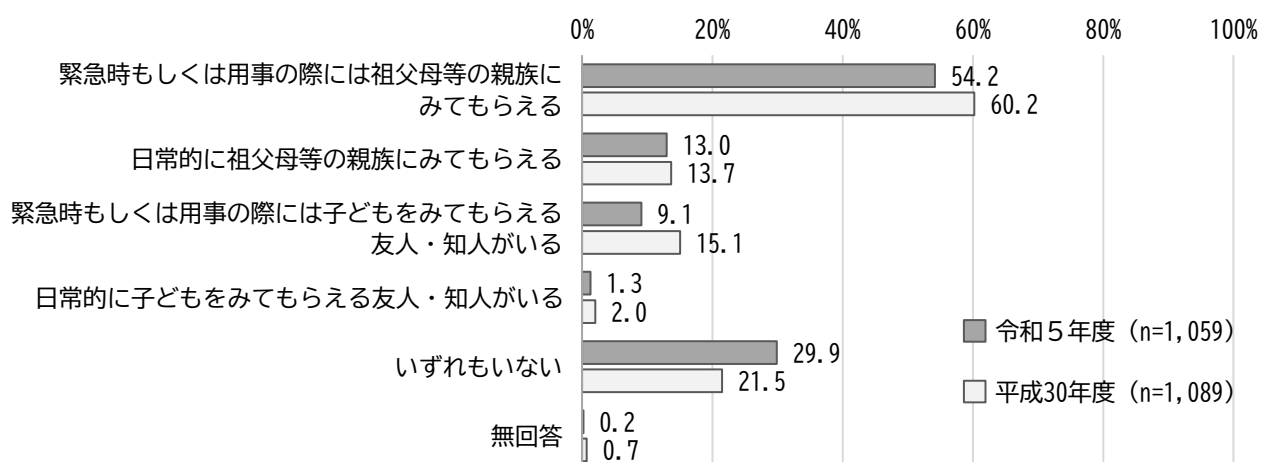
子育て教育を主に行っている方について、「父母ともに」の割合が71.6%と最も高く、次いで「主に母」の割合が27.8%となっています。



第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問7 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

お子さんを見てもらえる親族・知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が54.2%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が29.9%となっています。



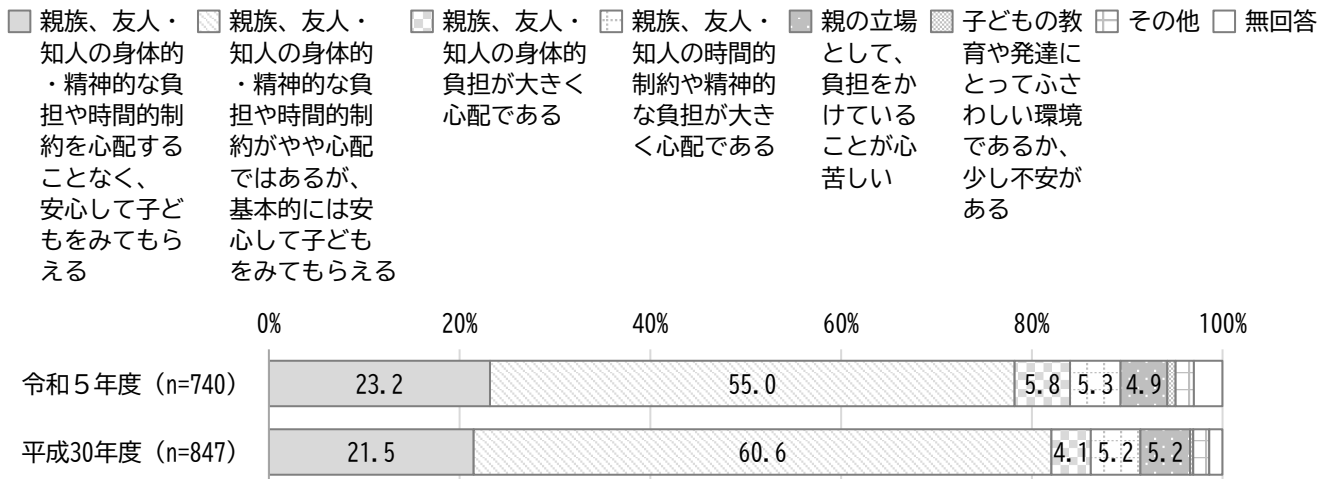
(単位：%)

区分	回答者数(人)	日常的に祖父母等にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
令和5年度	1,059	13.0	54.2	1.3	9.1	29.9	0.2
0歳	153	14.4	63.4	0.7	3.9	22.9	0.0
1歳	173	12.1	53.8	1.7	7.5	32.9	0.0
2歳	156	16.0	53.8	0.6	7.7	25.6	0.0
3歳	196	14.3	50.5	0.5	11.2	34.2	0.5
4歳	180	13.9	47.8	2.2	10.6	32.2	0.0
5歳	184	8.7	59.2	2.2	12.5	27.2	0.5
フル×フルタイム	607	12.7	59.5	1.3	6.4	27.3	0.0
フル×パートタイム	172	8.7	50.0	0.6	12.2	33.1	0.6
専業主婦(夫)	251	13.5	45.8	1.6	12.7	36.7	0.4

問7で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」のいずれかに回答した方

問8 親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況はいかがですか。(1つに○)

親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、「親族、友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約がやや心配ではあるが、基本的には安心して子どもをみてもらえる」の割合が55.0%と最も高く、次いで「親族、友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が23.2%となっています。

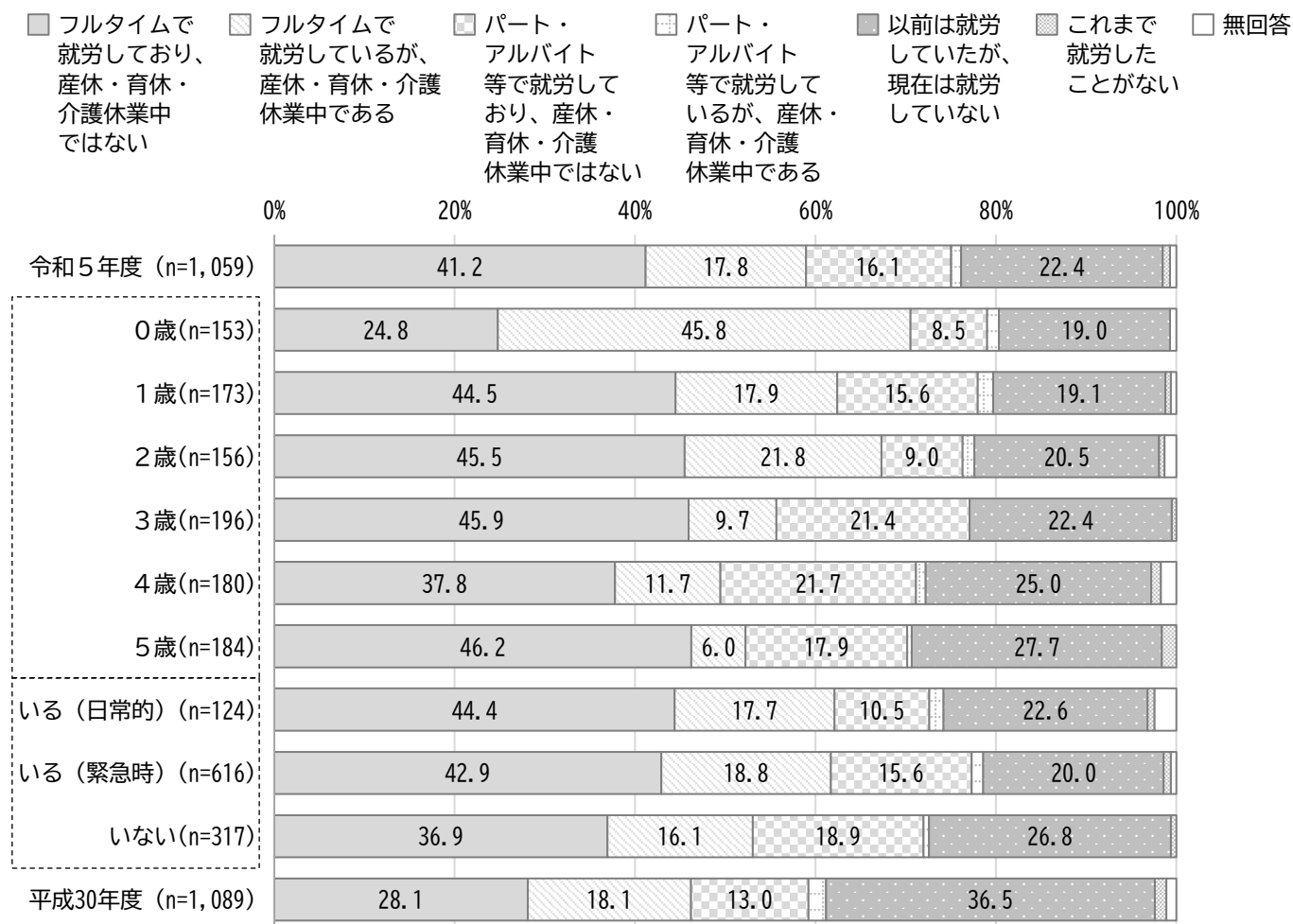


B. お子さんの保護者の就労状況について

問9 お子さんの保護者（以降保護者と記載）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

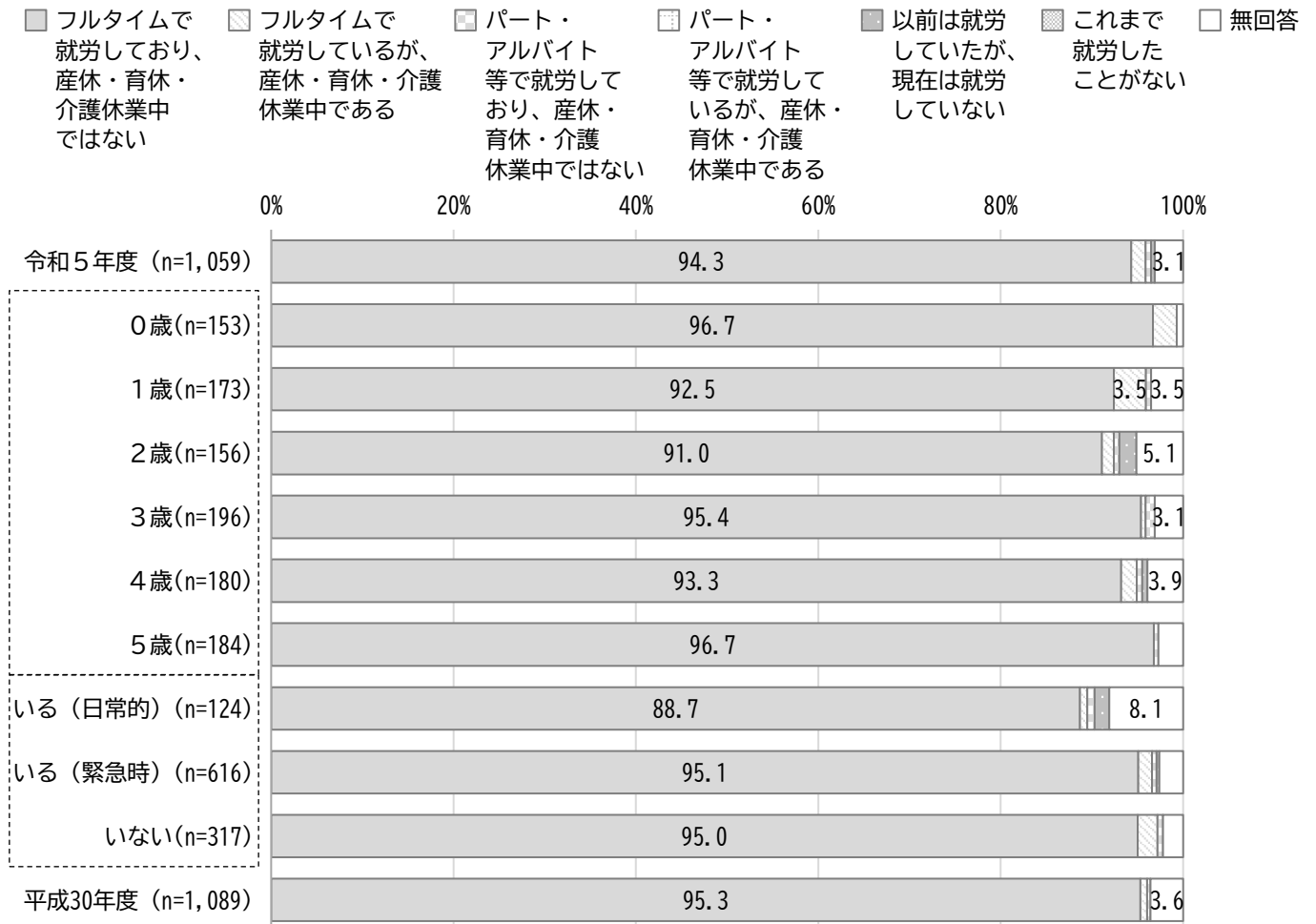
【母親】

母親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が41.2%と最も高く、次いで「以前は就労していたが、現在は就労していない」の割合が22.4%となっています。



【父親】

父親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が94.3%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」の割合が1.6%となっています。



第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

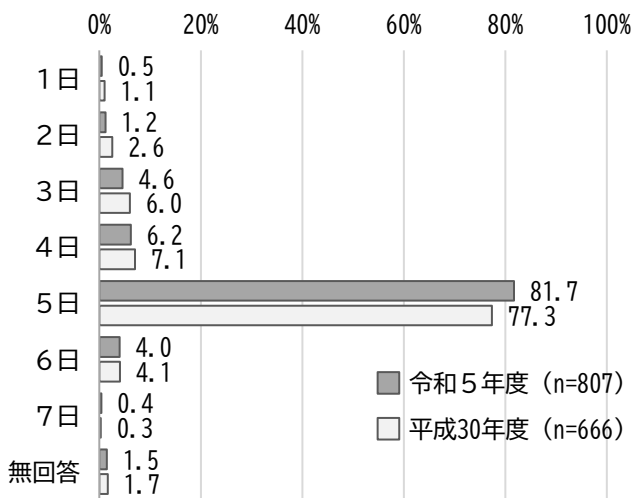
問9で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」と回答した方

問10 1週当たりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

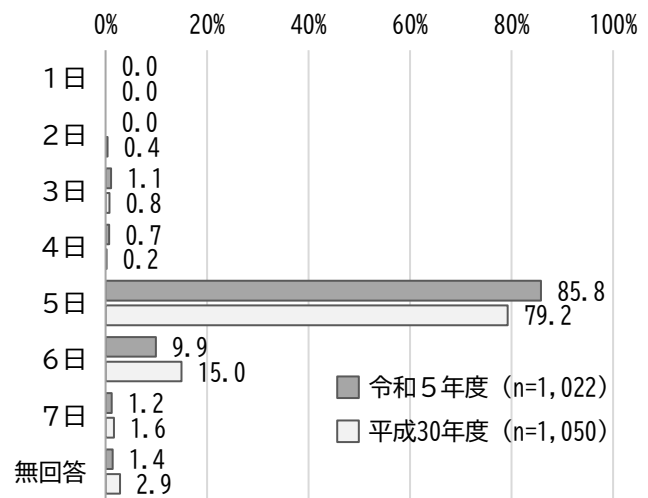
母親の就労日数については「5日」が81.7%、就労時間は「8時間」が37.5%となっております。

父親の就労日数については「5日」が85.8%、就労時間は「9時間」が25.2%となっております。

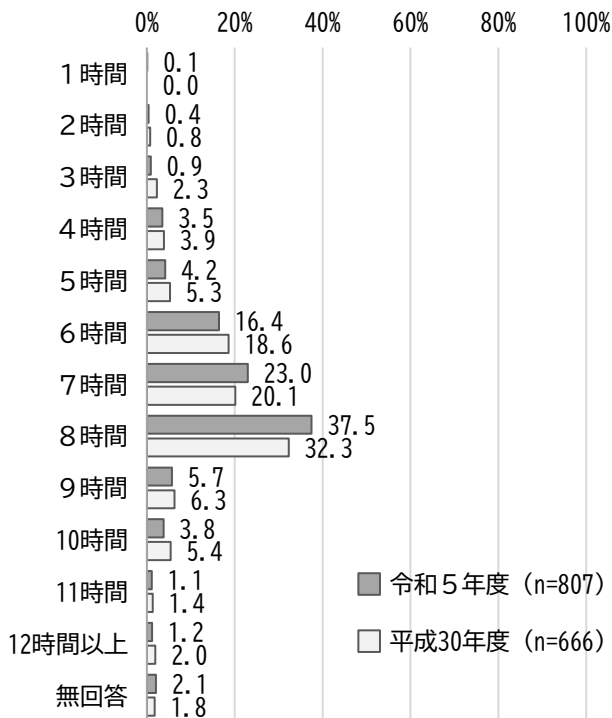
【母親】（1週あたりの「就労日数」）



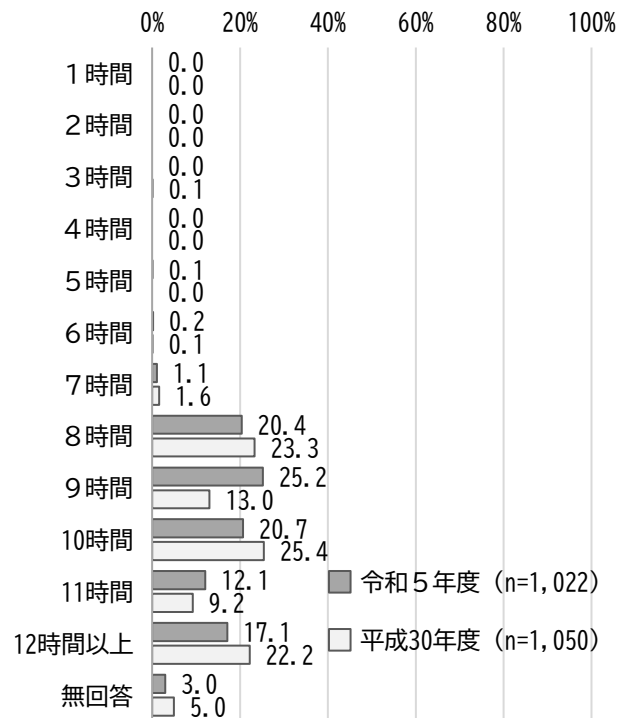
【父親】（1週あたりの「就労日数」）



【母親】（1日あたりの就労時間）



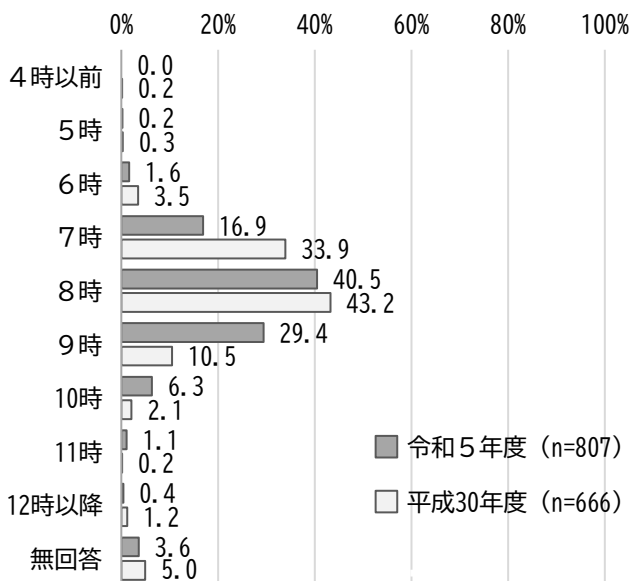
【父親】（1日あたりの就労時間）



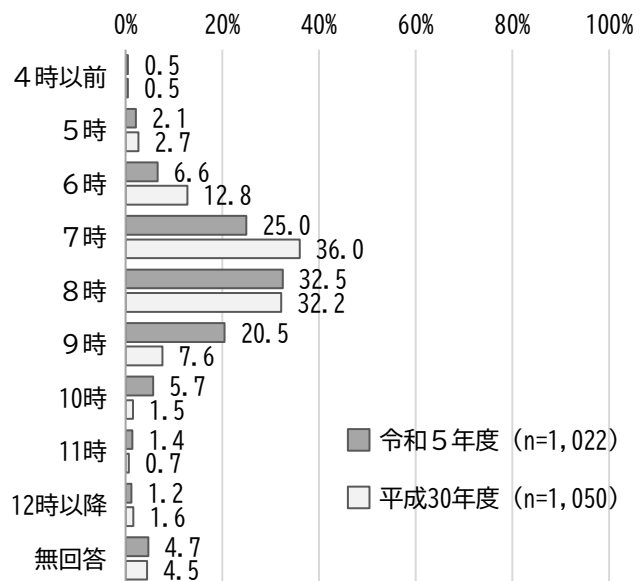
母親の家を出る時刻については「8時」が40.5%、帰宅時刻は「18時」が34.2%となっております。

父親の家を出る時刻については「8時」が32.5%、帰宅時刻は「22時以降」が25.0%となっております。

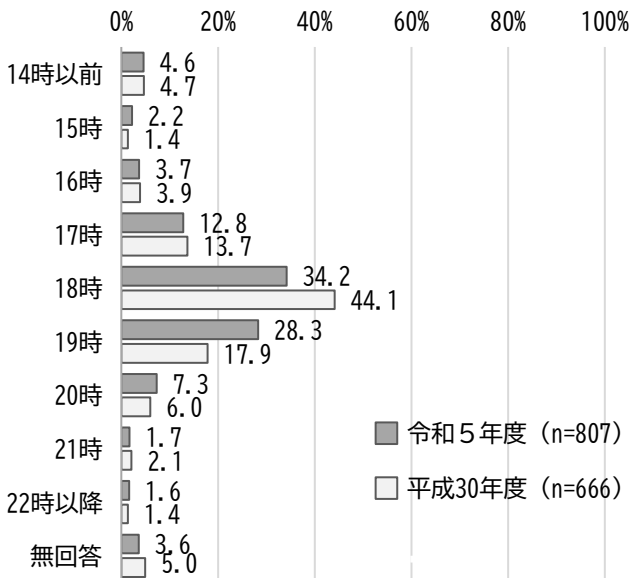
【母親】（家を出る時刻）



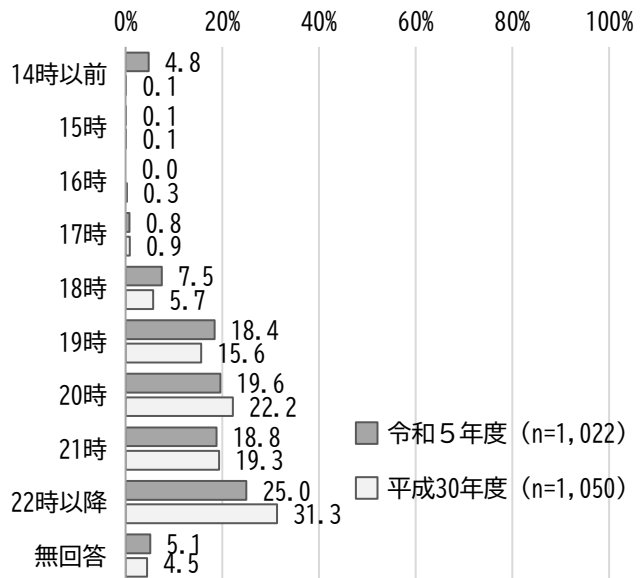
【父親】（家を出る時刻）



【母親】（帰宅時刻）



【父親】（帰宅時刻）



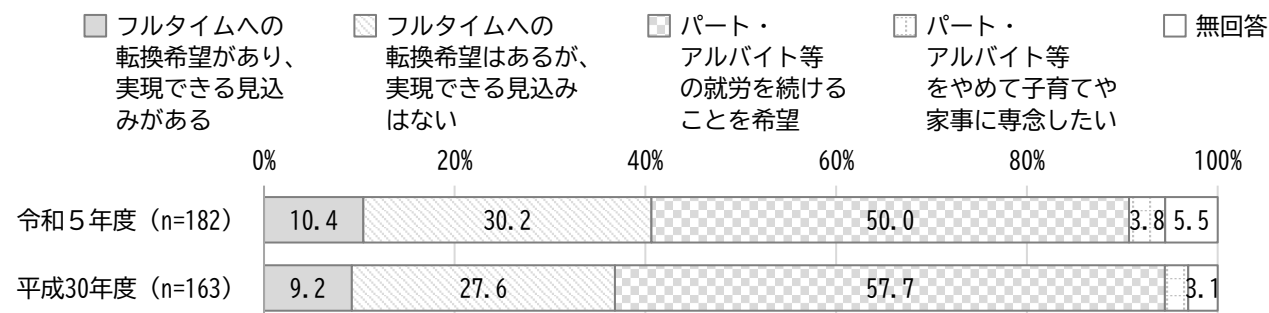
第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問9で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方

問11 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

【母親】

母親のパート・アルバイト等で就労している方について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が50.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が30.2%となっています。



【父親】(n=6)

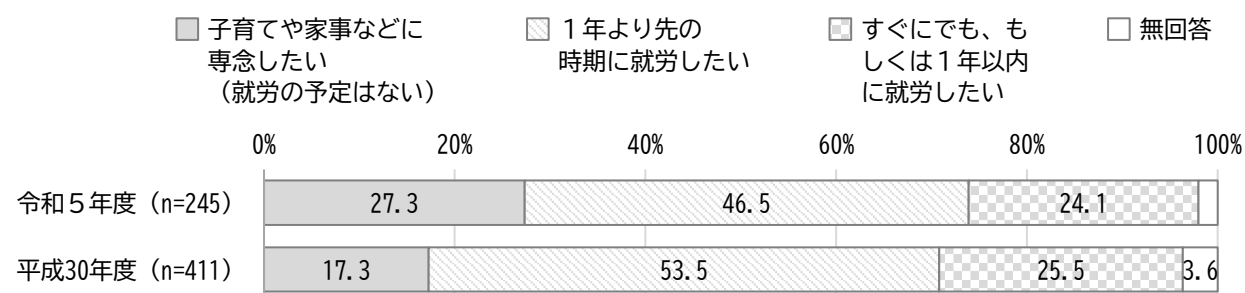
父親のパート・アルバイト等で就労している方について、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が4件、次いで「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が2件となっています。

問9で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」(現在は就労していない)と回答した方

問12 就労したいという希望はありますか。

【母親】

母親の就労希望について、「1年より先の時期に就労したい」の割合が46.5%と最も高く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」の割合が27.3%となっています。



【父親】(n=4)

父親の就労希望について、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が3件、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が1件となっています。

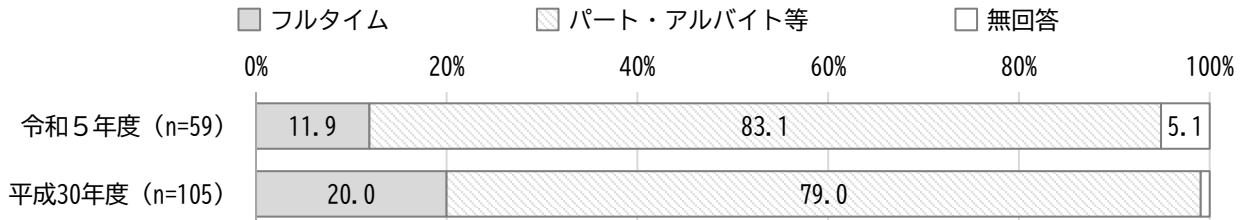
※平成30年度は、「父親」の回答がありませんでした。

問12で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方

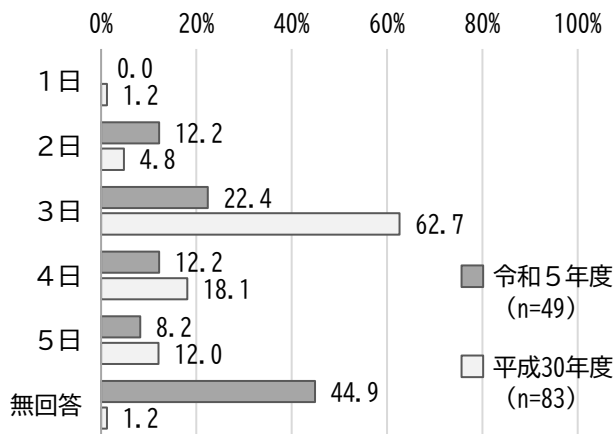
問12 希望する就労形態

【母親】

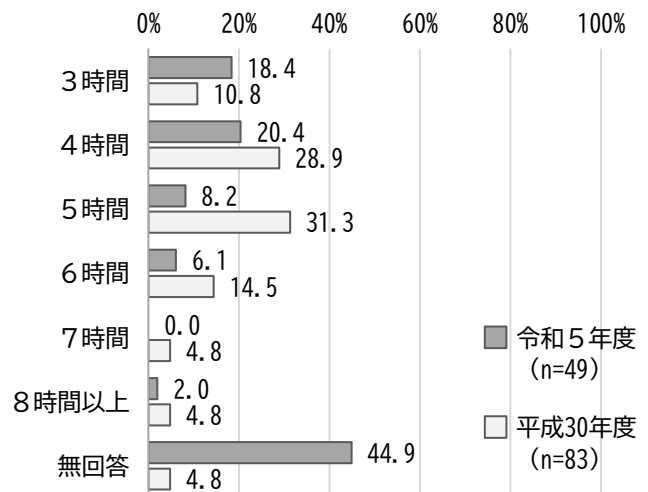
希望する就労形態について、「パート・アルバイト等」の割合が83.1%と最も高く、次いで「フルタイム」の割合が11.9%となっています。



【母親】 1週あたり就労日数



1日あたり就労時間



【父親】 (n=3)

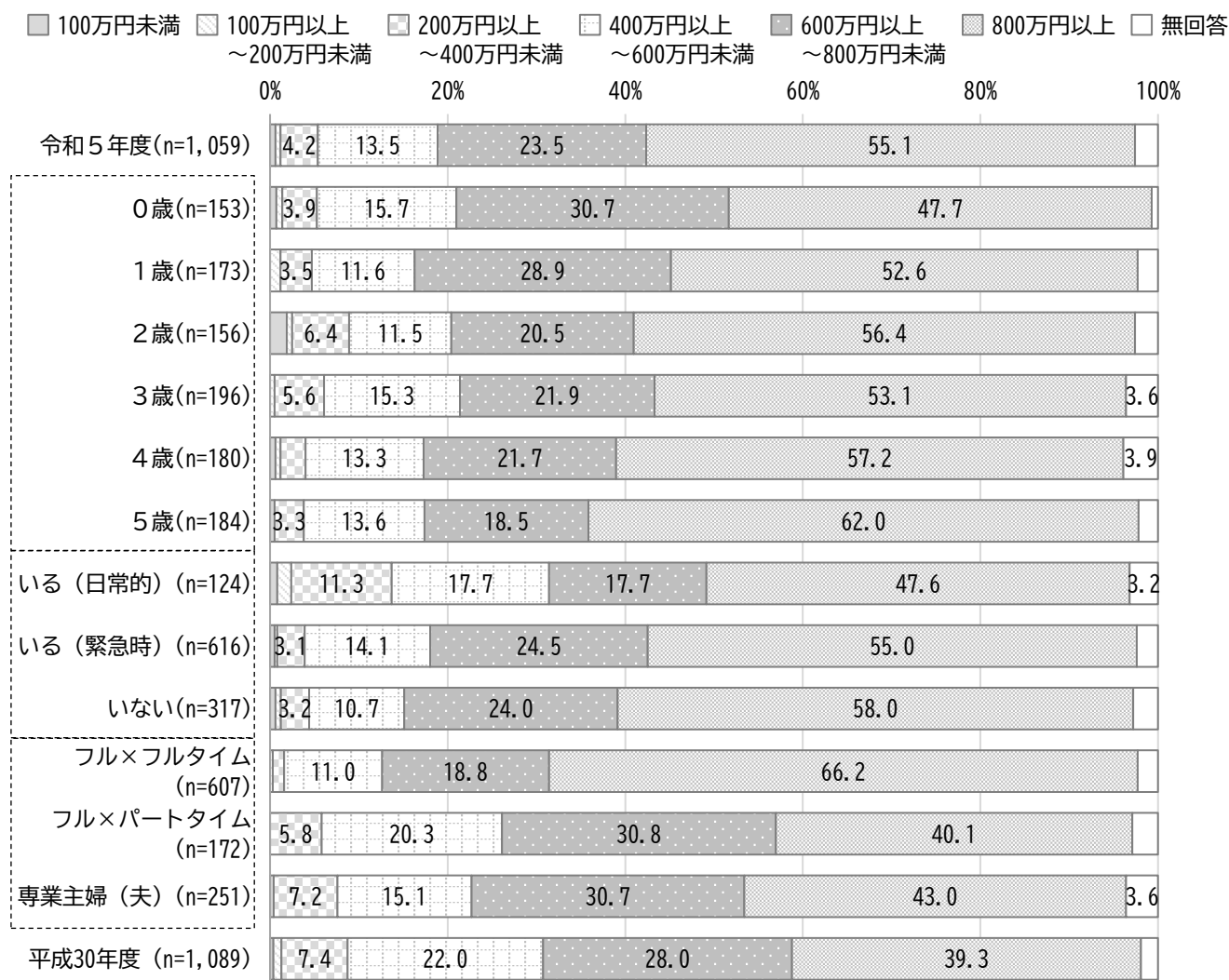
希望する就労形態について、「フルタイム」が3件となっています。

また、パート・アルバイト等の場合の1週あたり就労日数、就労時間については、該当者ありません。

第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問13 現在の年間の保護者の世帯収入についてお答えください。(1つに○)

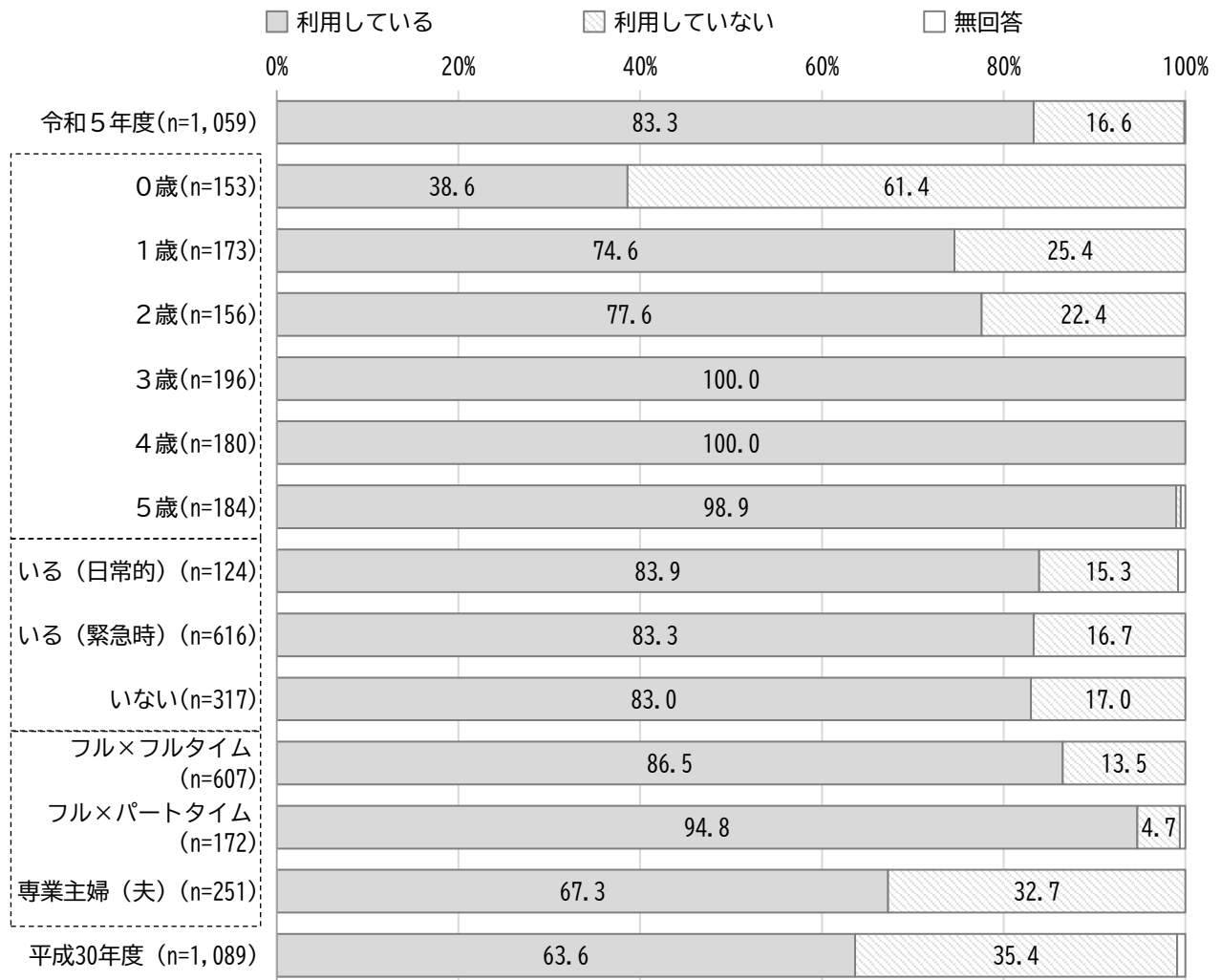
年間の保護者の世帯収入について、「800万円以上」の割合が55.1%と最も高く、次いで「600万円以上～800万円未満」の割合が23.5%となっています。



C. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

問14 お子さんは、現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。
(1つに○)

幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用について、「利用している」の割合が83.3%となっています。



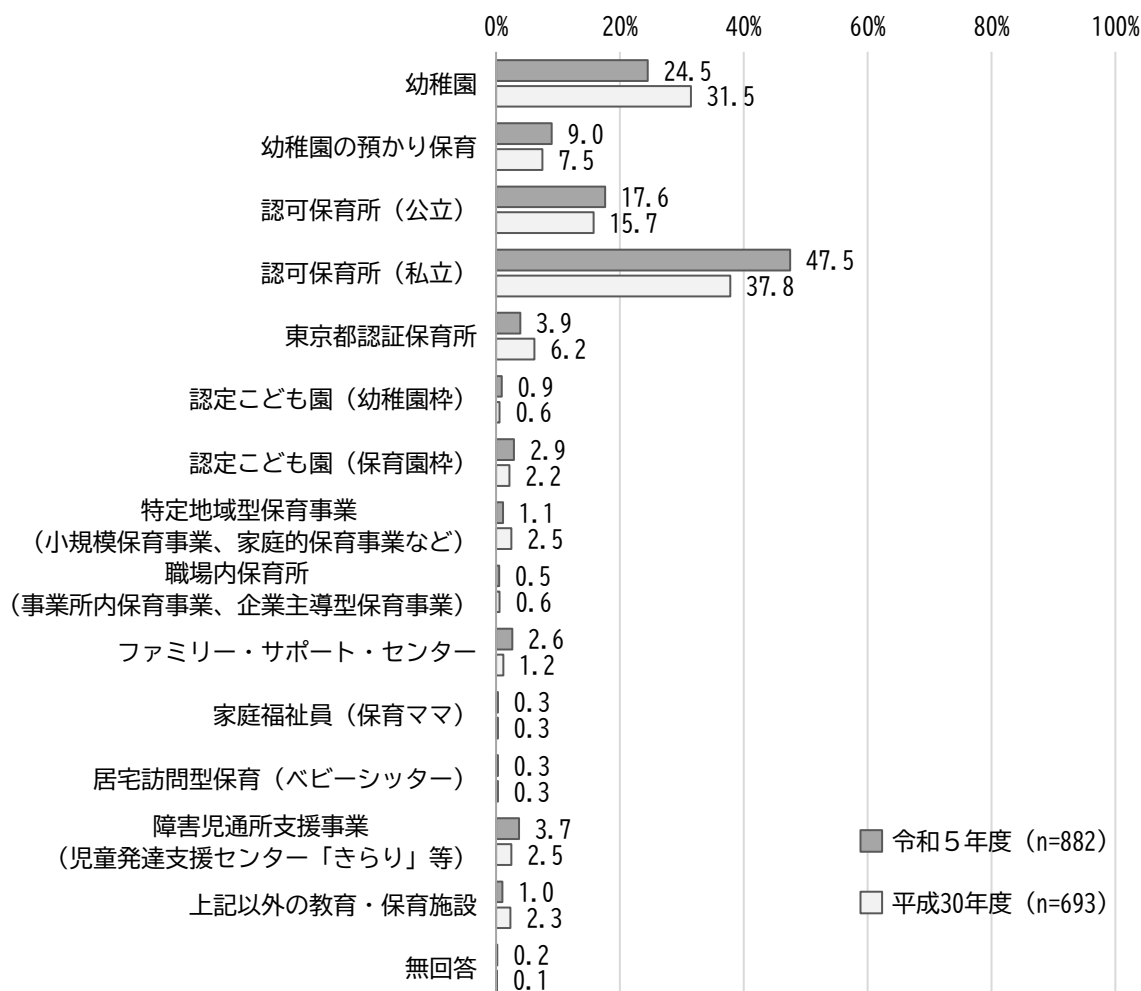
第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問14で「利用している」と回答した方 問15-②は、問14で利用の有無にかかわらず回答

問15 お子さんの平日の教育・保育の事業として「定期的に」①. 利用している事業、また、②. 利用したい事業をそれぞれお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

【①. 利用している事業】

利用している事業について、「認可保育所（私立）」の割合が47.5%と最も高く、次いで「幼稚園」の割合が24.5%となっています。



【①. 利用している事業】

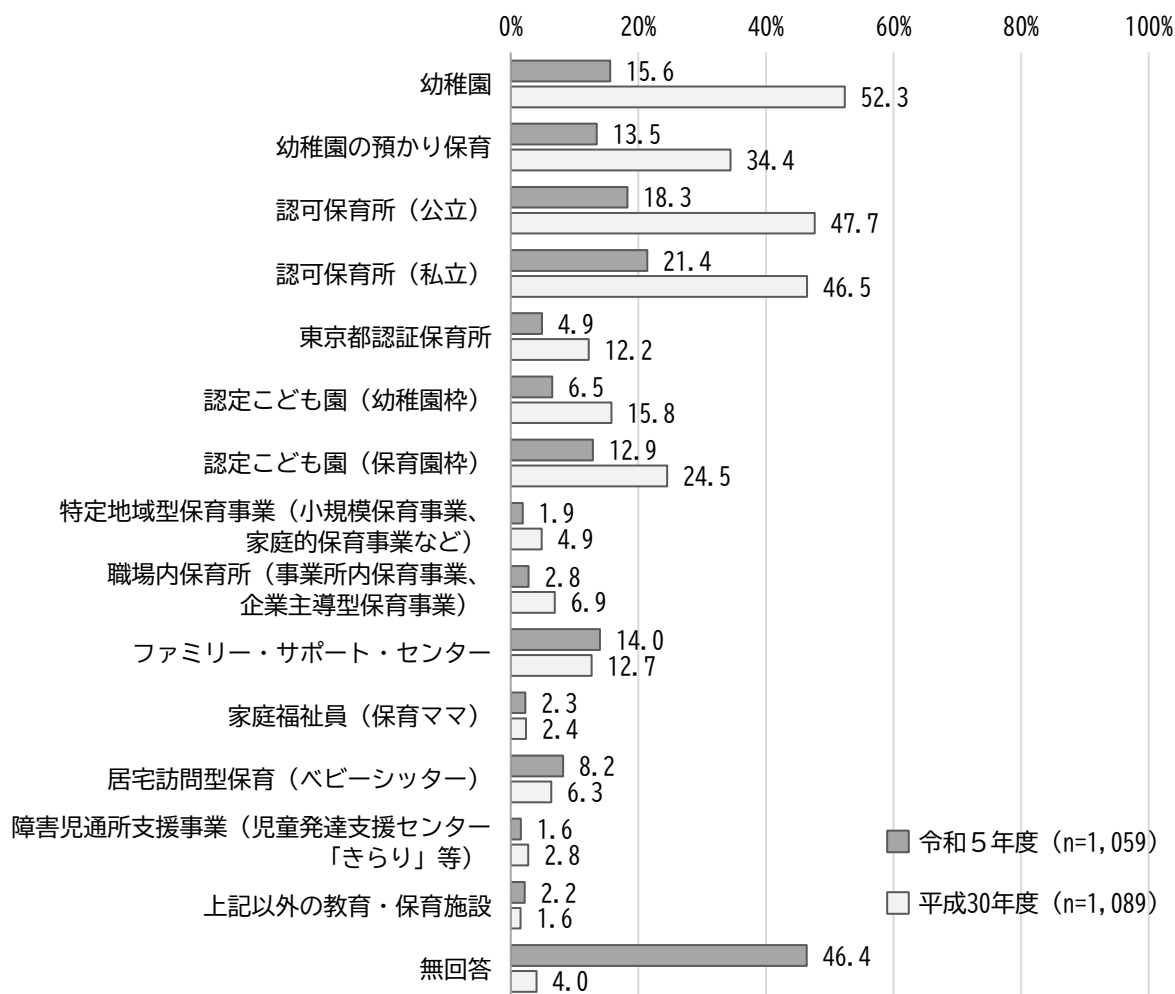
(単位：%)

区分	回答者数(人)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所(公立)	認可保育所(私立)	東京都認証保育所	認定こども園(幼稚園枠)	認定こども園(保育園枠)	特定地域型保育事業(小規模保育事業、家庭的保育事業など)	特定地域型保育事業(小規模保育事業、家庭的保育事業など)	職場内保育所(事業所内保育事業、企業主導型保育事業)	ファミリー・サポート・センター	家庭福祉員(保育ママ)	居宅訪問型保育(ベビーシッター)	障害児通所支援事業(児童発達支援センター「きらり」等)	上記以外の教育・保育施設	無回答
令和5年度	882	24.5	9.0	17.6	47.5	3.9	0.9	2.9	1.1	0.5	2.6	0.3	0.3	3.7	1.0	0.2	
0歳	59	3.4	3.4	13.6	71.2	5.1	0.0	3.4	3.4	1.7	3.4	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	
1歳	129	2.3	0.0	20.9	63.6	3.1	0.0	3.1	3.9	0.8	2.3	1.6	0.0	2.3	0.8	0.0	
2歳	121	8.3	1.7	20.7	56.2	5.8	0.8	4.1	2.5	0.0	2.5	0.8	0.0	2.5	1.7	0.8	
3歳	196	32.1	9.7	16.8	41.8	5.6	0.5	1.5	0.0	0.5	3.1	0.0	1.0	4.6	1.0	0.5	
4歳	180	37.2	15.6	13.9	42.2	2.2	1.1	2.8	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	
5歳	182	36.8	14.8	18.7	34.1	2.7	1.6	3.3	0.0	0.5	2.7	0.0	0.0	5.5	1.6	0.0	
いる(日常的)	104	23.1	6.7	13.5	48.1	9.6	1.0	3.8	1.0	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	1.0	0.0	
いる(緊急時)	513	24.2	9.6	18.1	47.2	3.3	0.8	3.1	1.0	0.0	2.5	0.6	0.4	3.5	1.4	0.4	
いない	263	25.5	8.7	18.3	48.3	2.7	0.8	2.3	1.5	0.8	3.8	0.0	0.4	4.9	0.4	0.0	
フル×フルタイム	525	4.4	3.0	21.9	63.2	4.6	0.6	3.6	1.1	0.4	2.7	0.6	0.4	2.9	0.6	0.4	
フル×パートタイム	163	28.8	16.0	17.8	41.1	4.9	1.8	3.1	1.8	1.2	3.1	0.0	0.0	2.5	2.5	0.0	
専業主婦(夫)	169	83.4	20.7	3.0	7.1	0.0	1.2	0.6	0.0	0.0	1.2	0.0	0.6	6.5	1.2	0.0	

第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

【②. 利用したい事業】

利用したい事業について、「認可保育所（私立）」の割合が21.4%と最も高く、次いで「認可保育所（公立）」の割合が18.3%となっています。



【②. 利用したい事業】

(単位：%)

区分	回答者数(人)	幼稚園	幼稚園の預かり保育	認可保育所(公立)	認可保育所(私立)	東京都認証保育所	認定こども園(幼稚園枠)	認定こども園(保育園枠)	特定地域型保育事業(小規模保育事業、家庭的保育事業など)	特定地域型保育事業(企業主導型保育事業)	職場内保育所(事業所内保育事業)	ファミリー・サポート・センター	家庭福祉員(保育ママ)	居宅訪問型保育(ベビーマッサージ)	障害児通所支援事業(児童発達支援センター「きらり」等)	上記以外の教育・保育施設	無回答
令和5年度	1,059	15.6	13.5	18.3	21.4	4.9	6.5	12.9	1.9	2.8	14.0	2.3	8.2	1.6	2.2	46.4	
0歳	153	25.5	17.0	41.2	50.3	16.3	11.8	29.4	7.8	5.9	19.0	5.2	10.5	1.3	3.3	22.9	
1歳	173	26.6	17.9	23.1	23.7	5.2	9.8	14.5	2.9	4.0	16.8	1.7	6.9	0.6	0.6	40.5	
2歳	156	19.9	16.0	14.1	18.6	5.8	9.0	17.3	1.3	2.6	11.5	3.8	11.5	3.2	2.6	42.3	
3歳	196	10.2	10.2	9.2	11.7	2.0	2.6	6.1	0.0	2.0	14.3	2.0	7.1	1.5	2.6	53.1	
4歳	180	5.6	12.2	13.9	15.6	1.1	3.3	6.1	0.0	1.7	12.8	0.6	7.2	1.7	0.6	56.1	
5歳	184	8.2	8.2	12.0	13.0	1.1	4.9	8.7	0.5	1.6	9.8	1.1	6.0	1.1	2.7	58.7	
いる(日常的)	124	17.7	9.7	21.0	21.0	4.8	4.8	13.7	0.0	2.4	8.9	1.6	8.1	0.0	0.8	48.4	
いる(緊急時)	616	14.8	11.9	19.2	21.1	5.2	5.5	12.8	2.4	3.1	12.3	2.9	7.3	1.8	1.6	46.3	
いない	317	16.4	18.0	15.8	22.4	4.4	9.1	12.9	1.6	2.5	18.9	1.3	10.1	1.9	3.8	45.7	
フル×フルタイム	607	10.9	8.4	22.2	26.0	5.4	5.3	16.5	1.5	2.8	15.2	2.0	8.7	1.3	2.0	44.5	
フル×パートタイム	172	8.1	7.6	8.7	15.7	2.3	3.5	9.3	1.2	2.3	11.6	1.7	7.0	1.7	1.2	55.2	
専業主婦(夫)	251	32.7	29.9	14.3	13.5	5.6	12.0	7.2	3.2	2.4	12.0	2.4	7.2	2.0	3.2	45.0	

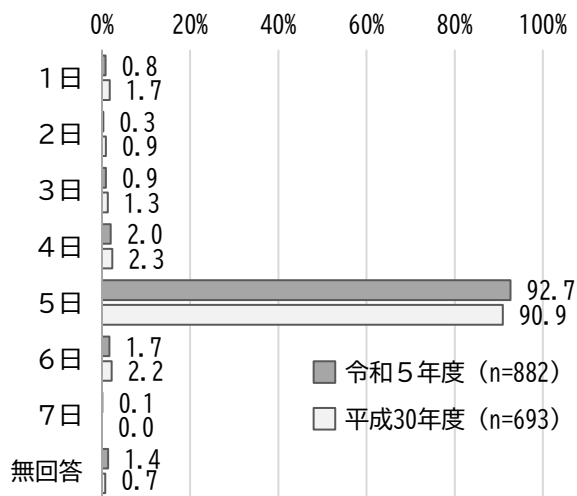
第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問14で「利用している」と回答した方

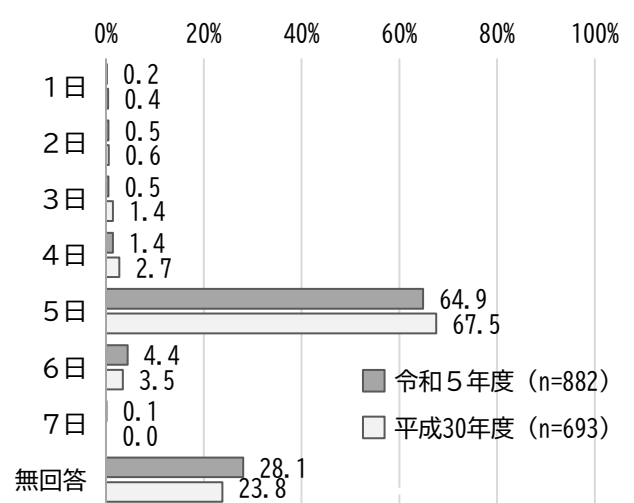
問16 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）をお答えください。

平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、現在の1週間あたりの利用日数について「5日」の割合が92.7%と最も高くなっており、また、希望についても「5日」の割合が64.9%と最も高くなっています。また、1日あたりの利用時間は「10時間」が21.4%と最も高く、次いで「9時間」が20.0%となっています。また、希望についても「9時間」が15.9%と最も高く、次いで「10時間」が14.3%となっています。

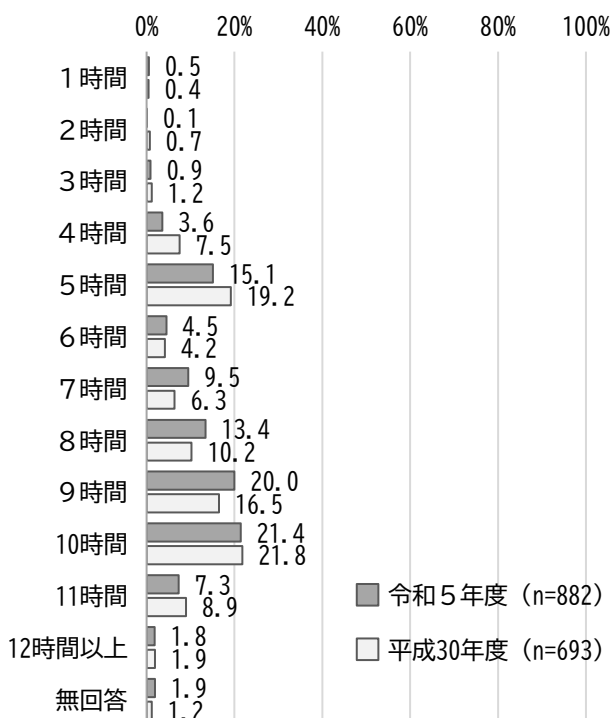
【現在】（現在の1週間あたりの利用日数）



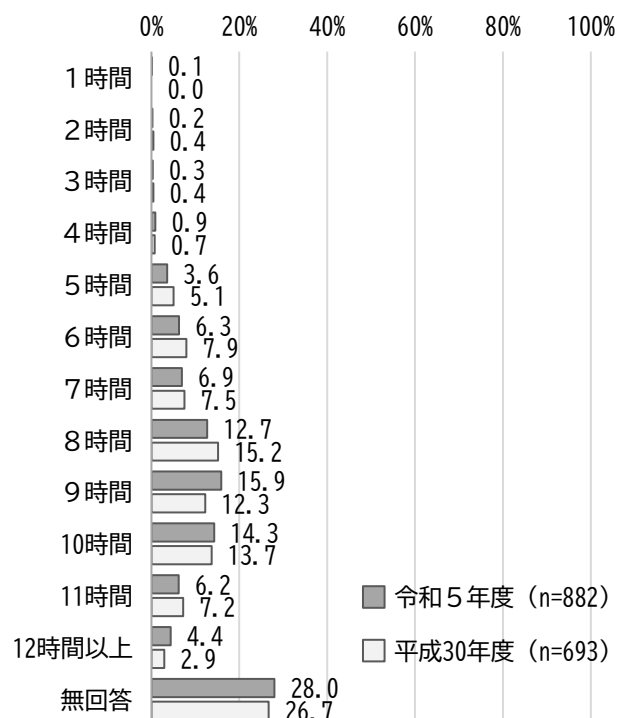
【希望】（希望する1週間あたりの利用日数）



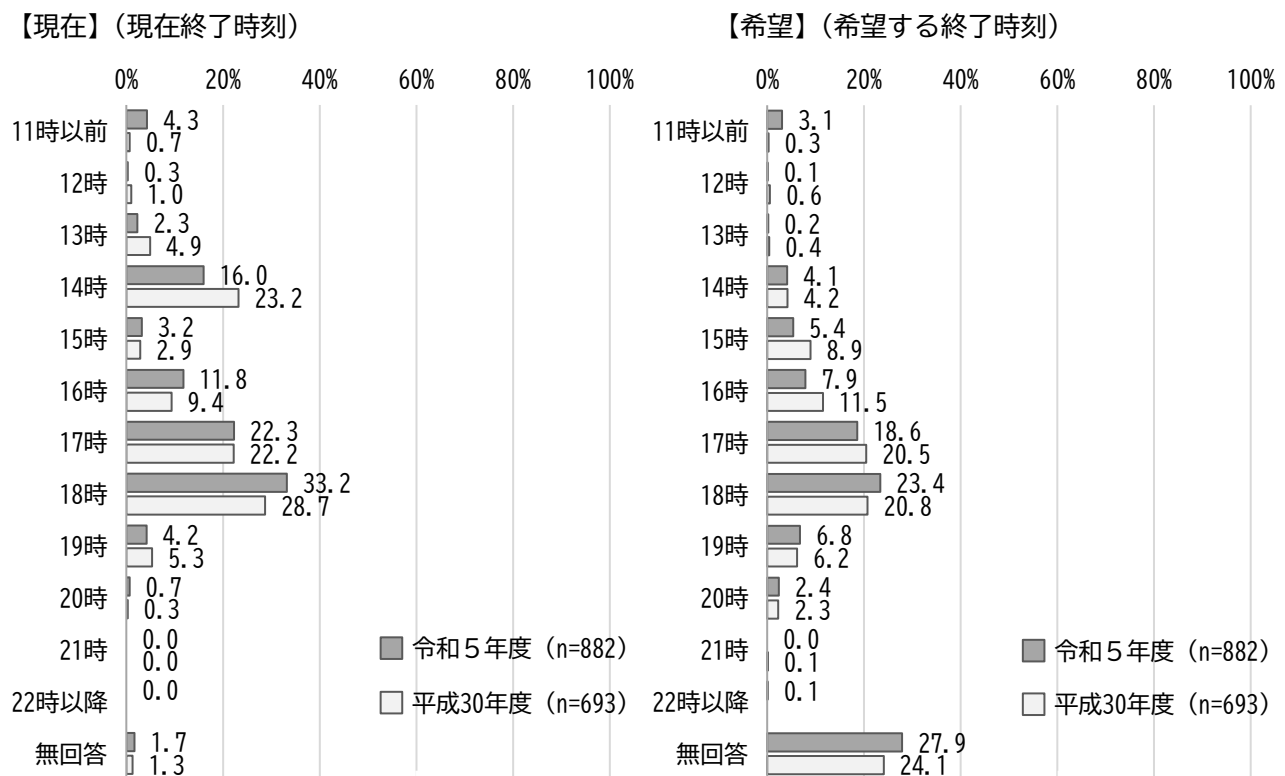
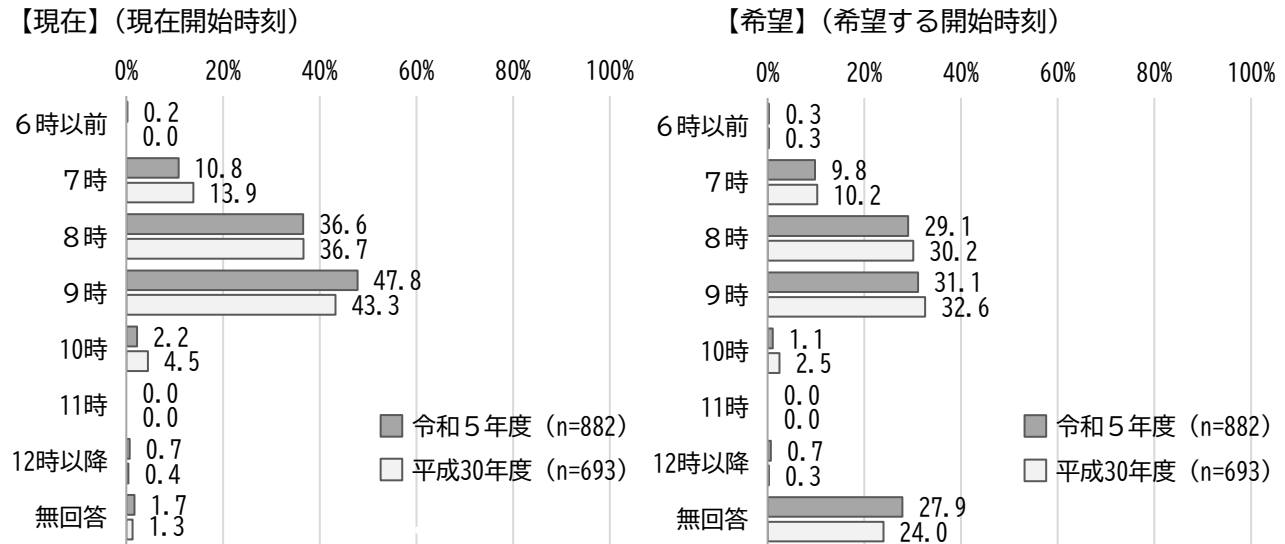
【現在】（現在の1日あたりの利用時間）



【希望】（希望する1日あたりの利用時間）



平日に定期的にご利用している教育・保育の事業について、現在の開始時刻について「9時」の割合が47.8%と最も高くなっており、また、希望についても「9時」が31.1%となっています。また、終了時刻については「18時」が33.2%と最も高く、次いで「17時」が22.3%となっています。また、希望についても「18時」が23.4%と最も高く、次いで「17時」が18.6%となっています。

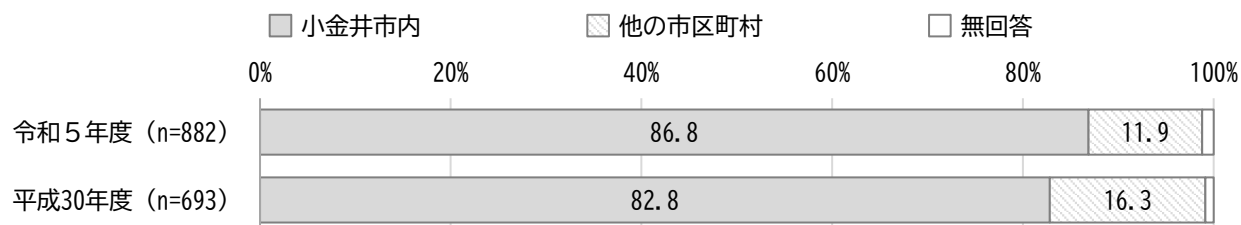


第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問 14 で「利用している」と回答した方

問 17 現在利用している教育・保育（幼稚園・保育所）の実施場所はどこですか。（1つに○）

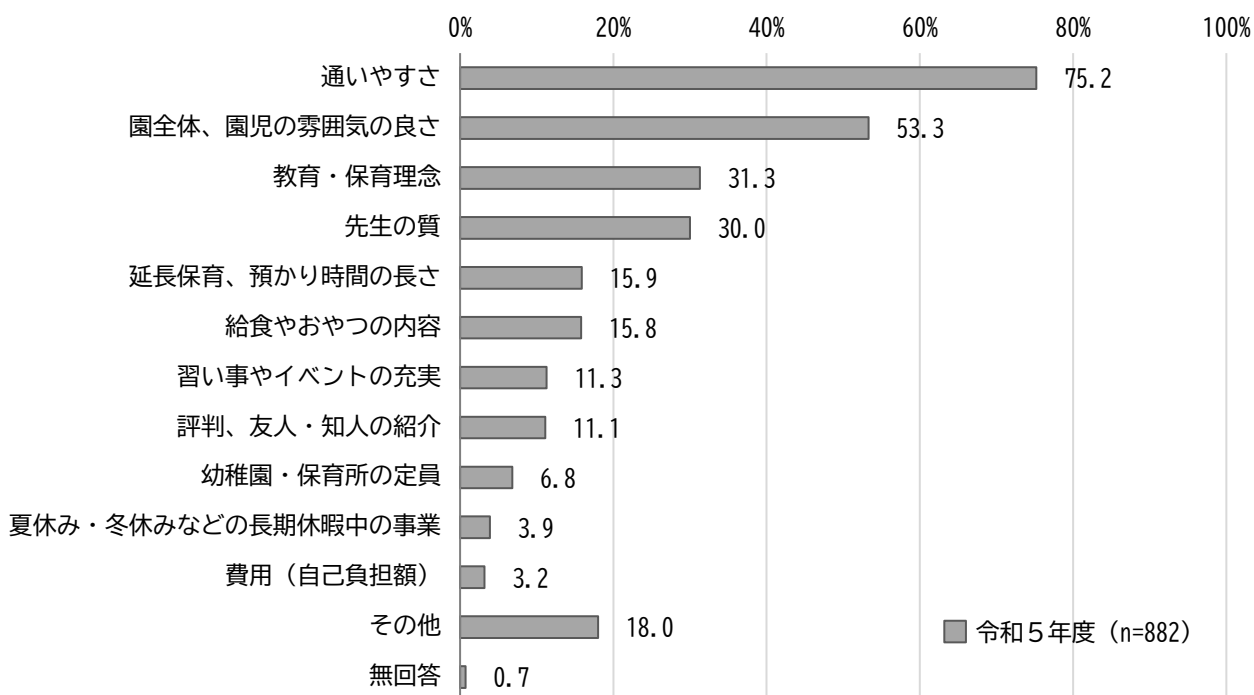
教育・保育（幼稚園・保育所）の実施場所について、「小金井市内」の割合が86.8%と最も高く、次いで「他の市区町村」の割合が11.9%となっています。



問 14 で「利用している」と回答した方

問 18 現在利用している教育・保育（幼稚園・保育所）を選んだ理由はなんですか。
（あてはまる番号すべてに○）

現在利用している教育・保育（幼稚園・保育所）を選んだ理由について、「通いやすさ」の割合が75.2%と最も高く、次いで「園全体、園児の雰囲気の良い」の割合が53.3%となっています。



保育（幼稚園・保育所）を選んだ理由

(単位：%)

区分	回答者数(人)	通いやすさ	先生の質	教育・保育理念	園全体、園児の雰囲気良さ	延長保育、預かり時間の長さ	夏休み・冬休みなどの長期休暇中の事業	評判、友人・知人の紹介	給食やおやつの内容	習い事やイベントの充実	幼稚園・保育所の定員	費用(自己負担額)	その他	無回答
令和5年度	882	75.2	30.0	31.3	53.3	15.9	3.9	11.1	15.8	11.3	6.8	3.2	18.0	0.7
0歳	59	86.4	25.4	20.3	42.4	10.2	1.7	8.5	11.9	13.6	11.9	1.7	11.9	0.0
1歳	129	85.3	31.0	31.8	52.7	13.2	2.3	11.6	11.6	11.6	8.5	6.2	17.8	0.8
2歳	121	76.9	26.4	27.3	50.4	14.9	2.5	9.1	13.2	5.8	9.1	0.0	14.9	0.0
3歳	196	74.5	33.7	33.7	55.1	15.8	4.6	12.8	16.3	11.2	3.6	2.0	19.4	1.0
4歳	180	71.1	31.7	34.4	60.0	21.1	4.4	13.3	18.9	12.8	5.6	5.0	17.2	1.1
5歳	182	68.1	29.1	32.4	51.6	15.4	5.5	9.9	18.1	12.6	7.7	3.3	21.4	0.5
いる(日常的)	104	73.1	22.1	26.9	50.0	14.4	4.8	13.5	14.4	7.7	8.7	5.8	16.3	1.0
いる(緊急時)	513	76.4	32.9	35.3	56.7	15.6	4.5	10.3	16.4	12.7	6.4	3.1	15.4	0.4
いない	263	73.8	27.4	24.7	47.5	16.3	2.3	11.8	14.4	9.9	6.8	2.3	24.0	1.1
フル×フルタイム	525	80.8	28.8	28.6	50.7	17.3	3.6	9.7	14.7	12.4	7.6	2.9	19.2	0.2
フル×パートタイム	163	74.2	28.2	30.7	50.9	14.7	3.7	8.6	16.6	9.2	6.7	4.3	16.0	1.8
専業主婦(夫)	169	61.5	38.5	41.4	66.9	13.0	4.7	18.9	20.7	11.2	4.1	3.6	13.6	0.6
小金井市内	766	79.5	28.9	27.7	52.1	14.5	2.7	9.8	14.1	10.3	6.9	3.3	18.4	0.1
他の市区町村	105	45.7	40.0	59.0	65.7	27.6	12.4	21.9	29.5	20.0	6.7	2.9	17.1	0.0

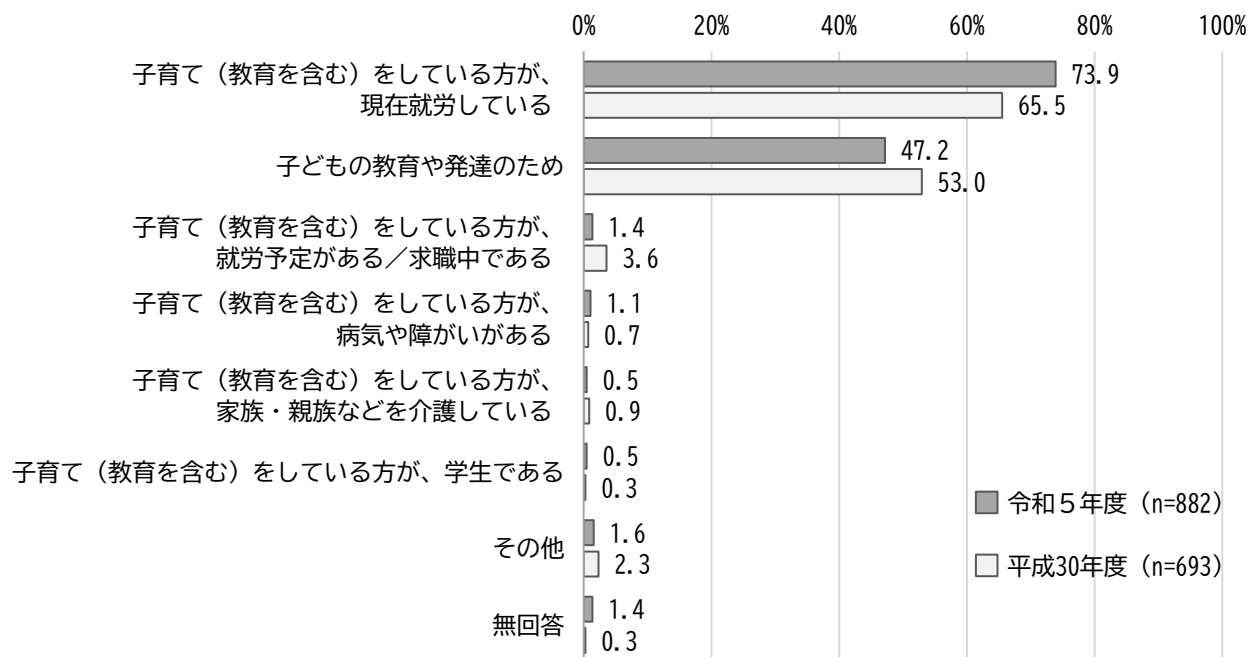
第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問14で「利用している」と回答した方

問19 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由はなんですか。

(あてはまる番号すべてに○)

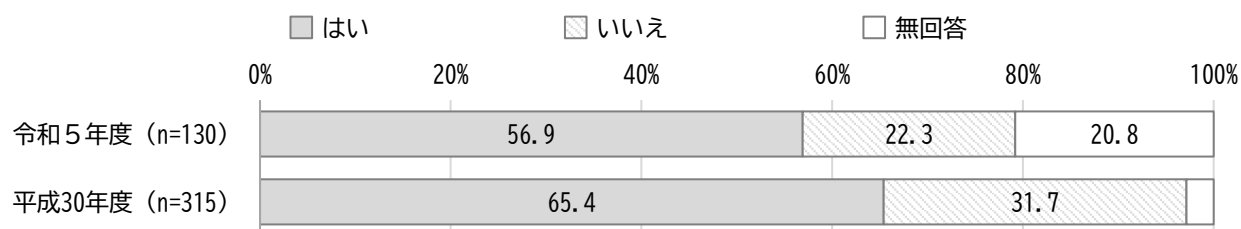
平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由について、「子育て（教育を含む）をしている方が、現在就労している」の割合が73.9%と最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」の割合が47.2%となっています。



問20 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。

(1つに○)

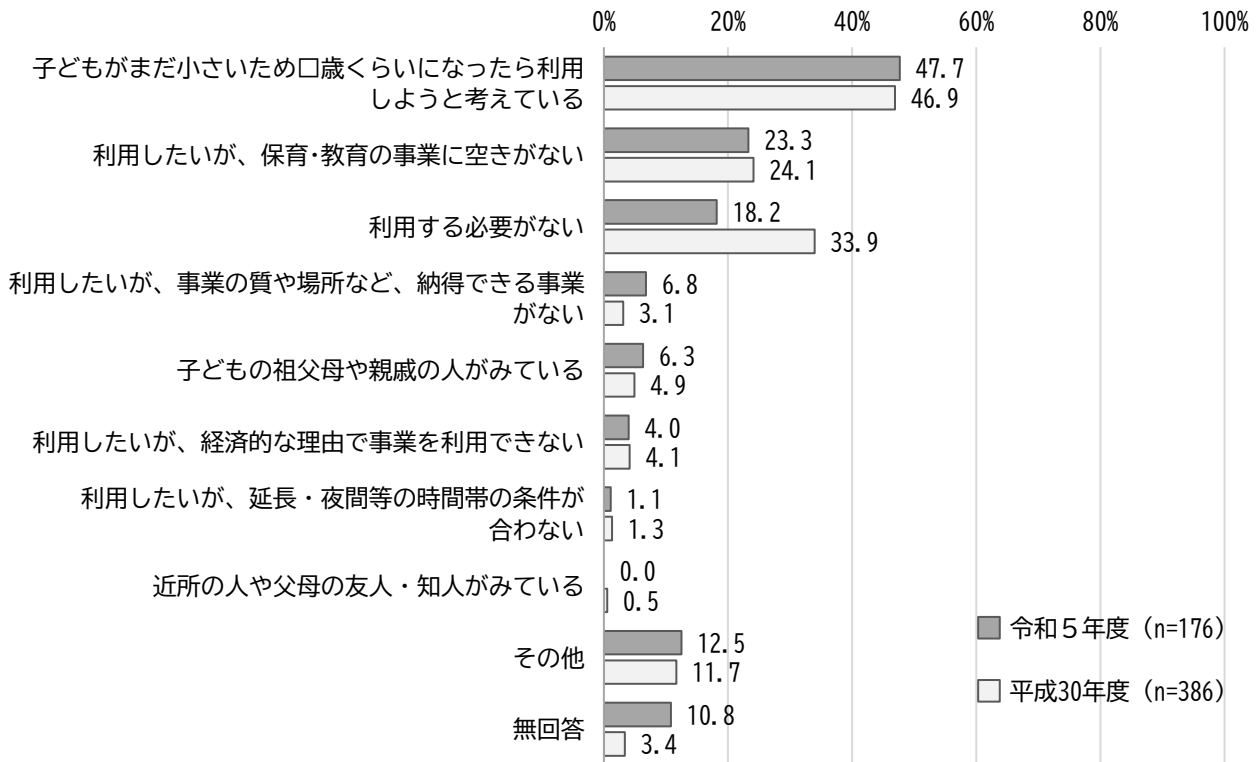
特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望するかについて、「はい」の割合が56.9%となっています。



問14で「利用していない」と回答した方

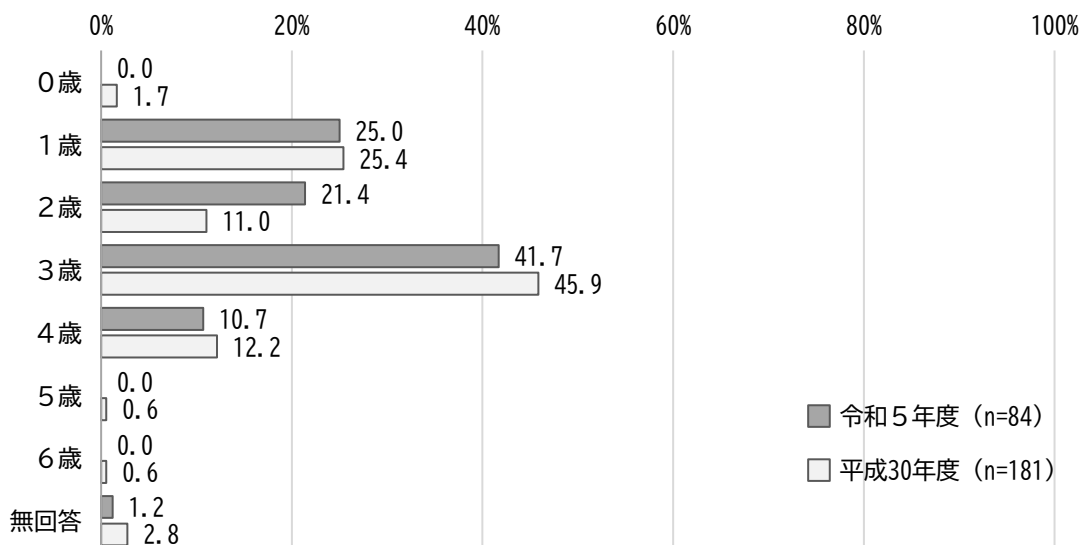
問21 利用していない理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○、「8」については年齢も記入)

利用していない理由について、「子どもがまだ小さいため〇歳くらいになったら利用しようと考えている」の割合が47.7%と最も高く、次いで「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」の割合が23.3%となっています。



【お子さんが何歳くらいになったら利用したいか】

お子さんが何歳くらいになったら利用したいかについて、「3歳」の割合が41.7%と最も高く、次いで「1歳」の割合が25.0%となっています。

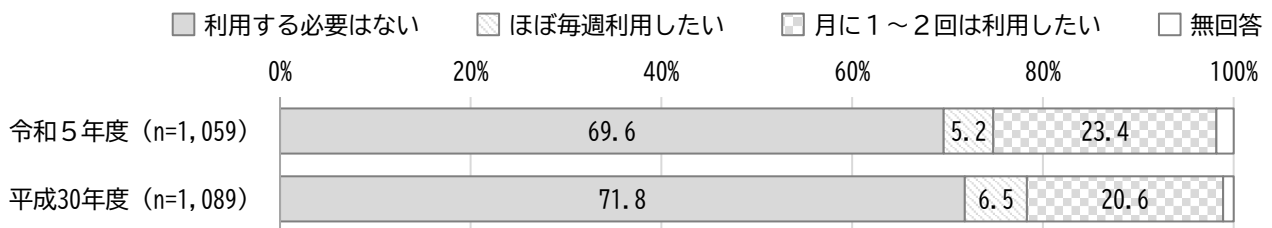


D. お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

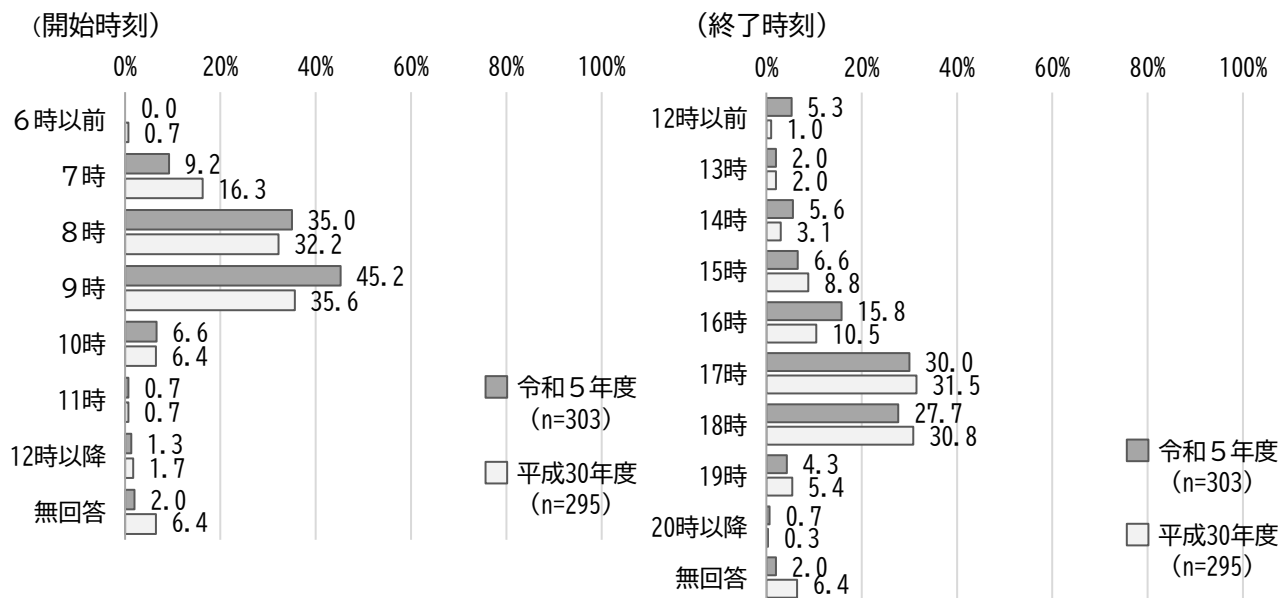
問22 お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。また、希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担（1日当たり2,000円～7,000円程度）が発生します。

【土曜日】

土曜日に定期的な教育・保育の事業の利用希望について、「利用する必要はない」の割合が69.6%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が23.4%となっています。

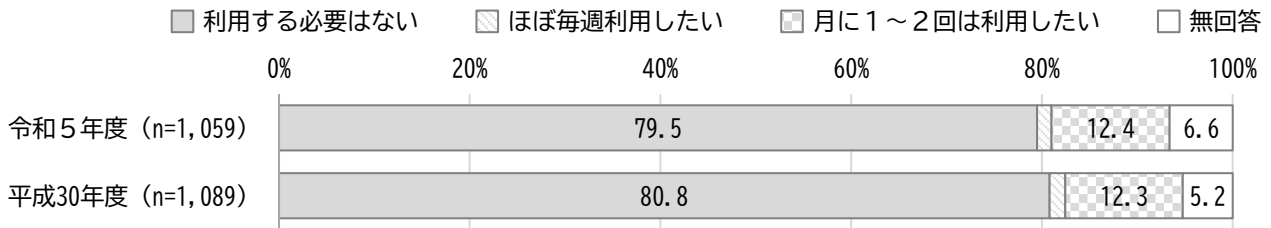


【「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した方】

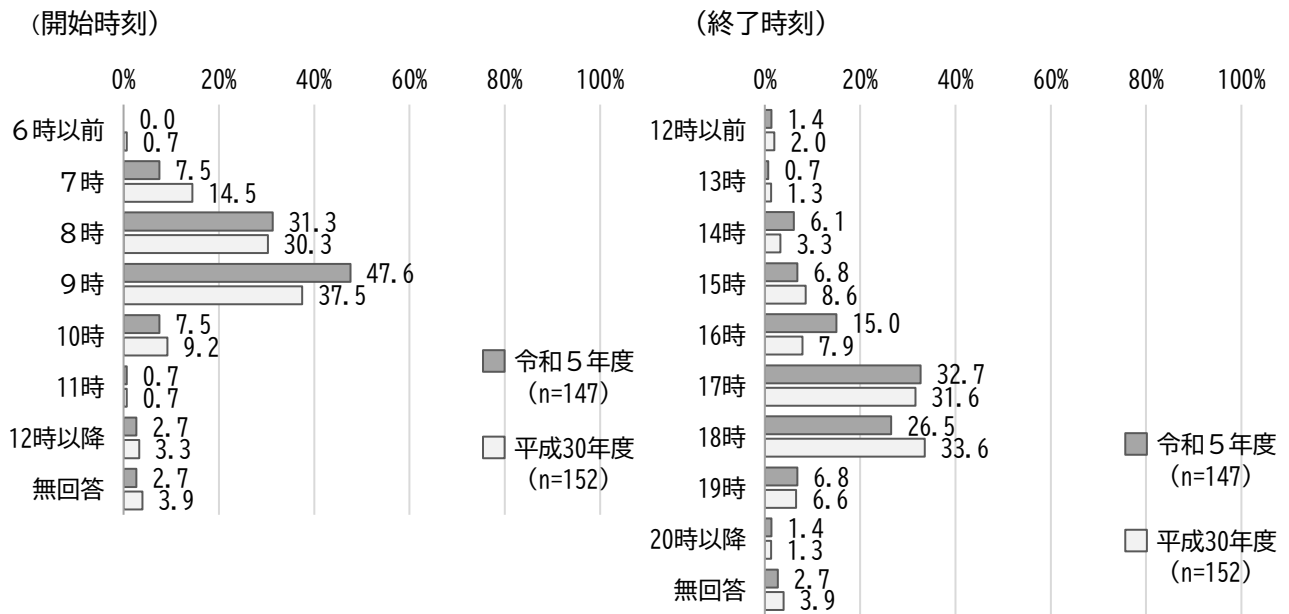


【日曜日・祝日】

日曜日・祝日に定期的な教育・保育の事業の利用希望について、「利用する必要はない」の割合が79.5%と最も高く、次いで「月に1～2回は利用したい」の割合が12.4%となっています。



【「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」と回答した方】

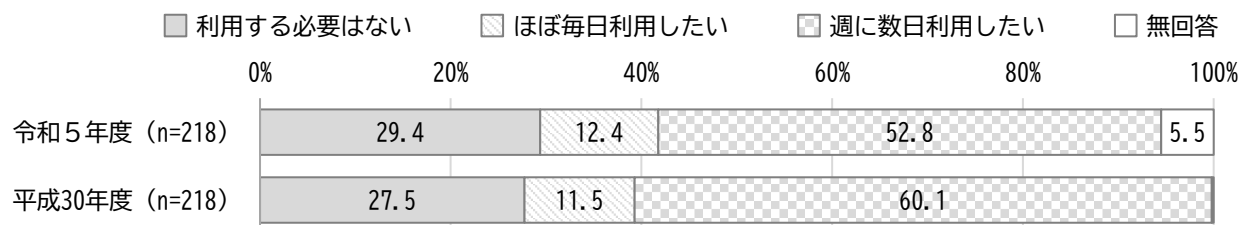


第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

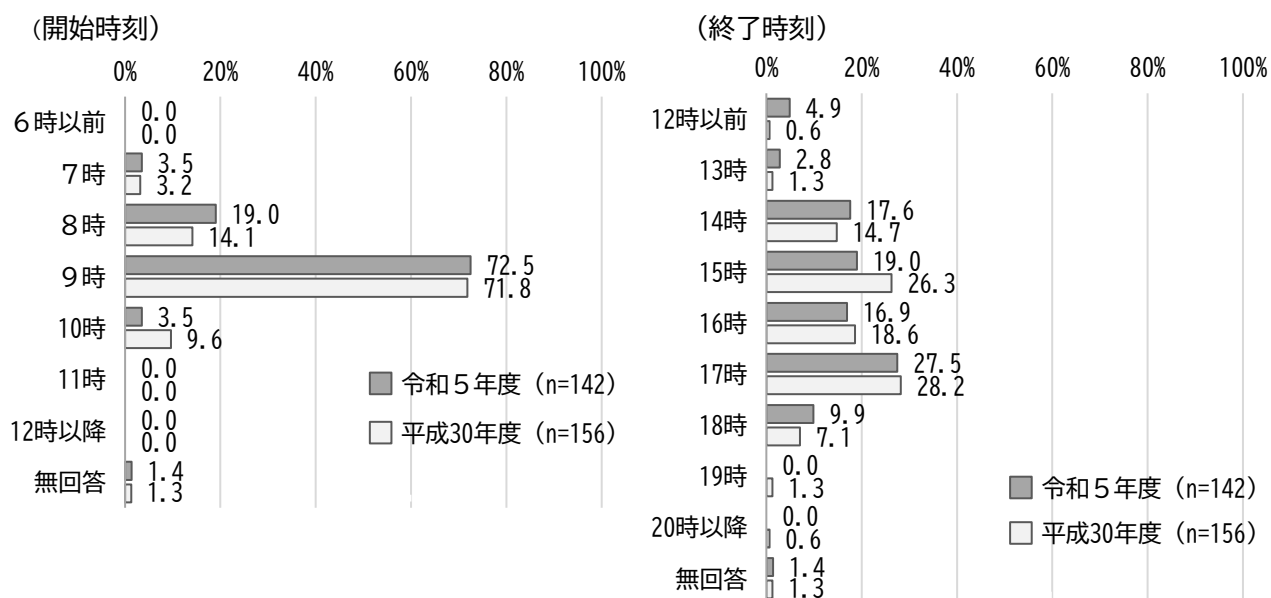
幼稚園を利用されている方

問23 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(1つに○) また、希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望について、「週に数日利用したい」の割合が52.8%と最も高く、次いで「利用する必要はない」の割合が29.4%となっています。



【「ほぼ毎日利用したい」「週に数日利用したい」と回答した方】

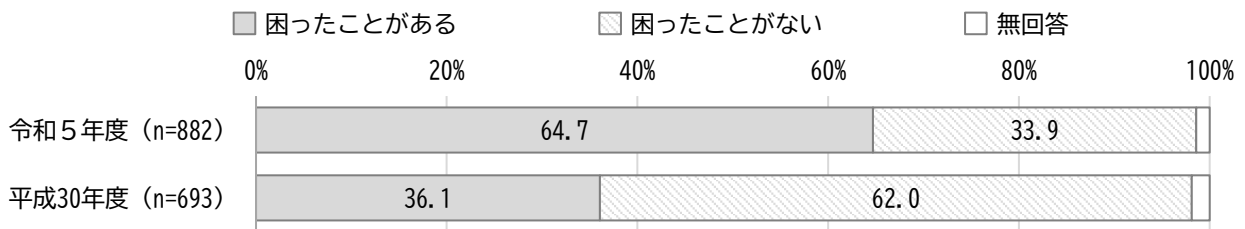


E. お子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育事業を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると回答した方

問 24 お子さんが高熱を出すなど急病の時に、すぐに診てくれる医療機関が見つからず困ったことがありますか。(1つに○)

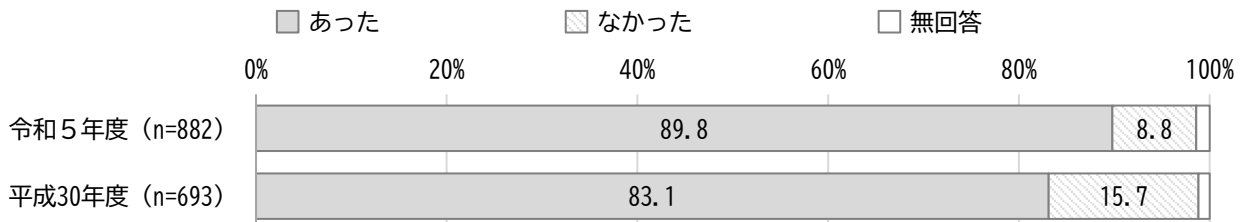
お子さんが急病の時にすぐに診てくれる医療機関が見つからず困ったことがあるかについて、「困ったことがある」の割合が64.7%となっています。



平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると回答した方

問 25 この1年間に、お子さんが病気やケガで平日の定期的な教育・保育の事業が利用できなかったことはありますか。(1つに○)

この1年間に、病気やケガで平日の事業が利用できなかったことについて、「あった」の割合が89.8%となっています。



第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

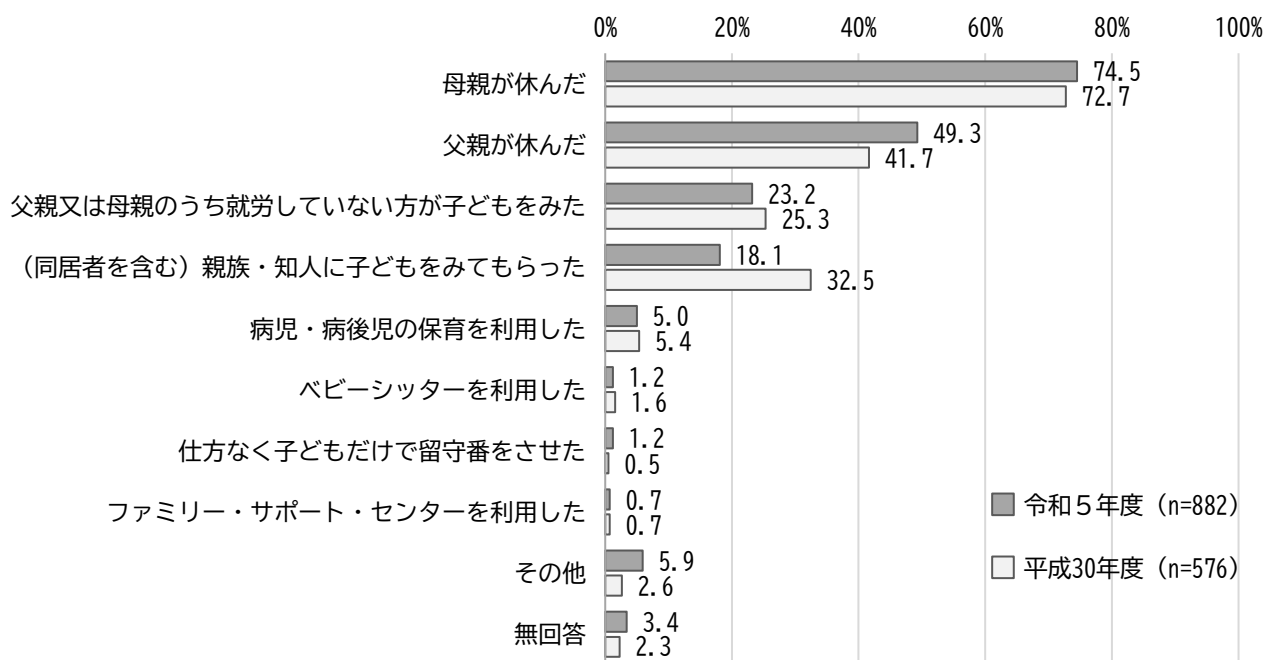
平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると回答した方

問 26 お子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間で行った対処方法をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

また、それぞれの対処にて要した日数をご記入ください。(数字を記入。半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)

【1年間の対処方法】

1年間の対処方法について、「母親が休んだ」の割合が74.5%と最も高く、次いで「父親が休んだ」の割合が49.3%となっています。

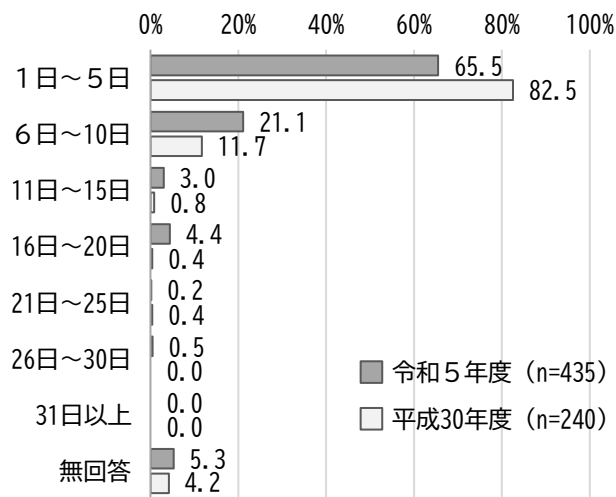


(単位：%)

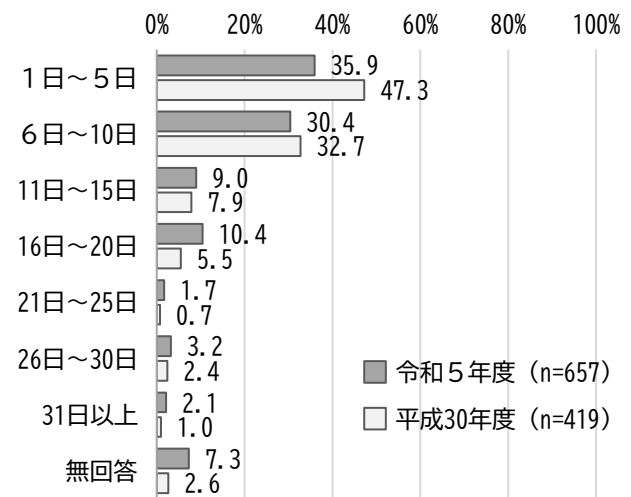
区分	回答者数 (人)	父親が休んだ	母親が休んだ	父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	(同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	病児・病後児の保育を利用した	ベビーシッターを利用した	ファミリー・サポート・センターを利用した	仕方なく子どもだけで留守番をさせた	その他	無回答
令和5年度	882	49.3	74.5	23.2	18.1	5.0	1.2	0.7	1.2	5.9	3.4
0歳	59	55.9	91.5	11.9	27.1	6.8	0.0	0.0	0.0	8.5	0.0
1歳	129	58.1	90.7	10.1	23.3	7.0	2.3	1.6	0.8	5.4	1.6
2歳	121	51.2	80.2	12.4	18.2	7.4	0.8	0.0	1.7	8.3	6.6
3歳	196	51.5	70.9	25.5	21.4	4.6	2.0	1.0	1.0	4.1	3.1
4歳	180	38.3	64.4	33.3	11.7	2.8	0.0	0.0	0.6	6.1	2.8
5歳	182	46.7	67.0	31.3	15.4	4.4	1.6	1.1	2.7	6.0	4.9
いる (日常的)	104	49.0	68.3	23.1	31.7	3.8	1.9	1.9	2.9	4.8	3.8
いる (緊急時)	513	48.5	75.6	22.6	23.6	4.1	0.8	0.2	0.2	6.4	3.1
いない	263	51.3	74.9	24.7	2.3	7.2	1.9	1.1	2.7	5.3	3.4
フル×フルタイム	525	65.7	90.1	10.1	22.1	6.3	1.7	1.0	1.9	7.4	1.0
フル×パートタイム	163	42.9	89.6	11.0	17.8	4.3	1.2	0.0	0.0	6.7	3.7
専業主婦 (夫)	169	9.5	13.0	75.7	3.6	0.6	0.0	0.0	0.6	0.6	11.2

【対処に要した日数】

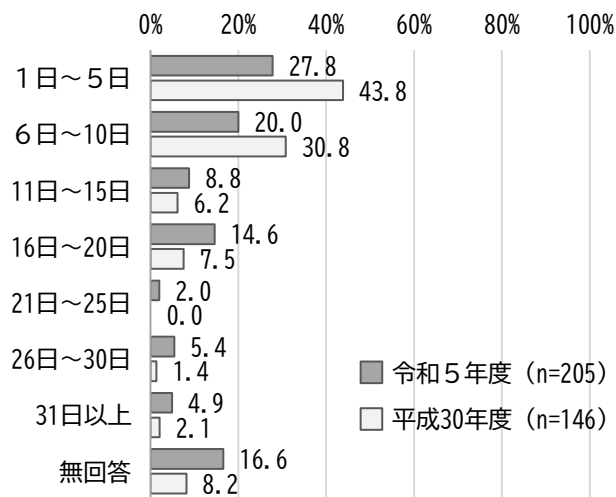
【父親】



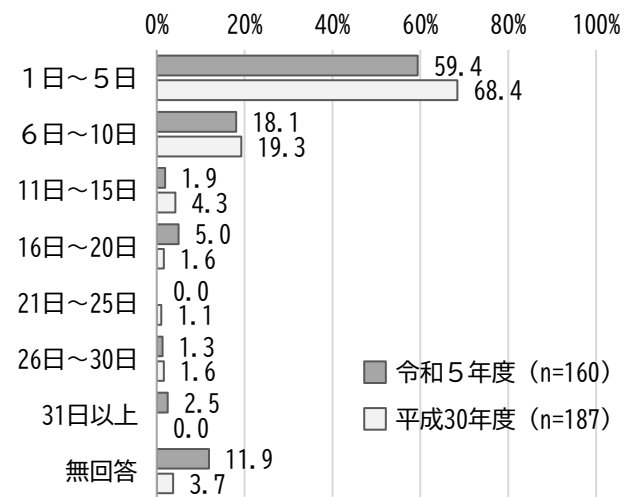
【母親】



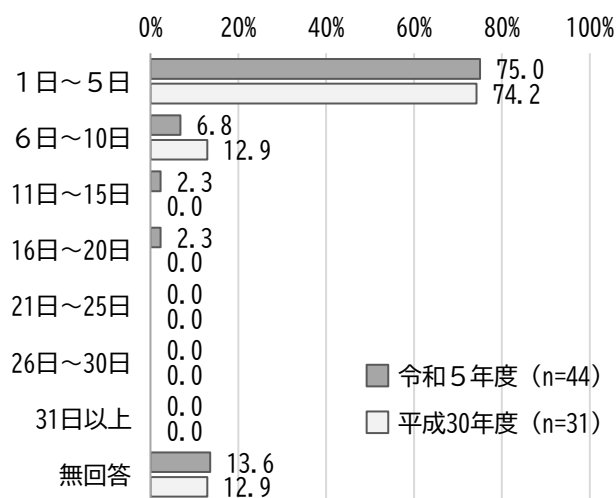
【父親又は母親のうち就労していない方】



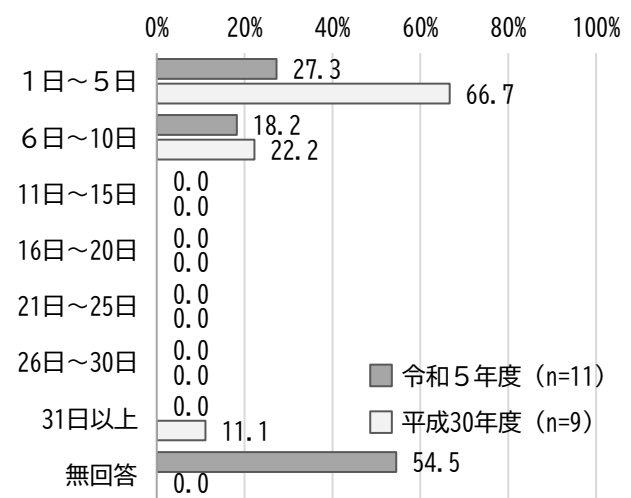
【親族・知人】



【病児・病後児の保育】

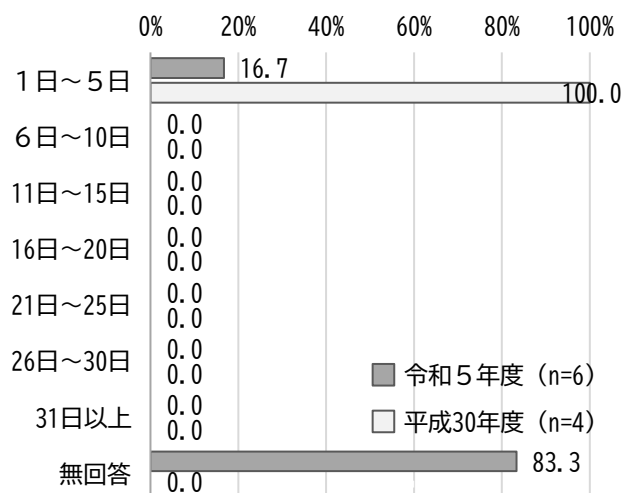


【ベビーシッター】

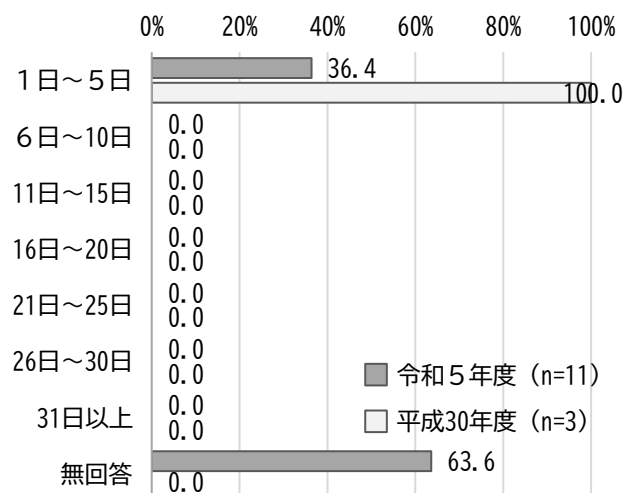


第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

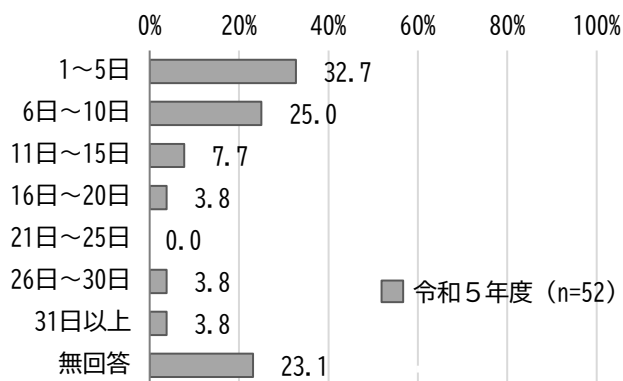
【ファミリー・サポート・センター】



【子どもだけで留守番】



【その他】



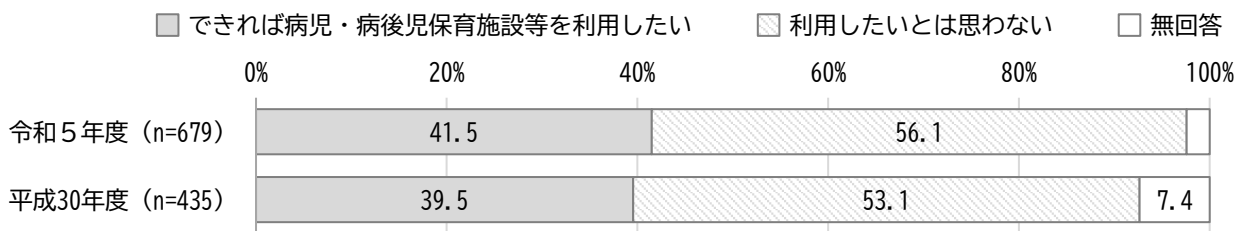
※平成30年度は、「その他」に日数の回答がありませんでした。

問26で「父親が休んだ」「母親が休んだ」と回答した方

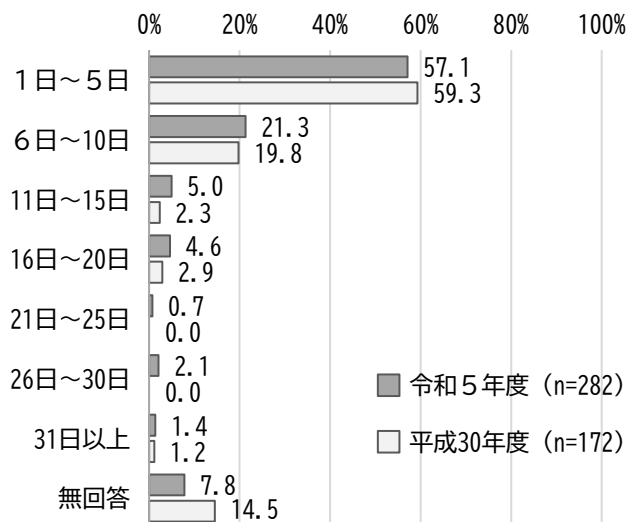
問27 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。(1つに○)
利用したいと思った場合は、その日数についてもお答えください。(数字を記入)

なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料(1日当たり4,000円程度)がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思うかについて、「利用したいとは思わない」の割合が56.1%と最も高く、次いで「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」の割合が41.5%となっています。



【利用したいと思った場合の日数】



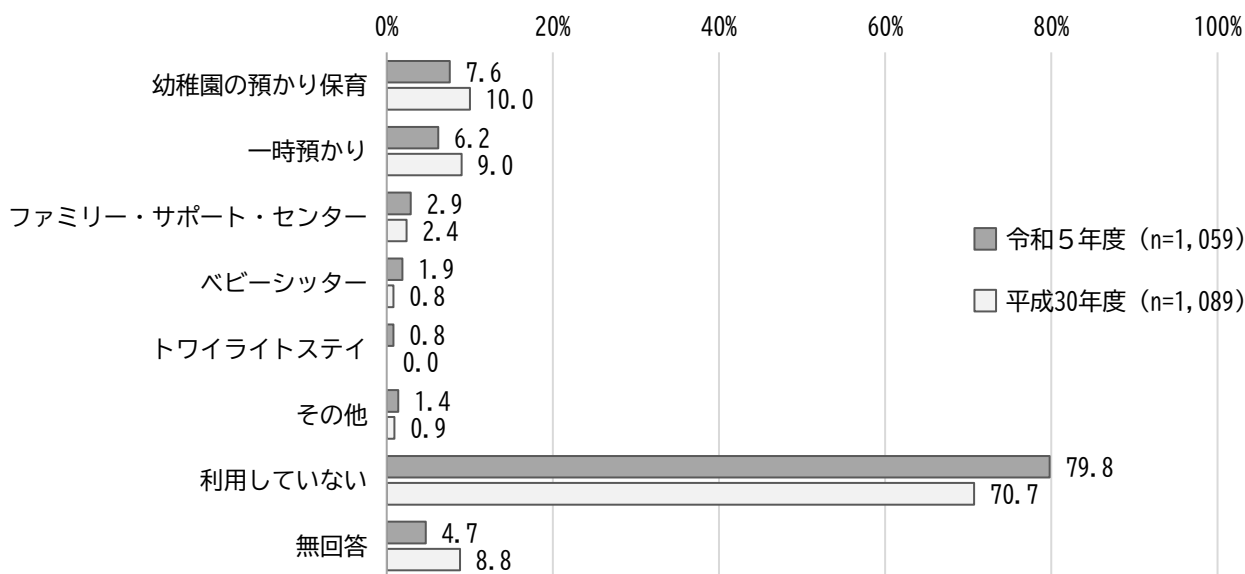
F. お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 28 お子さんについて、現在、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（買い物、リフレッシュ等）、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している一時預かり等の事業はありますか。

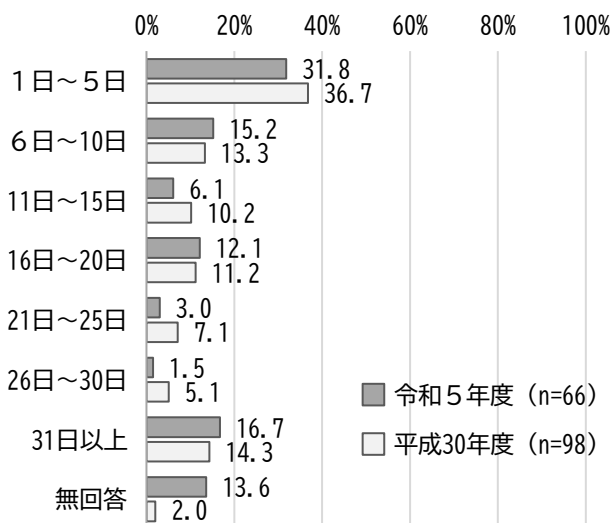
（あてはまる番号すべてに○）

ある場合は、その1年間の利用日数（おおよそ）についてもお答えください。（数字を記入）

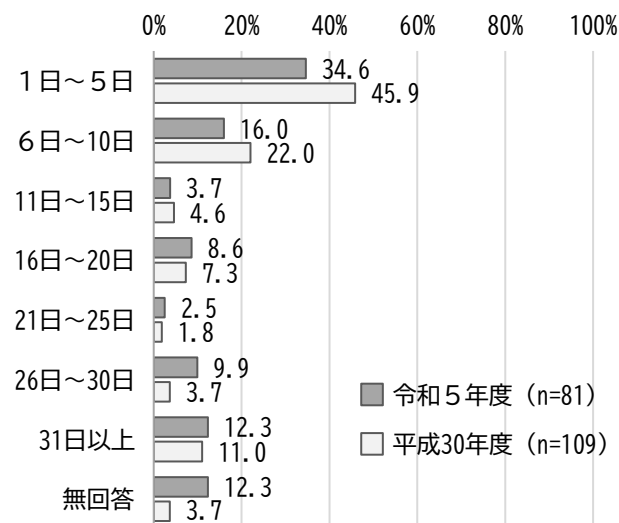
私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している一時預かり等の事業の利用について、「利用していない」の割合が79.8%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が7.6%となっています。



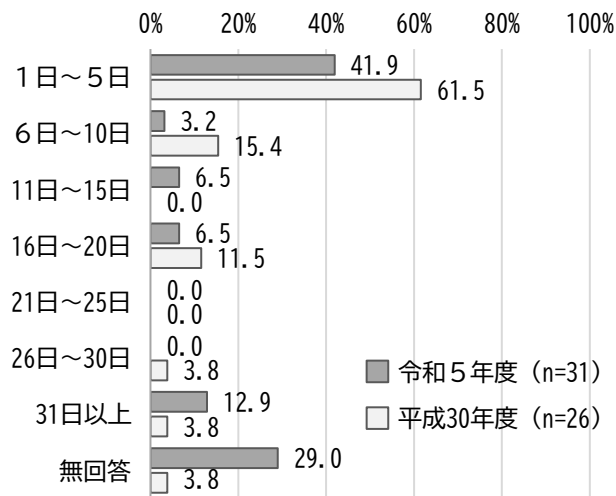
【一時預かり】



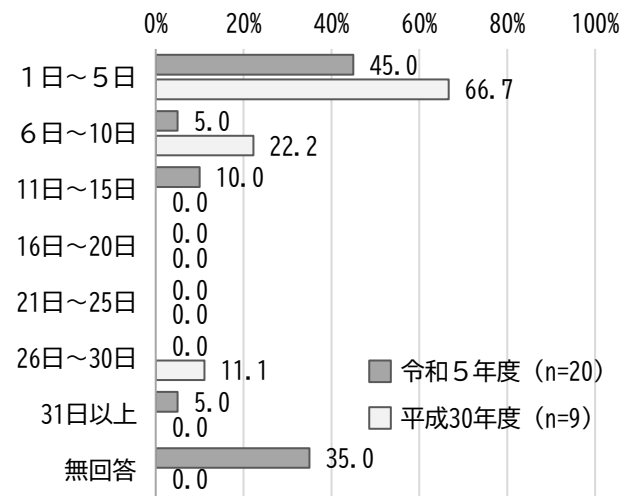
【幼稚園の預かり保育】



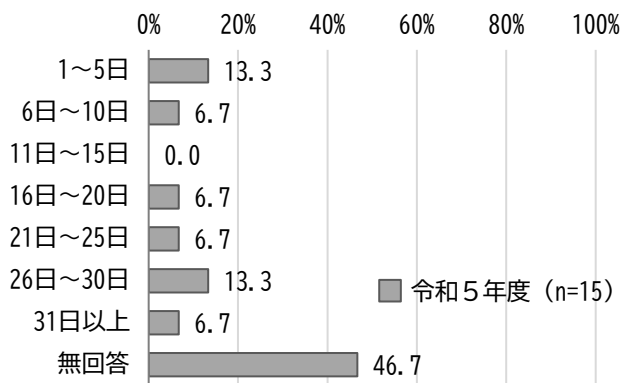
【ファミリー・サポート・センター】



【ベビーシッター】



【その他】



※平成30年度は、「その他」に日数の回答がありませんでした。

【トワイライトステイ】 (n=8)

選択した8名全員が無回答でした。

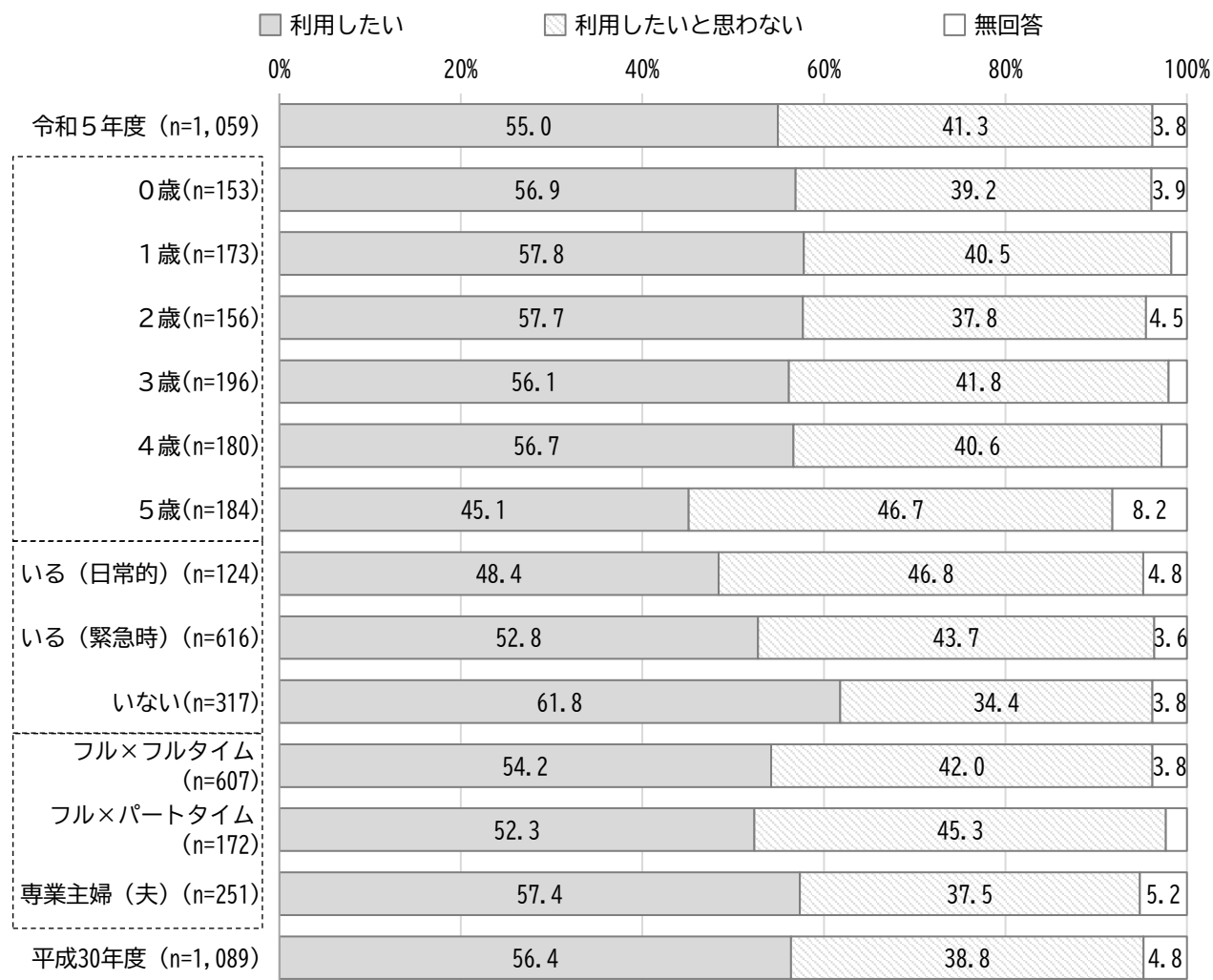
第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問 29 お子さんについて、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族（兄弟姉妹含む）の育児疲れや育児不安、病気など）により、預かり等の事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

また、利用したいと思う場合は、その目的と（あてはまるものすべてに○）、1年間でおおよその必要な日数についてもお答えください。（数字を記入）

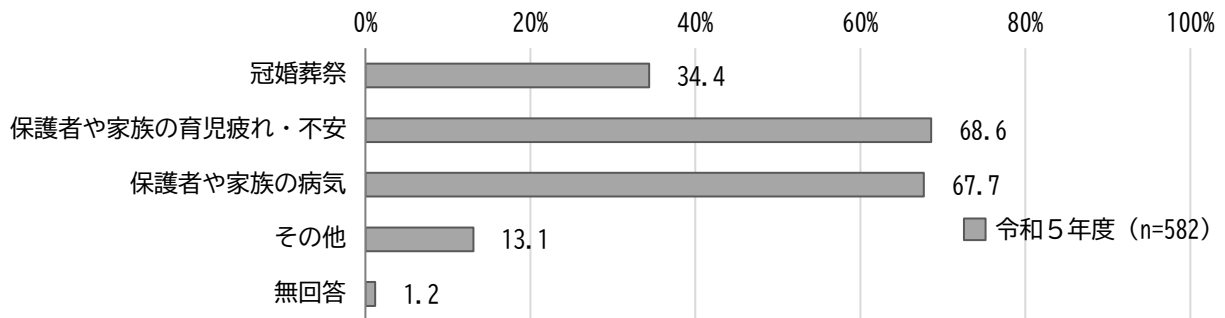
なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料（1日当たり2,000円～7,000円程度）がかかります。

保護者の用事により、預かり等の事業を利用したいと思うかについて、「利用したい」の割合が55.0%と最も高く、次いで「利用したいと思わない」の割合が41.3%となっています。



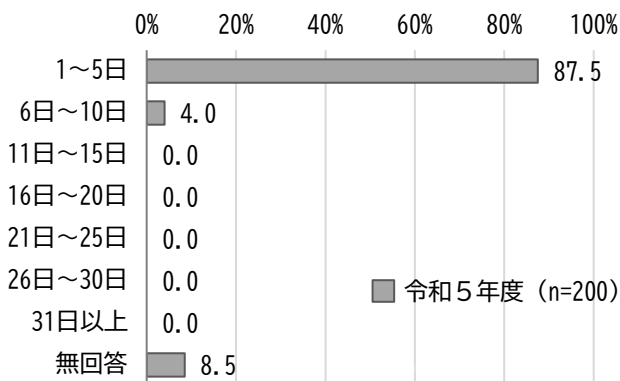
【利用したいと思う場合の目的】

利用したいと思う場合の目的について、「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が68.6%と最も高く、次いで「保護者や家族の病気」の割合が67.7%となっています。

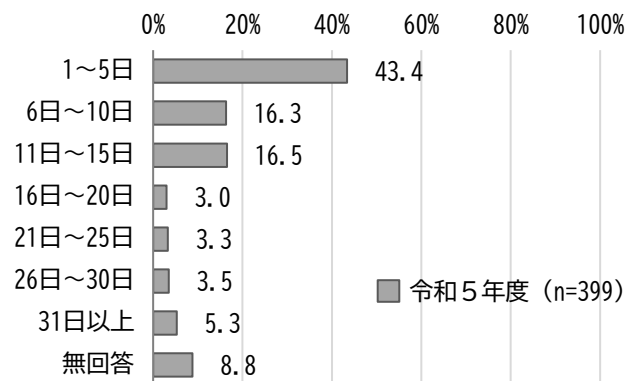


【1年間でおおよその必要な日数】

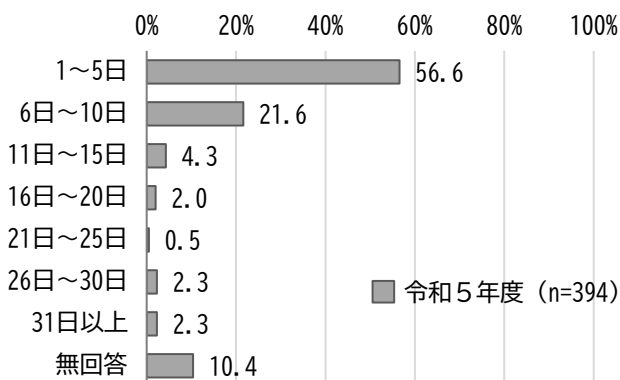
【冠婚葬祭】



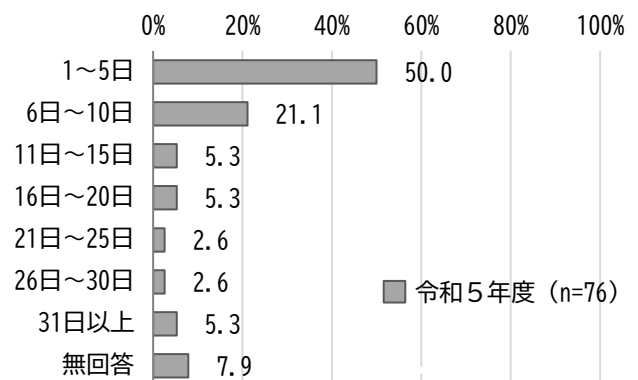
【保護者や家族の育児疲れ・不安】



【保護者や家族の病気】



【その他】



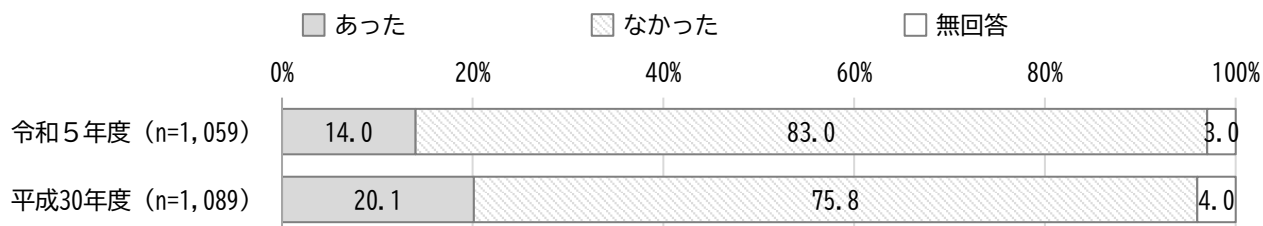
第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問30 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。

（預け先がみつからなかった場合も含みます）（1つに○）

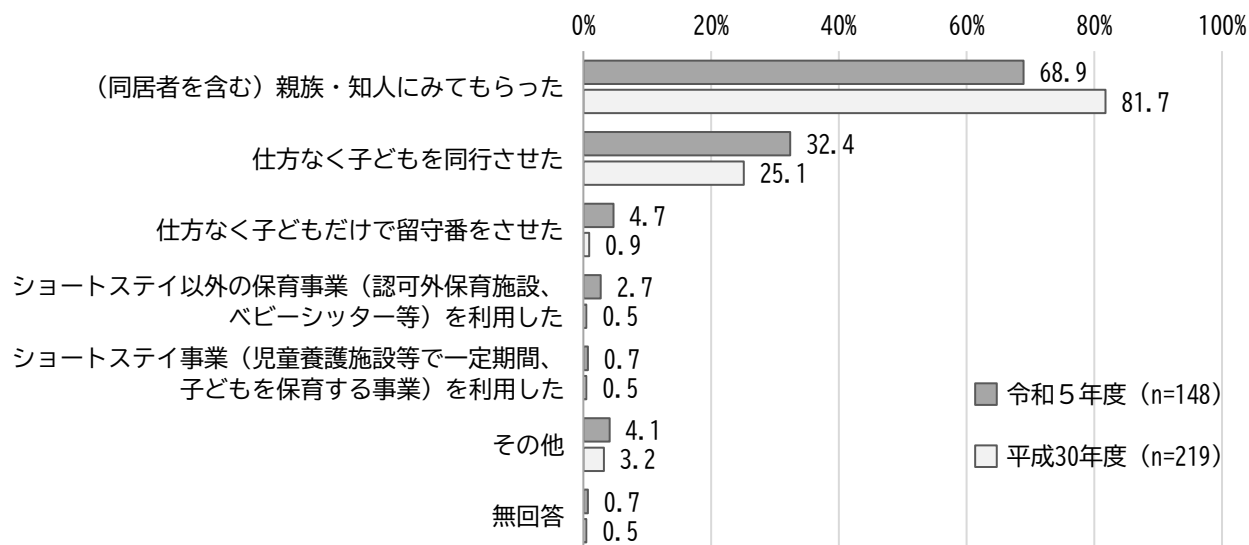
また、あった場合、この1年間の対処方法と（あてはまるものすべてに○）、おおよその日数についてもお答えください。（数字を記入）

1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあるかについて、「なかった」の割合が83.0%となっています。



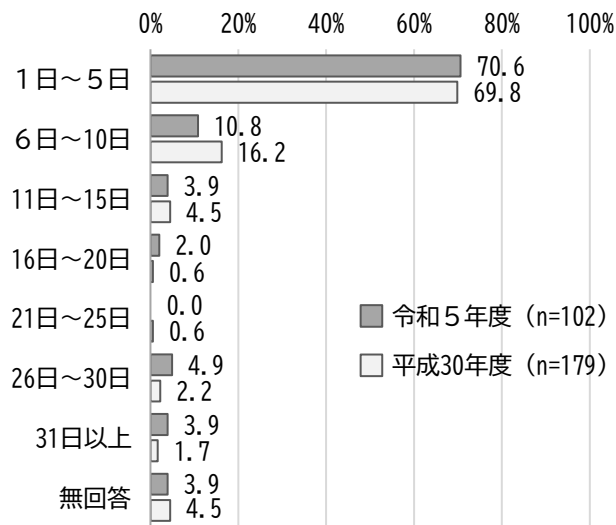
【あった場合、この1年間の対処方法】

あった場合、この1年間の対処方法について、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」の割合が68.9%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が32.4%となっています。

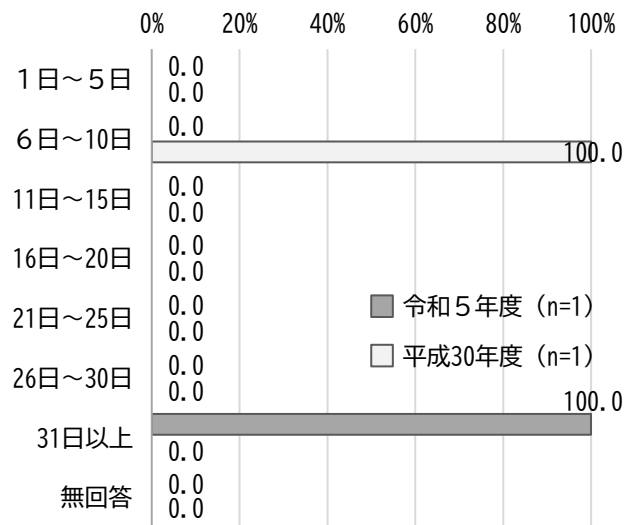


【あった場合のおおよその日数】

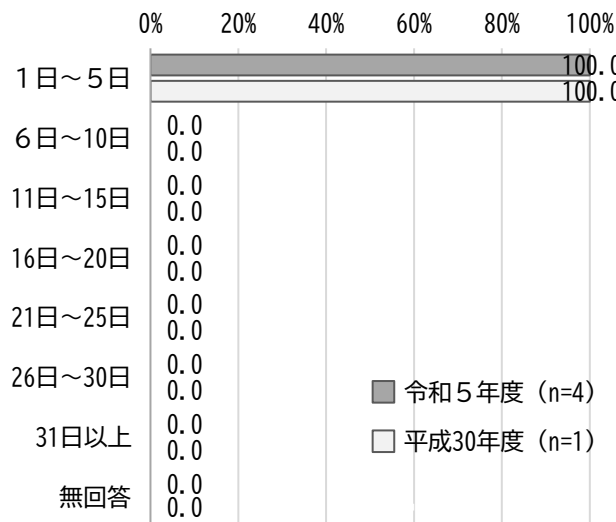
【親族・知人】



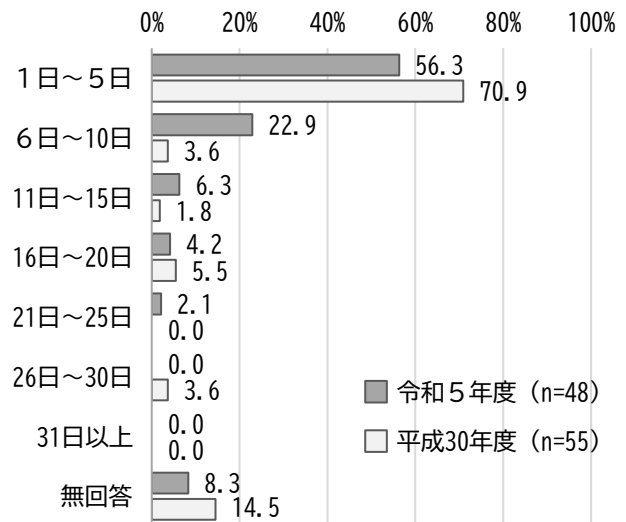
【ショートステイ事業】



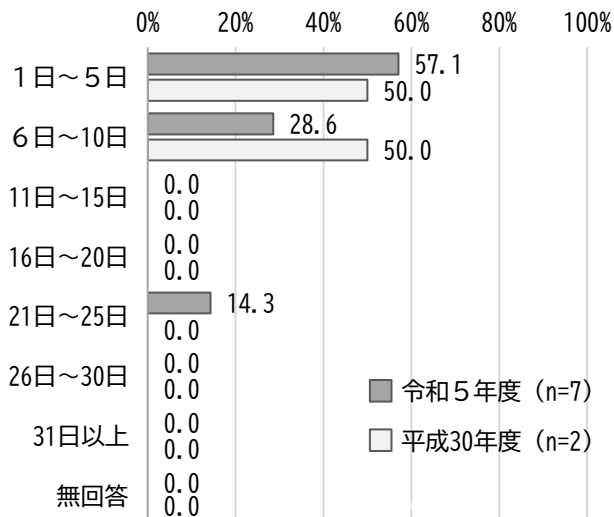
【ショートステイ以外の保育事業】



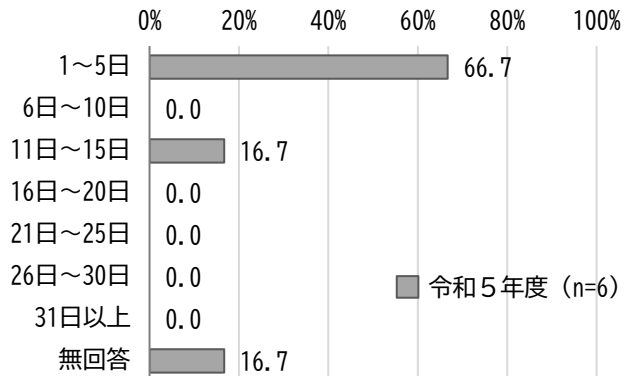
【仕方なく子どもを同行させた】



【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】



【その他】

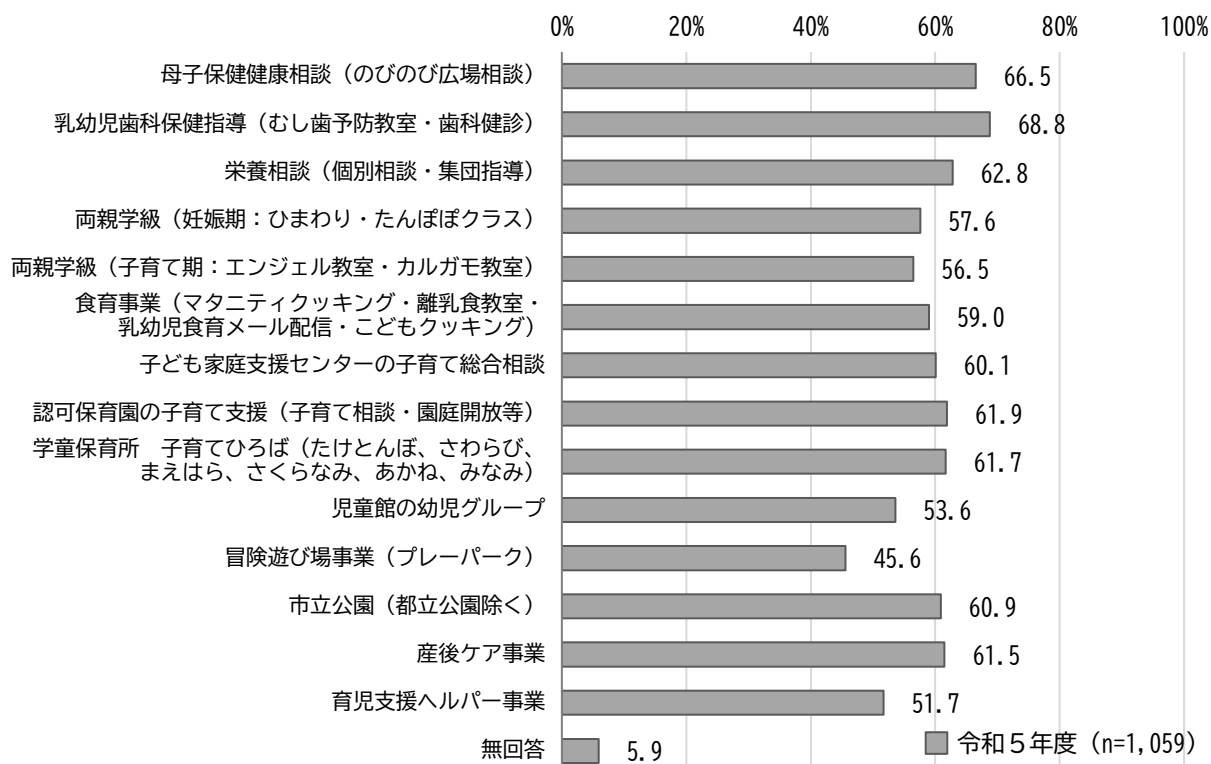


G. お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について

問31 下記のサービスや制度、事業について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがある場合は、満足したか、今後も利用したいかお答えください。(それぞれ1つに○)

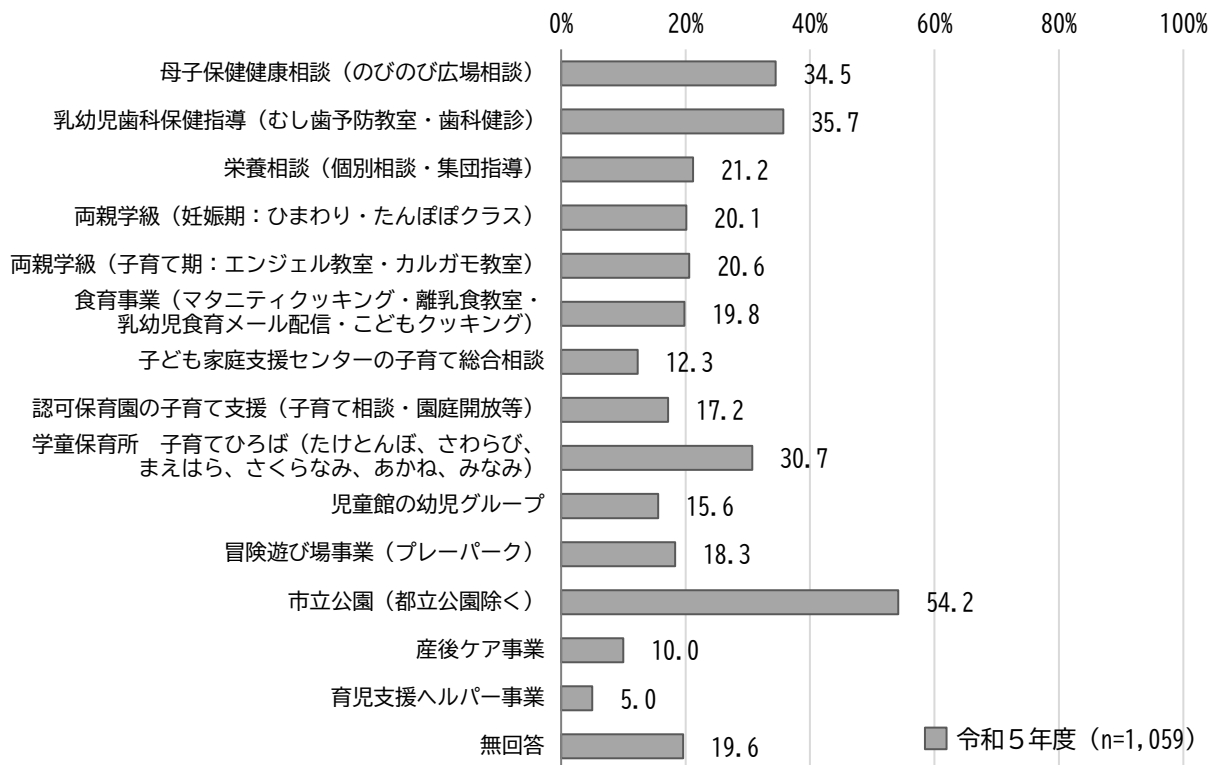
【知っているか】

各事業の認知度について、「乳幼児歯科保健指導（むし歯予防教室・歯科健診）」の割合が68.8%と最も高く、次いで「母子保健健康相談（のびのび広場相談）」の割合が66.5%となっています。



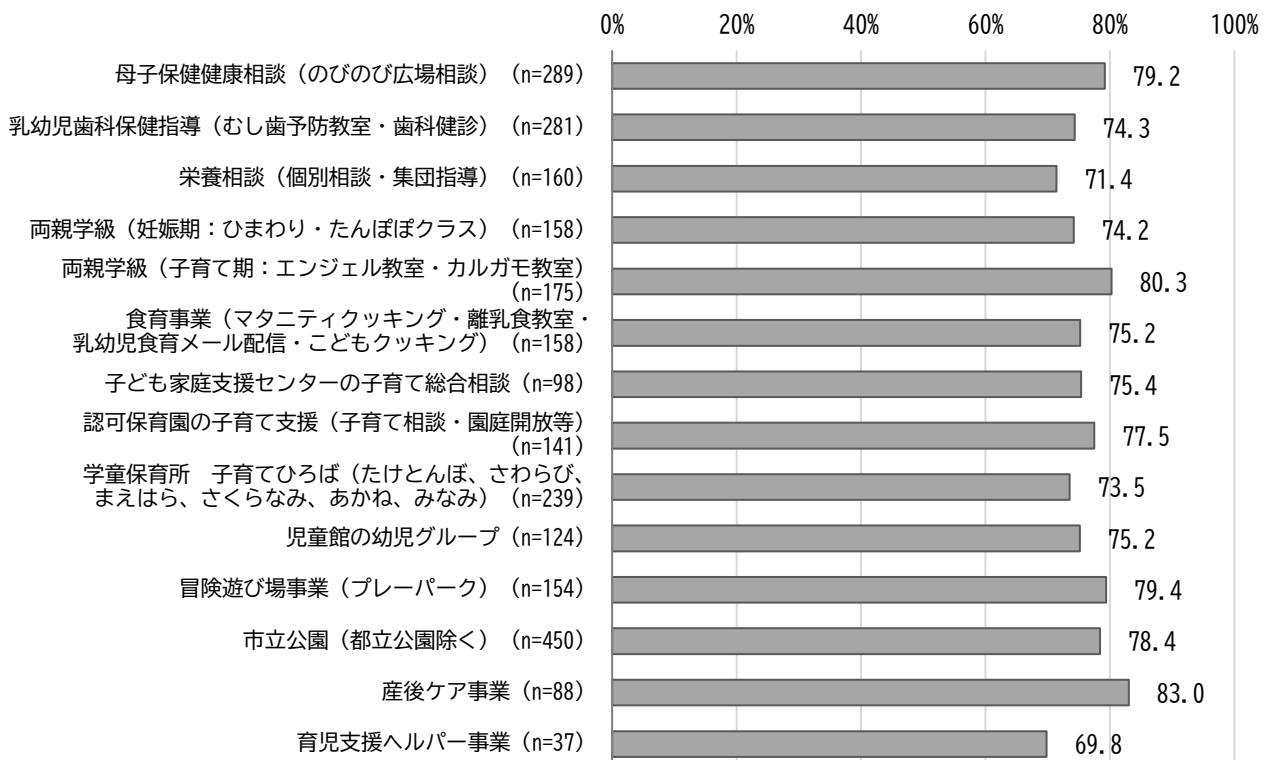
【これまでに利用したことがあるか】

各事業の利用率について、「市立公園（都立公園除く）」の割合が54.2%と最も高く、次いで「乳幼児歯科保健指導（むし歯予防教室・歯科健診）」の割合が35.7%となっています。



【利用したことがある場合、満足したか】

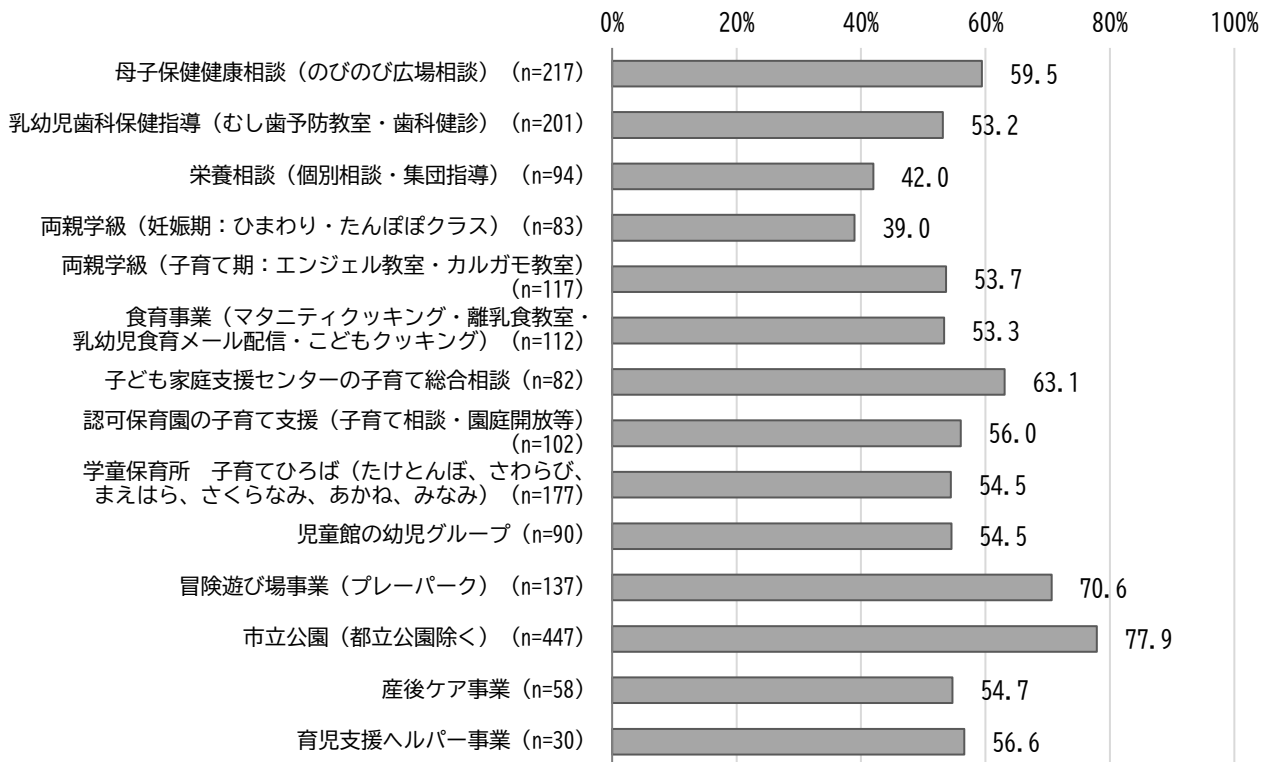
各事業の満足度について、「産後ケア事業」の割合が83.0%と最も高く、次いで「両親学級（子育て期：エンジェル教室・カルガモ教室）」の割合が80.3%となっています。



第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

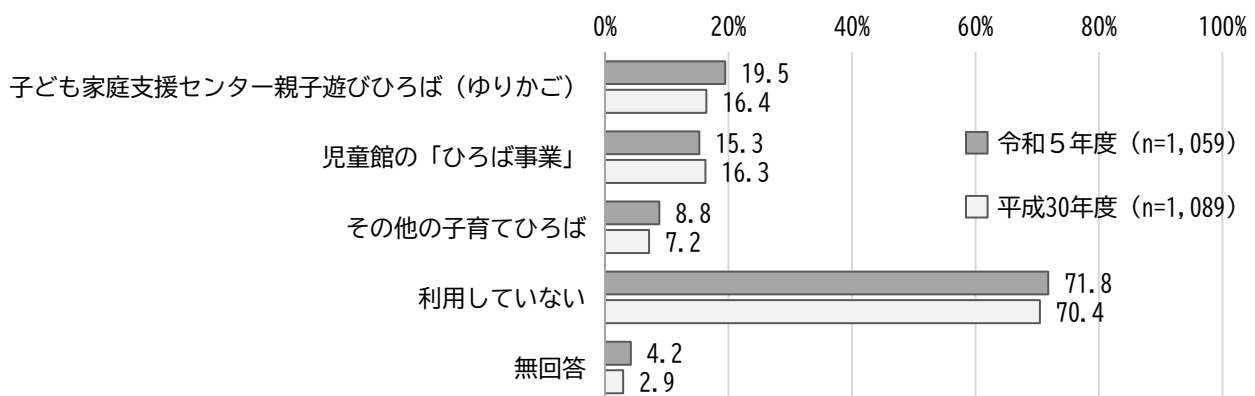
【今後利用したいか】

各事業の今後の利用意向について、「市立公園（都立公園除く）」の割合が77.9%と最も高く、次いで「冒険遊び場事業（プレーパーク）」の割合が70.6%となっています。



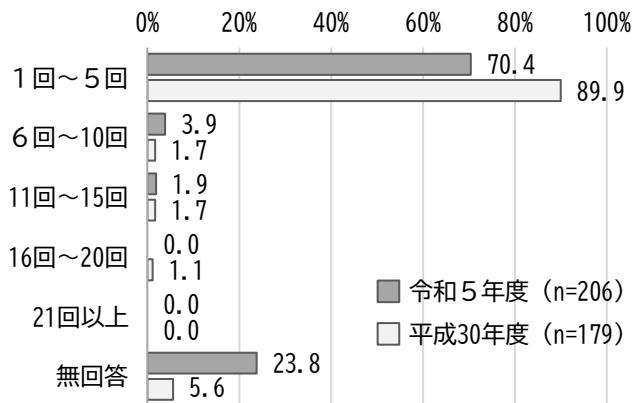
問 32 お子さんは、現在、「子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」や、児童館の「ひろば事業」等（親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場のこと）を利用していますか。利用している事業についてお答えください。（あてはまる番号すべてに○） また、利用している場合、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。（数字を記入）

「子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」や、児童館の「ひろば事業」等を利用しているかについて、「利用していない」の割合が71.8%と最も高く、次いで「子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」の割合が19.5%となっています。

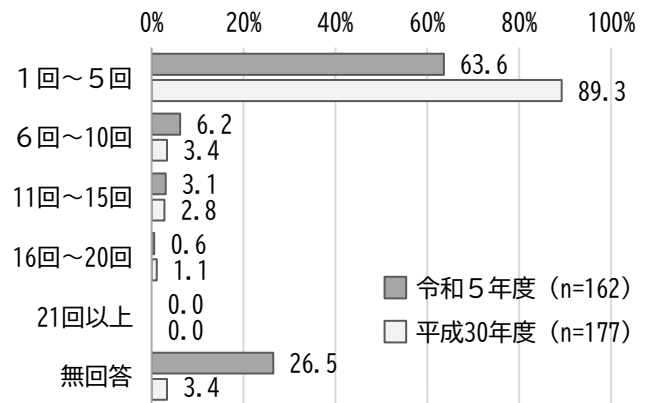


【利用している場合、おおよその利用回数(頻度)】

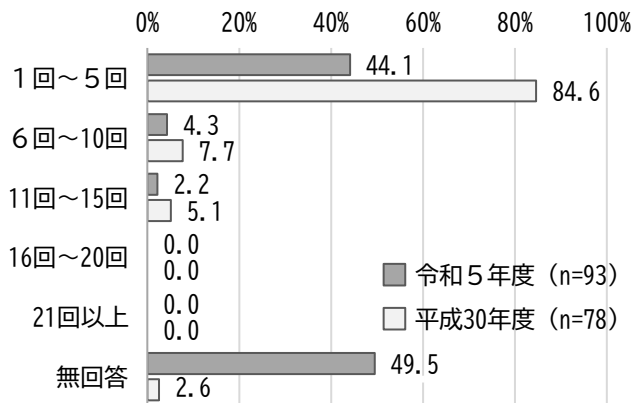
<ゆりかご>



<ひろば事業>



<その他の子育てひろば>

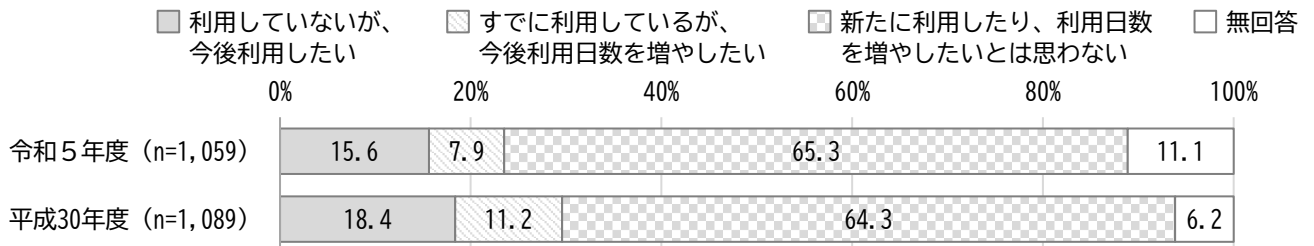


第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

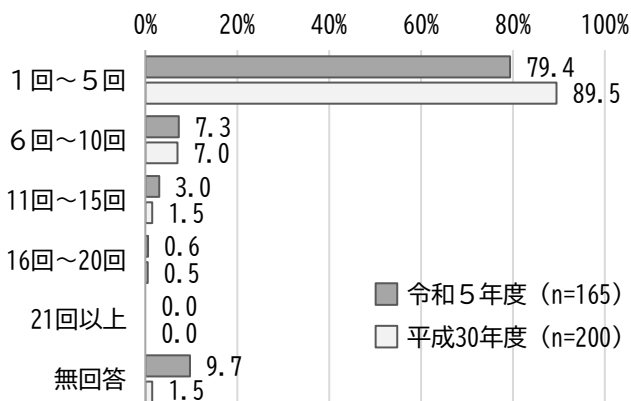
問33 「子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）」や児童館の「ひろば事業」等について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。
（1つに○）

また、利用したい場合、あるいは増やしたい場合は、おおよその利用回数（頻度）をお答えください。

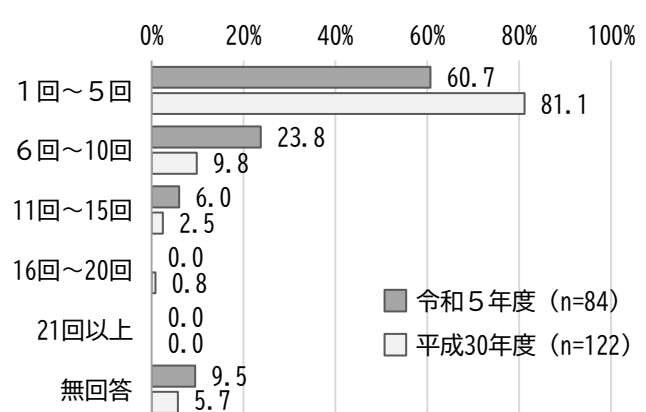
子ども家庭支援センター親子遊びひろば（ゆりかご）や児童館のひろば事業等の利用状況について、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」の割合が65.3%と最も高く、次いで「利用していないが、今後利用したい」の割合が15.6%となっています。



【今後利用したい】



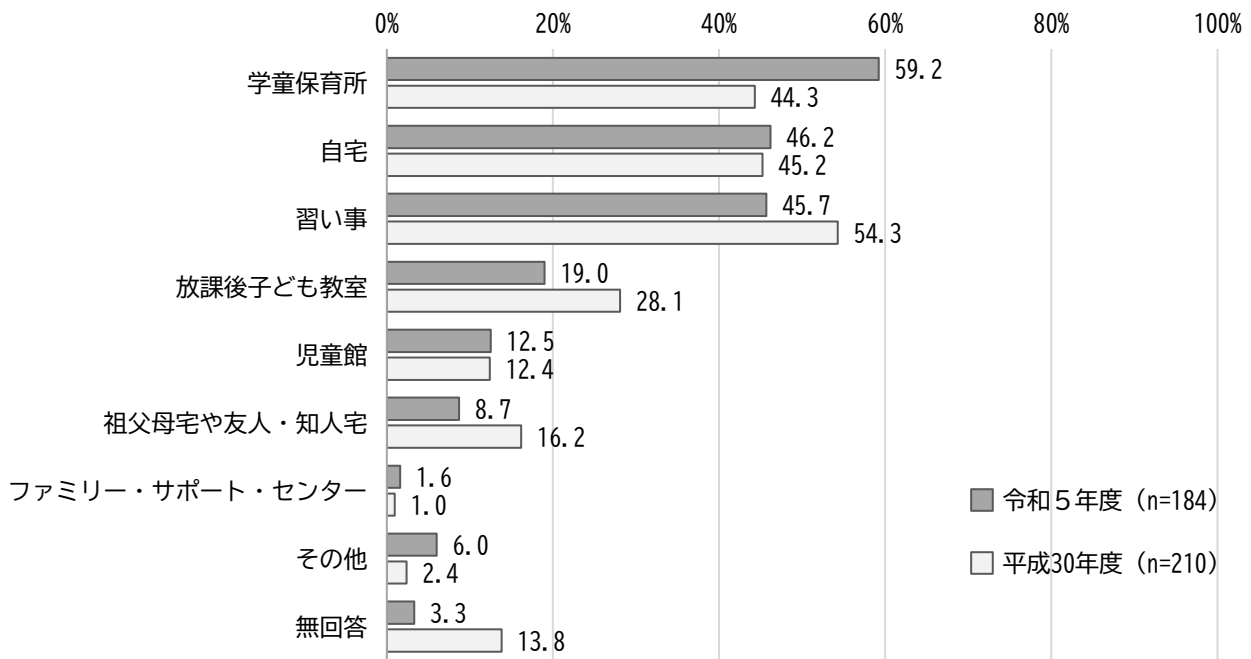
【今後利用日数を増やしたい】



H. お子さんの小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。
(宛名のお子さんが5歳以上の方のみお答えください)

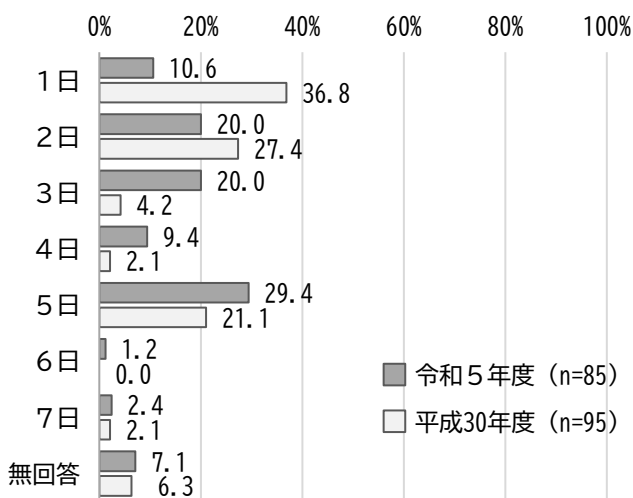
問 34 小学校低学年のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○） また、それぞれの週あたり日数をお答えください。（数字を記入。「児童館」「学童保育所」の場合には、利用時間を記入。）

放課後（平日の小学校終了後）の時間をどこで過ごさせたいかについて、「学童保育所」の割合が59.2%と最も高く、次いで「自宅」の割合が46.2%となっています。

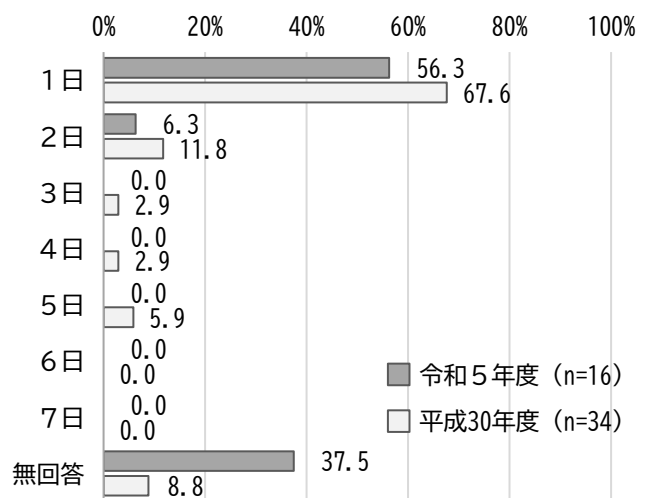


※平成30年度は、設問が「お子さんについて、小学校就学後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）」でした。

【自宅】

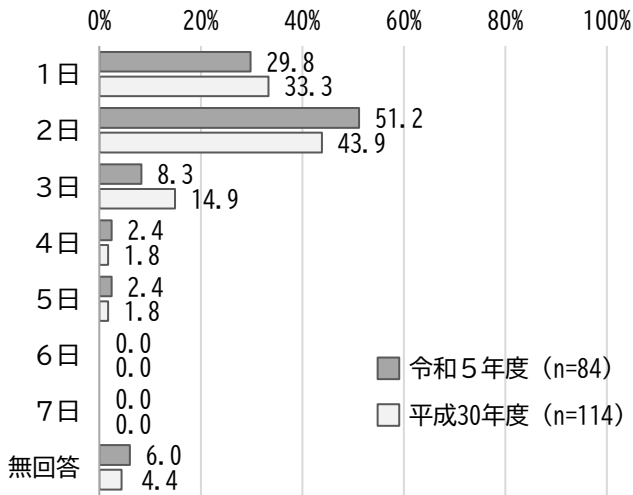


【祖父母宅や友人・知人宅】

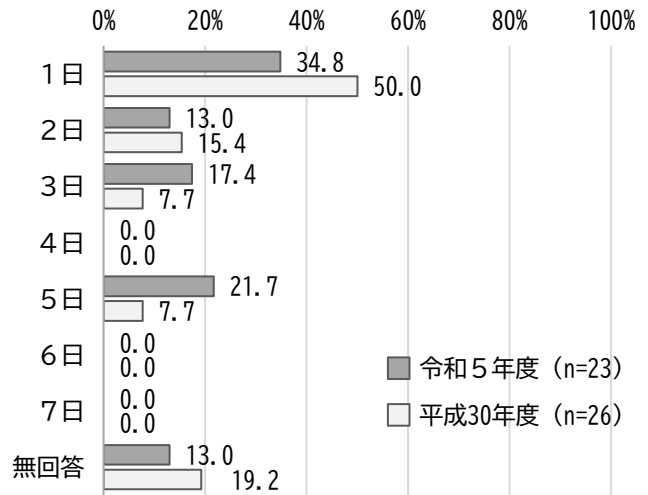


第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

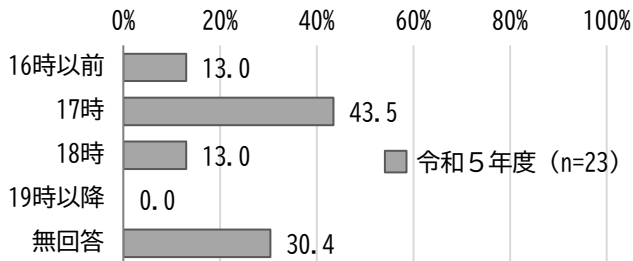
【習い事】



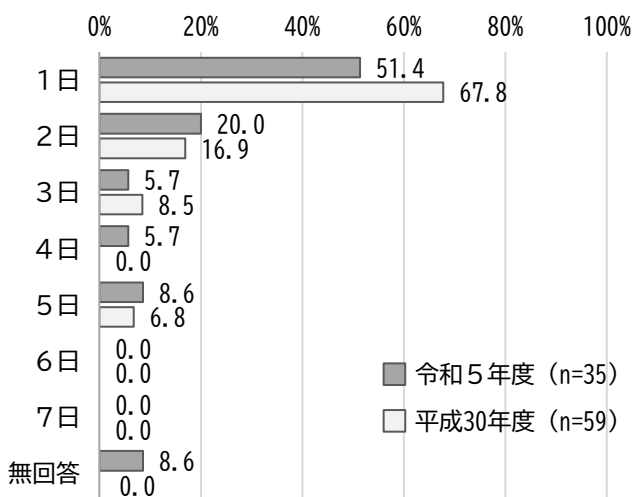
【児童館 週あたりの日数】



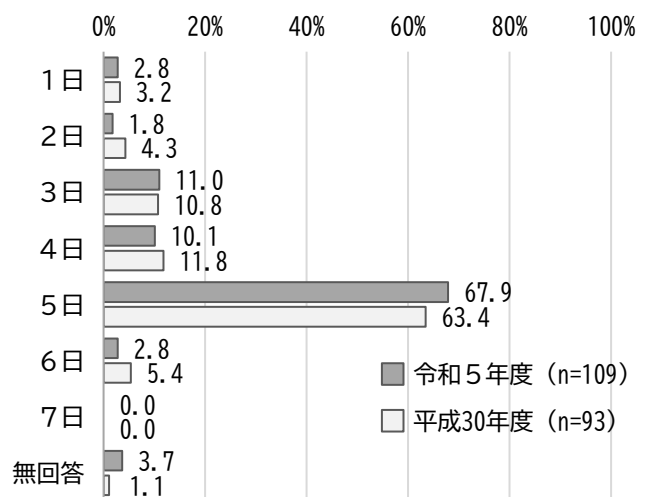
【児童館 何時まで】



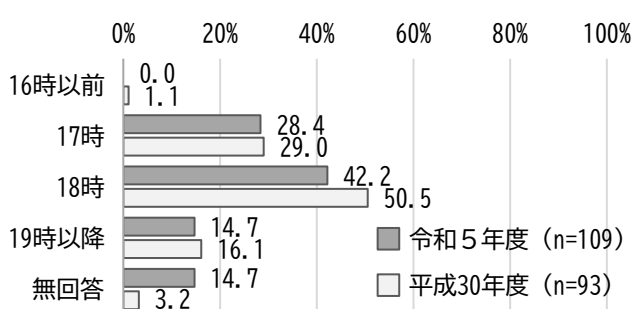
【放課後子ども教室】



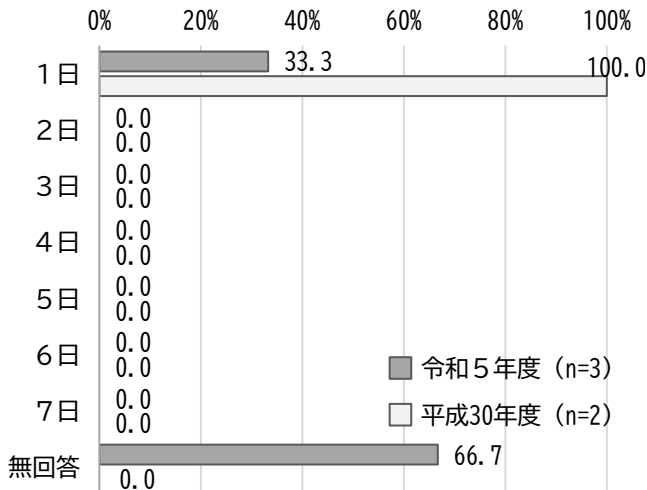
【学童保育所 週あたりの日数】



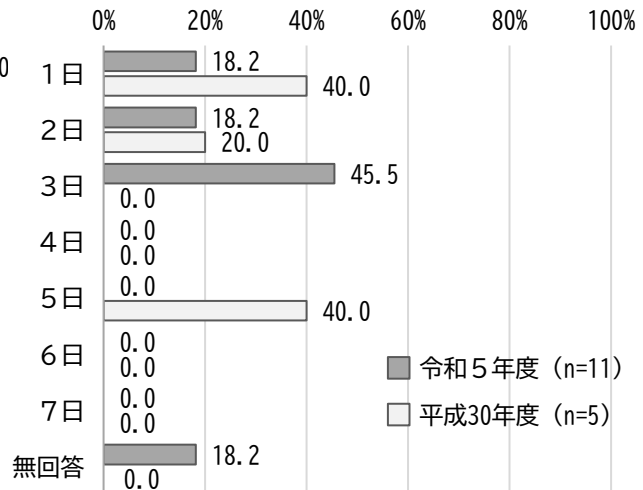
【学童保育所 何時まで】



【ファミリー・サポート・センター】

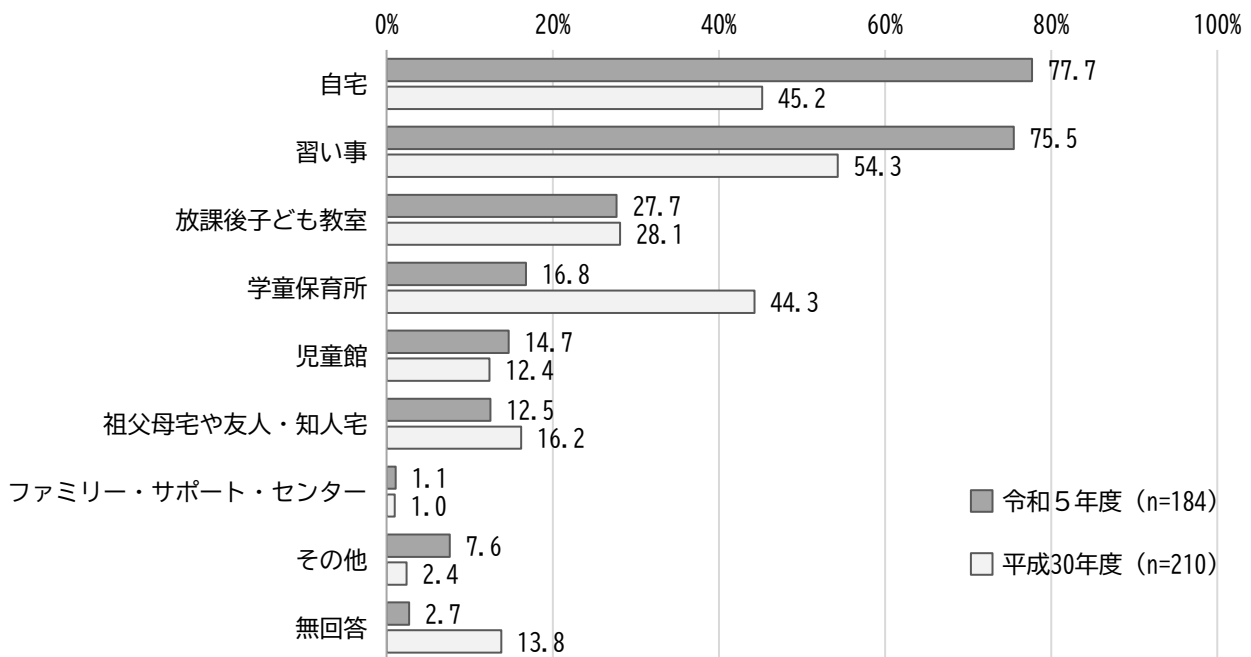


【その他】



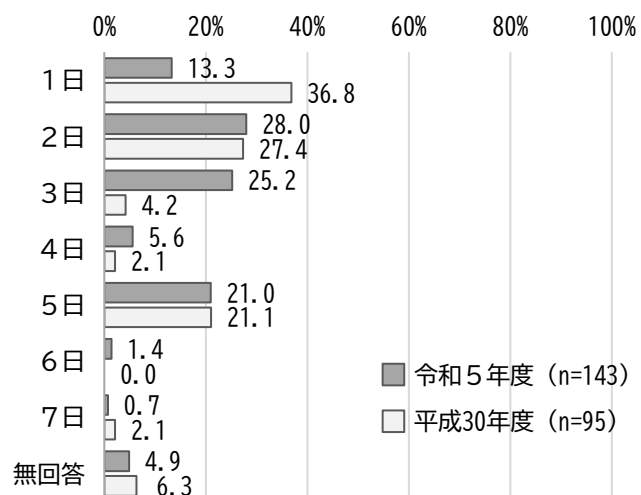
問 35 小学校高学年になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）また、それぞれの週あたり日数をお答えください。（数字を記入。「児童館」「学童保育所」の場合には、利用時間を記入。）

小学校高学年のお子さんを放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思うかについて、「自宅」の割合が77.7%と最も高く、次いで「習い事」の割合が75.5%となっています。

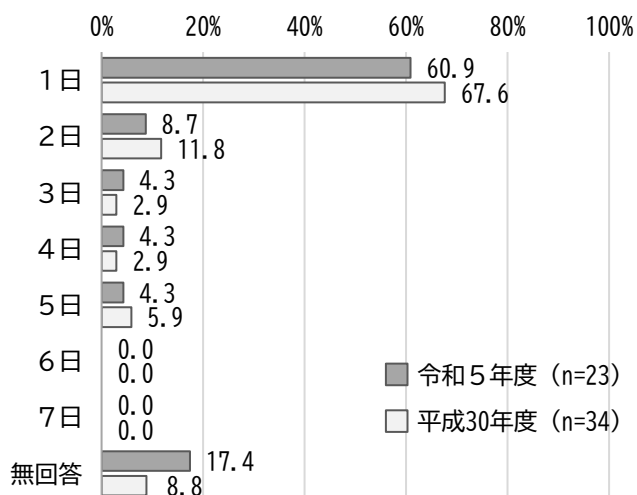


第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

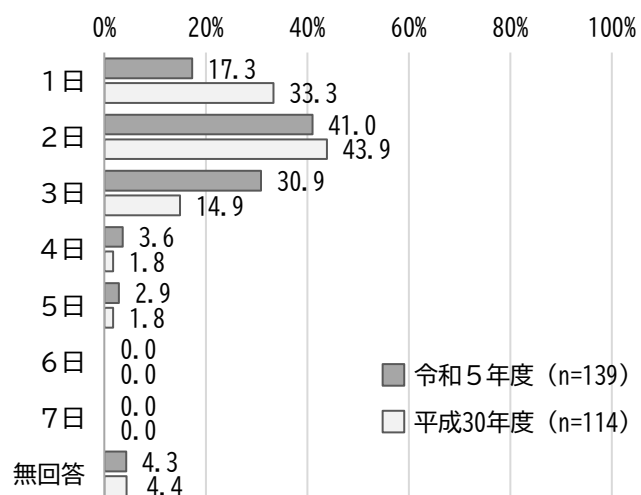
【自宅】



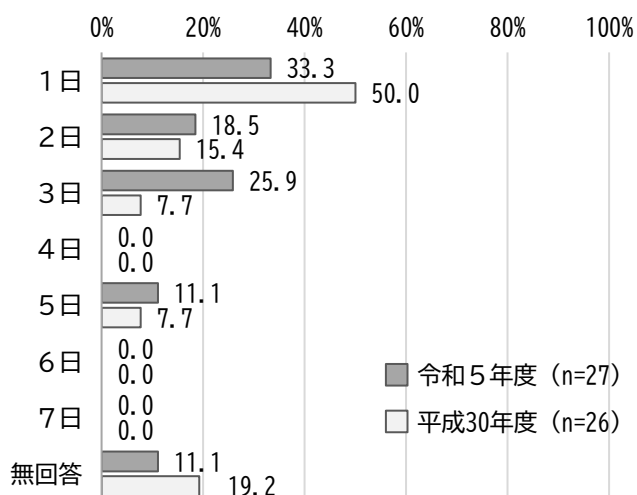
【祖父母宅や友人・知人宅】



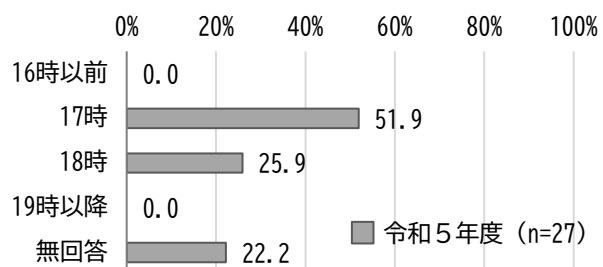
【習い事】



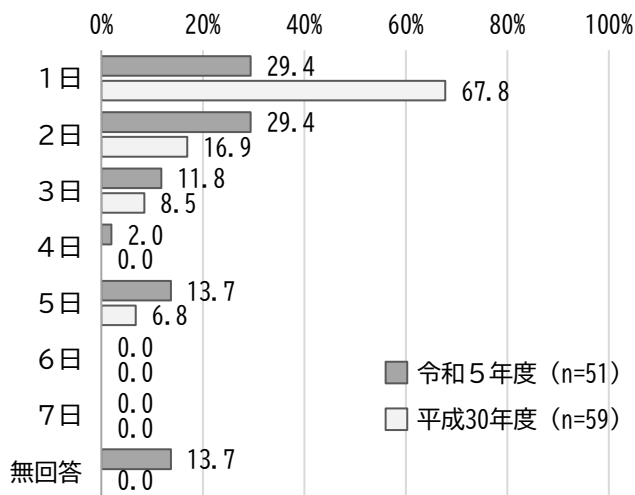
【児童館 週あたりの日数】



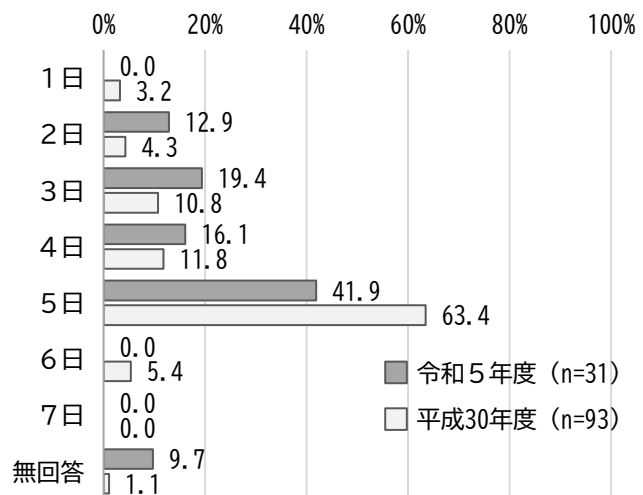
【児童館 何時まで】



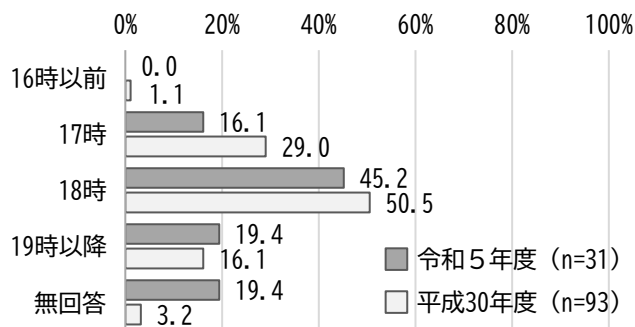
【放課後子ども教室】



【学童保育所 週あたりの日数】



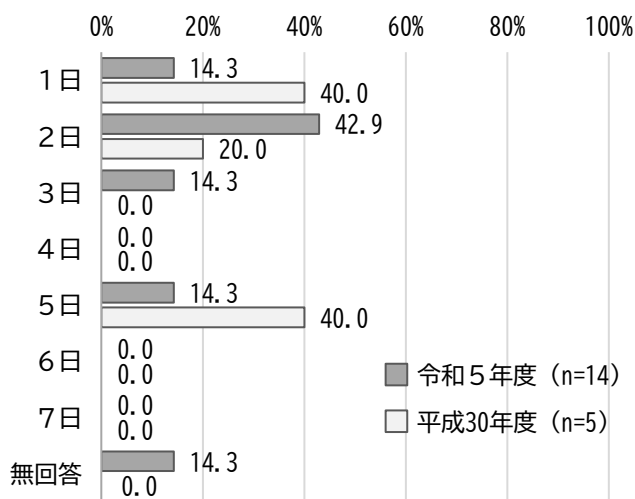
【学童保育所 何時まで】



【ファミリー・サポート・センター】 (n=2)

選択した2名全員が無回答でした。

【その他】

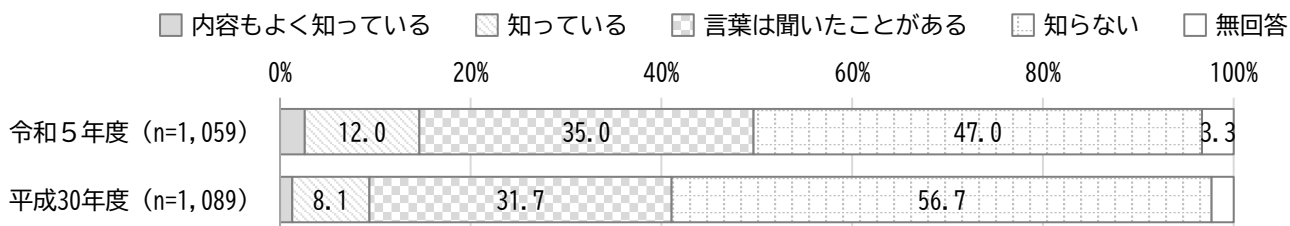


I. 子どもの権利について

問 36 「小金井市子どもの権利に関する条例」および「子どもオンブズパーソン」について、どれくらい知っていますか。(それぞれ1つに○)

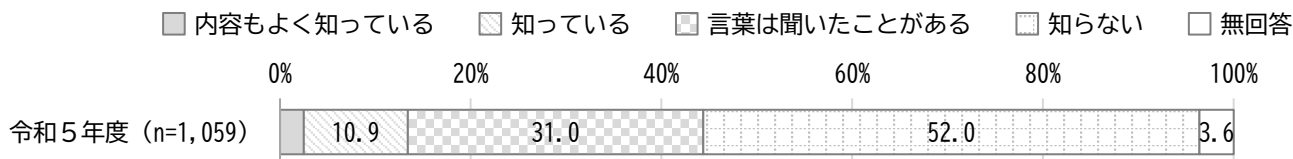
【小金井市子どもの権利に関する条例】

小金井市子どもの権利に関する条例について、「知らない」の割合が47.0%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が35.0%となっています。



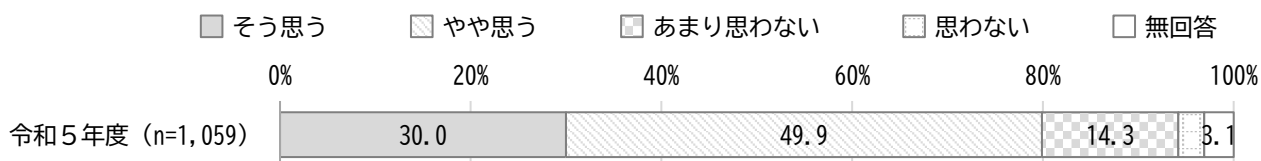
【子どもオンブズパーソン】

子どもオンブズパーソンについて、「知らない」の割合が52.0%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が31.0%となっています。



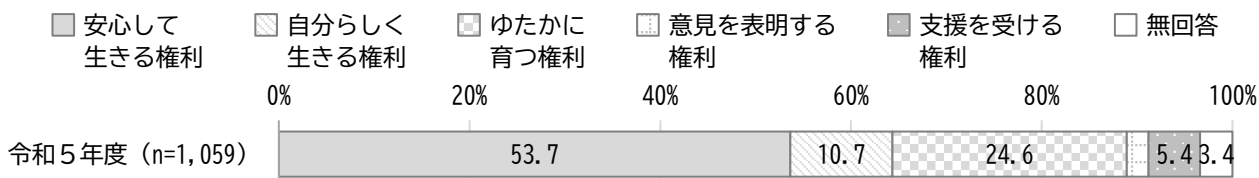
問 37 あなたは子どもの権利が守られていると思いますか。(1つに○)

子どもの権利が守られているかについて、「やや思う」の割合が49.9%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が30.0%となっています。



問 38 「小金井市子どもの権利に関する条例」で定めた子どもの権利のうち、今後市が最も力をいれるべき権利はどれだと思いますか。(1つに○)

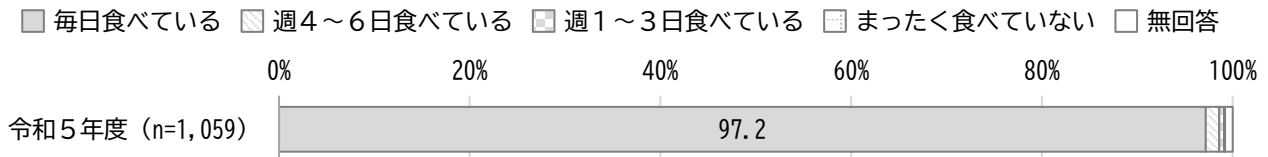
「小金井市子どもの権利に関する条例」で定めた子どもの権利で最も力をいれるべき権利について、「安心して生きる権利」の割合が53.7%と最も高く、次いで「ゆたかに育つ権利」の割合が24.6%となっています。



J. 子育て全般について

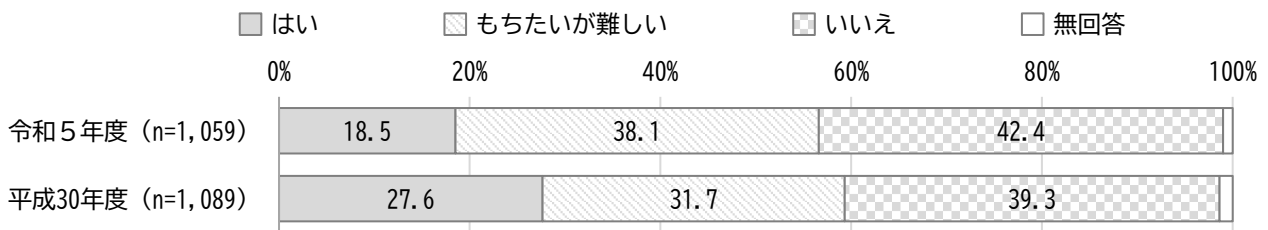
問39 お子さんは、朝食を食べていますか。(1つに○)

朝食について、「毎日食べている」の割合が97.2%と最も高く、次いで「週4～6日食べている」の割合が1.4%となっています。



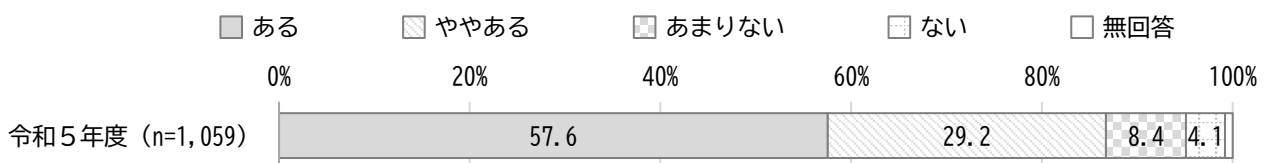
問40 今後新たに子どもをもちたいと思いますか。(1つに○)

新たに子どもをもちたいかについて、「いいえ」の割合が42.4%と最も高く、次いで「もちたいが難しい」の割合が38.1%となっています。



問41 子育て・教育にかかる費用負担に不安がありますか。(1つに○)

子育て・教育にかかる費用負担への不安について、「ある」の割合が57.6%と最も高く、次いで「ややある」の割合が29.2%となっています。

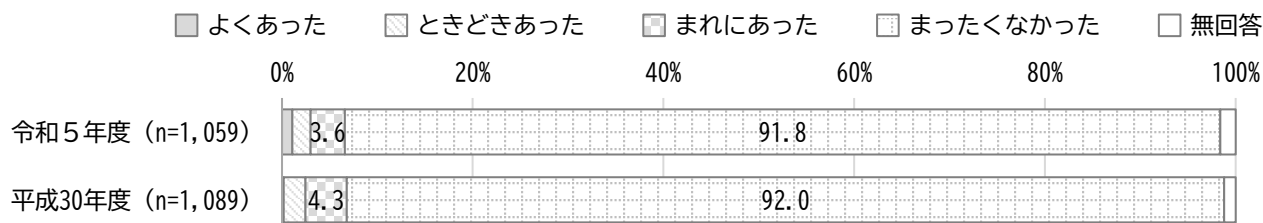


第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問 42 過去1年間に次のような経験はありましたか。(それぞれ1つに○)

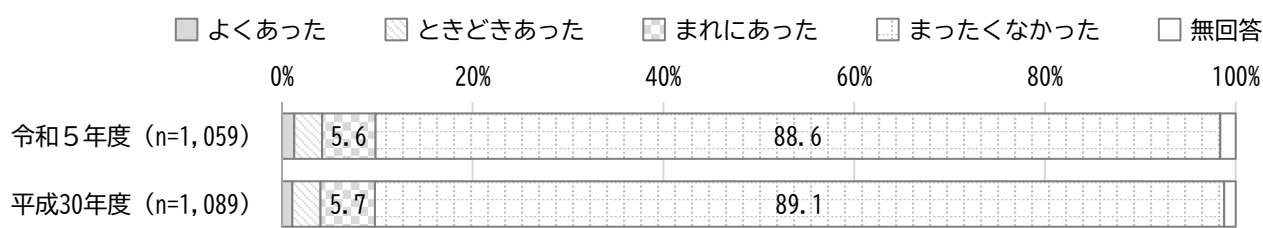
【お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験について、「まったくなかった」の割合が91.8%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が3.6%となっています。



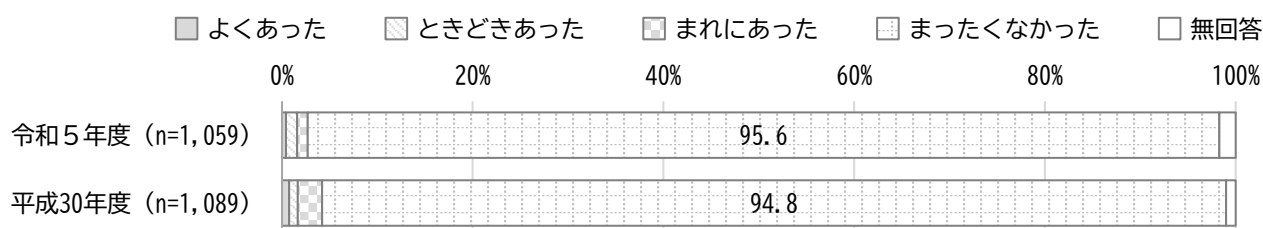
【お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験について、「まったくなかった」の割合が88.6%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が5.6%となっています。



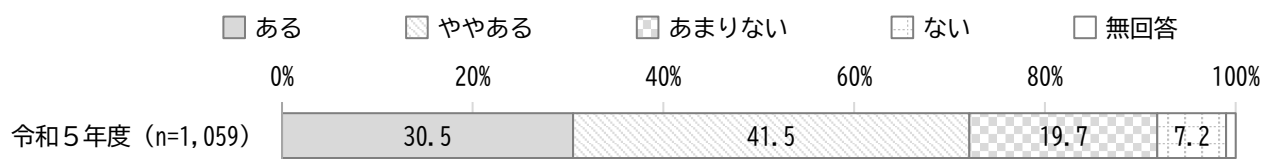
【お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験】

お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験について、「まったくなかった」の割合が95.6%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が1.1%となっています。



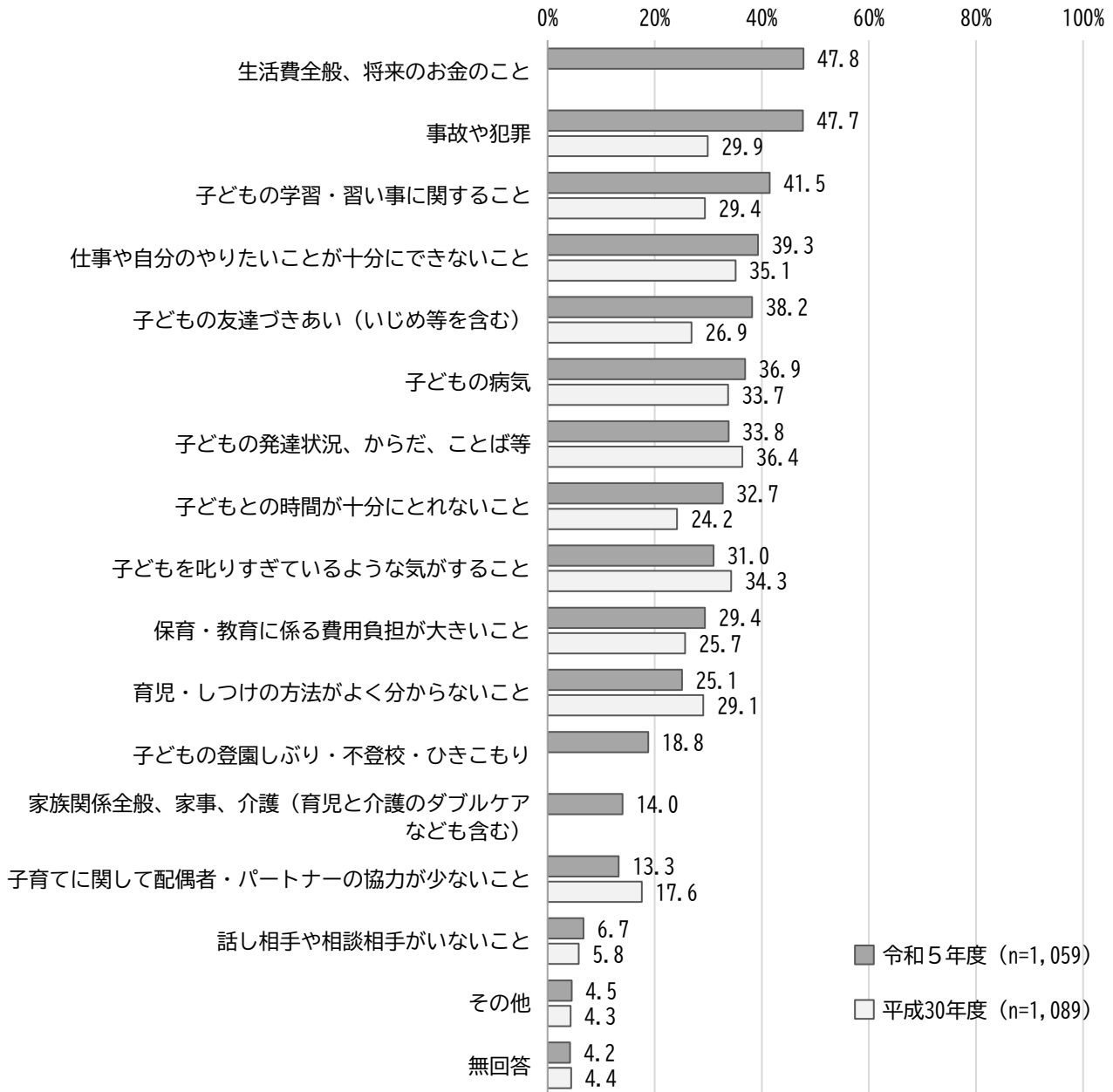
問 43 今後の暮らしに不安がありますか。(1つに○)

暮らしへの不安について、「ややある」の割合が41.5%と最も高く、次いで「ある」の割合が30.5%となっています。



問 44 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
 (あてはまる番号すべてに○)

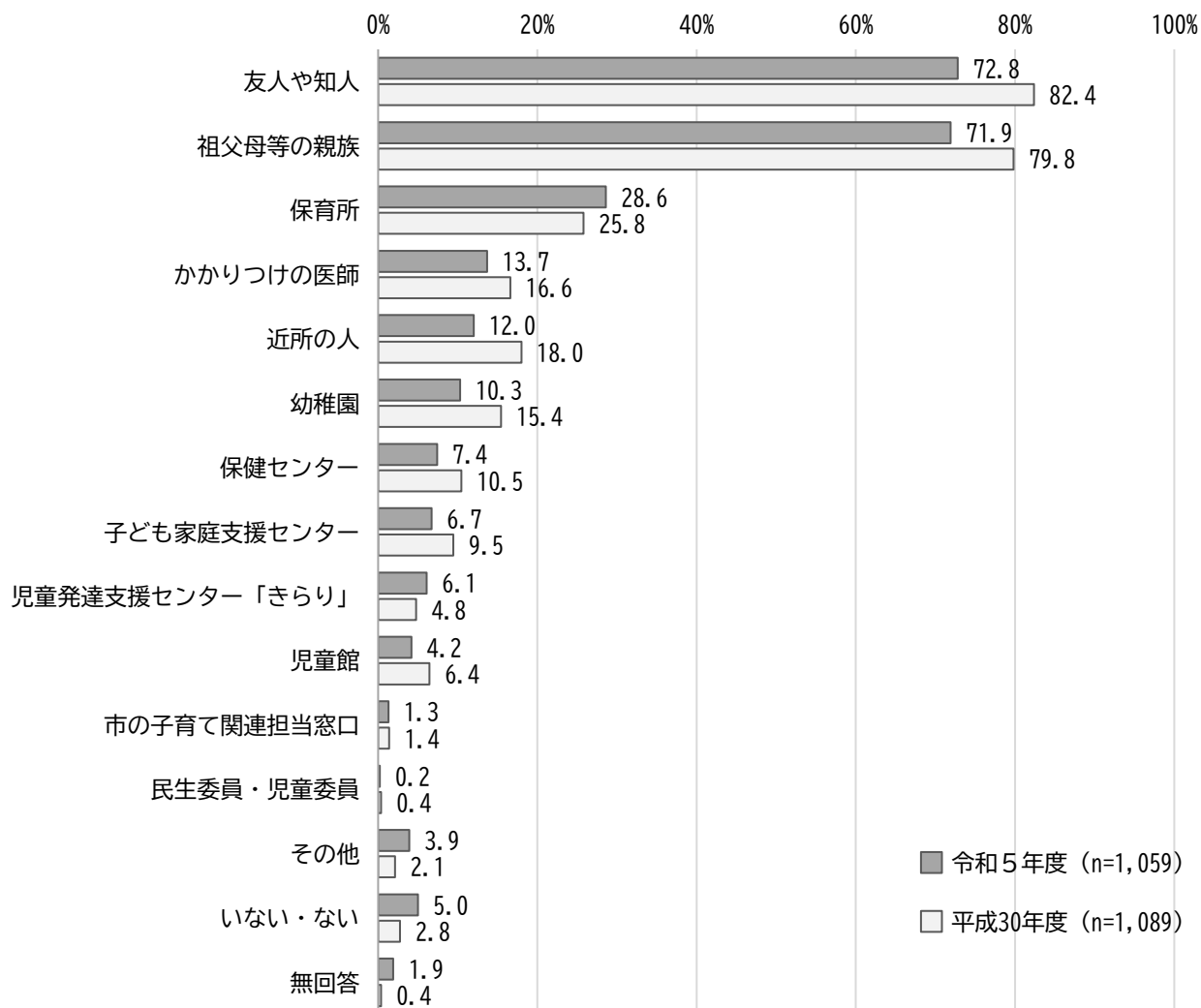
子育てに関して日頃悩んでいることや気になることについて、「生活費全般、将来のお金のこと」の割合が47.8%と最も高く、次いで「事故や犯罪」の割合が47.7%となっています。



第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

問 45 妊娠・出産・子育て（教育を含む）の不安や悩みを相談できる人や場所はありますか。
 （あてはまる番号すべてに○）

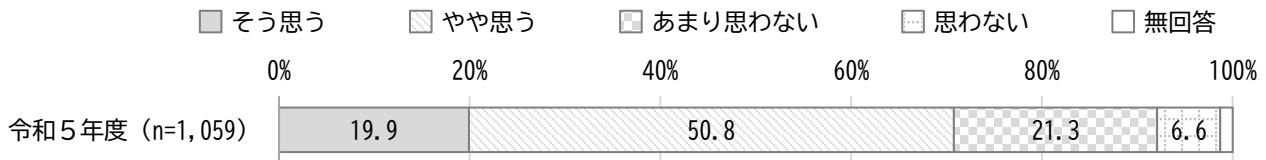
妊娠・出産・子育て（教育を含む）の不安や悩みを相談できる人や場所について、「友人や知人」の割合が72.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が71.9%となっています。



K. 小金井市の子育て環境や子育て支援施策について

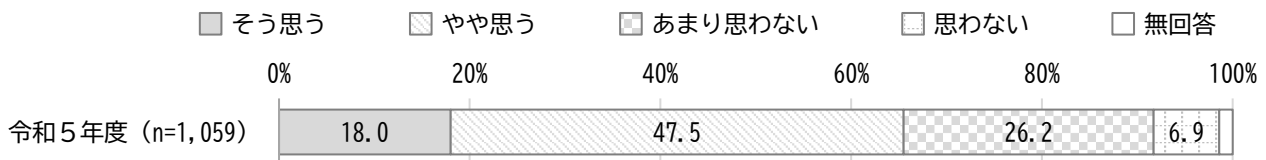
問46 子どもがのびのびと遊べる環境が整備されていると思いますか。(1つに○)

子どもがのびのびと遊べる環境が整備されているかについて、「やや思う」の割合が50.8%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が21.3%となっています。



問47 子どもが自然、社会、文化、芸術などの様々な体験をしやすいと思いますか。(1つに○)

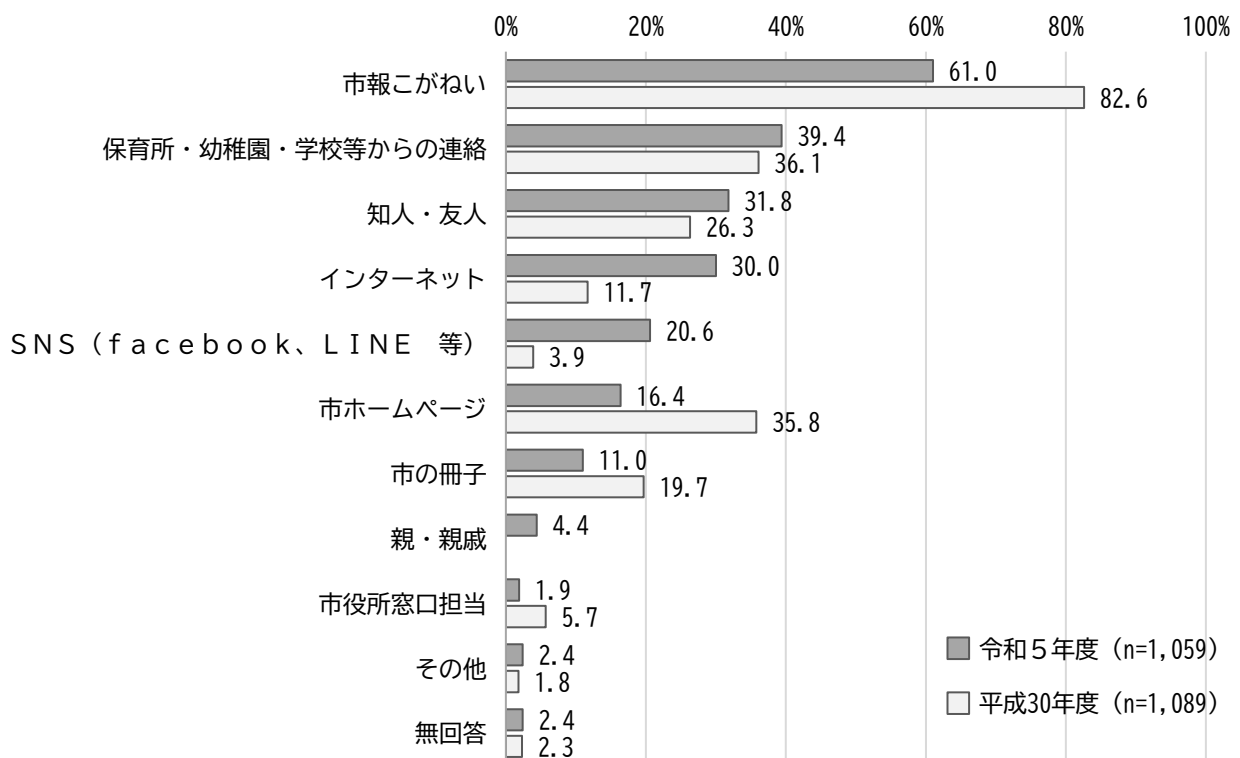
子どもが自然、社会、文化、芸術などの様々な体験をしやすいかについて、「やや思う」の割合が47.5%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が26.2%となっています。



問48 小金井市で実施している子育て支援策について、どこから情報収集していますか。

(あてはまる番号すべてに○)

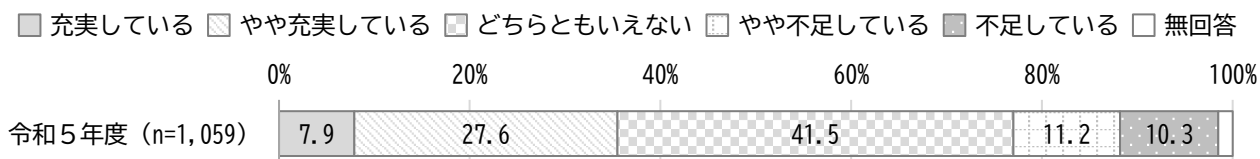
子育て支援策の情報をどこから収集しているかについて、「市報こがねい」の割合が61.0%と最も高く、次いで「保育所・幼稚園・学校等からの連絡」の割合が39.4%となっています。



第2章 調査結果 ア) 就学前児童の保護者調査

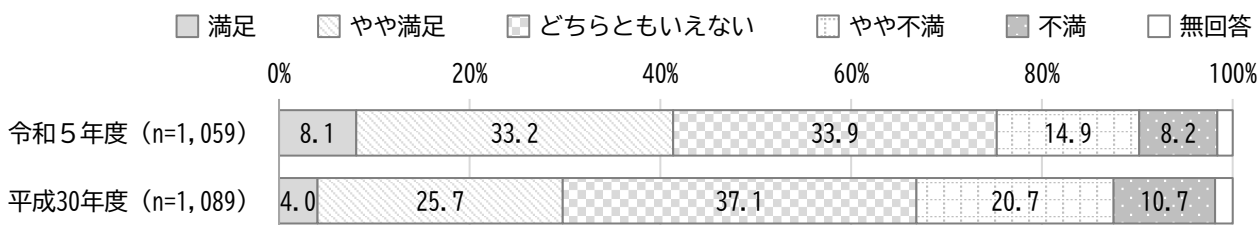
問 49 地域での子育て支援活動が充実していると思いますか。(1つに○)

地域での子育て支援活動が充実について、「どちらともいえない」の割合が41.5%と最も高く、次いで「やや充実している」の割合が27.6%となっています。



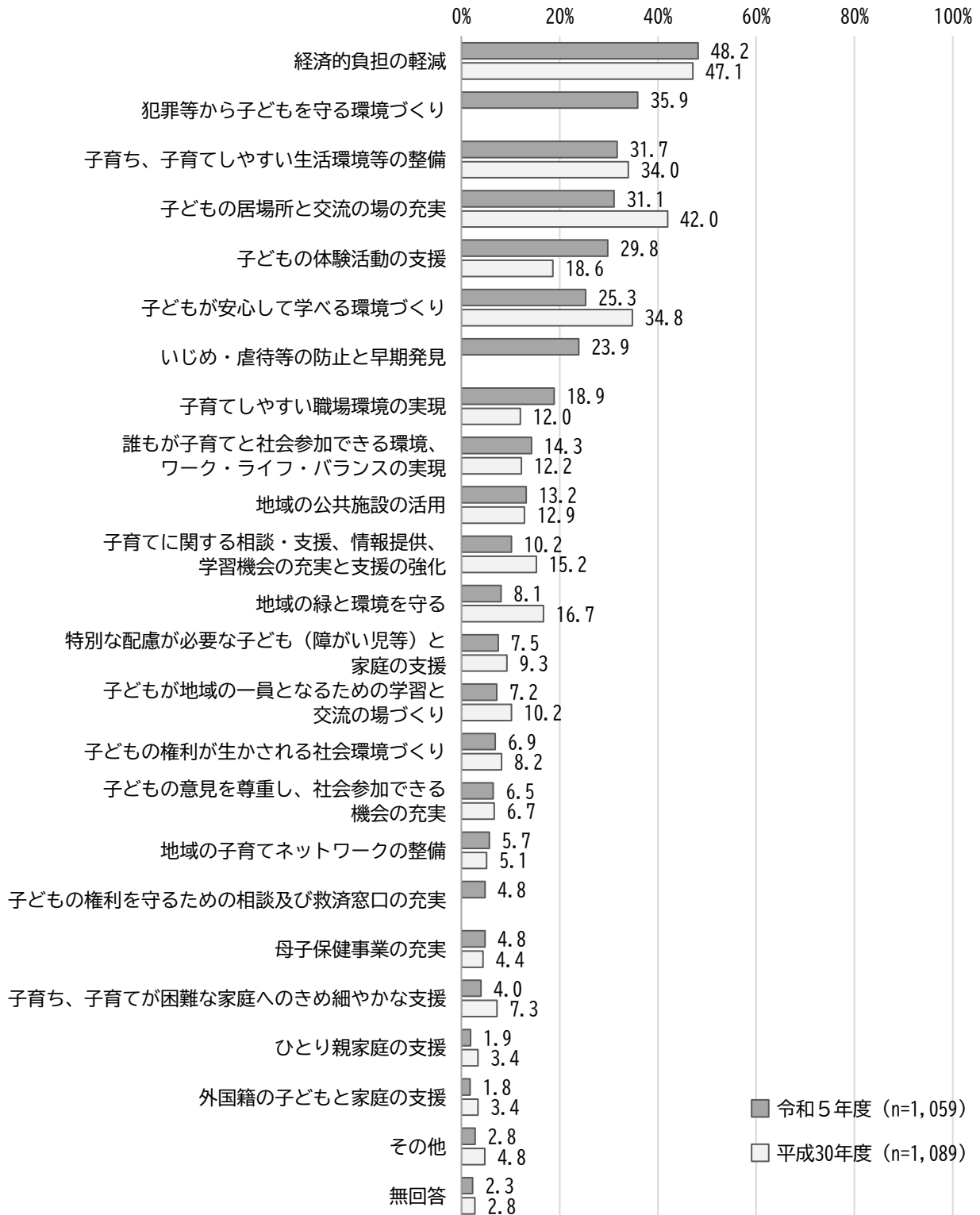
問 50 小金井市の子育ての環境や支援への満足度についてお答えください(1つに○)

小金井市の子育ての環境や支援への満足度について、「どちらともいえない」の割合が33.9%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が33.2%となっています。



問 51 子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことはありますか。(3つまでに○)

子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことについて、「経済的負担の軽減」の割合が48.2%と最も高く、次いで「犯罪等から子どもを守る環境づくり」の割合が35.9%となっています。



※平成30年度は「子どもの権利を尊重する社会環境づくりを進める」8.2%を「子どもの権利が生かされる社会環境づくり」に、「子どもの社会参加を推進し、意見の表明など子どもの自己実現を応援する」6.7%を「子どもの意見を尊重し、社会参加できる機会の充実」に、「自立を育む体験活動を応援する」18.6%を「子どもの体験活動の支援」に、それぞれ表示しています。

イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

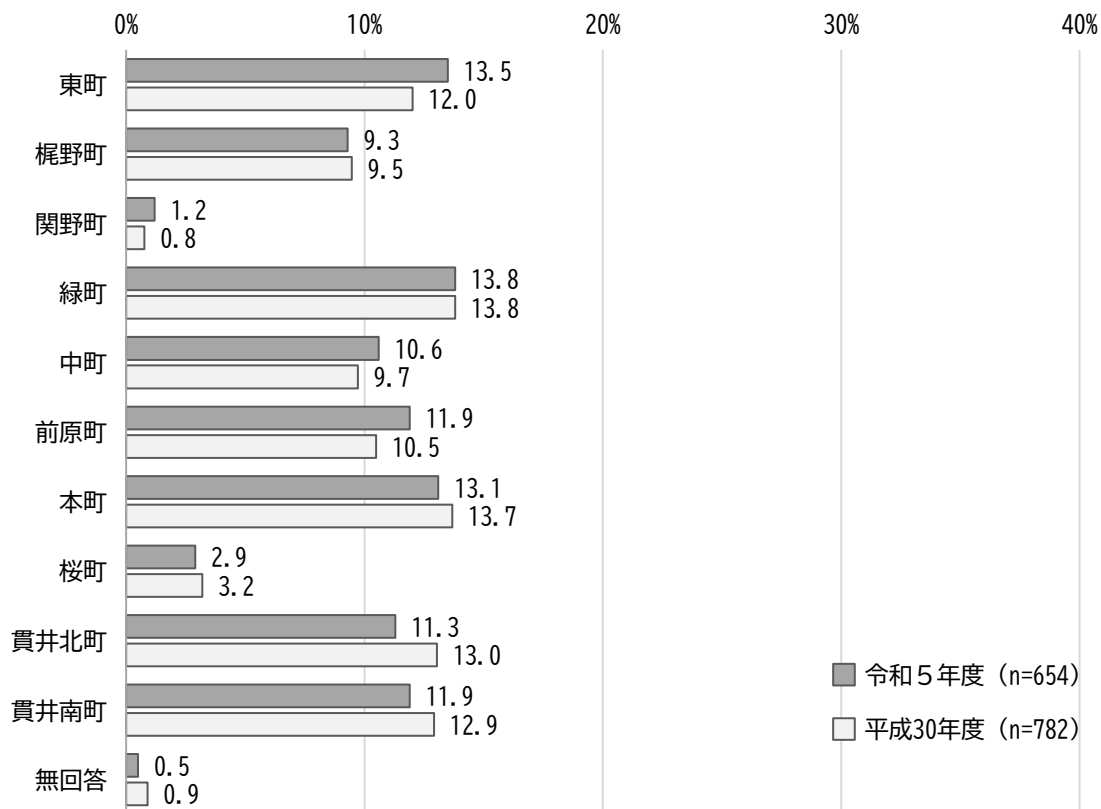
■クロス集計の見方

分類	分類のしかた
家族類型	問9 父の就労状況と問10 母の就労状況の回答により、 両親ともフルタイムを「フル×フルタイム」、 片親がフルタイムで片親がパートタイムを「フル×パートタイム」、 片親が就労していない場合を「専業主婦(夫)」と分類した。
低学年・ 高学年	問2 宛名のお子さんの生年月 令和5年4月1日現在の年齢で学年を集計し分類した。
居場所	小学生調査 問3 自宅・学校以外でここにいたい場所「ある・ない」 「ない」を「0か所」 問4 その場所(複数回答) 選択した数に応じて「1か所」から「5か所以上」に分類した。

A. 宛名のお子さんご家族の状況について

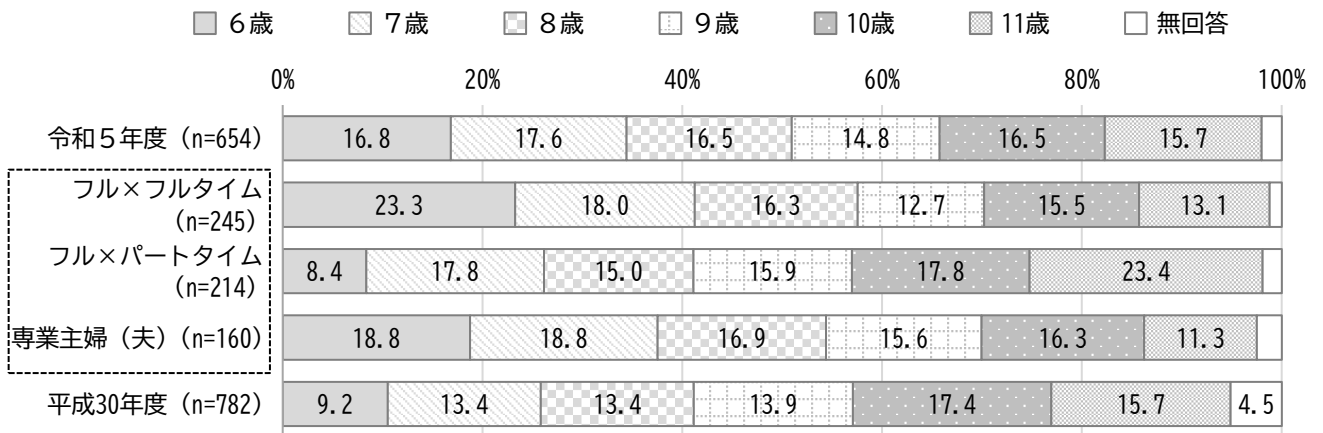
問1 お住まいの地区はどこですか。(町名・丁目、それぞれ1つに○)

住まいの地区について、「緑町」の割合が13.8%と最も高く、次いで「東町」の割合が13.5%となっています。



問2 宛名のお子さん (以降お子さんと記載) の生年月を記入してください。(数字を記入)

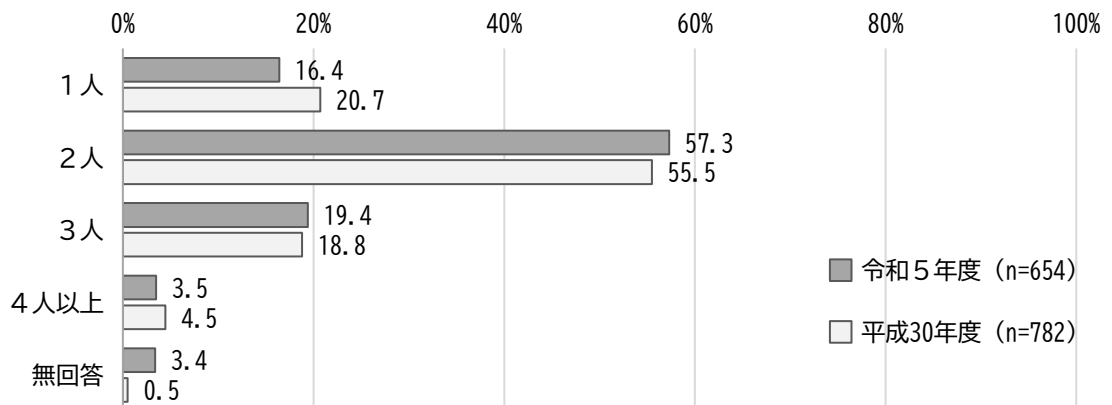
宛名のお子さんの生年月について、「7歳」の割合が17.6%と最も高く、次いで「6歳」の割合が16.8%となっています。



問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。

宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。(数字を記入)

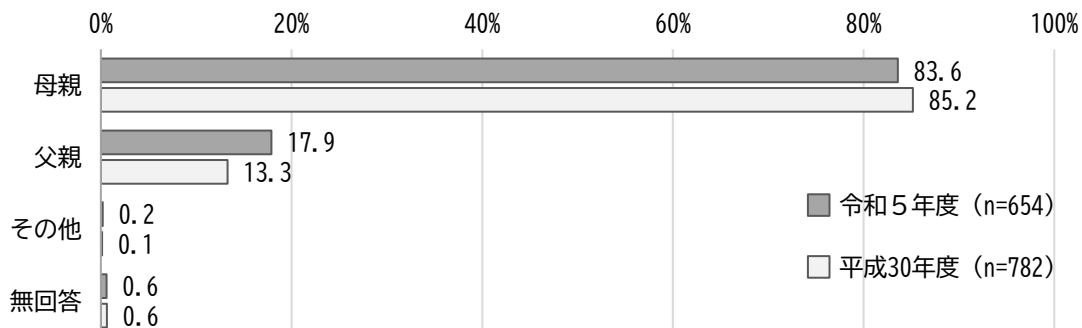
きょうだいについて、「2人」の割合が57.3%と最も高く、次いで「3人」の割合が19.4%となっています。



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

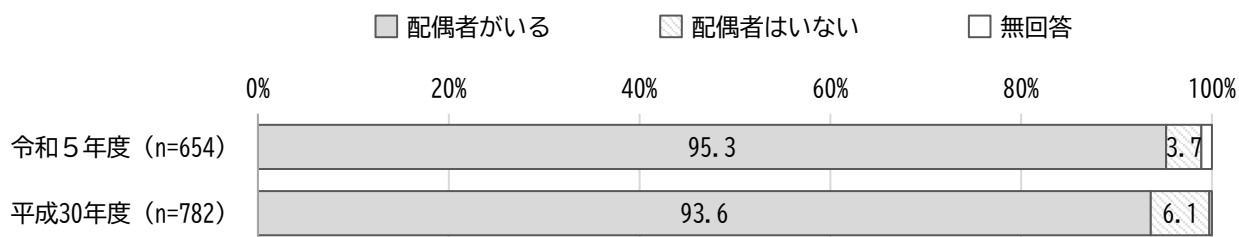
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

お子さんからみた調査票の回答者について、「母親」の割合が83.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が17.9%となっています。



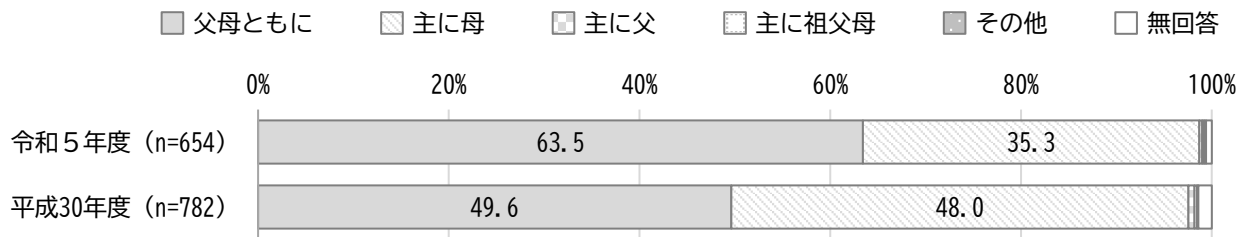
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

配偶関係について、「配偶者がいる」の割合が95.3%となっています。



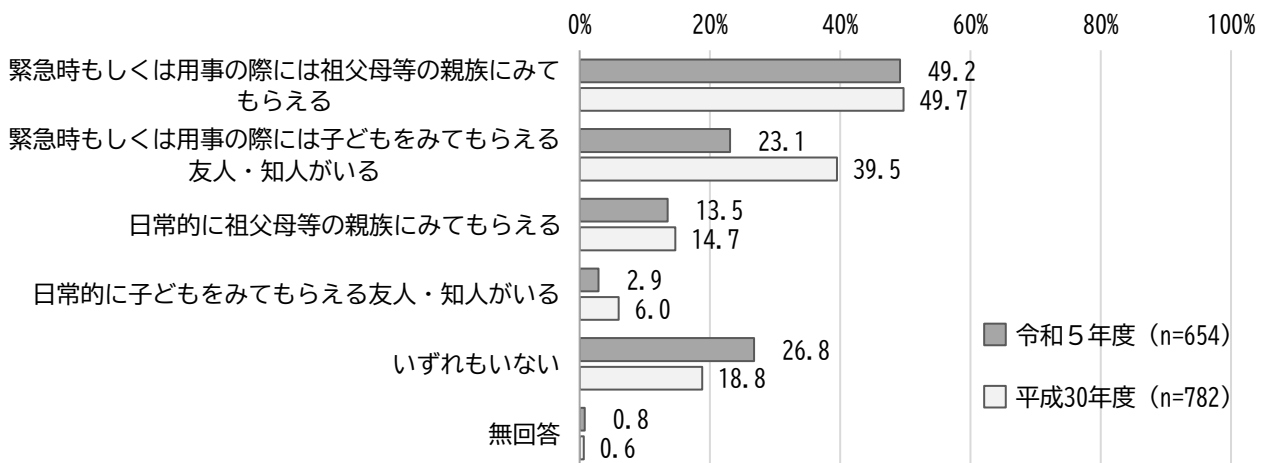
問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

子育て教育を主に行っている方について、「父母ともに」の割合が63.5%と最も高く、次いで「主に母」の割合が35.3%となっています。



問7 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

お子さんを見てもらえる親族・知人について、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が49.2%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が26.8%となっています。



お子さんをみてもらえる親族・知人はいるか

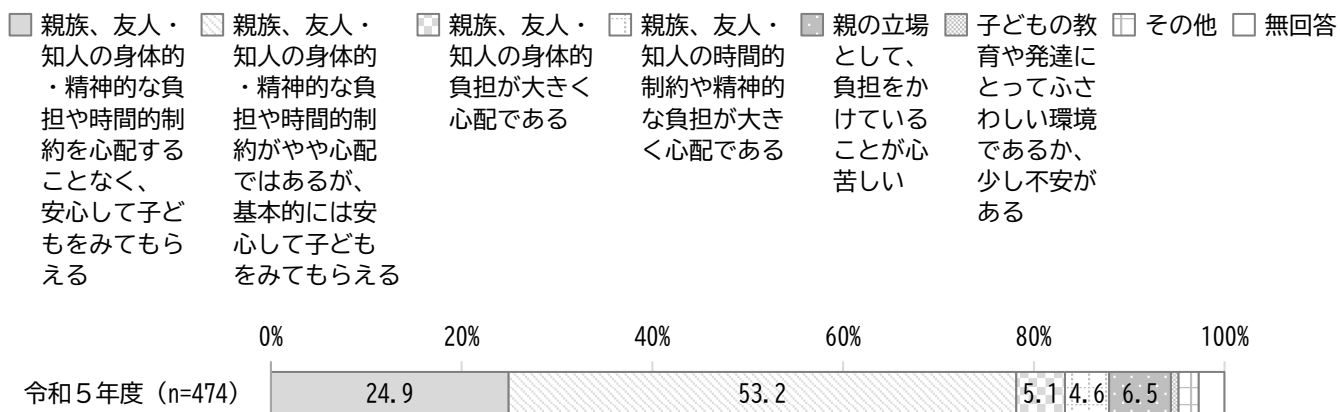
(単位：%)

区分	回答者数(人)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
令和5年度	654	13.5	49.2	2.9	23.1	26.8	0.8
小学生・低学年	333	12.9	54.1	2.4	22.5	23.1	0.6
小学生・高学年	308	14.0	45.5	3.6	24.0	29.5	0.6
フル×フルタイム	245	14.7	50.2	2.9	20.4	28.2	0.0
フル×パートタイム	214	11.2	49.5	3.3	27.6	23.4	0.9
専業主婦(夫)	160	11.3	46.3	2.5	24.4	31.3	0.6
0か所	169	9.5	43.2	1.8	18.3	37.3	0.0
1か所	139	10.1	43.9	1.4	24.5	30.9	1.4
2か所	102	13.7	59.8	4.9	22.5	20.6	1.0
3か所	88	18.2	50.0	4.5	31.8	20.5	1.1
4か所	55	18.2	58.2	5.5	23.6	18.2	0.0
5か所以上	72	12.5	52.8	2.8	27.8	18.1	1.4

問7で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」のいずれかに回答した方

問8 親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況はいかがですか。(1つに○)

親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、「親族、友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約がやや心配ではあるが、基本的には安心して子どもをみてもらえる」の割合が53.2%と最も高く、次いで「親族、友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が24.9%となっています。



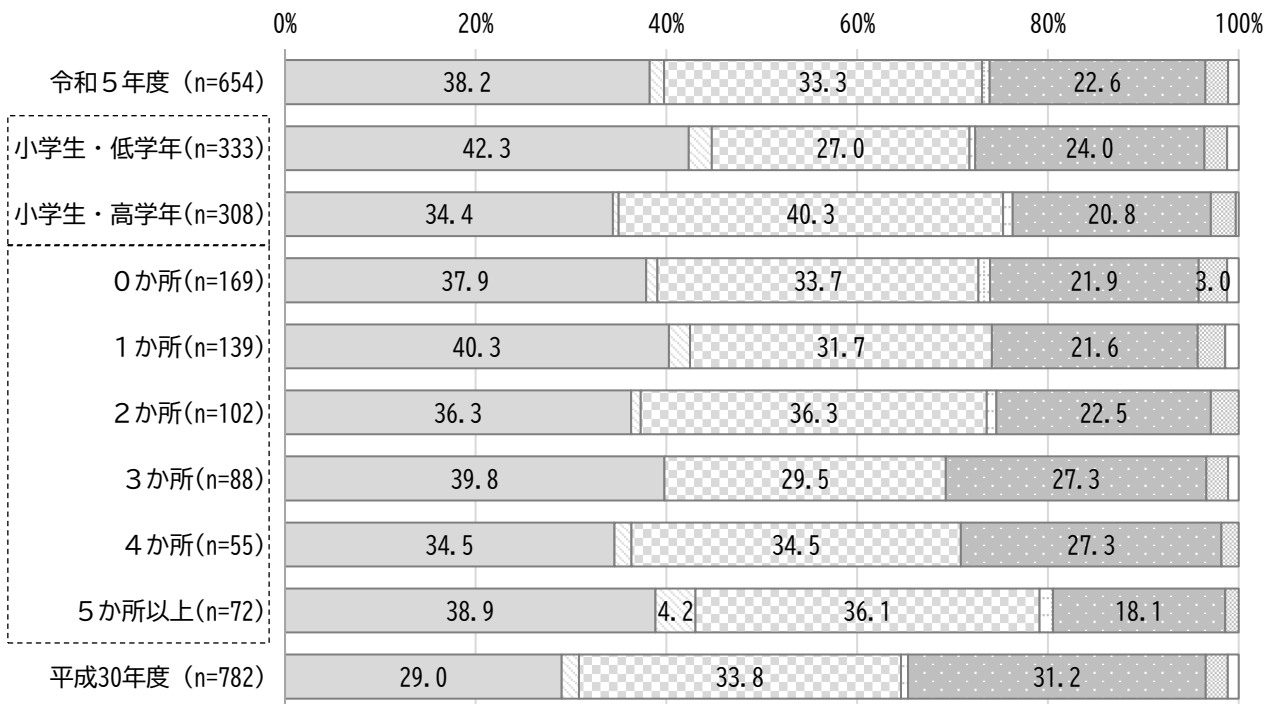
B. お子さんの保護者の就労状況について

問9 お子さんの保護者（以降保護者と記載）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。

【母親】

母親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が38.2%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が33.3%となっています。

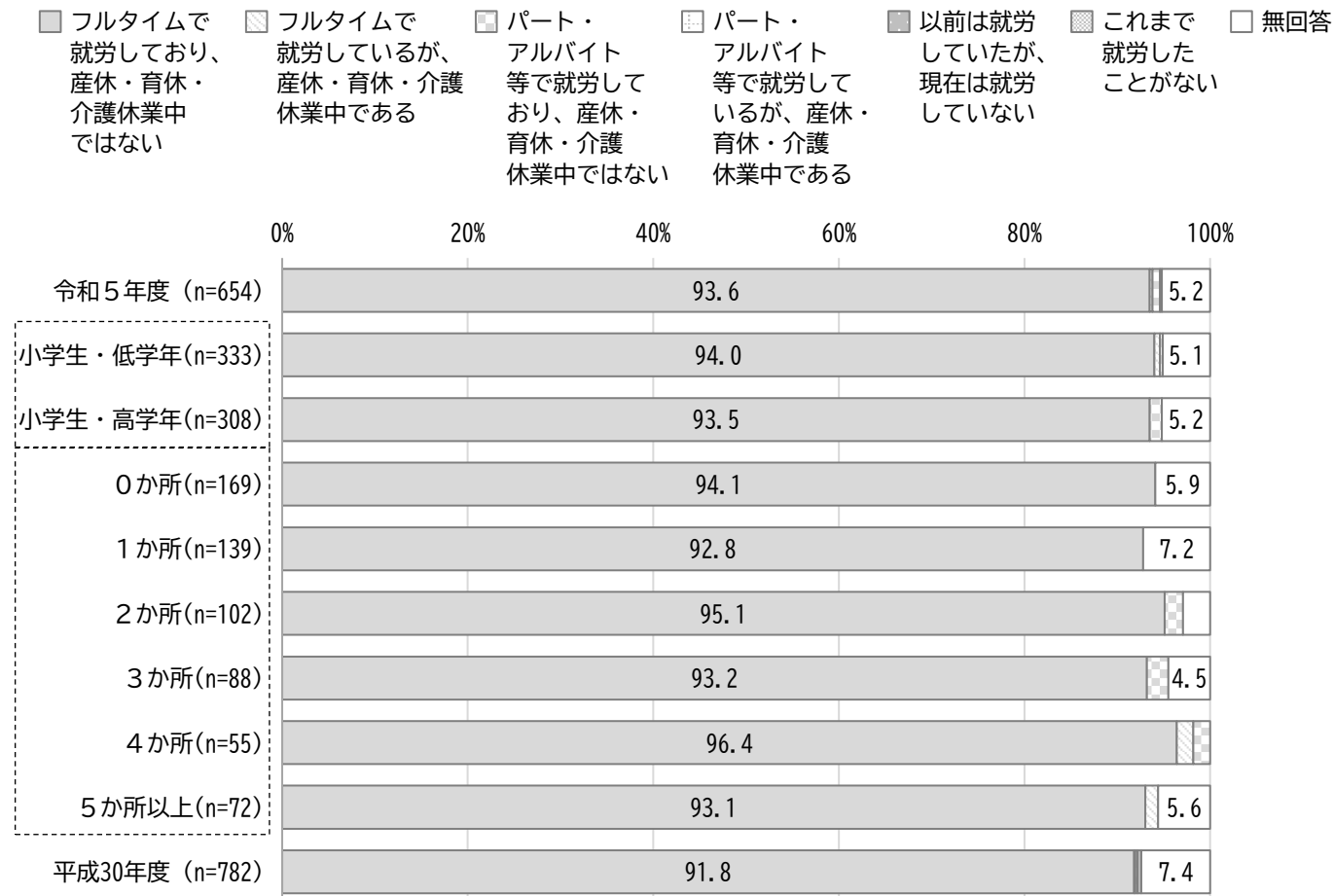
- フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▨ フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- ▣ パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- ▤ パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 以前は就労していたが、現在は就労していない
- ▨ これまで就労したことがない
- 無回答



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

【父親】

父親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が93.6%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が0.8%となっています。



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査（小学校児童本人調査を含む。）

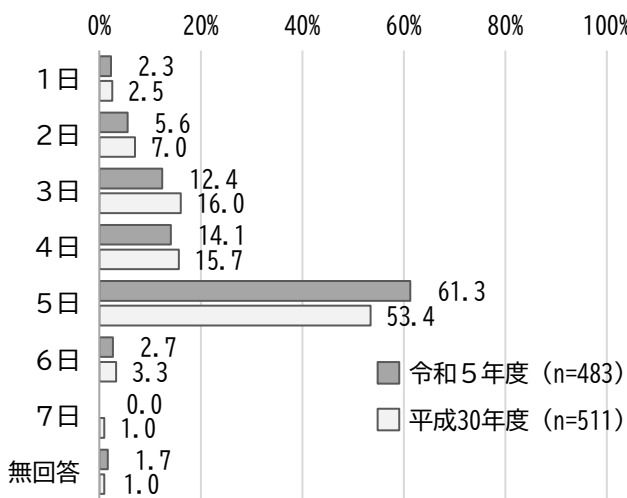
問9で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（就労している）と回答した方

問10 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

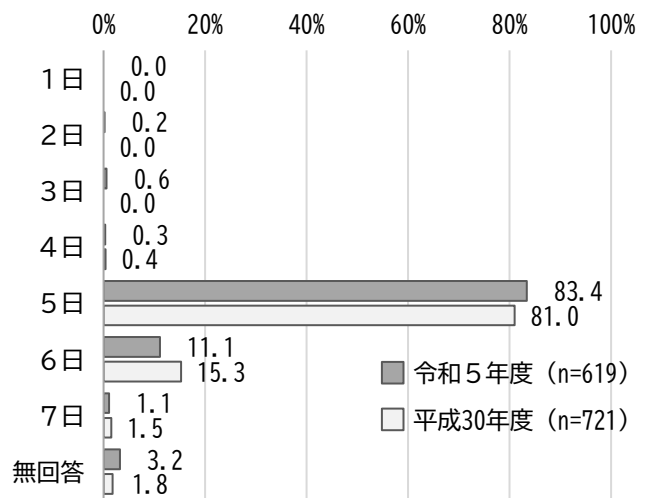
母親の就労日数については「5日」が61.3%、就労時間は「8時間」が32.7%となっております。

父親の就労日数については「5日」が83.4%、就労時間は「8時間」が34.4%となっております。

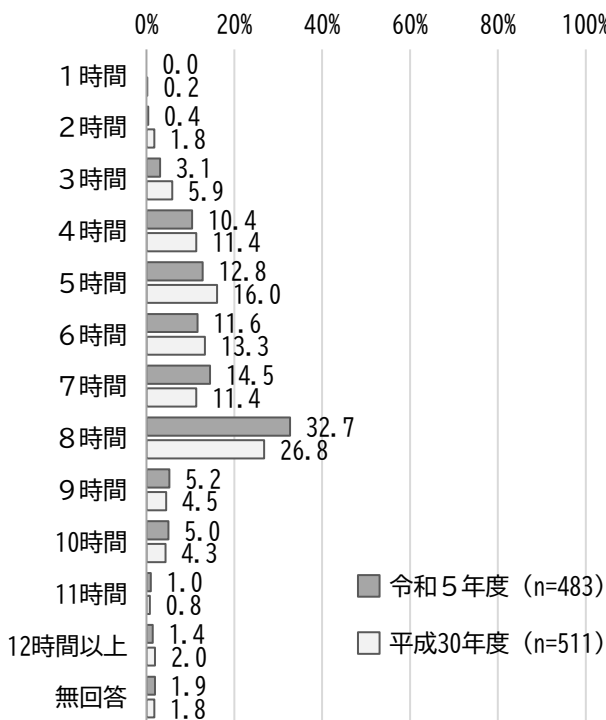
【母親】【1週あたりの就労日数】



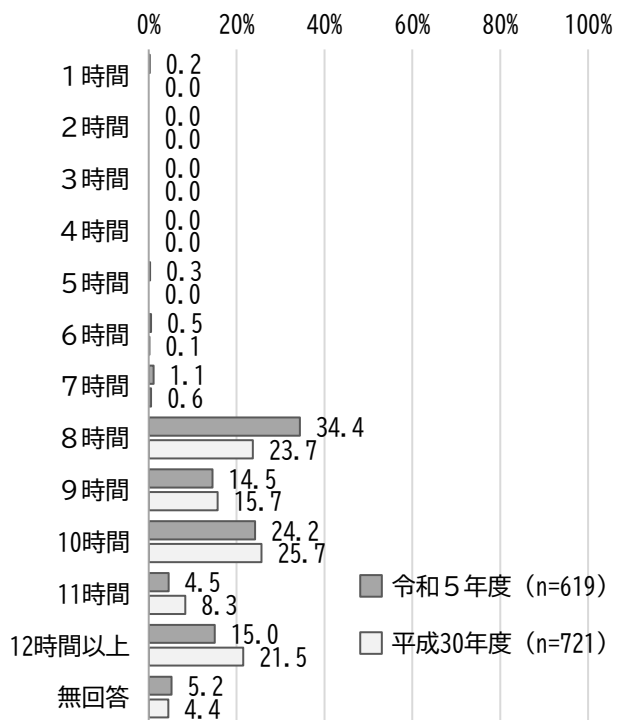
【父親】【1週あたりの就労日数】



【母親】【1日あたりの就労時間】



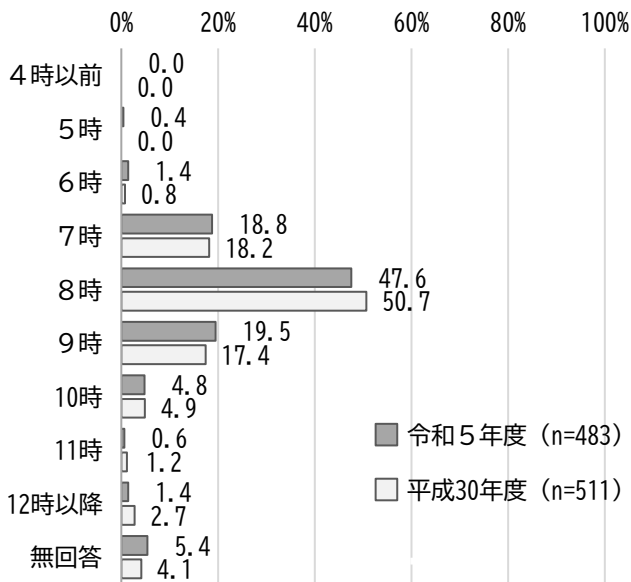
【父親】【1日あたりの就労時間】



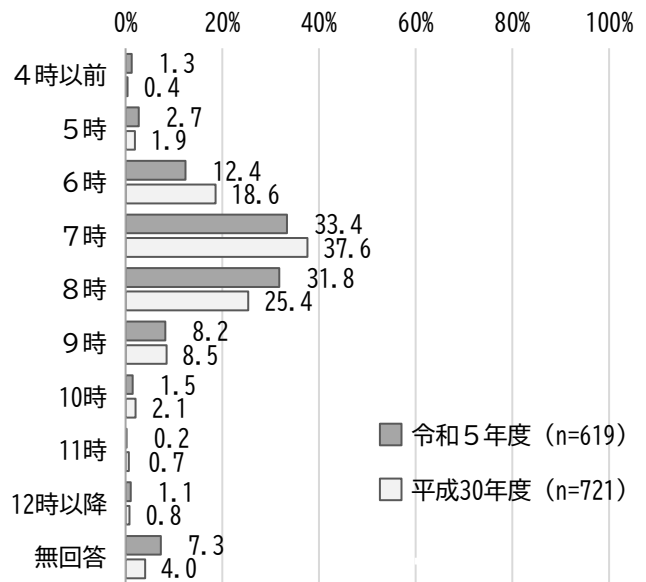
第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

母親の家を出る時刻については「8時」が47.6%、帰宅時刻は「18時」が32.3%となっております。
 父親の家を出る時刻については「7時」が33.4%、帰宅時刻は「20時」が23.6%となっております。

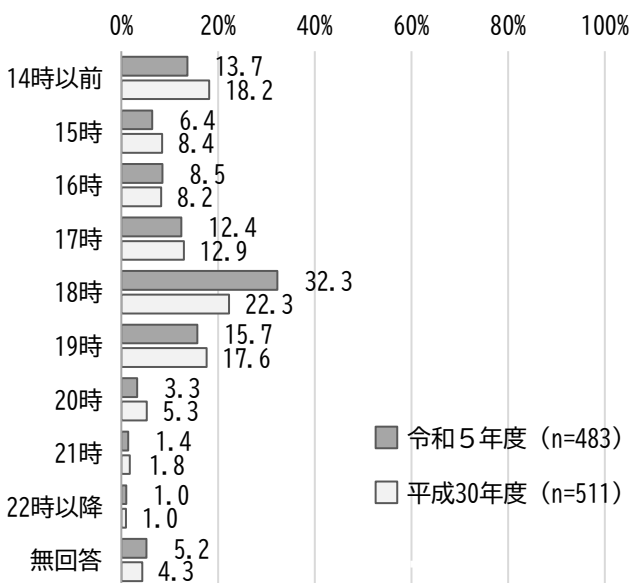
【母親】【家を出る時刻】



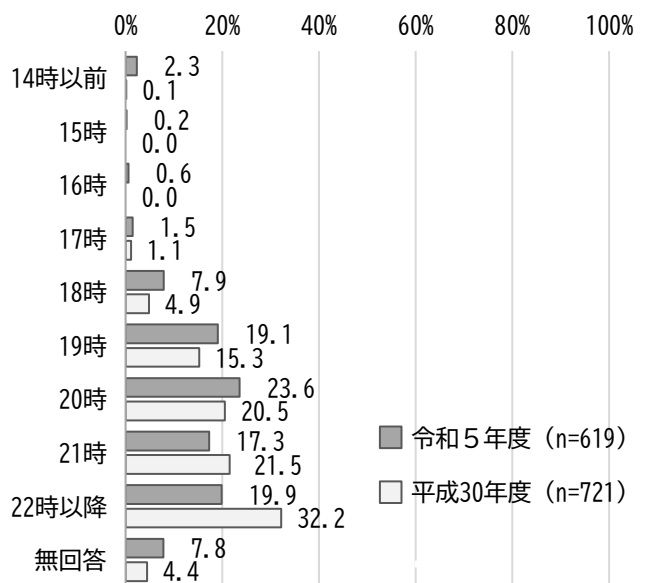
【父親】【家を出る時刻】



【母親】【帰宅時刻】



【父親】【帰宅時刻】

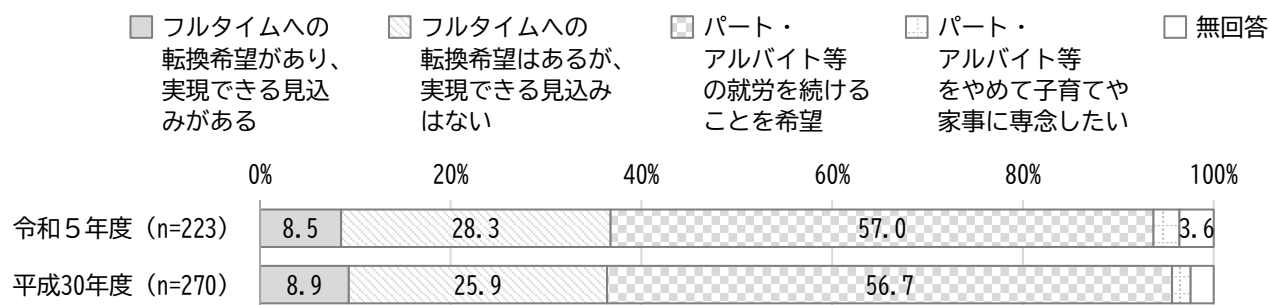


問9で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」（パート・アルバイト等で就労している）と回答した方

問11 フルタイムへの転換希望はありますか。（1つに○）

【母親】

母親のパート・アルバイト等で就労している方について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が57.0%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が28.3%となっています。



【父親】(n=5)

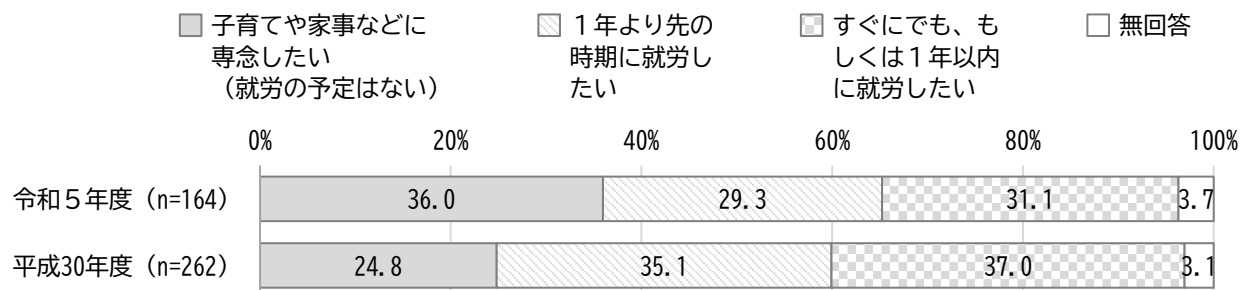
父親のパート・アルバイト等で就労している方について、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が2件、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」がそれぞれ1件で、平成30年度前回調査では「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」がそれぞれ1件でした。

問9で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」（現在は就労していない）と回答した方

問12 就労したいという希望はありますか。（1つに○）

【母親】

母親の就労希望について、「子育てや家事などに専念したい」の割合が36.0%と最も高く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」の割合が31.1%となっています。



【父親】(n=1)

父親の就労希望については、「無回答」が1件で、平成30年度前回調査では「子育てや家事などに専念したい」が2件、「無回答」が1件でした。

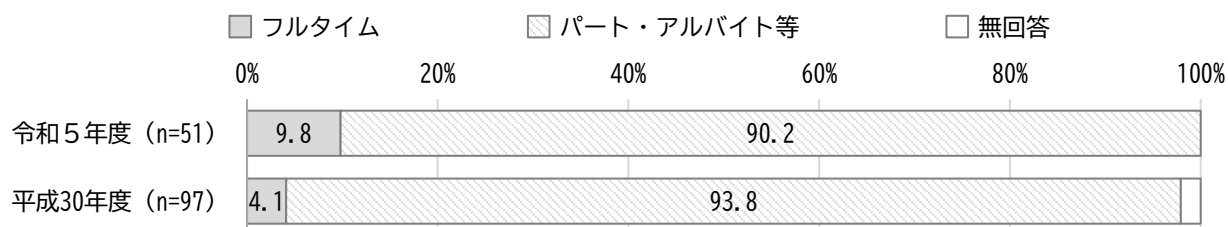
第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

問12で「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した方

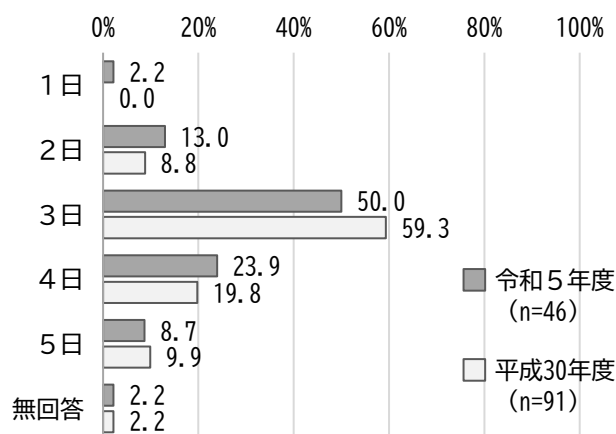
問12 希望する就労形態

【母親】

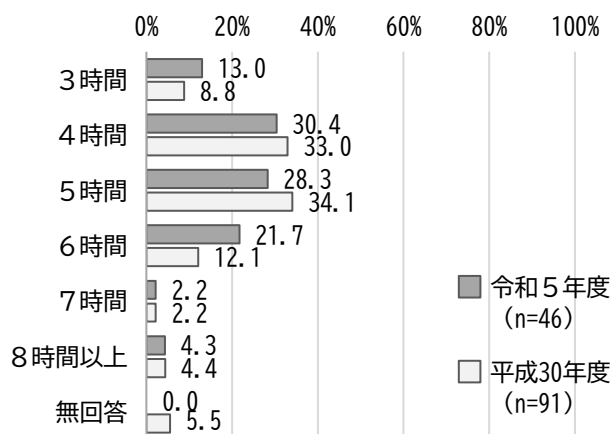
希望する就労形態について、「パート・アルバイト等」の割合が90.2%となっています。



【母親】 1週あたり就労日数



1日あたり就労時間

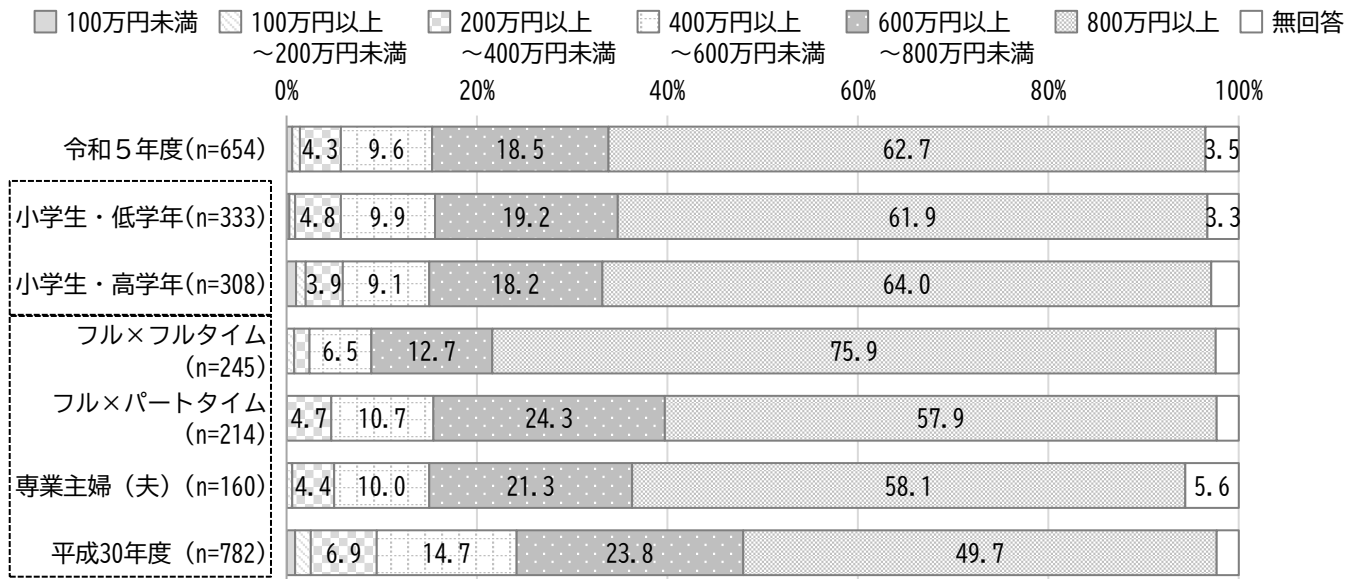


【父親】 (n=0)

希望する就労形態について、該当者はいませんでした。また、パート・アルバイト等の場合の1週間あたりの就労日数・1日あたりの就労時間の該当者はいませんでした。

問13 現在の年間の保護者の世帯収入についてお答えください。(1つに○)

年間の保護者の世帯収入について、「800万円以上」の割合が62.7%と最も高く、次いで「600万円以上～800万円未満」の割合が18.5%となっています。



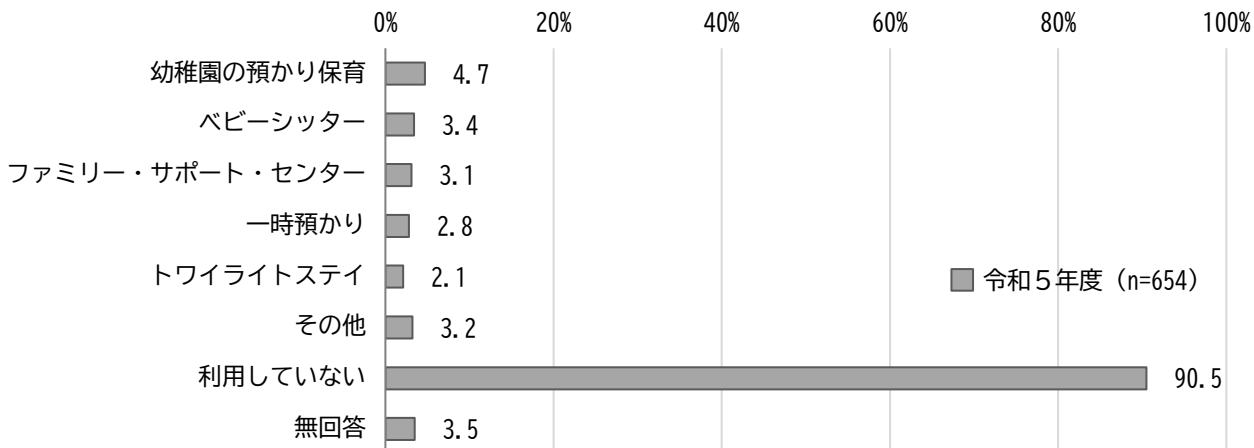
C. お子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問14 お子さんについて、現在、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用（買い物、リフレッシュ等）、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している一時預かり等の事業はありますか。

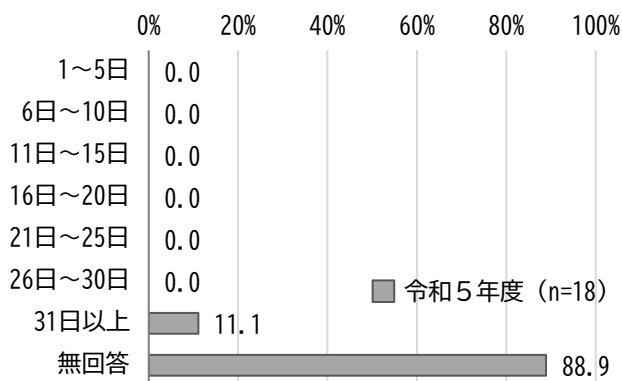
（すべてに○）

ある場合は、その1年間の利用日数（おおよそ）についてもお答えください。（数字を記入）

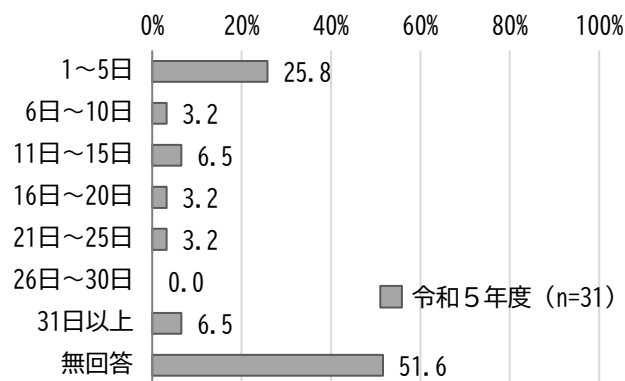
私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不特定に利用している一時預かり等の事業の利用について、「利用していない」の割合が90.5%と最も高く、次いで「幼稚園の預かり保育」の割合が4.7%となっています。



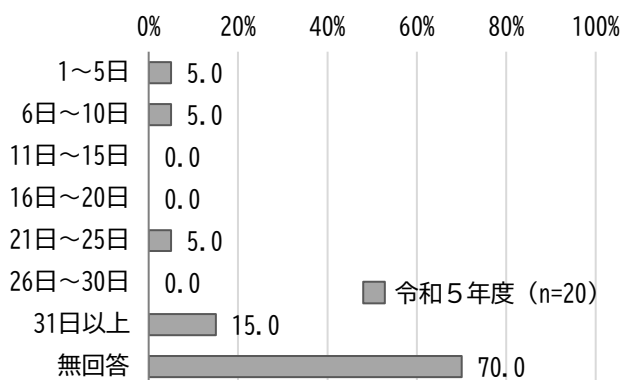
【一時預かり】



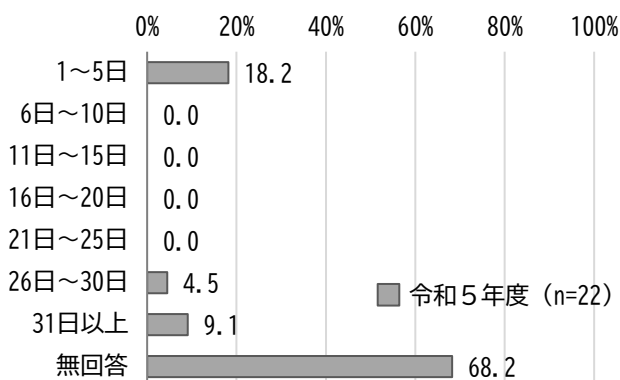
【幼稚園の預かり保育】



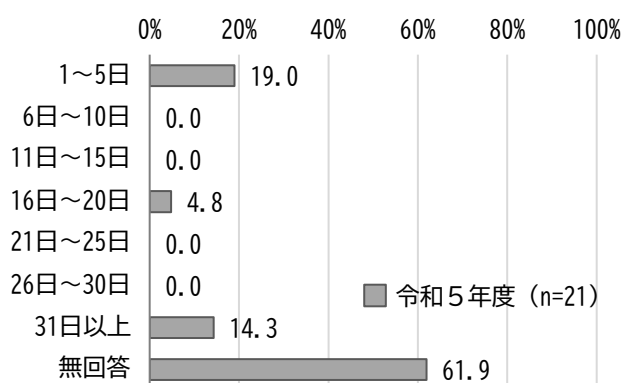
【ファミリー・サポート・センター】



【ベビーシッター】



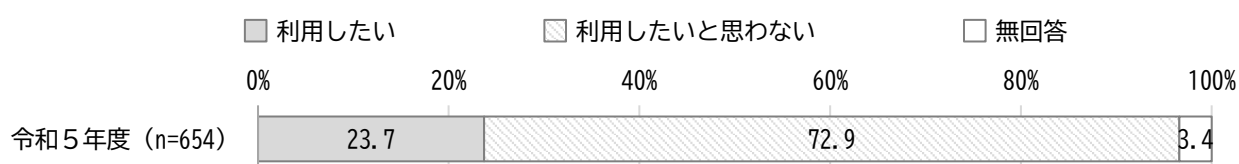
【その他】



【トワイライトステイ】※トワイライトステイの日数の回答は、14件全件が無回答でした。

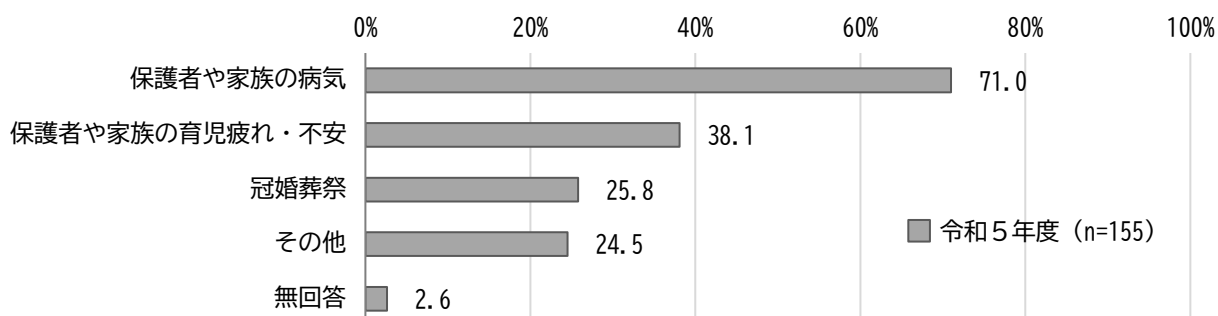
問 15 お子さんについて、今後、私用、親の通院等で、一時預かり等の事業を年間何日くらい利用したいと思えますか。（1つに○） また、利用したいと思う場合は、その目的と（あてはまるものすべてに○）、およその必要な日数についてもお答えください。（数字を記入）

今後、私用、親の通院等で、一時預かり等の事業を年間何日くらい利用したいかについて、「利用したいと思わない」の割合が72.9%となっています。



【利用したいと思う場合の目的】

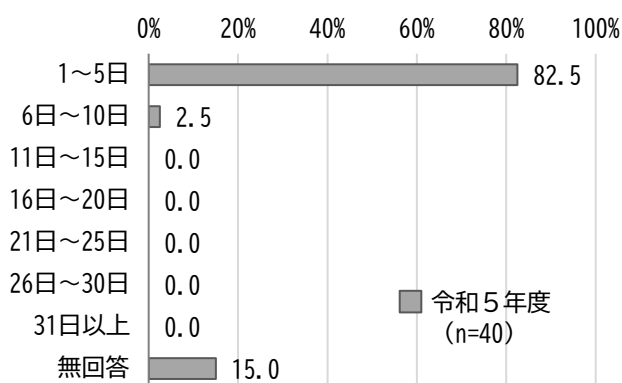
利用したいと思う場合の目的について、「保護者や家族の病気」の割合が71.0%と最も高く、次いで「保護者や家族の育児疲れ・不安」の割合が38.1%となっています。



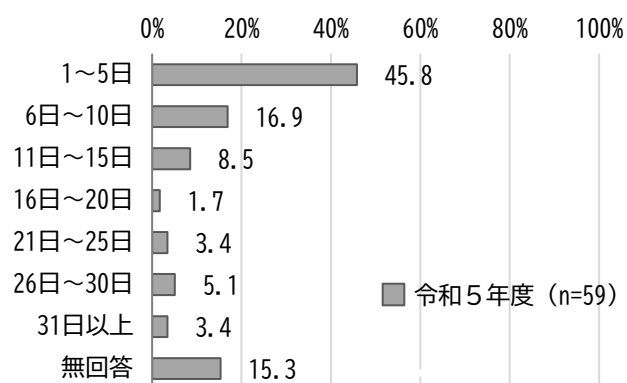
第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

【1年間でおよその必要な日数】

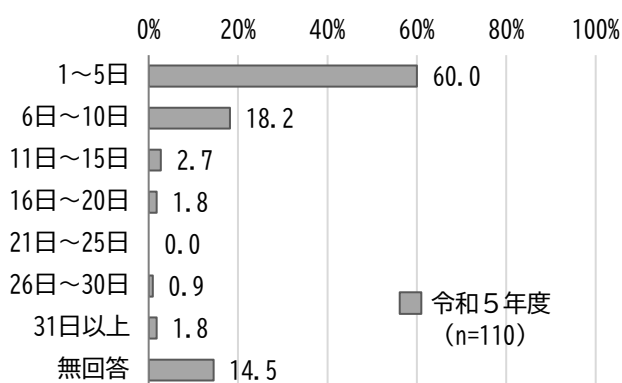
【冠婚葬祭】



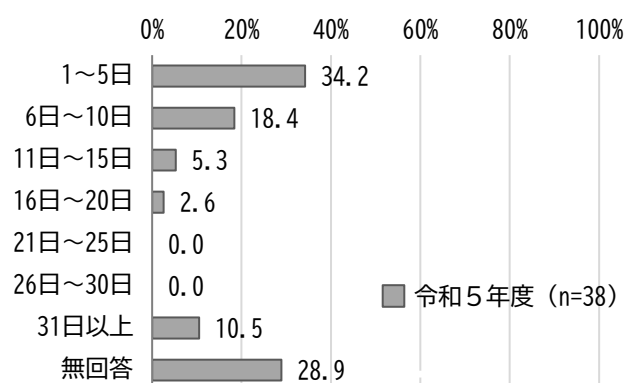
【保護者や家族の育児疲れ・不安】



【保護者や家族の病気】

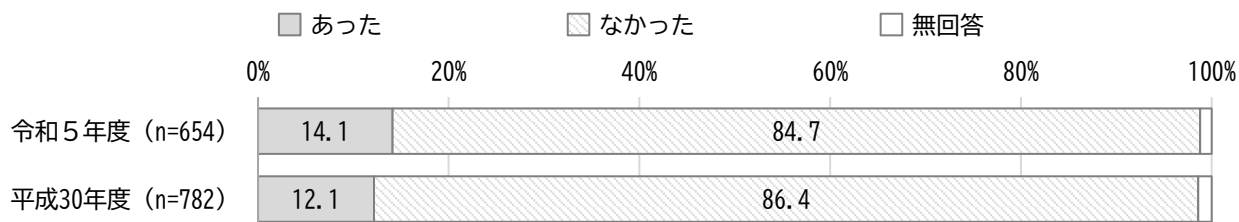


【その他】



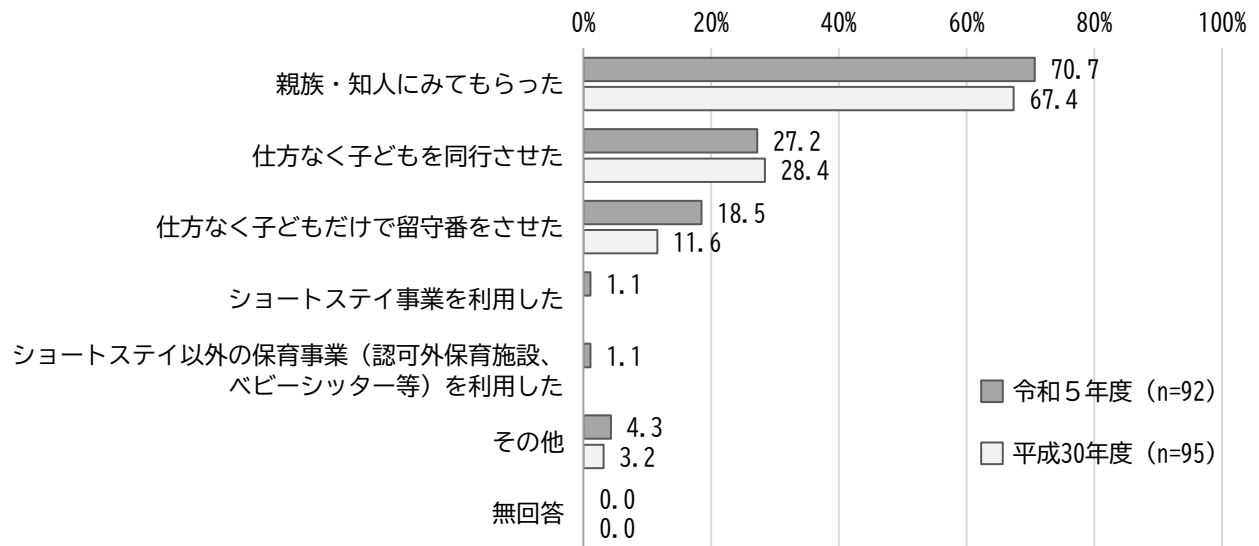
問16 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先がみつからなかった場合も含みます）（1つに○）また、あった場合、この1年間の対処方法と（あてはまるものすべてに○）、およその日数についてもお答えください。（数字を記入）

1年間に、保護者の用事により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはあるかについて、「なかった」の割合が84.7%ととなっています。



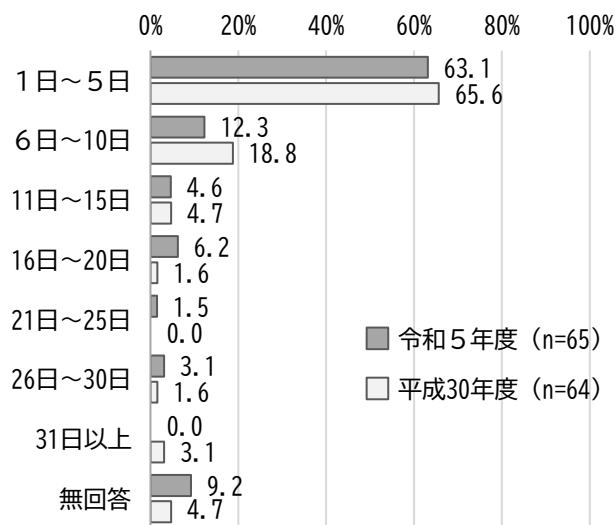
【あった場合、この1年間の対処方法】

あった場合、この1年間の対処方法について、「親族・知人にみてもらった」の割合が70.7%と最も高く、次いで「仕方なく子どもを同行させた」の割合が27.2%となっています。

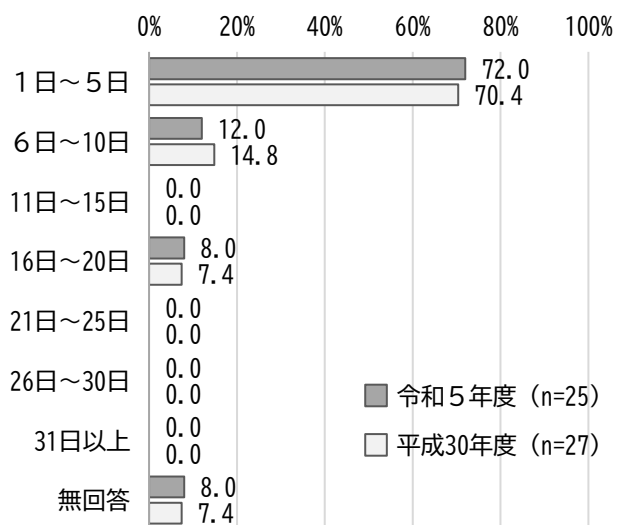


※平成30年度になかった選択肢は、数値を表記していません。

【親族・知人にみてもらった】



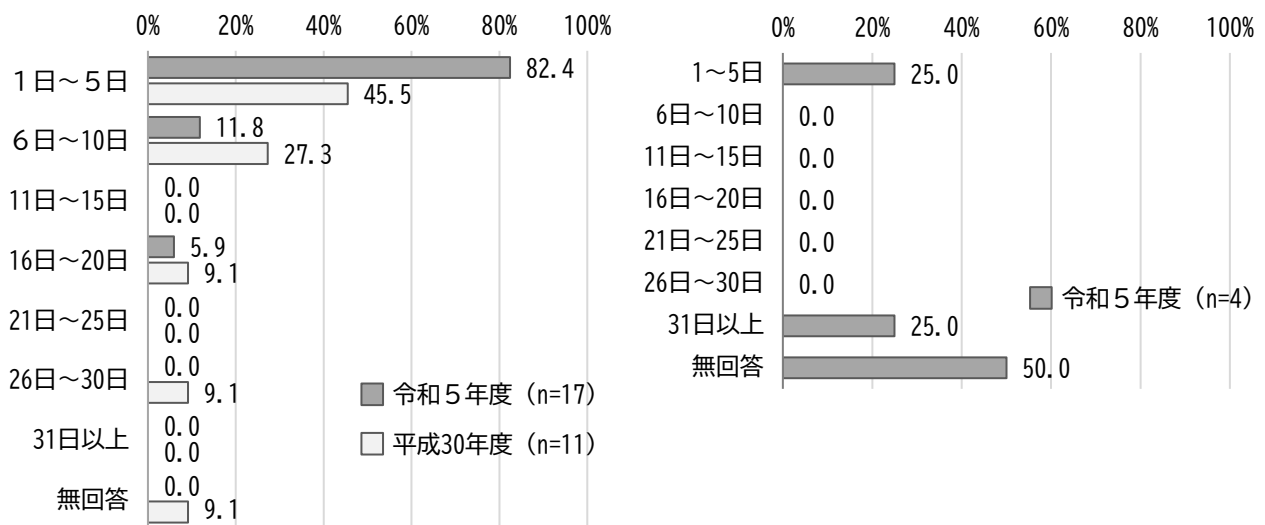
【仕方なく子どもを同行させた】



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

【仕方なく子どもだけで留守番をさせた】

【その他】

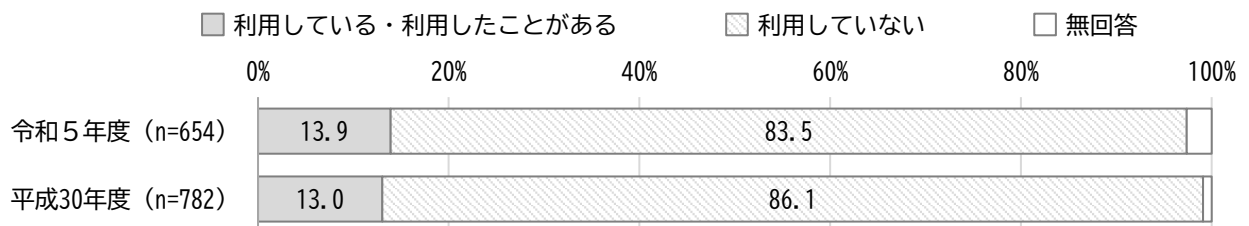


※令和5年度の「ショートステイ事業」「ショートステイ以外の保育事業を利用した」は、日数の回答がありませんでした。
 ※平成30年度の「その他」は、日数の回答がありませんでした。

D. ファミリー・サポート・センターの利用について

問17 ファミリー・サポート・センターを利用していますか、または、過去に利用したことがありますか。
 (1つに○)

ファミリー・サポート・センターの利用率について、「利用していない」の割合が83.5%となっています。

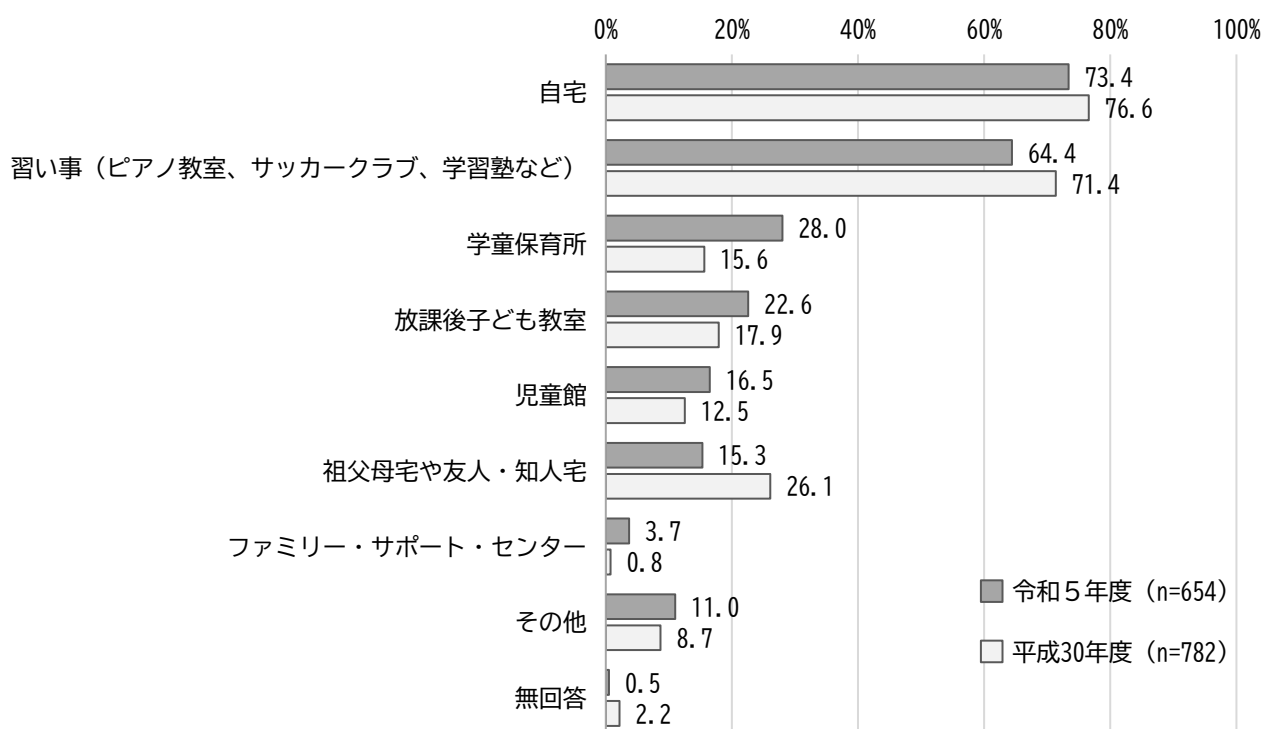


E. お子さんの放課後の過ごし方について

問18 お子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（あてはまる番号すべてに○）

また、それぞれの週当たり日数をお答えください。（数字を記入。「児童館」「学童保育所」の場合には、利用時間を記入。「放課後子ども教室」「学童保育所」については、土曜日利用の有無をお答えください。）

放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしているかについて、「自宅」の割合が73.4%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が64.4%となっています。

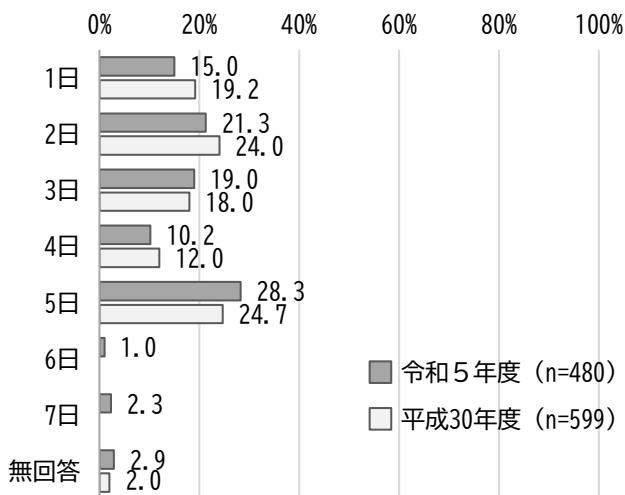


(単位：％)

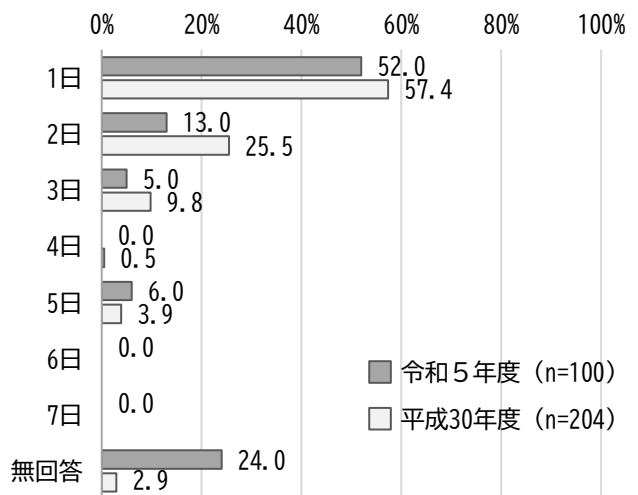
区分	回答者数 (人)	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事	児童館	放課後子ども教室	学童保育所	ファミリー・サポート・センター	その他	無回答
令和5年度	654	73.4	15.3	64.4	16.5	22.6	28.0	3.7	11.0	0.5
小学生・低学年	333	58.0	9.3	52.6	12.0	27.0	48.6	2.7	8.7	0.0
小学生・高学年	308	89.6	21.1	77.6	21.4	16.9	5.8	4.5	14.0	0.6
フル×フルタイム	245	54.3	14.3	53.5	15.1	14.7	52.2	4.1	8.6	0.0
フル×パートタイム	214	80.4	14.5	73.4	16.4	22.9	16.8	1.9	14.0	0.9
専業主婦 (夫)	160	92.5	17.5	71.9	20.0	32.5	8.1	6.3	12.5	0.0

第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

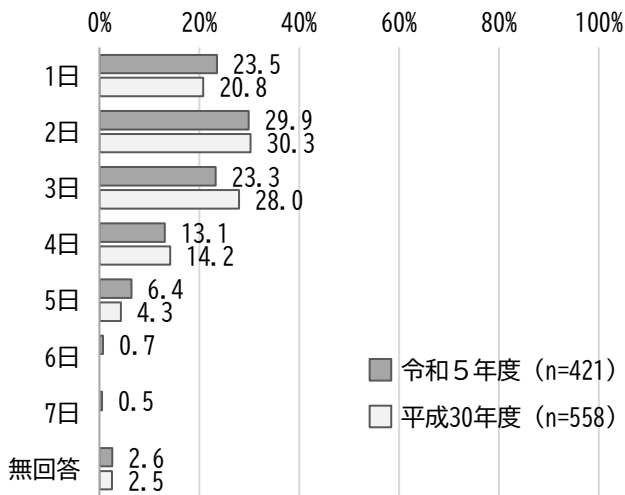
【自宅】



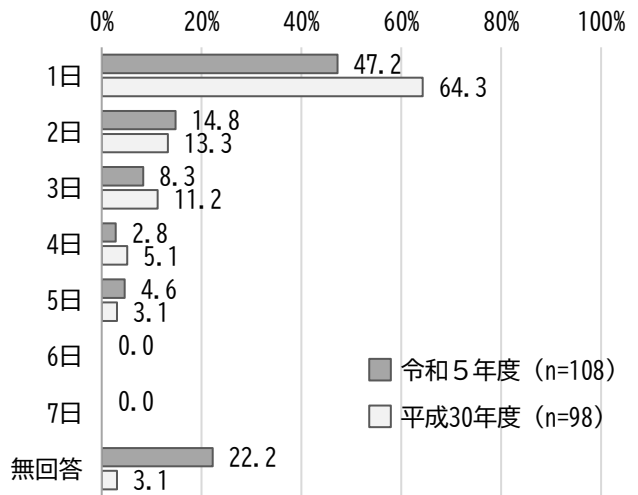
【祖父母宅や友人・知人宅】



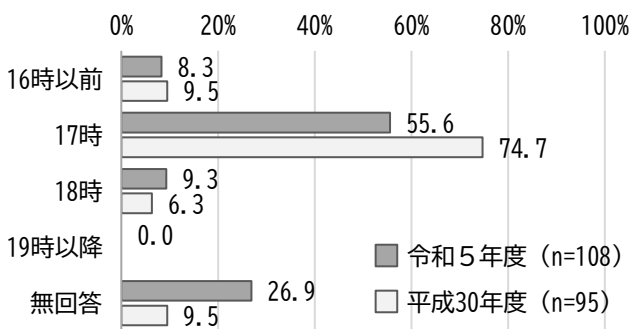
【習い事】



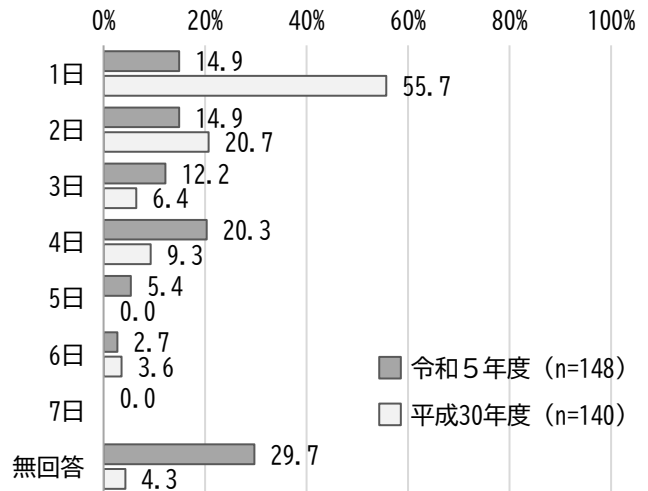
【児童館】



【児童館 時間】

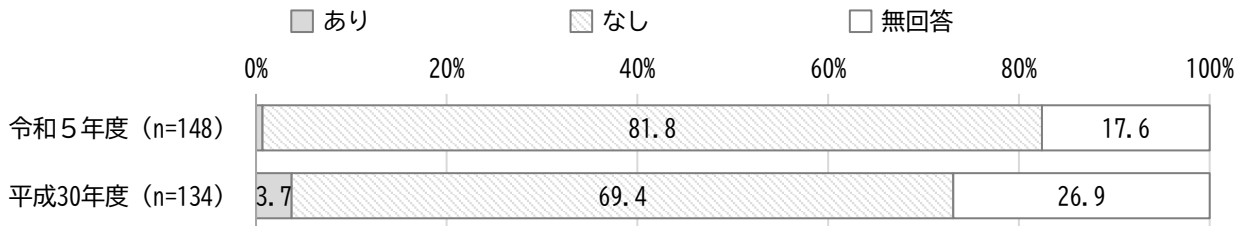


【放課後子ども教室】



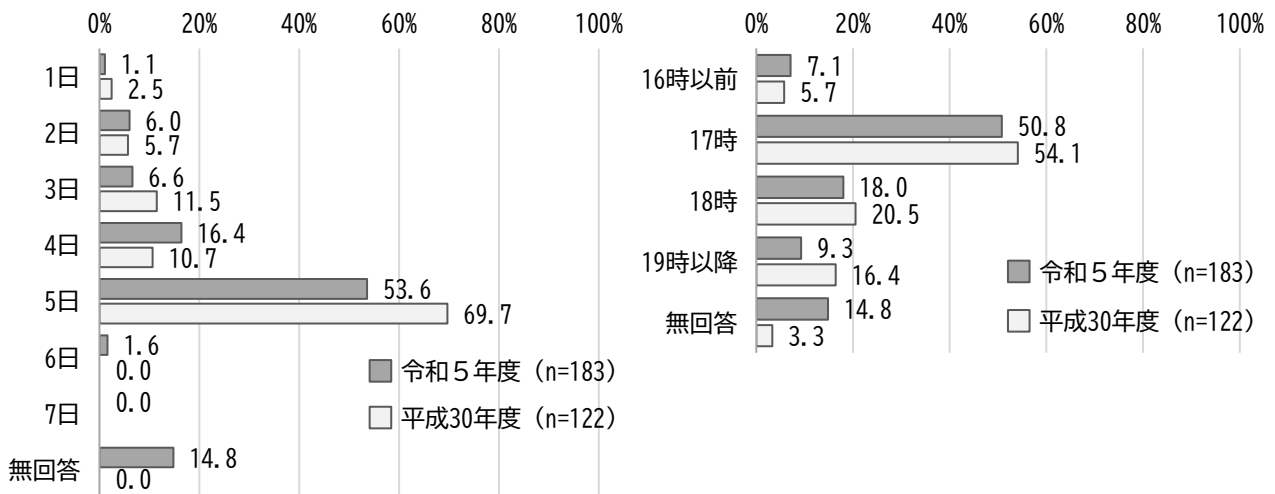
【放課後子ども教室 土曜日の利用の有無】

放課後子ども教室の土曜日の利用の有無について、「なし」の割合が81.8%となっています。



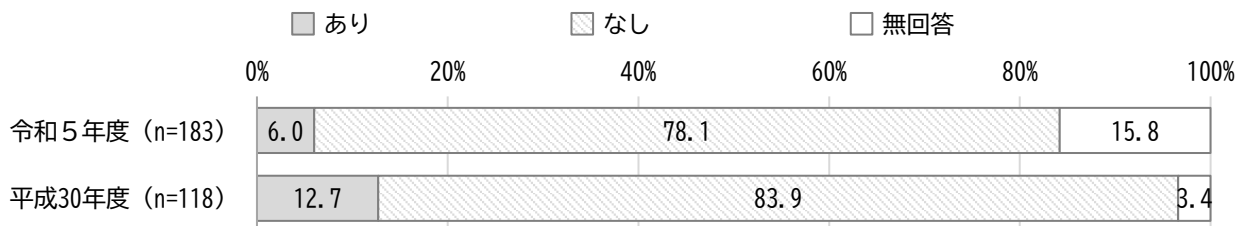
【学童保育所】

【学童保育所 時間】



【学童保育所 土曜日の利用の有無】

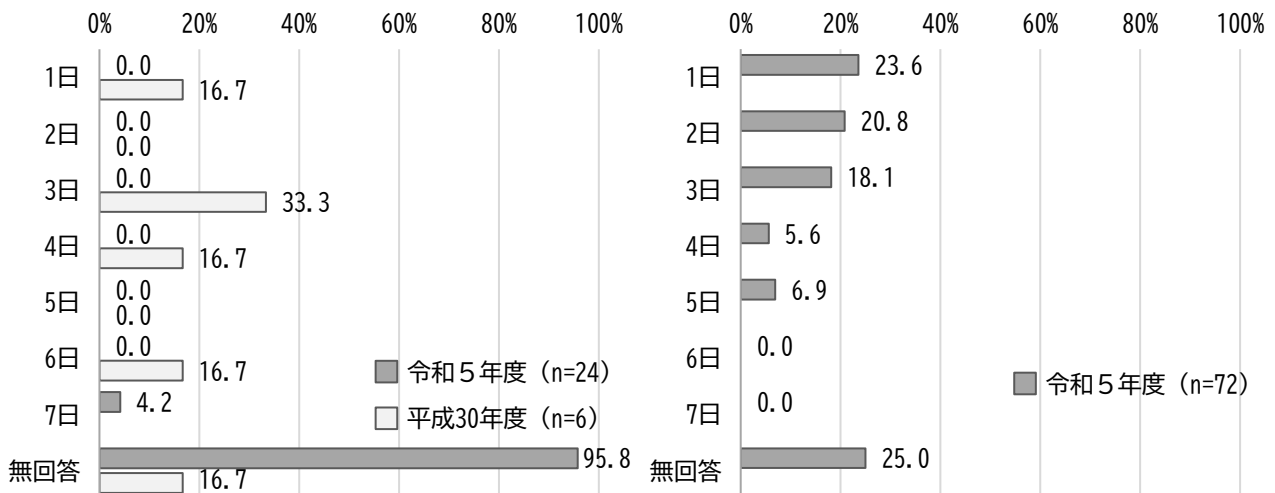
学童保育所の土曜日の利用の有無について、「なし」の割合が78.1%となっています。



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

【ファミリー・サポート・センター】

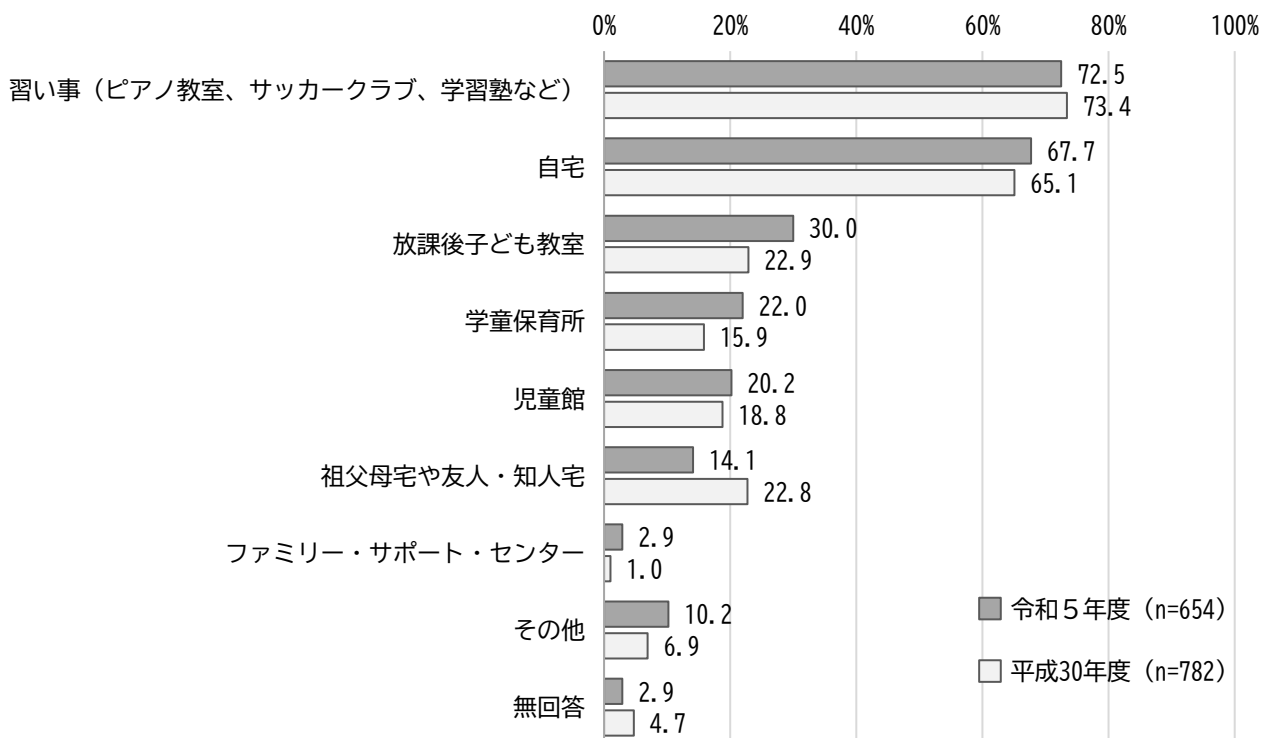
【その他】



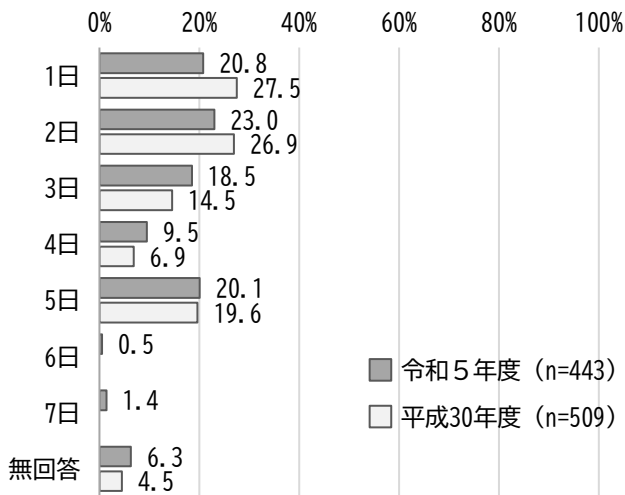
※平成30年度【ファミリー・サポート・センター】の選択肢「6日以上」の数値を、「6日」に表示しています。
 ※平成30年度は、「その他」に日数の回答がありませんでした。

問19 お子さんについて、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまる番号すべてに○）また、それぞれの週あたり日数をお答えください。（数字を記入。「児童館」「学童保育所」の場合には、利用時間を記入。）

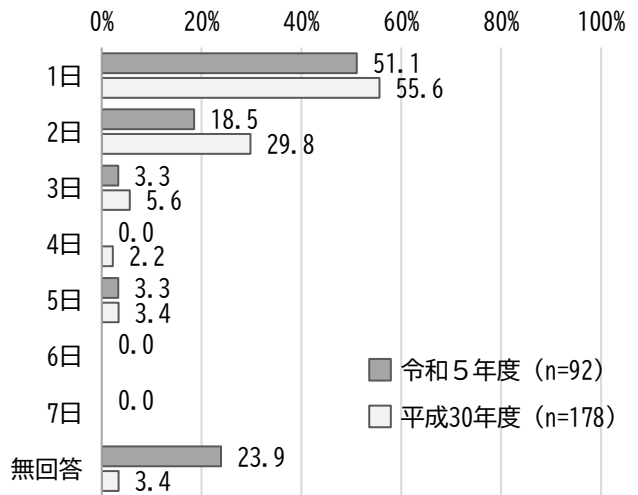
放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいかについて、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」の割合が72.5%と最も高く、次いで「自宅」の割合が67.7%となっています。



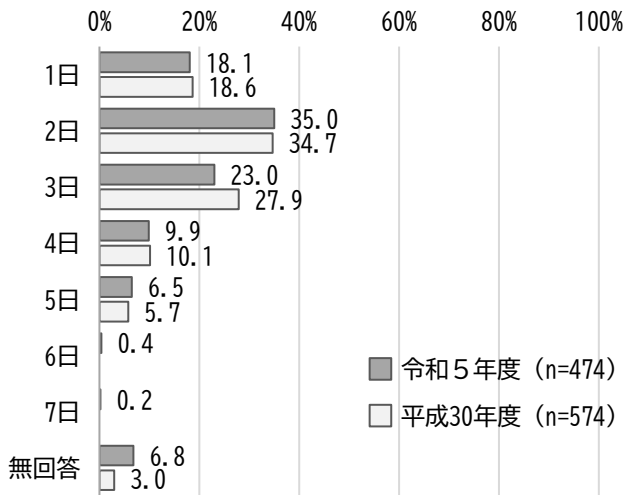
【自宅】



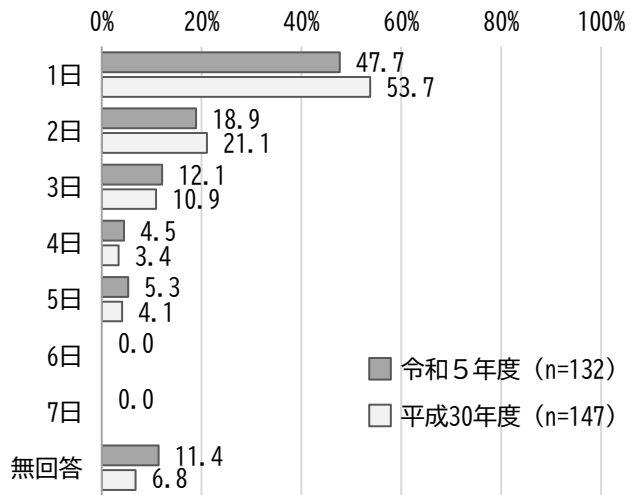
【祖父母宅や友人・知人宅】



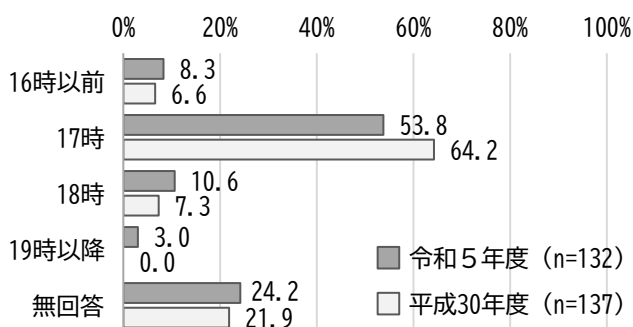
【習い事】



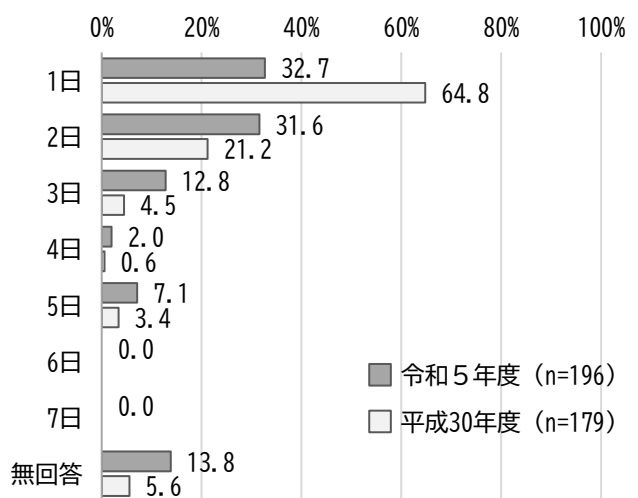
【児童館】



【児童館 時間】

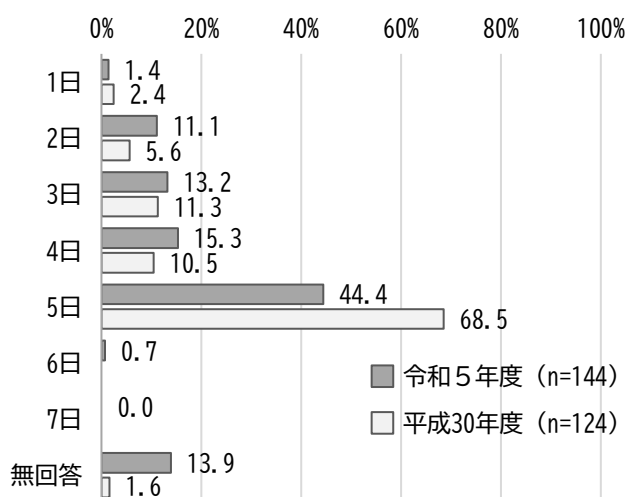


【放課後子ども教室】

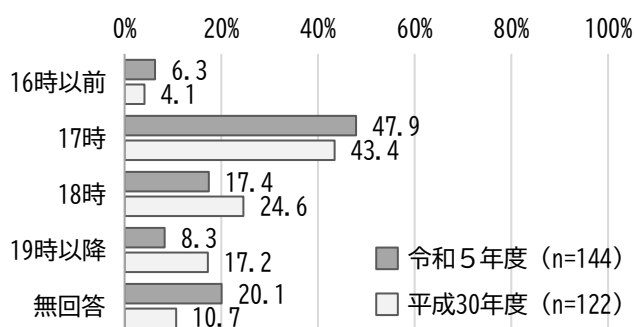


第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

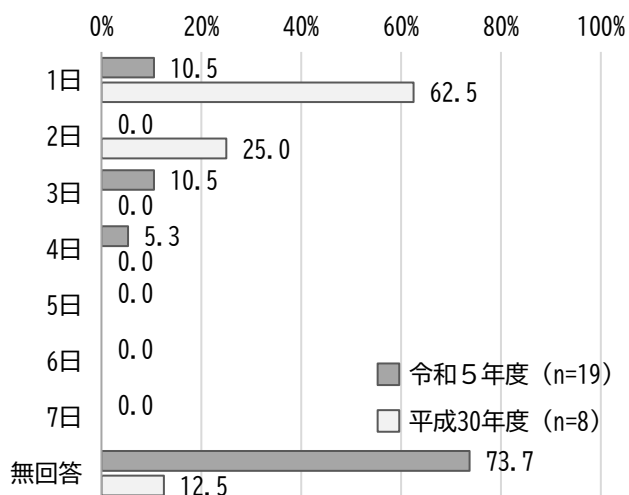
【学童保育所】



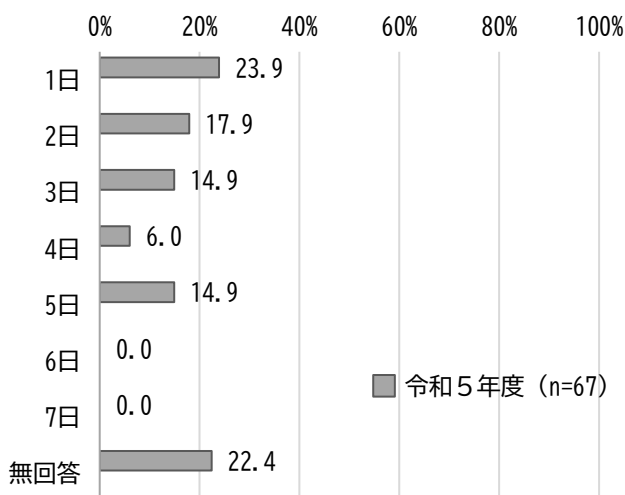
【学童保育所 時間】



【ファミリー・サポート・センター】



【その他】

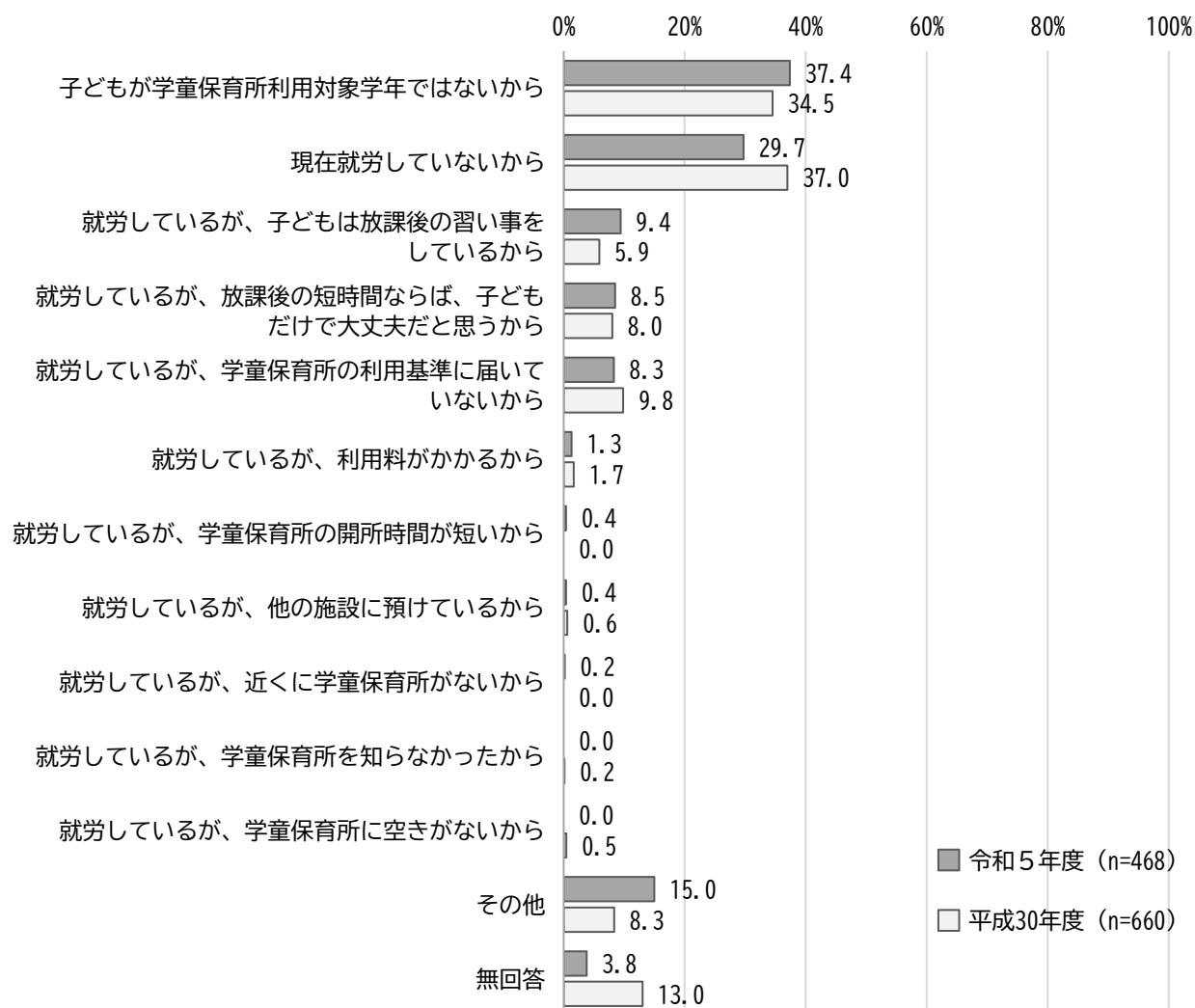


※平成30年度【放課後子ども教室】の選択肢「6日以上」の数値を、「6日」に表示しています。
 ※平成30年度は、「その他」に日数の回答がありませんでした。

学童保育所を利用されていない方

問 20 利用していない理由はどちらですか。（あてはまる番号すべてに○）

利用していない理由について、「子どもが学童保育所利用対象学年ではないから」の割合が37.4%と最も高く、次いで「現在就労していないから」の割合が29.7%となっています。



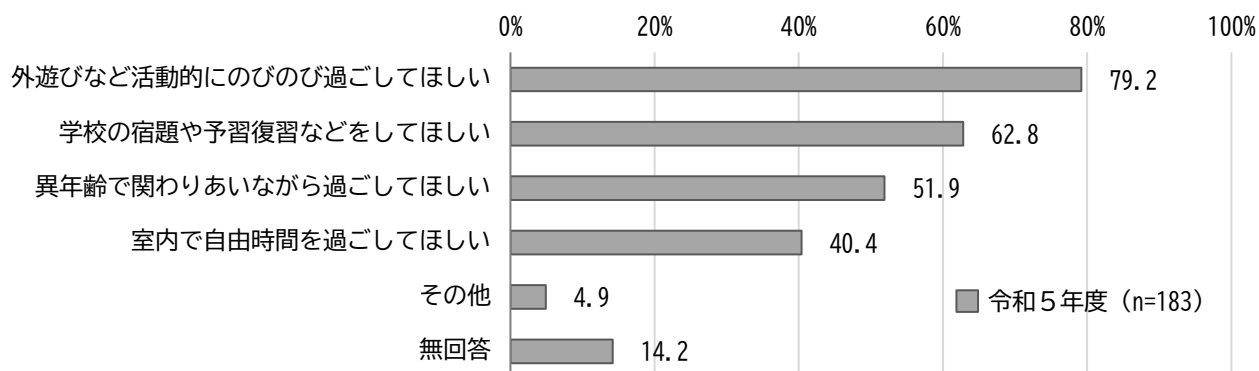
第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

学童保育所を利用されている方

問 21 お子さんについて、学童保育所ではどのように過ごしてほしいですか。

(あてはまる番号すべてに○)

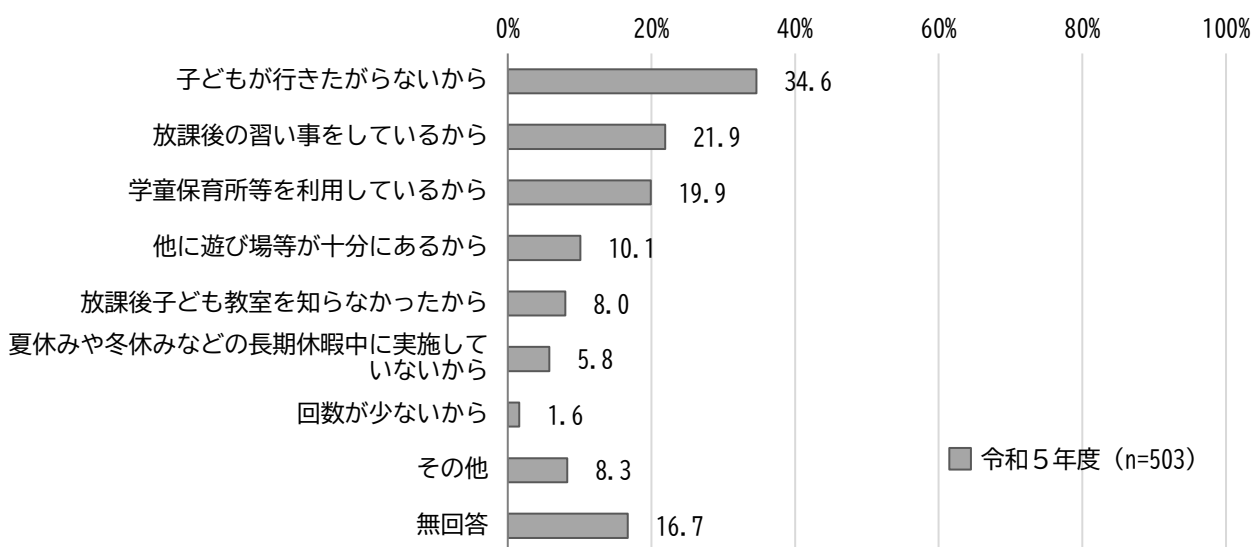
学童保育所でどのように過ごしてほしいかについて、「外遊びなど活動的にのびのび過ごしてほしい」の割合が79.2%と最も高く、次いで「学校の宿題や予習復習などをしてほしい」の割合が62.8%となっています。



放課後子ども教室を利用していない方

問 22 利用していない理由はどちらですか。(あてはまる番号すべてに○)

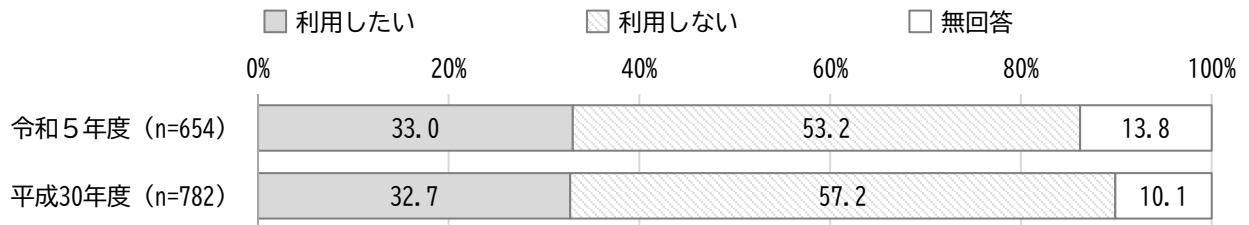
利用していない理由について、「子どもが行きたがらないから」の割合が34.6%と最も高く、次いで「放課後の習い事をしているから」の割合が21.9%となっています。



問23 お子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に「学童保育所」または「放課後子ども教室」の利用希望はありますか。（1つに○）また、利用したい場合は時間帯をお答えください。

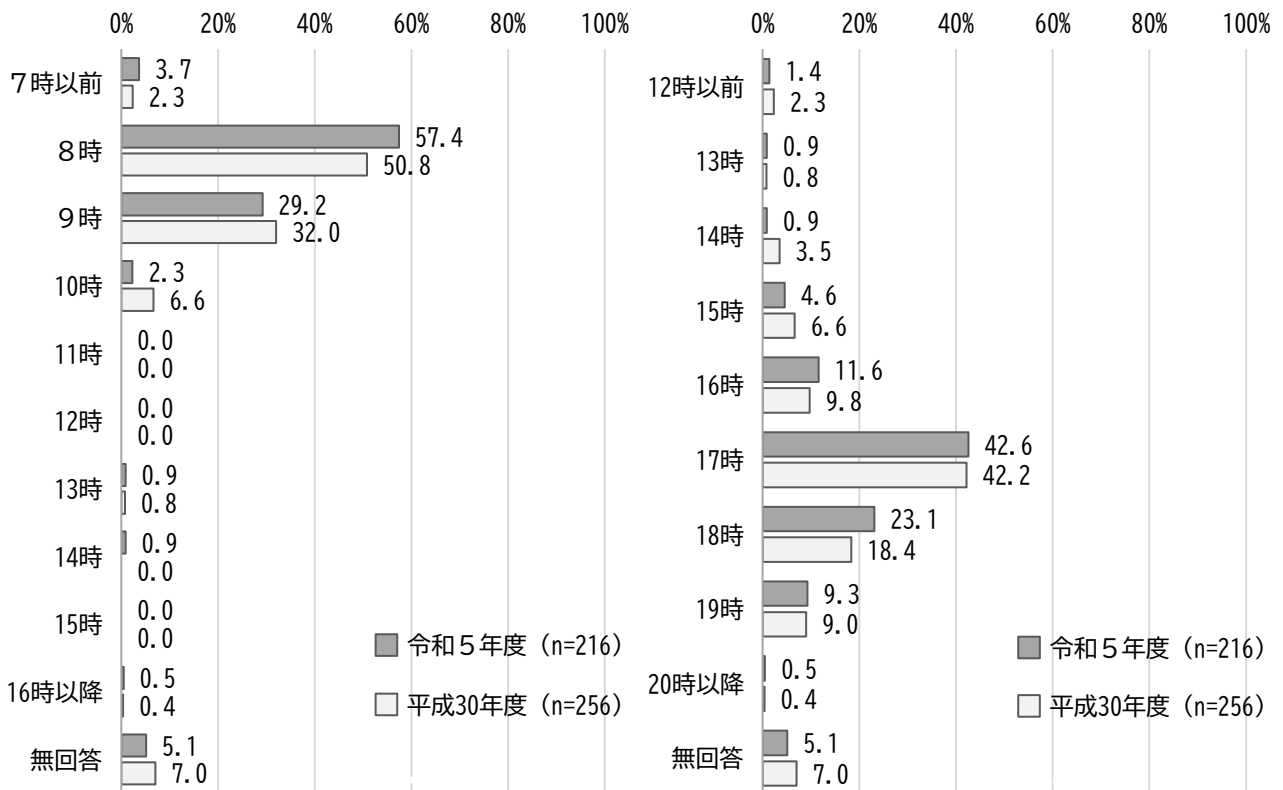
【学童保育所】

学童保育所の利用希望について、「利用しない」の割合が53.2%となっています。



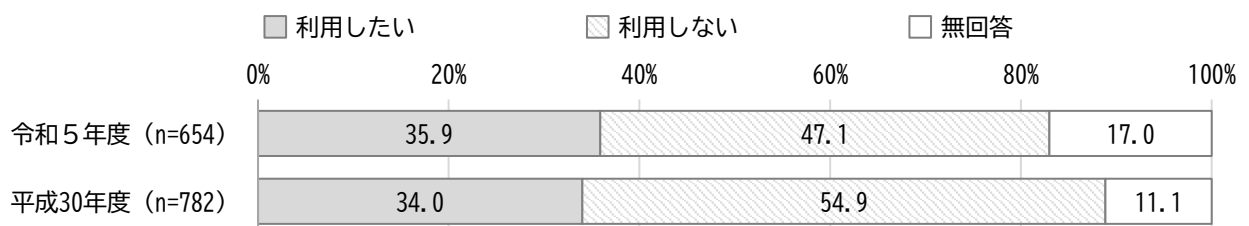
【学童 開始時刻】

【学童 終了時刻】

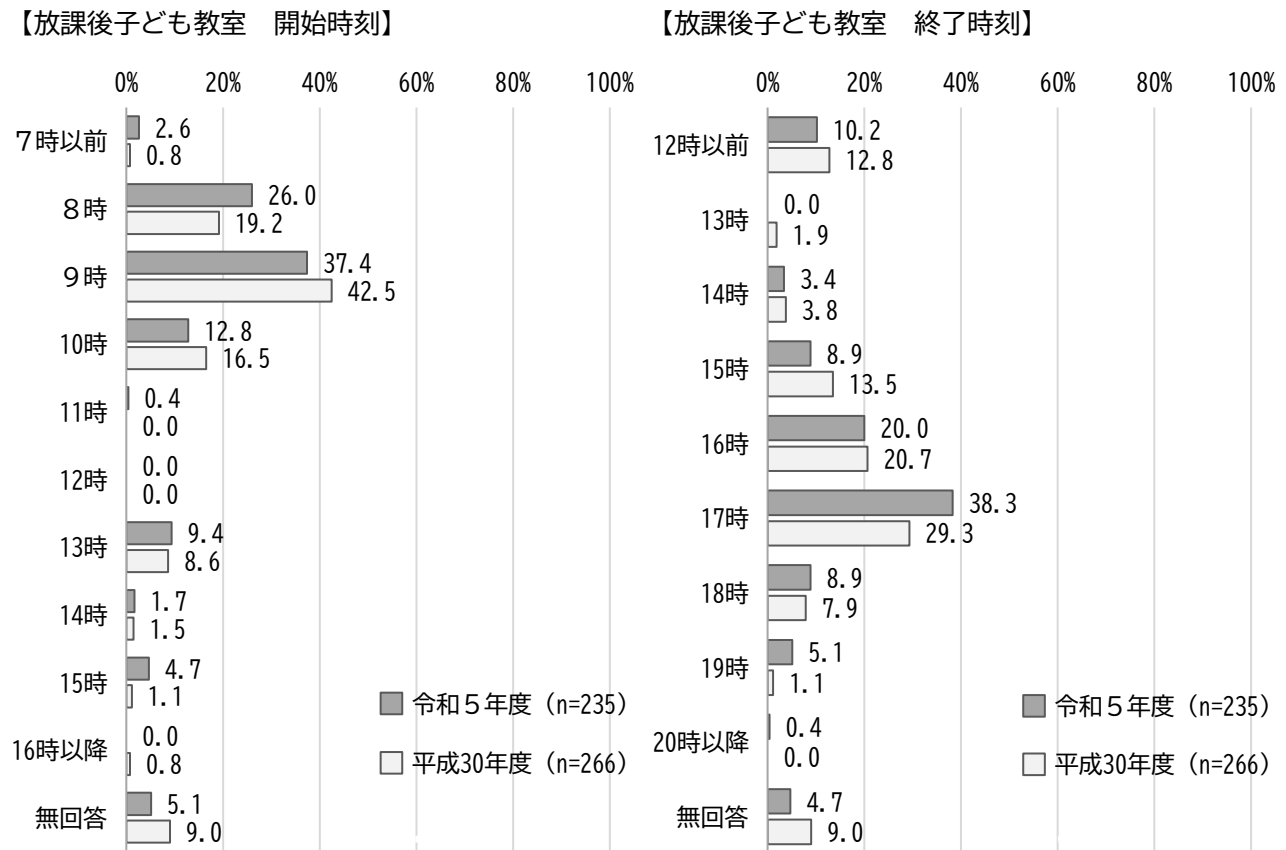


【放課後子ども教室】

放課後子ども教室の利用希望について、「利用しない」の割合が47.1%となっています。



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

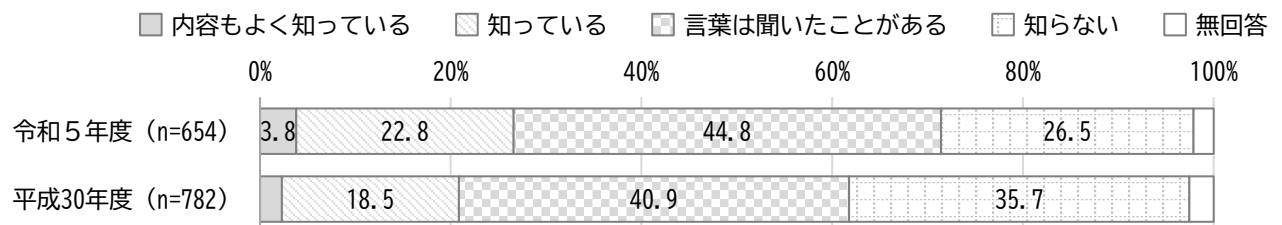


F. 子どもの権利について

問 24 「小金井市子どもの権利に関する条例」および「子どもオンブズパーソン」について、どれくらい知っていますか。(それぞれ1つに○)

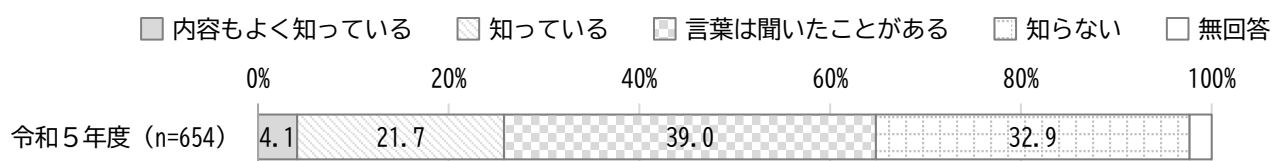
【小金井市子どもの権利に関する条例】

小金井市子どもの権利に関する条例について、「言葉は聞いたことがある」の割合が44.8%と最も高く、次いで「知らない」の割合が26.5%となっています。



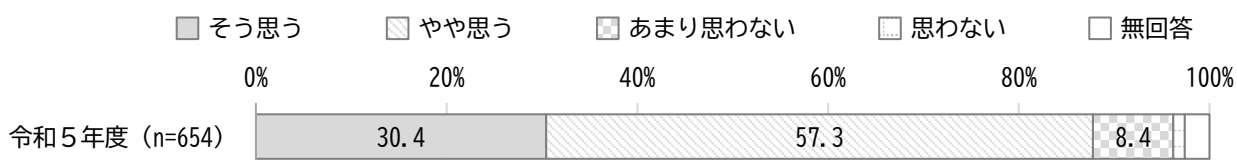
【子どもオンブズパーソン】

子どもオンブズパーソンについて、「言葉は聞いたことがある」の割合が39.0%と最も高く、次いで「知らない」の割合が32.9%となっています。



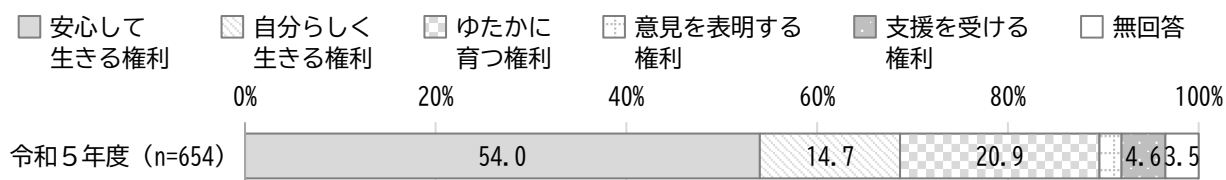
問25 あなたは子どもの権利が守られていると思いますか。（1つに○）

子どもの権利が守られているかについて、「やや思う」の割合が57.3%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が30.4%となっています。



問26 「小金井市子どもの権利に関する条例」で定めた子どもの権利のうち、今後市が最も力をいれるべき権利はどれだと思いますか。（1つに○）

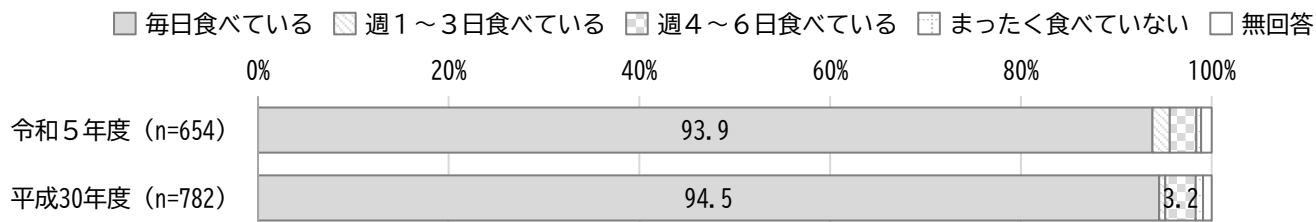
今後市が最も力をいれるべき権利について、「安心して生きる権利」の割合が54.0%と最も高く、次いで「ゆたかに育つ権利」の割合が20.9%となっています。



G. 子育て全般について

問 27 お子さんは、朝食を食べていますか。(1つに○)

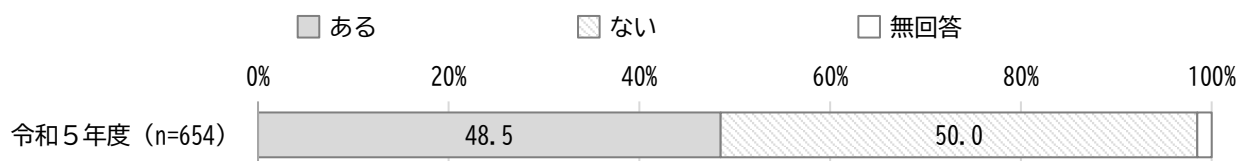
朝食について、「毎日食べている」の割合が93.9%と最も高く、次いで「週4～6日食べている」の割合が2.8%となっています。



※平成30年度は、「週5～6日食べる」2.3%と「週3～4日食べる」0.9%を合計して「週4～6日食べている」3.2%に、「週1～2日食べる」0.6%を「週1～3日食べている」1.6%に表示しています。

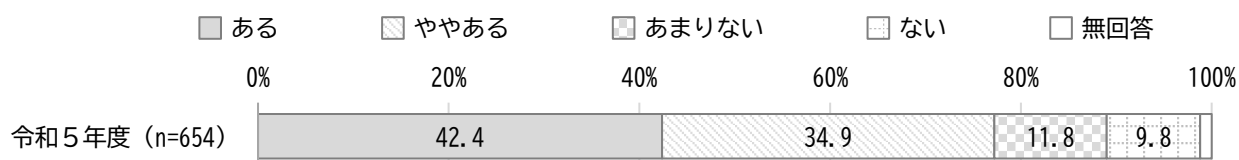
問 28 不登校ではないですが、子どもから「学校に行きたくない」と言われたことはありますか。(1つに○)

子どもから学校に行きたくないと言われたかについて、「ない」の割合が50.0%となっています。



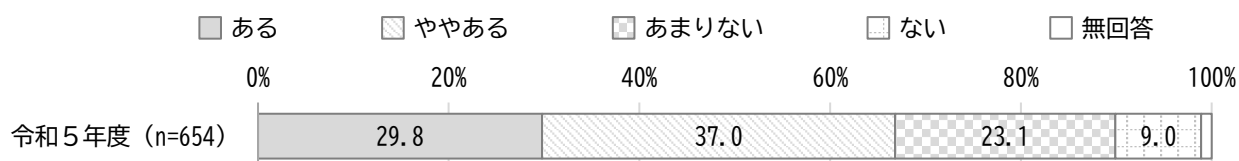
問 29 子育て・教育にかかる費用負担に不安がありますか。(1つに○)

子育て・教育にかかる費用負担に不安があるかについて、「ある」の割合が42.4%と最も高く、次いで「ややある」の割合が34.9%となっています。



問30 今後の暮らしに不安がありますか。（1つに○）

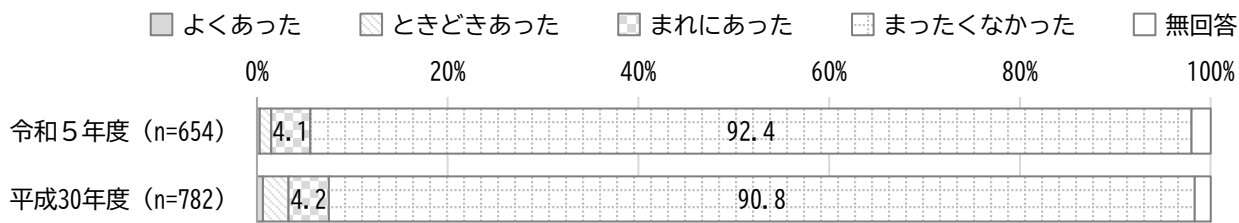
今後の暮らしに不安があるかについて、「ややある」の割合が37.0%と最も高く、次いで「ある」の割合が29.8%となっています。



問31 過去1年間に次のような経験はありましたか。（それぞれ1つに○）

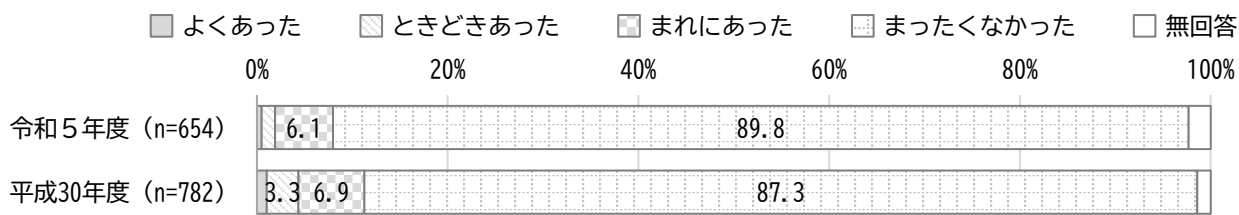
【お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験について、「まったくなかった」の割合が92.4%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が4.1%となっています。



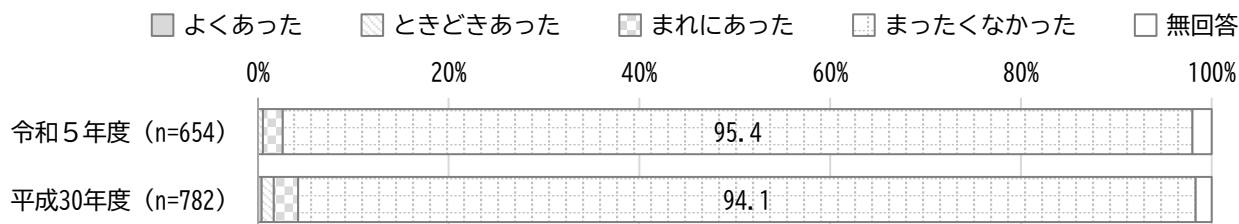
【お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験について、「まったくなかった」の割合が89.8%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が6.1%となっています。



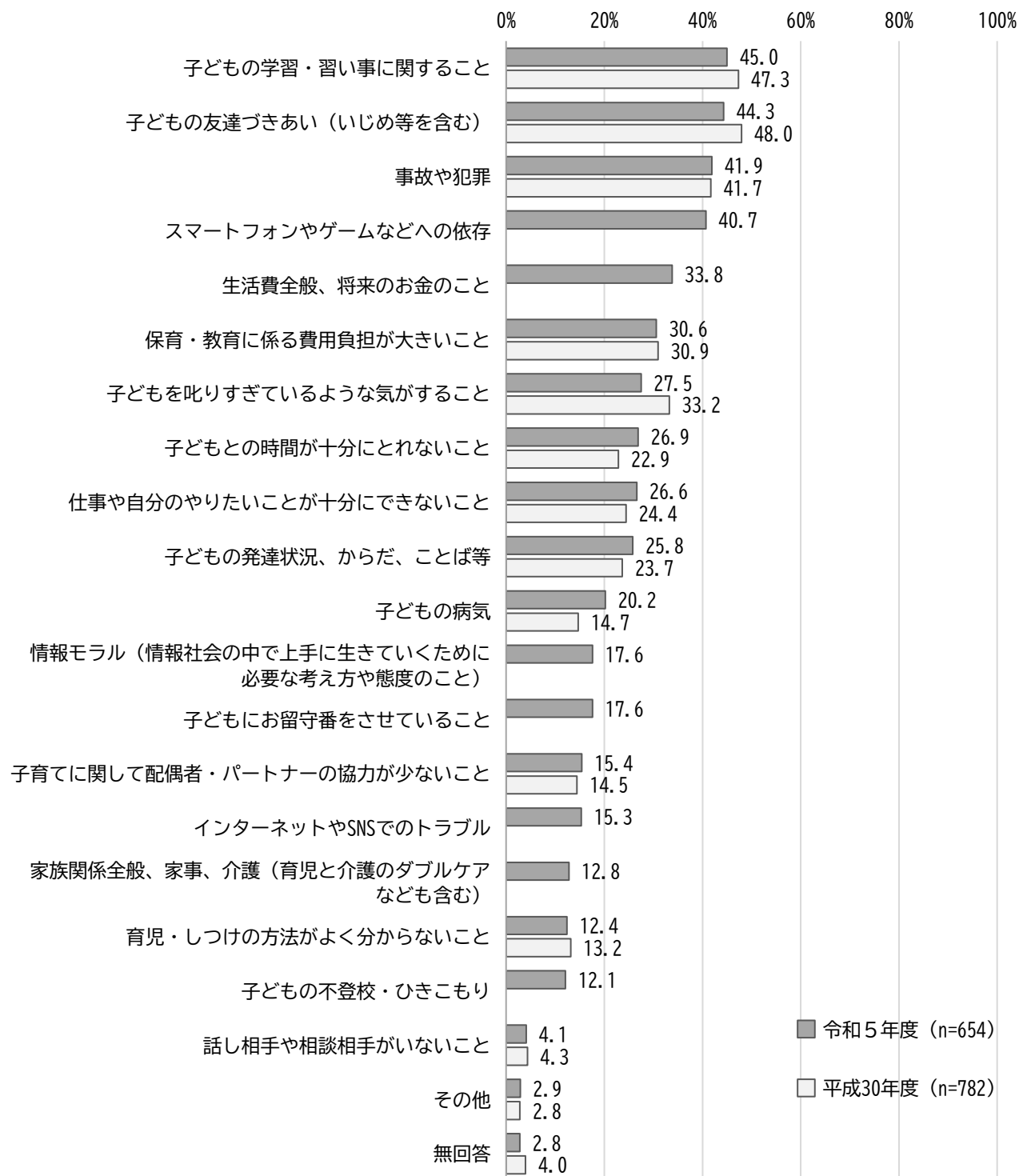
【お金が足りなくて家賃や水道光熱費等を滞納した経験】

お金が足りなくて家賃や水道光熱費等を滞納した経験について、「まったくなかった」の割合が95.4%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が2.1%となっています。



問 32 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(あてはまる番号すべてに○)

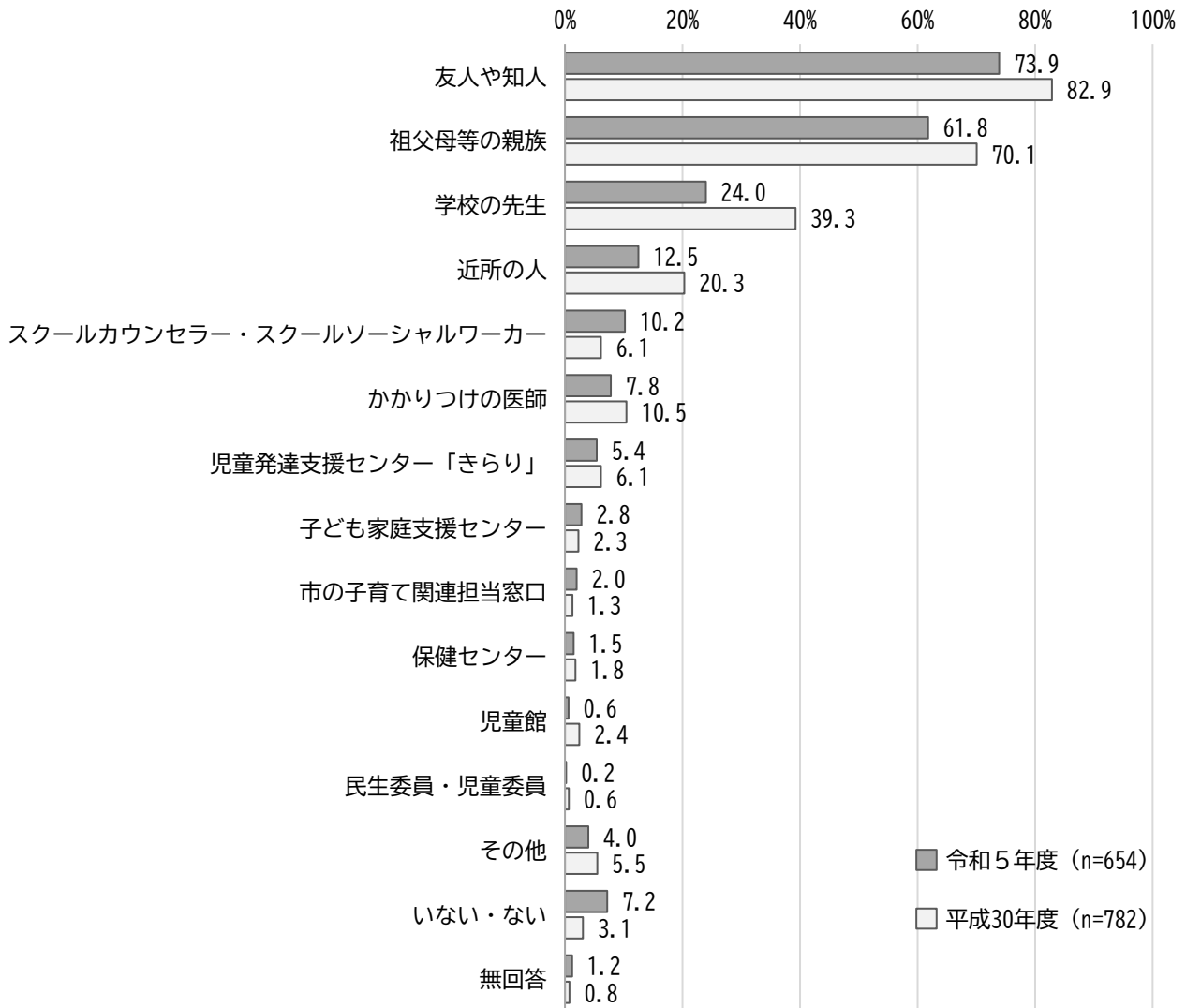
日頃悩んでいること、または気になることについて、「子どもの学習・習い事に関すること」の割合が45.0%と最も高く、次いで「子どもの友達づきあい (いじめ等を含む)」の割合が44.3%となっています。



問33 子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所はありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

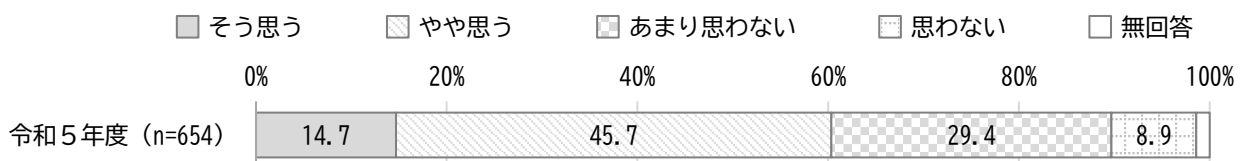
相談できる人や場所について、「友人や知人」の割合が73.9%と最も高く、次いで「祖父母等の親戚」の割合が61.8%となっています。



H. 小金井市の子育て環境や子育て支援施策について

問34 子どもがのびのびと遊べる環境が整備されていると思いますか。（1つに○）

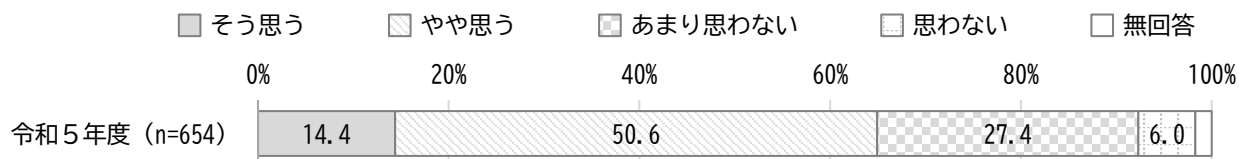
子どもがのびのびと遊べる環境が整備されているかについて、「やや思う」の割合が45.7%と最も高く、次いで「思わない」の割合が29.4%となっています。



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

問 35 子どもが自然、社会、文化、芸術などの様々な体験をしやすいと思いますか。(1つに○)

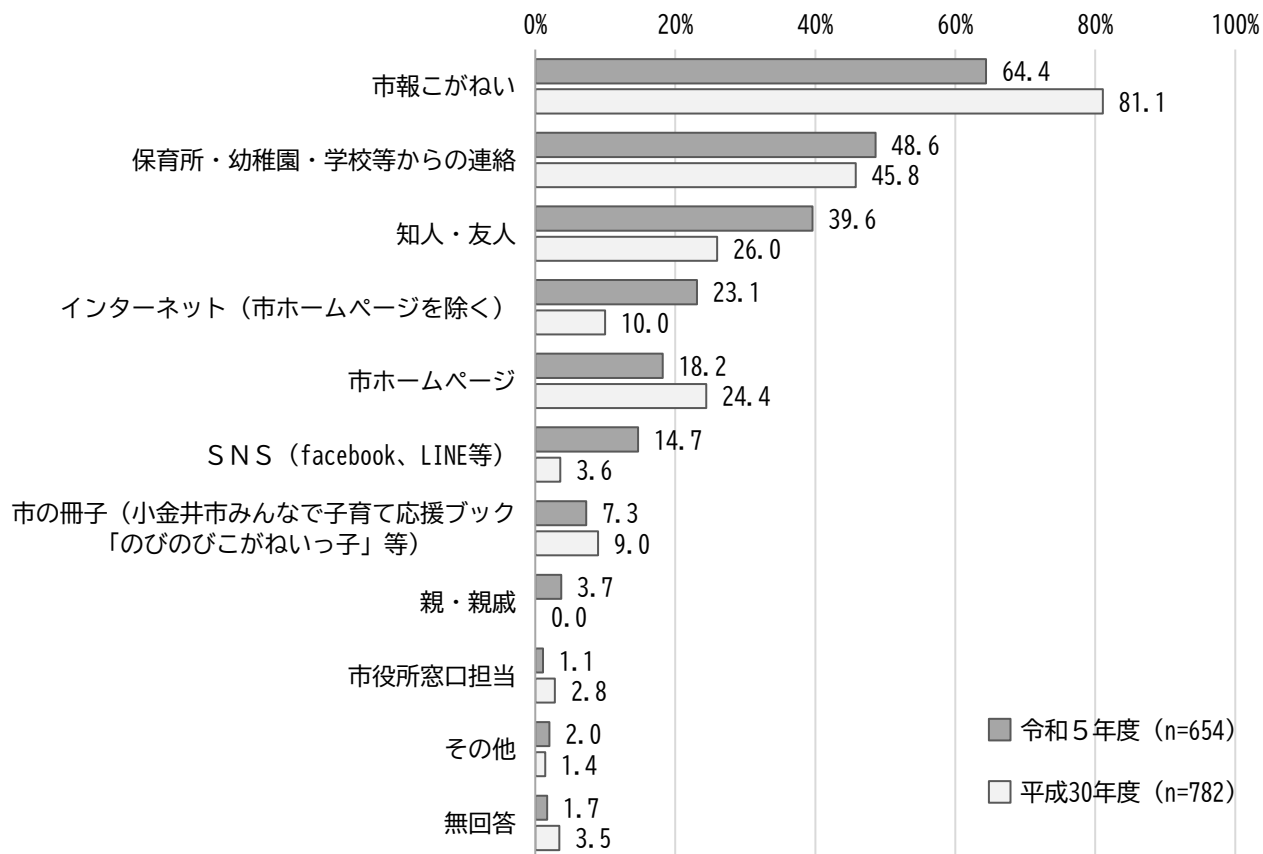
子どもが様々な体験をしやすいかについて、「やや思う」の割合が50.6%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が27.4%となっています。



問 36 小金井市で実施している子育て支援策について、どこから情報収集していますか。

(あてはまる番号すべてに○)

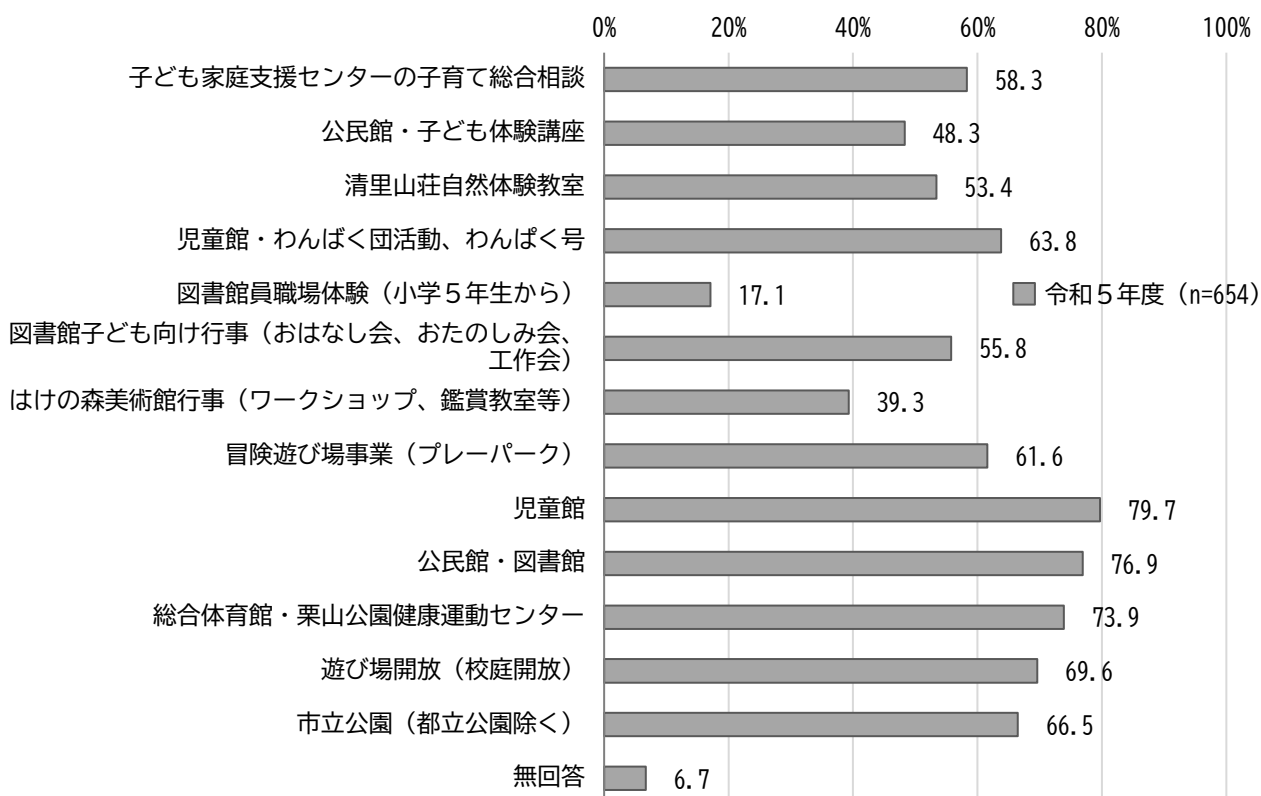
小金井市で実施している子育て支援策の情報収集先について、「市報こがねい」の割合が64.4%と最も高く、次いで「保育所・幼稚園・学校等からの連絡」の割合が48.6%となっています。



問 37 下記のサービスや制度、事業について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。
 また、利用したことがある場合は、満足したか、今後も利用したいかお答えください。
 (それぞれ1つに○)

【知っている】

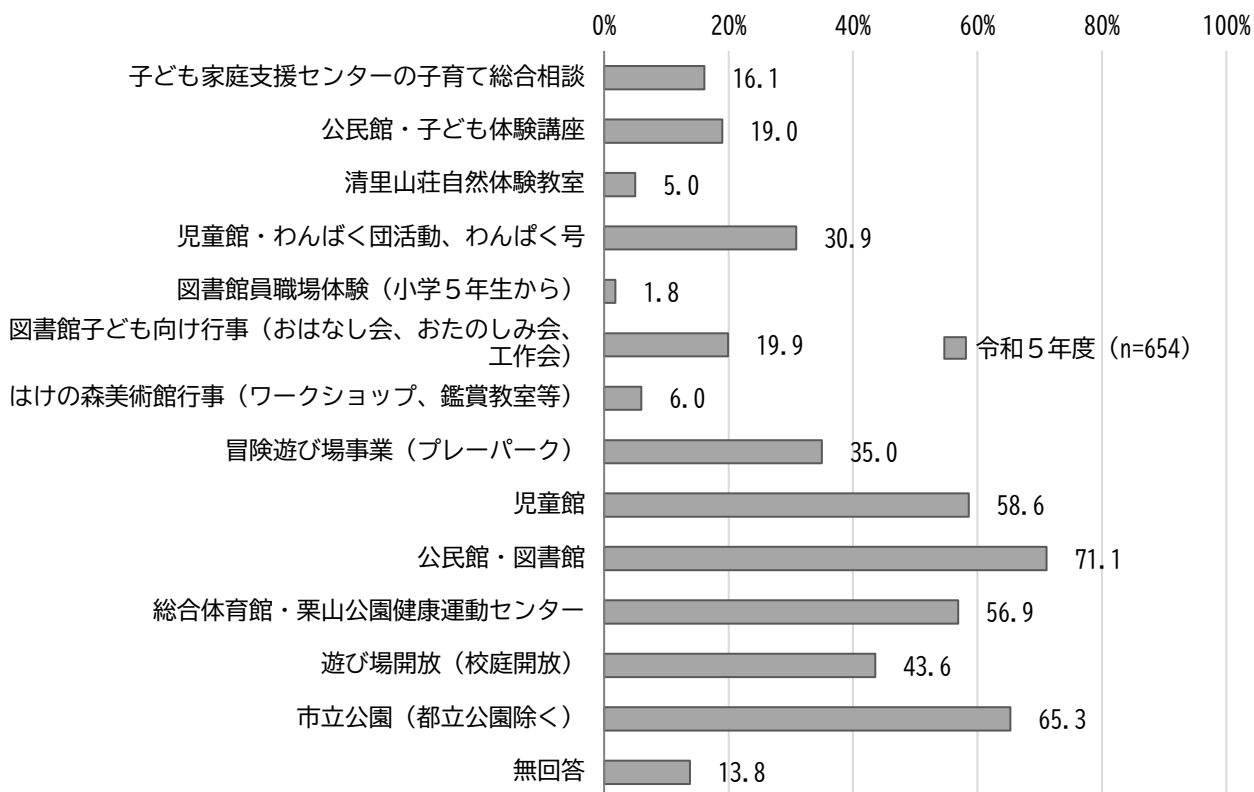
サービスや制度、事業を知っているかについて、「児童館」の割合が79.7%と最も高く、次いで「公民館・図書館」の割合が76.9%となっています。



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

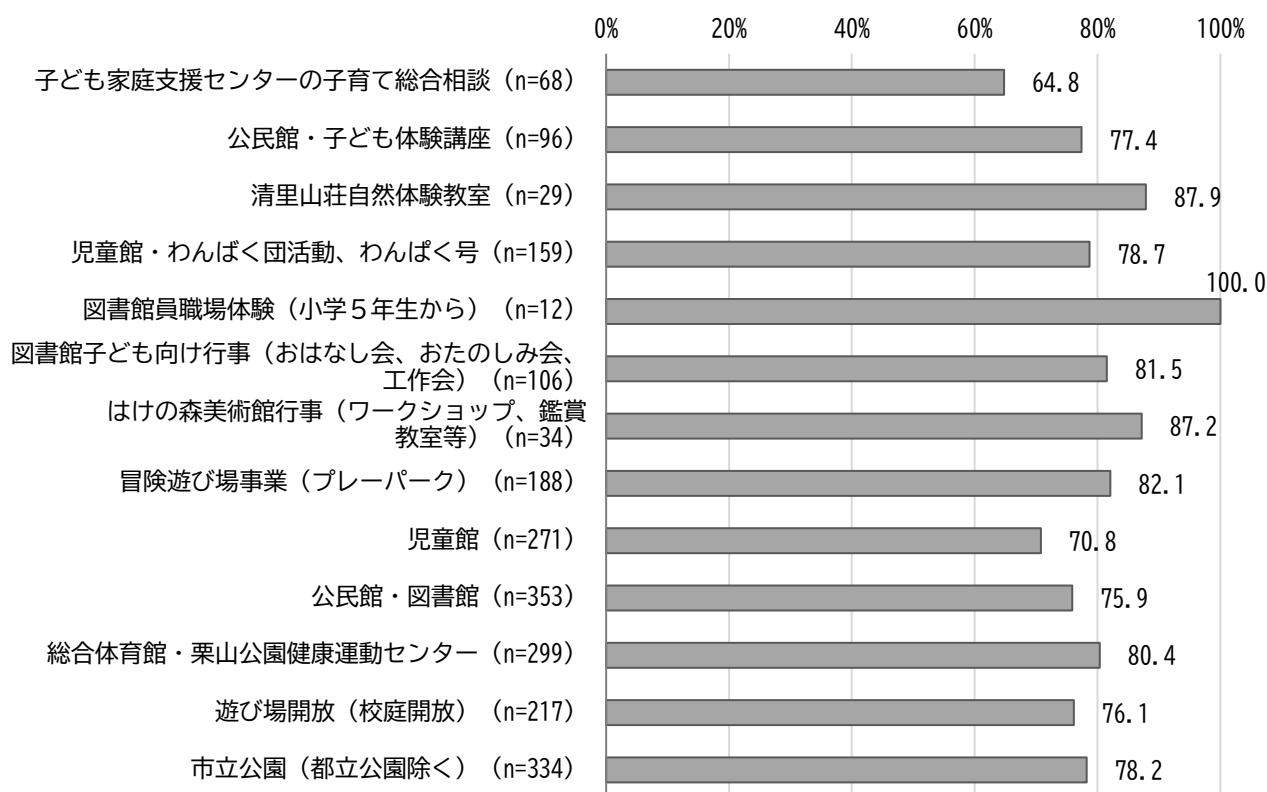
【これまでに利用したことがある】

サービスや制度、事業を利用したことがあるかについて、「公民館・図書館」の割合が71.1%と最も高く、次いで「市立公園（都立公園除く）」の割合が65.3%となっています。



【利用したことがある場合、満足したか】

サービスや制度、事業に満足したかについて、「冒険遊び場事業（プレーパーク）」の割合が82.1%と最も高く、次いで「図書館子ども向け行事（おはなし会、おたのしみ会、工作会）」の割合が81.5%となっています。

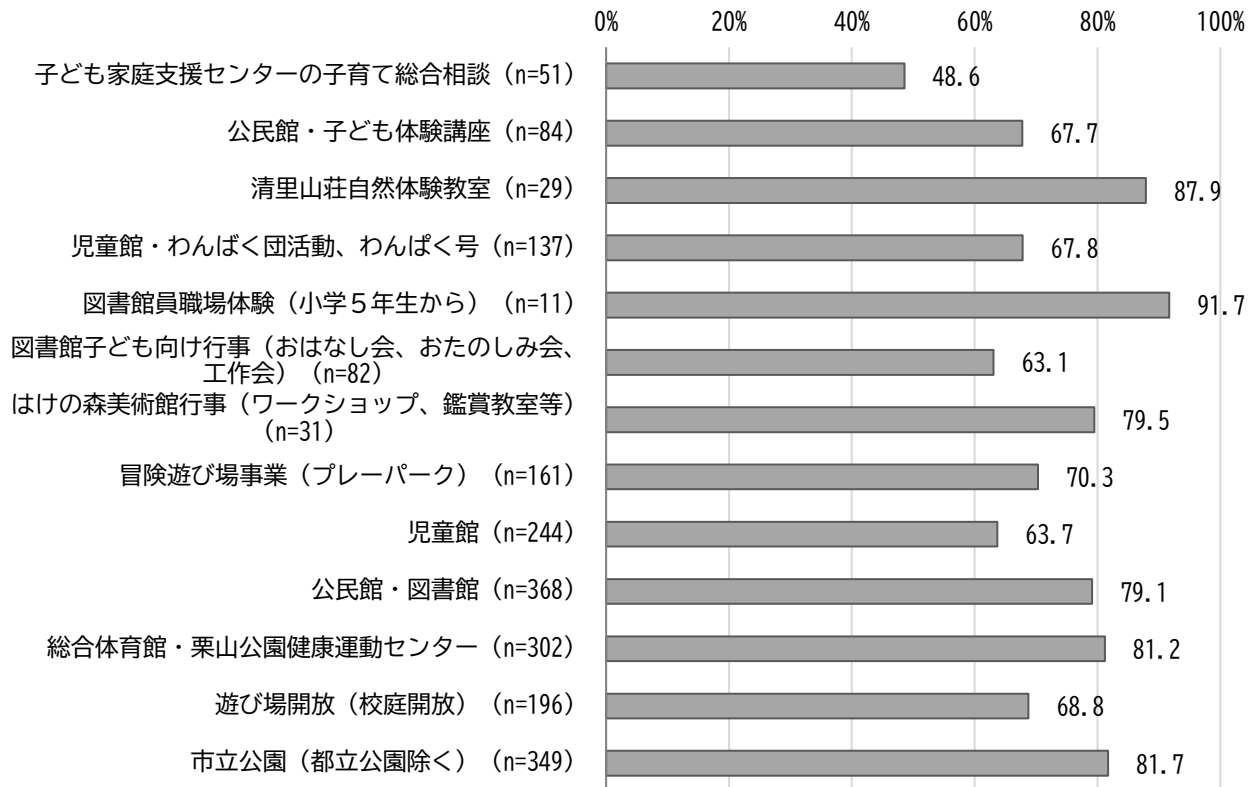


※nが小さいため、「清里山荘自然体験教室」「図書館員職場体験 (小学5年生から)」「はけの森美術館行事 (ワークショップ、鑑賞教室等)」は分析に含めていません。

第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

【今後も利用したいか】

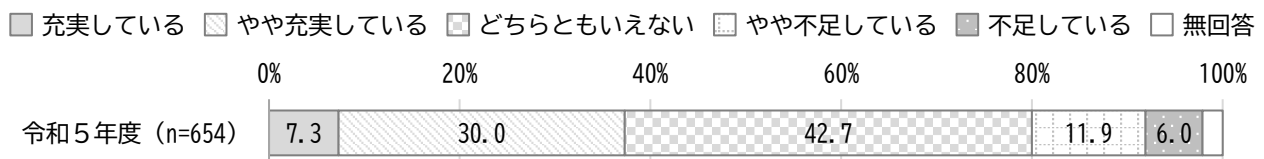
今後も利用したいかについて、「市立公園（都立公園除く）」の割合が81.7%と最も高く、次いで「総合体育館・栗山公園健康運動センター」の割合が81.2%となっています。



※nが小さいため、「清里山荘自然体験教室」「図書館員職場体験 (小学5年生から)」「はけの森美術館行事 (ワークショップ、鑑賞教室等)」は分析に含めていません。

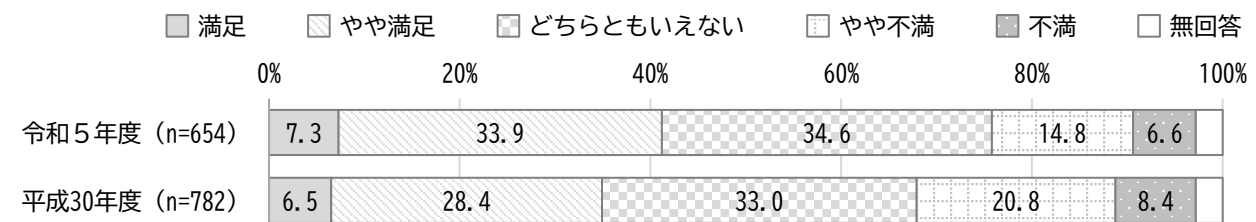
問 38 地域での子育て支援活動が充実していると思いますか。(1つに○)

地域での子育て支援活動が充実について、「どちらともいえない」の割合が42.7%と最も高く、次いで「やや充実している」の割合が30.0%となっています。



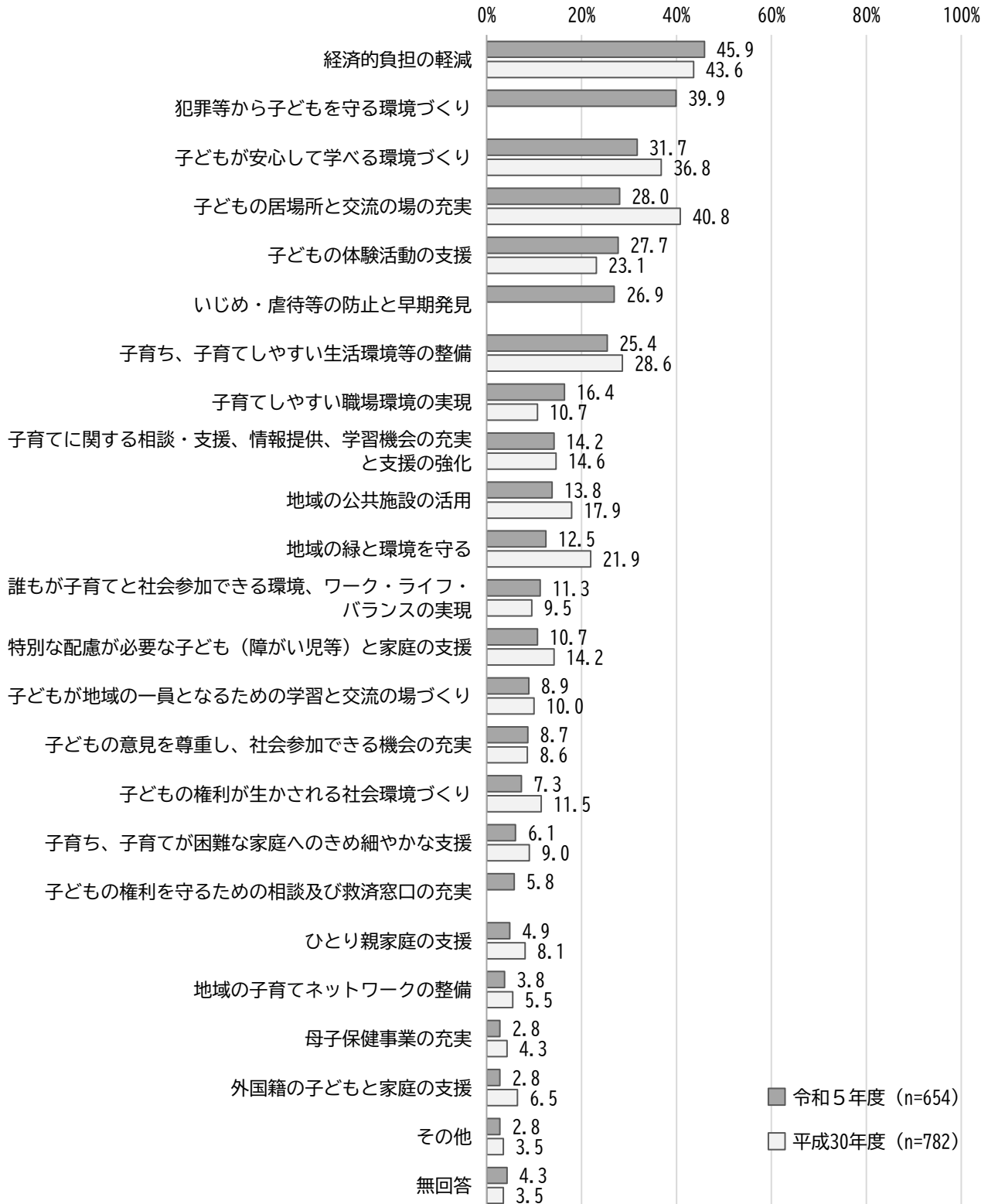
問 39 小金井市の子育ての環境や支援への満足度についてお答えください (1つに○)

子育ての環境や支援への満足度について、「どちらともいえない」の割合が34.6%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が33.9%となっています。



問40 子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことはありますか。
（3つまでに○）

地域で充実してほしいことについて、「経済的負担の軽減」の割合が45.9%と最も高く、次いで「犯罪等から子どもを守る環境づくり」の割合が39.9%となっています。



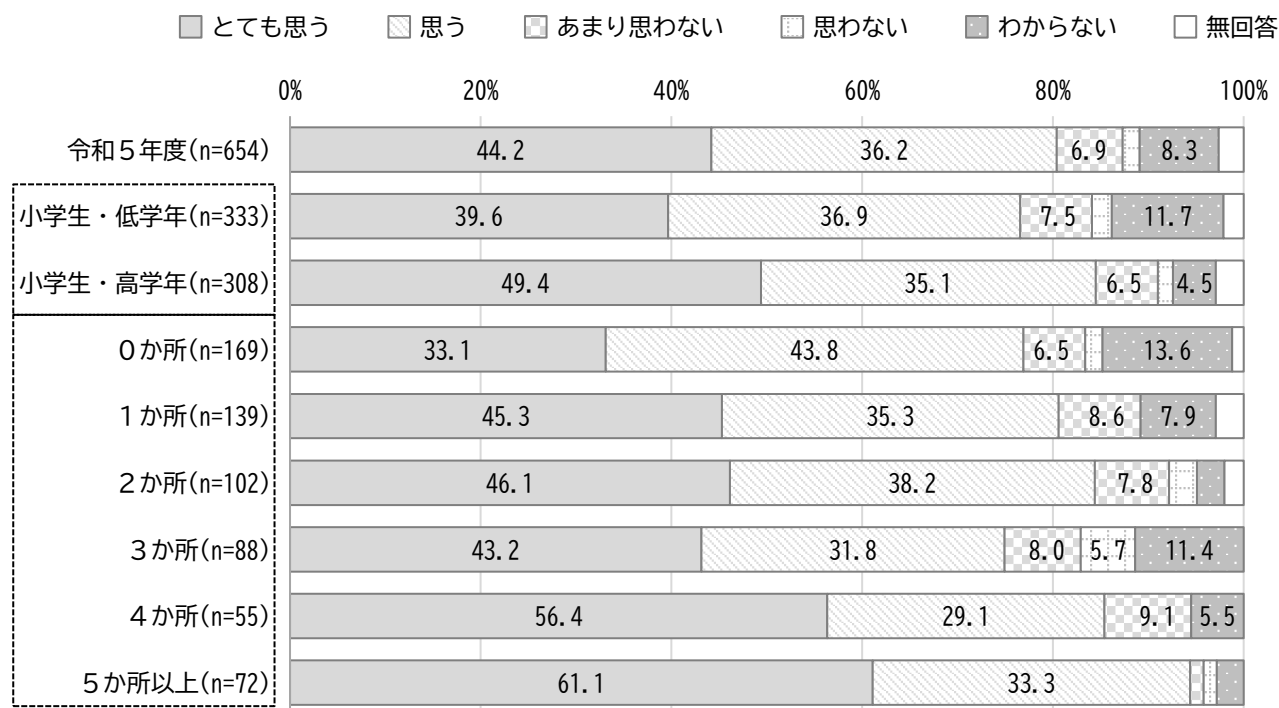
※平成30年度は「子どもの権利を尊重する社会環境づくりを進める」11.5%を「子どもの権利が活かされる社会環境づくり」に、「子どもの社会参加を推進し、意見の表明など子どもの自己実現を応援する」8.6%を「子どもの意見を尊重し、社会参加できる機会の充実」に、「自立を育む体験活動を応援する」23.1%を「子どもの体験活動の支援」に、それぞれ表示しています。

小金井市 子ども子育てアンケート（小学生のみなさん向け）

問1 あなたが大事だと思うことは何ですか。（それぞれ1つに○）

【行きたい学校へ進学できること】

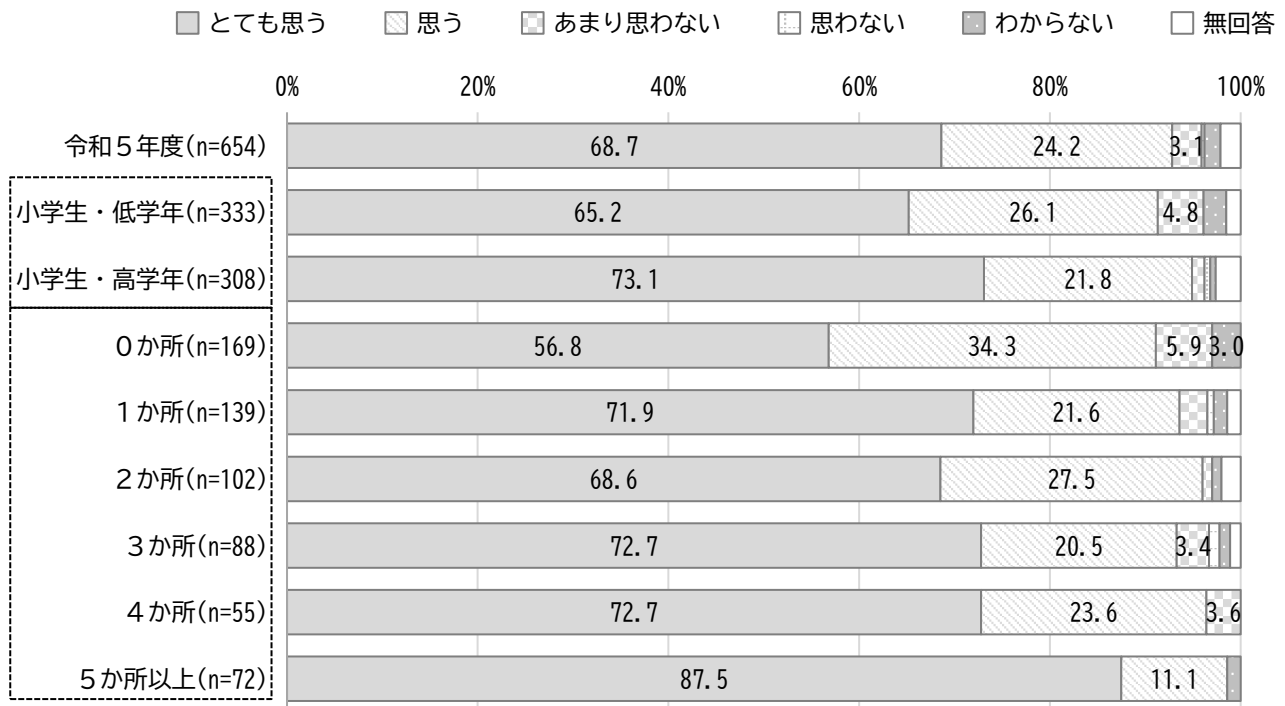
行きたい学校へ進学できることについて、「とても思う」の割合が44.2%と最も高く、次いで「思う」の割合が36.2%となっています。



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査（小学校児童本人調査を含む。）

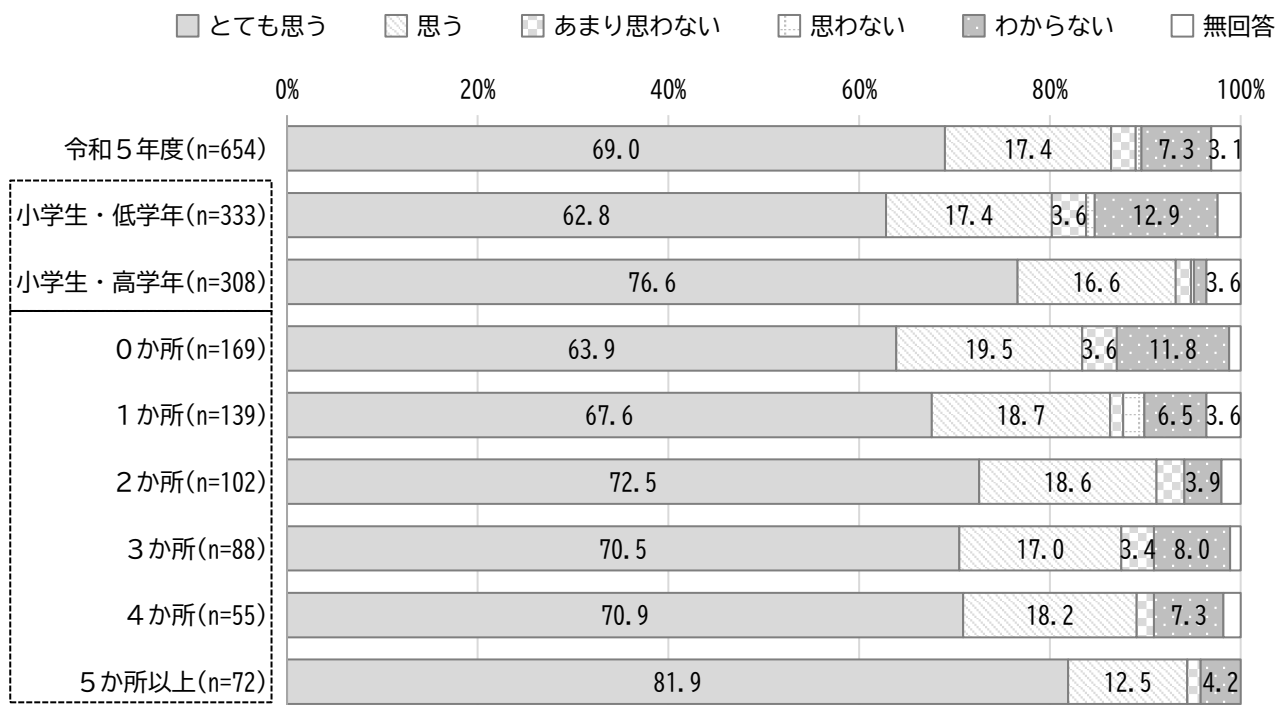
【^{じぶん}自分のやりたいこと（スポーツ・^{おんがく}音楽・ファッション・^{しゅみ}趣味など）に^{とく}取り組めること】

自分のやりたいことへの取り組みについて、「とても思う」の割合が68.7%と最も高く、次いで「思う」の割合が24.2%となっています。



【^{せいべつ}性別や^{しゅっしんこく}出身国、^{はだいろ}肌の色、^{しょう}障がいの有無などで^{さべつ}差別されないこと】

性別や出身国、肌の色、障がいの有無などで差別されないことについて、「とても思う」の割合が69.0%と最も高く、次いで「思う」の割合が17.4%となっています。



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

ぼうりょく ことば たいど きず

【暴力や言葉や態度で傷つけられないこと】

暴力や言葉や態度で傷つけられないことについて、「とても思う」の割合が75.2%と最も高く、次いで「思う」の割合が17.1%となっています。



あんしん ばしよ やす じかん も

【安心できる場所で休む時間を持てること】

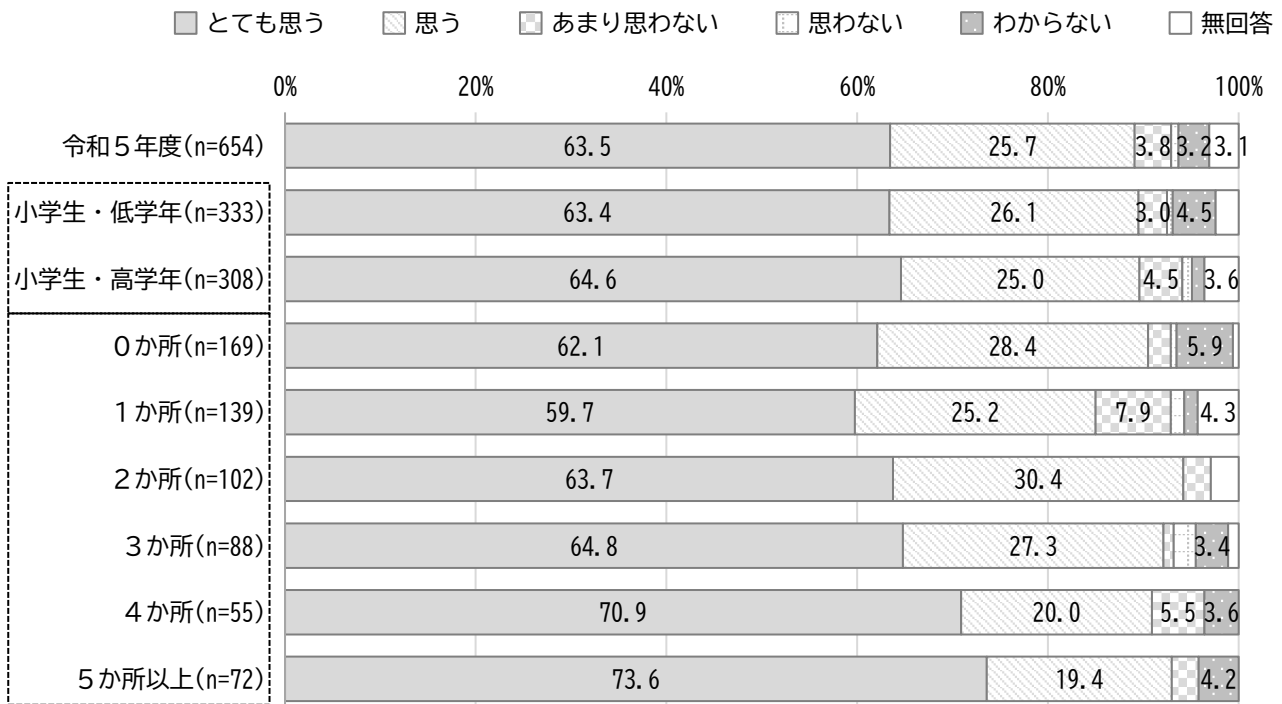
安心できる場所で休む時間を持てることについて、「とても思う」の割合が72.3%と最も高く、次いで「思う」の割合が20.8%となっています。



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査（小学校児童本人調査を含む。）

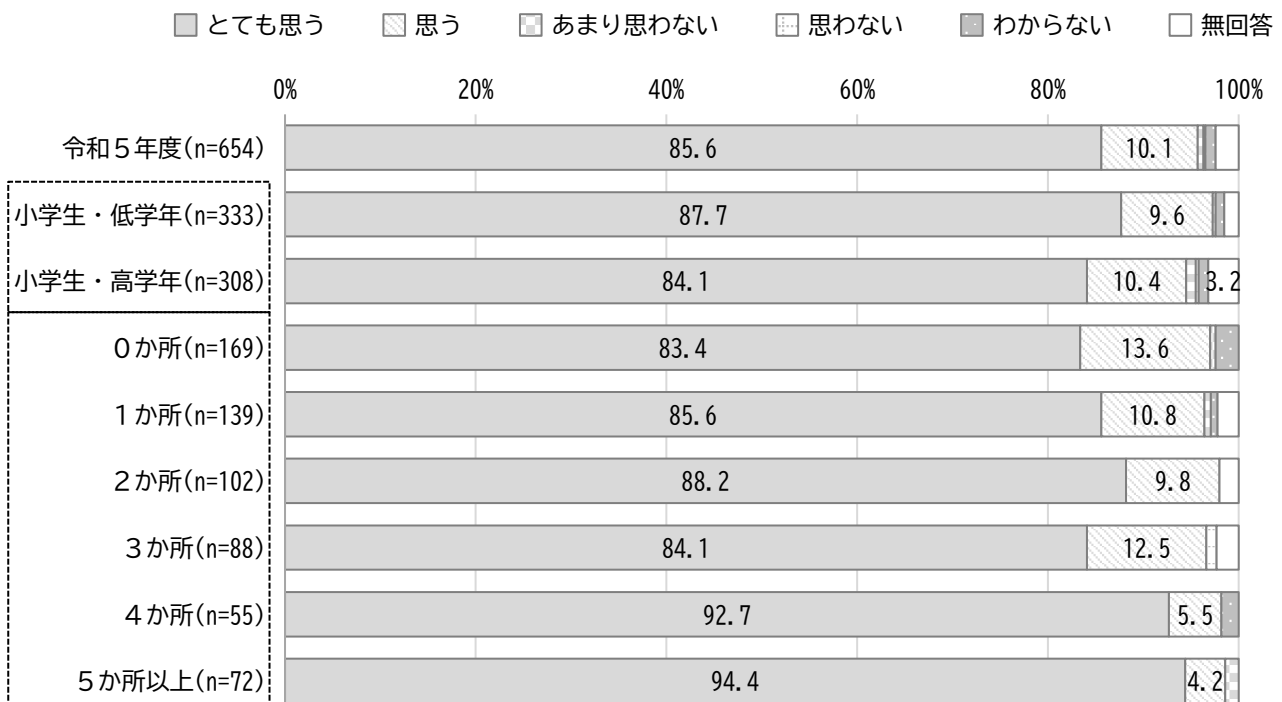
【友だちなどとグループで自由に行動ができること】

友だちなどとグループで自由に行動ができることについて、「とても思う」の割合が63.5%と最も高く、次いで「思う」の割合が25.7%となっています。



【家族と一緒に仲良く暮らすこと】

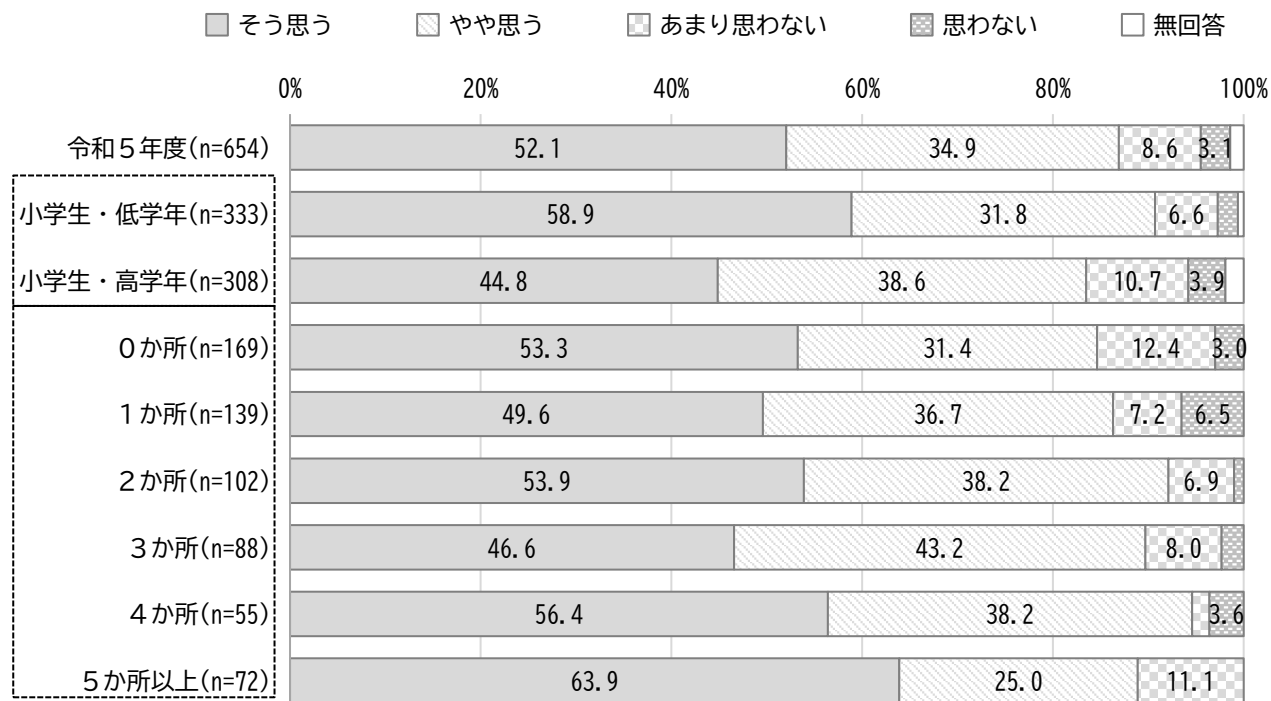
家族と一緒に仲良く暮らすことについて、「とても思う」の割合が85.6%と最も高く、次いで「思う」の割合が10.1%となっています。



第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

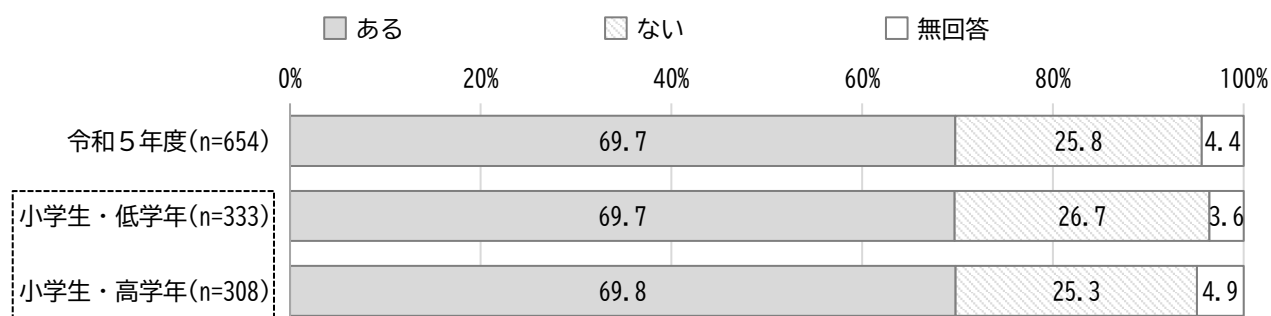
問2 自分のことが好きだと思いますか。(1つに○)

自分のことが好きかについて、「そう思う」の割合が52.1%と最も高く、次いで「やや思う」の割合が34.9%となっています。



問3 あなたは、家(普段寝起きをしている場所)や学校(授業や部活、クラブ活動)以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。(1つに○)

家や学校以外に「ここに居たい」と感じる場所について、「ある」の割合が69.7%となっています。

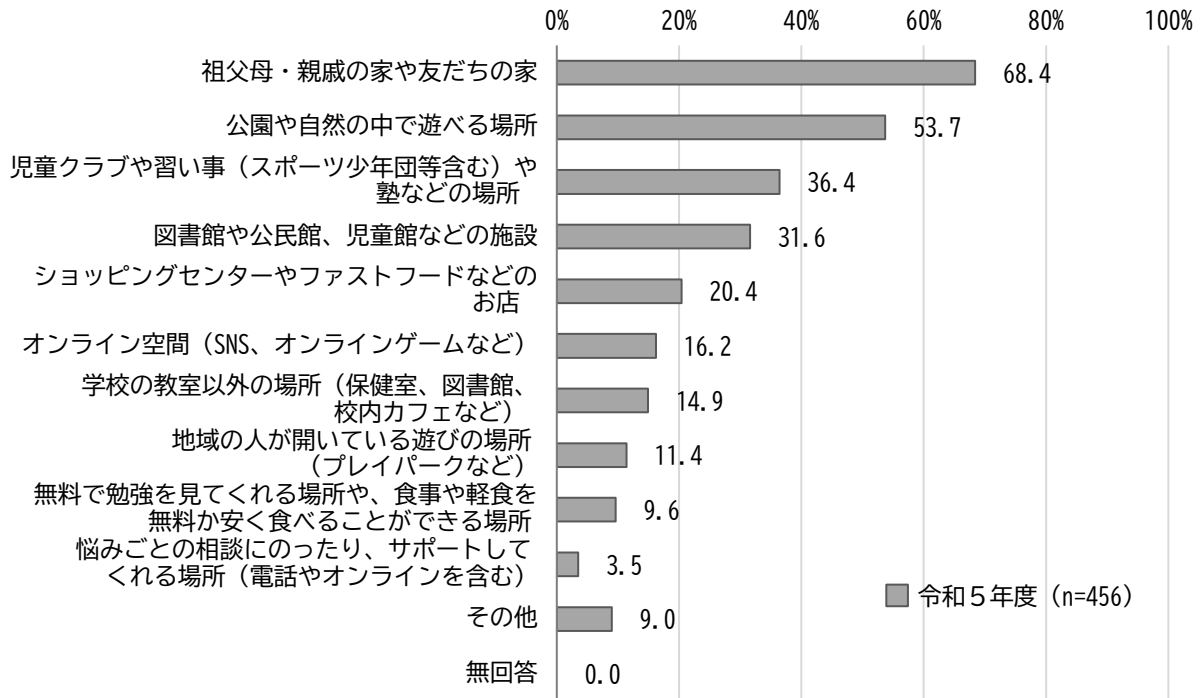


第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査（小学校児童本人調査を含む。）

問3で「ある」と回答した方

問4 そこは、どのような場所ですか。（あてはまる番号すべてに○）

ここに居たいと思う場所について、「祖父母・親戚の家や友達の家」の割合が68.4%と最も高く、次いで「公園や自然の中で遊べる場所」の割合が53.7%となっています。



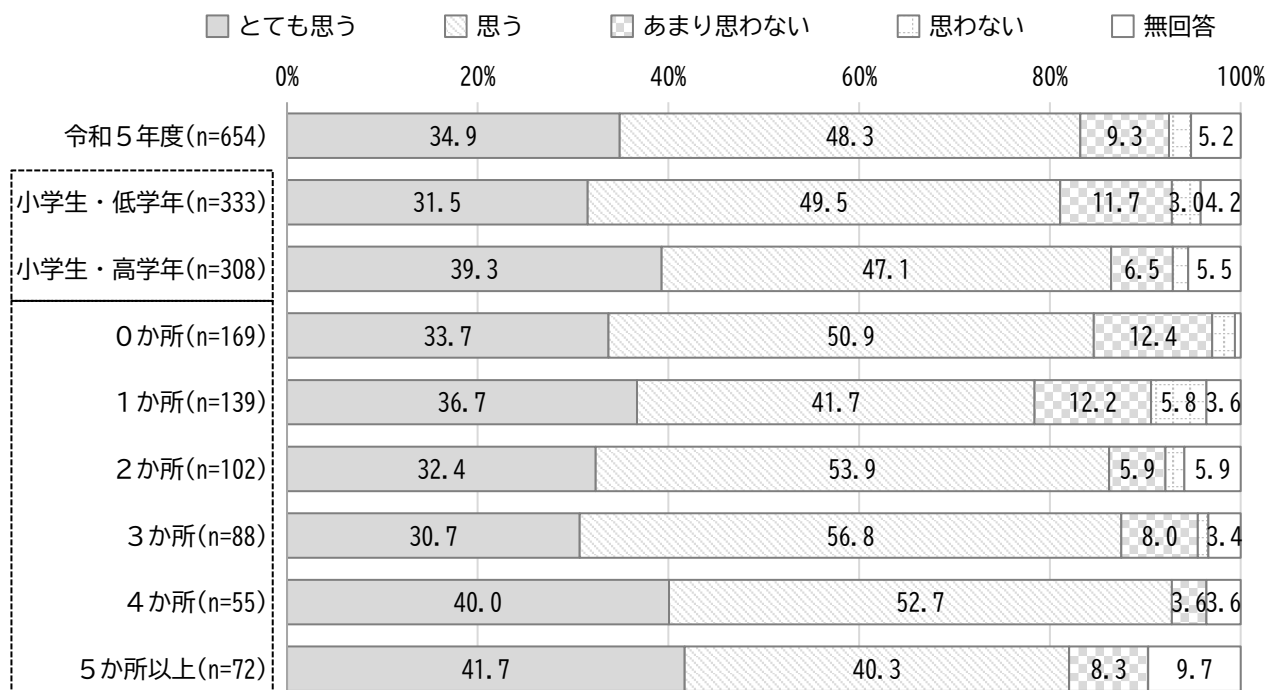
(単位：%)

区分	回答者数(人)	祖父母・親戚の家や友だちの家	公園や自然の中で遊べる場所	学校の教室以外の場所(保健室、図書館、校内カフェなど)	児童クラブや習い事(スポーツ少年団等含む)や塾などの場所	ショッピングセンターやファストフードなどのお店	図書館や公民館、児童館などの施設	地域の人が開いている遊びの場所(プレイパークなど)	無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料か安く食べることができる場所	悩みごとの相談にのったり、サポートしてくれる場所(電話やオンラインを含む)	オンライン空間(SNS、オンラインゲームなど)	その他	無回答
令和5年度	456	68.4	53.7	14.9	36.4	20.4	31.6	11.4	9.6	3.5	16.2	9.0	0.0
小学生・低学年	232	73.7	54.7	17.2	37.1	22.0	33.6	15.5	10.3	3.9	10.8	11.2	0.0
小学生・高学年	215	63.3	53.5	12.1	35.3	19.1	29.8	7.4	9.3	3.3	22.3	6.5	0.0
0か所	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1か所	139	41.0	14.4	1.4	12.9	2.9	4.3	0.0	1.4	0.0	7.9	13.7	0.0
2か所	102	68.6	43.1	6.9	28.4	10.8	17.6	3.9	2.9	0.0	10.8	6.9	0.0
3か所	88	76.1	78.4	12.5	38.6	17.0	33.0	10.2	8.0	1.1	22.7	2.3	0.0
4か所	55	89.1	81.8	20.0	56.4	36.4	58.2	20.0	16.4	1.8	14.5	5.5	0.0
5か所以上	72	95.8	93.1	51.4	75.0	59.7	81.9	38.9	31.9	19.4	33.3	13.9	0.0

第2章 調査結果 イ) 小学校児童の保護者調査 (小学校児童本人調査を含む。)

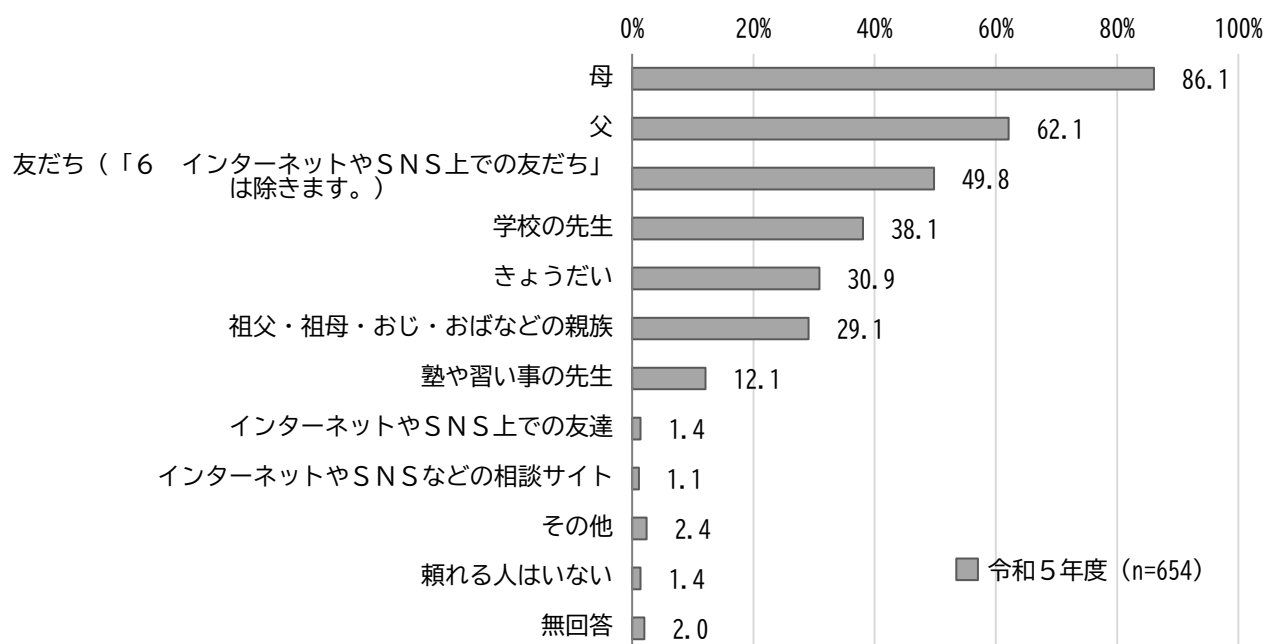
問5 あなたは、自分の言うことを聞いてもらえていると思いますか。(1つに○)

自分の言うことを聞いてもらえているかについて、「思う」の割合が48.3%と最も高く、次いで「とても思う」の割合が34.9%となっています。



問6 困ったときの相談相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

困ったときの相談相手について、「母」の割合が86.1%と最も高く、次いで「父」の割合が62.1%となっています。

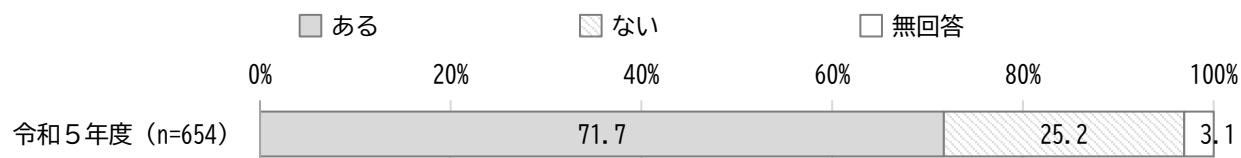


（単位：％）

区分	回答者数（人）	父	母	きょうだい	祖父・祖母・おじ・おばなどの親族	友だち（「6 インターネットやSNS上での友だち」は除きます。）	インターネットやSNS上の友達	学校の先生	塾や習い事の先生	インターネットやSNSなどの相談サイト	その他	頼れる人はいない	無回答
令和5年度	654	62.1	86.1	30.9	29.1	49.8	1.4	38.1	12.1	1.1	2.4	1.4	2.0
小学生・低学年	333	66.1	89.2	30.3	30.6	43.2	0.9	47.7	15.3	0.6	3.6	0.6	1.2
小学生・高学年	308	58.1	83.1	31.8	27.9	57.8	1.9	28.2	9.1	1.6	1.3	1.6	2.6
0か所	169	60.4	86.4	26.6	16.6	43.2	1.2	34.9	8.9	1.2	1.2	0.6	0.0
1か所	139	62.6	90.6	28.1	28.1	41.7	1.4	31.7	7.9	0.7	1.4	2.2	0.7
2か所	102	58.8	85.3	33.3	29.4	42.2	0.0	32.4	6.9	0.0	2.0	2.9	2.0
3か所	88	63.6	85.2	25.0	36.4	63.6	2.3	42.0	8.0	3.4	2.3	0.0	0.0
4か所	55	67.3	89.1	47.3	43.6	61.8	1.8	47.3	23.6	1.8	5.5	1.8	0.0
5か所以上	72	73.6	90.3	43.1	44.4	69.4	2.8	59.7	33.3	0.0	4.2	0.0	0.0

問7 将来の夢（やってみたい仕事）はありますか。（1つに○）

将来の夢について、「ある」の割合が71.7%となっています。



問8 その夢や、つきたい職業はどんなことですか。

夢や、つきたい職業については、動物園、おもちゃ屋、プロ野球・サッカーなどの選手、youtuber・職人、消防士、プロ麻雀士、自衛隊・鉄道関係、料理人、保育園の先生・TVに出る人、バレリーナ・司書・お巫女さん・シャチトレーナー、考え中などであった。

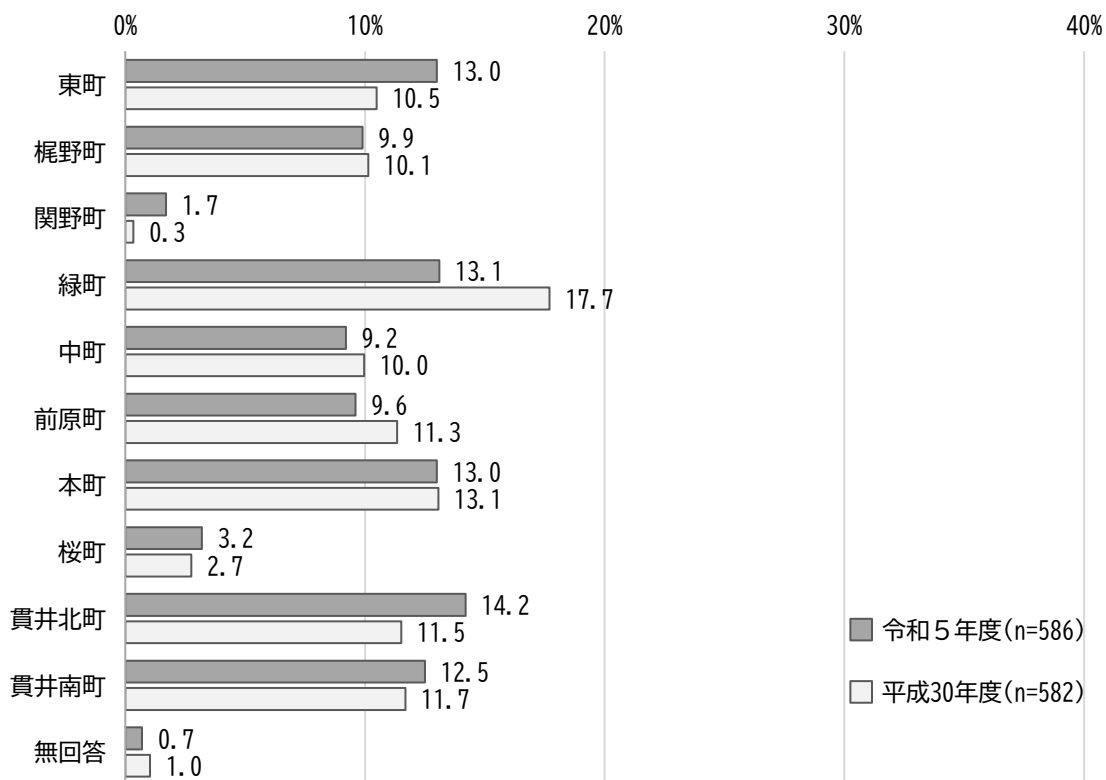
ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者調査

調査名	分類	分類のしかた
ウ) 中学校・高校年代の 青少年の保護者調査 (n=586)	年代	問2 宛名のお子さんの生年月 令和5年4月1日現在の年齢で「中学生」と「高校生年代」 に分類した。

A. 回答者属性

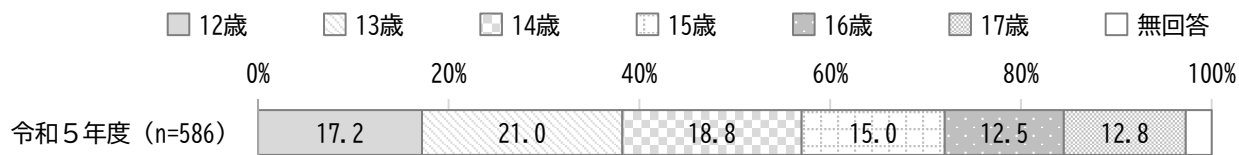
問1 お住まいの地区はどこですか。(町名・丁目、それぞれ1つに○)

お住まいの地域について、「貫井北町」の割合が14.2%と最も高く、次いで「緑町」の割合が13.1%となっています。



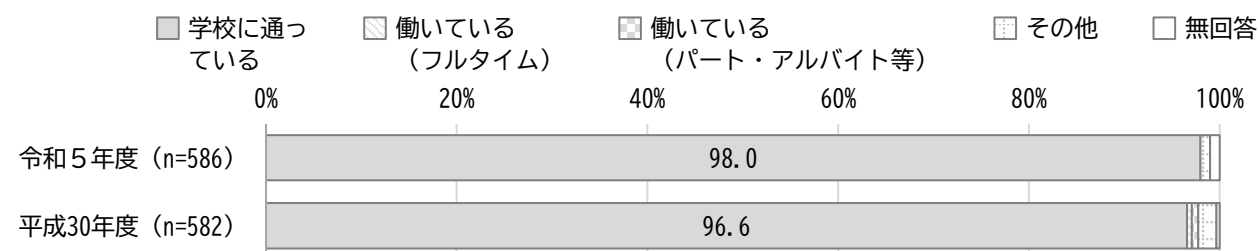
問2 宛名のお子さん（以降お子さんと記載）の生年月を記入してください。(数字を記入)

宛名のお子さんの生年月について、「13歳」の割合が21.0%と最も高く、次いで「14歳」の割合が18.8%となっています。



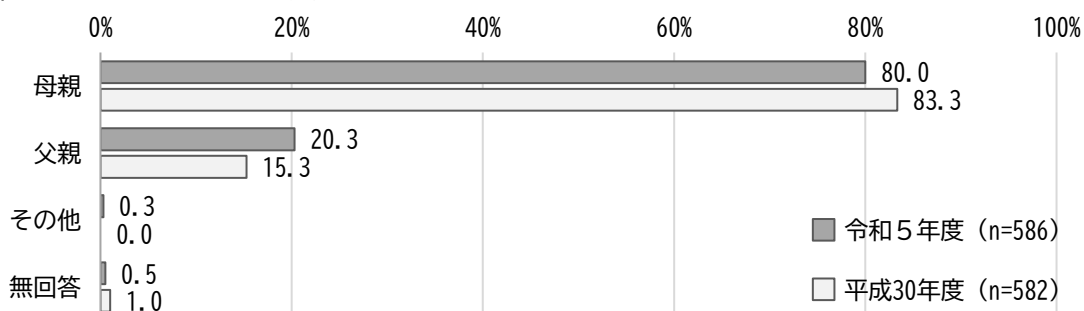
問3 お子さんは、学校に通っていますか。働いていますか。(1つに○)

宛名のお子さんについて、「学校に通っている」の割合が 98.0%と最も高く、次いで「その他」「無回答」の割合が 1.0%となっています。



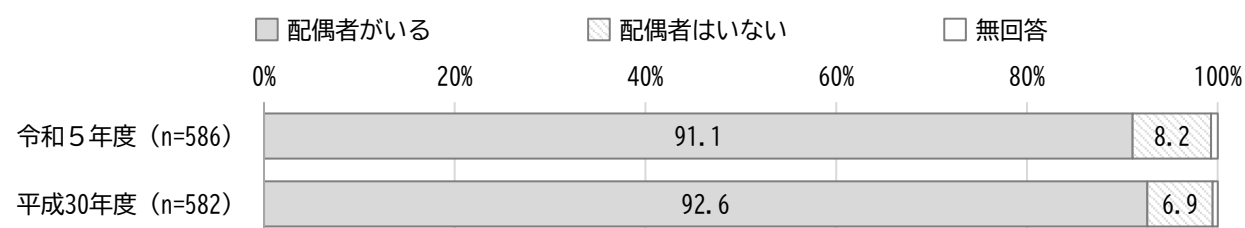
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

調査票にご回答いただく方のお子さんからみた関係について、「母親」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「父親」の割合が 20.3%となっています。



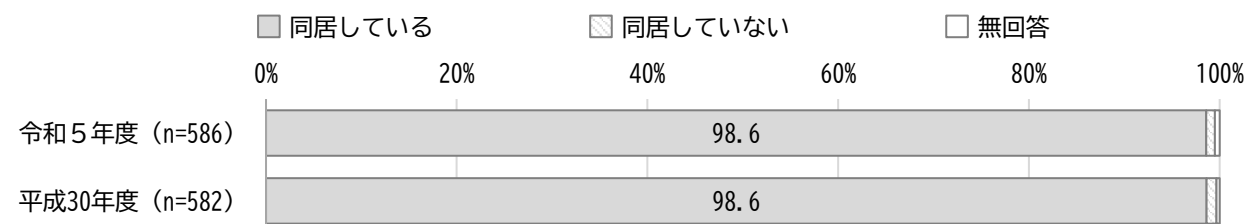
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

調査票の回答者の配偶者の有無について、「配偶者がいる」の割合が 91.1%となっています。



問6 お子さんと同居していますか。(1つに○)

お子さんとの同居割合について、「同居している」の割合が 98.6%となっています。

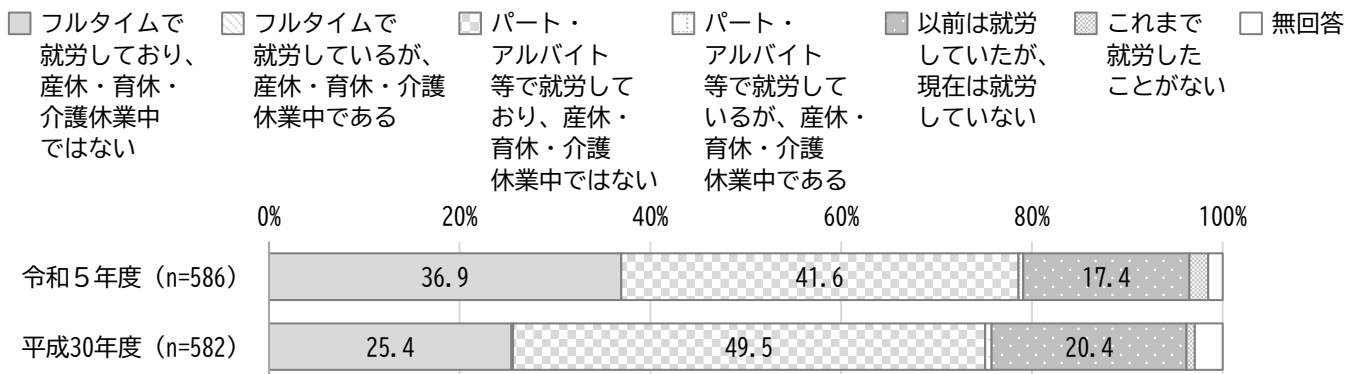


B. お子さんの保護者の就労状況について

問7 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）を母親・父親それぞれについてお答えください。（ひとり親の方はご自身に関する設問のみお答えください）（1つに○）

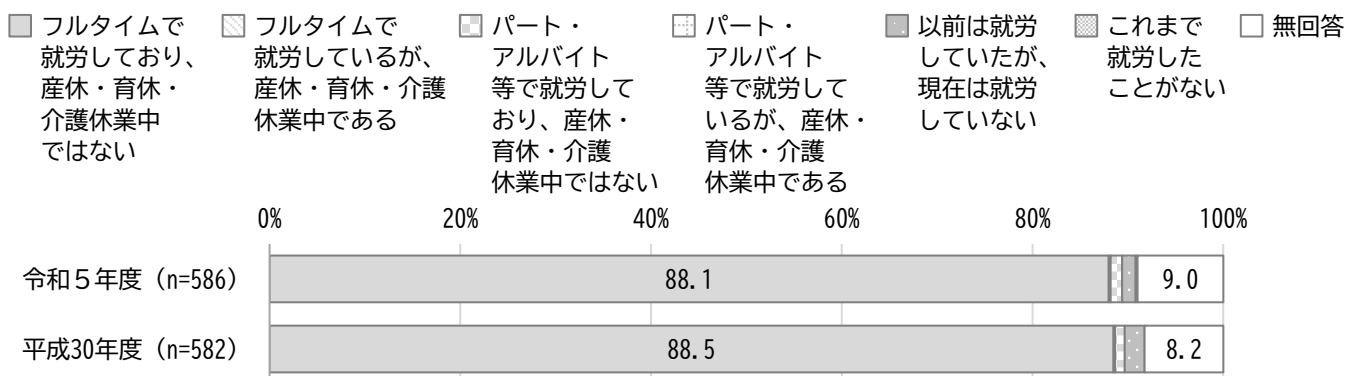
【母親】

母親の就労状況について、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が41.6%と最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が36.9%となっています。



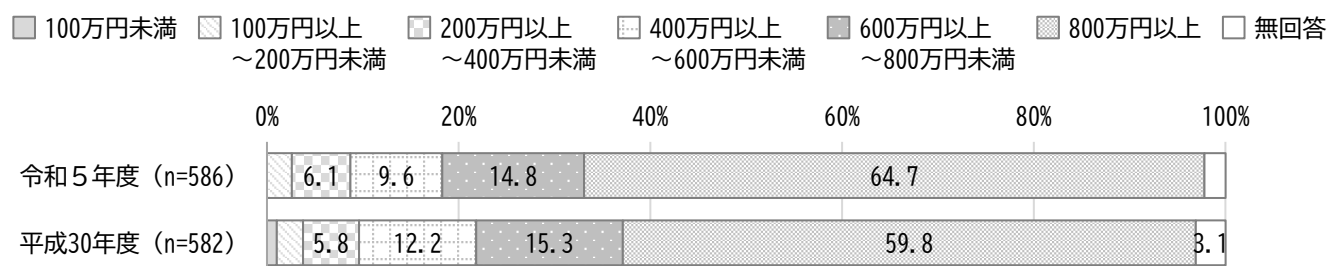
【父親】

父親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が88.1%と最も高く、次いで「無回答」の割合が9.0%となっています。



問8 現在の年間の保護者の世帯収入についてお答えください。（1つに○）

年間の保護者の世帯収入について、「800万円以上」の割合が64.7%と最も高く、次いで「600万円以上～800万円未満」の割合が14.8%となっています。

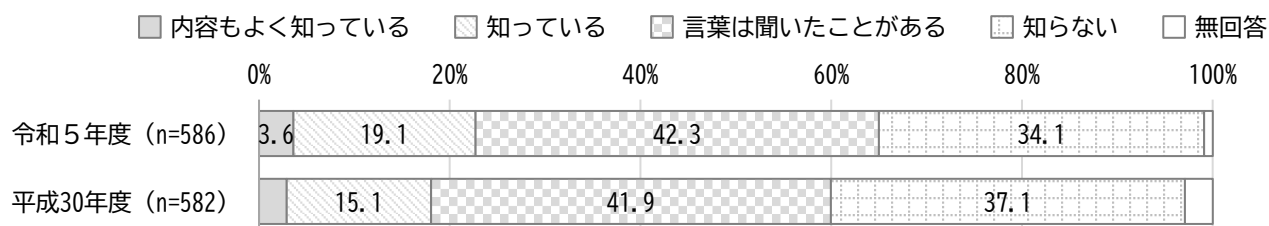


C. 子どもの権利について

問9 「小金井市子どもの権利に関する条例」および「子どもオンブズパーソン」について、どれくらい知っていますか。(それぞれ1つに○)

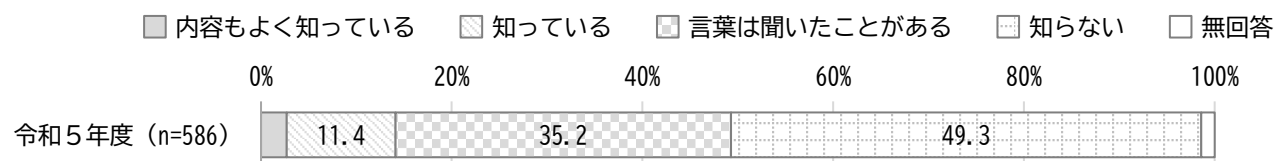
【小金井市子どもの権利に関する条例】

「小金井市子どもの権利に関する条例」について、「言葉は聞いたことがある」の割合が42.3%と最も高く、次いで「知らない」の割合が34.1%となっています。



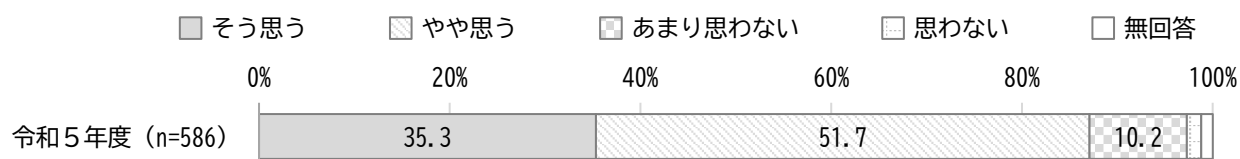
【子どもオンブズパーソン】

「子どもオンブズパーソン」について、「知らない」の割合が49.3%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が35.2%となっています。



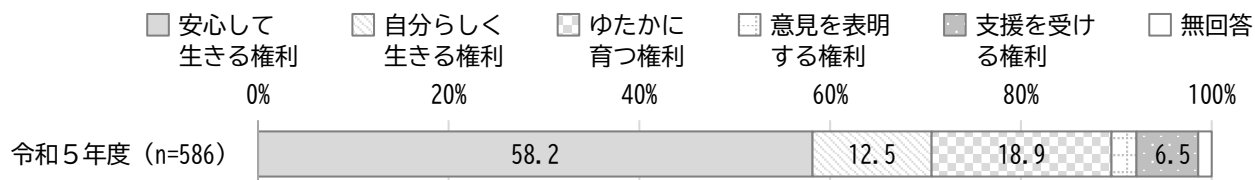
問10 あなたは子どもの権利が守られていると思いますか。(1つに○)

子どもの権利が守られているかについて、「やや思う」の割合が51.7%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が35.3%となっています。



問11 「小金井市子どもの権利に関する条例」で定めた子どもの権利のうち、今後市が最も力をいれるべき権利はどれだと思いますか。(1つに○)

今後市が最も力をいれるべき権利について、「安心して生きる権利」の割合が58.2%と最も高く、次いで「ゆたかに育つ権利」の割合が18.9%となっています。

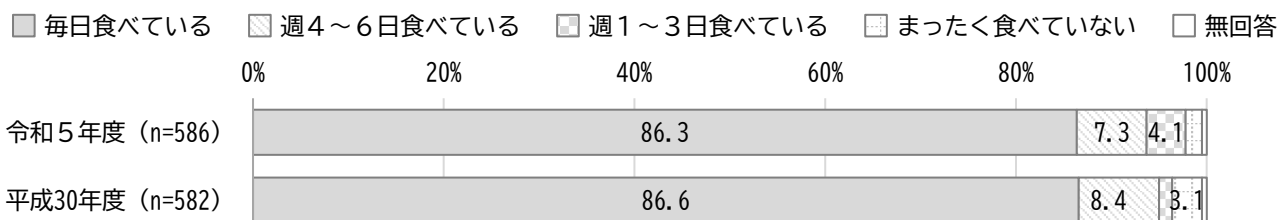


1 安心して生きる権利	<ul style="list-style-type: none"> ☆命が守られ、何ものにもかえられないものとして大切にされること。 ☆いじめ、差別、暴力を受けず、放っておかれないこと。 ☆健康について気づかれ、適切な医療が受けられること。 ☆愛情と理解をもって大切に育てられ、年齢や成長にふさわしい環境で生活できること。
2 自分らしく生きる権利	<ul style="list-style-type: none"> ☆個性や他者との違いが尊重されること ☆プライバシーが守られること。 ☆安心できる場所で自分を休ませる時間を持つこと。 ☆自分の気持ちや思っていることが大切にされ、それをいろいろな方法で表すこと。
3 ゆたかに育つ権利	<ul style="list-style-type: none"> ☆遊ぶこと。 ☆文化、芸術、スポーツに親しむこと。 ☆仲間をつくり、何かのために集まること。 ☆自然に親しむこと。 ☆必要な情報を手に入れたり、利用したりできること。 ☆社会に貢献する活動に参加すること。
4 意見を表明する権利	<ul style="list-style-type: none"> ☆考えや意見を十分に表すことのできる機会が大切にされること。 ☆考えや意見が、その人の年齢や成長にふさわしい形で尊重されること。
5 支援を受ける権利	<ul style="list-style-type: none"> ☆子どもは、困ったり、つらい気持ちになったりしたとき、また、他者に迷惑をかけたとき、市や周りの人たちから、適切な支援を受けることができます。

D. 子育て全般について

問12 お子さんは、朝食を食べていますか。(1つに○)

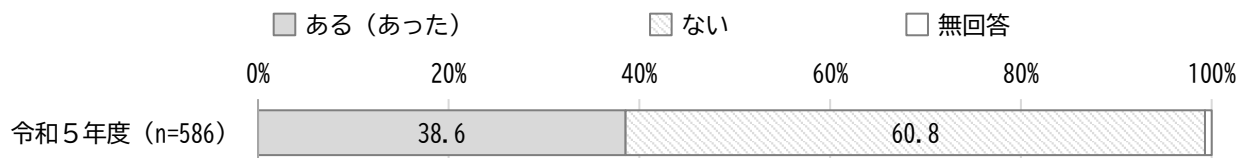
朝食を食べているかについて、「毎日食べている」の割合が86.3%と最も高く、次いで「週4～6日食べている」の割合が7.3%となっています。



※平成30年度の選択肢「週5～6日食べる」「週3～4日食べる」を合計して「週4～6日食べている」に、「週1～2日食べる」を「週1～3日食べている」に表示しています。

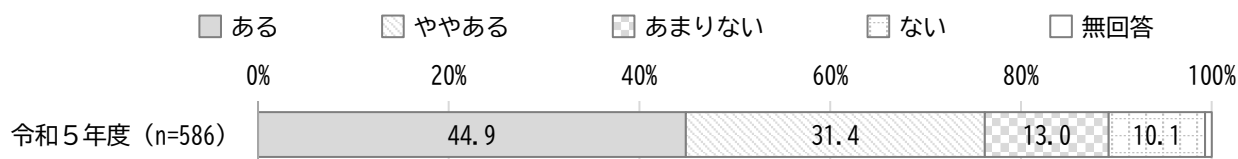
問13 不登校ではないですが、子どもから「学校に行きたくない」と言われたことはありますか。(1つに○)

子どもから「学校に行きたくない」と言われたことがあるかについて、「ない」の割合が60.8%となっています。



問14 子育て・教育にかかる費用負担に不安がありますか。(1つに○)

子育て・教育にかかる費用負担への不安について、「ある」の割合が44.9%と最も高く、次いで「ややある」の割合が31.4%となっています。

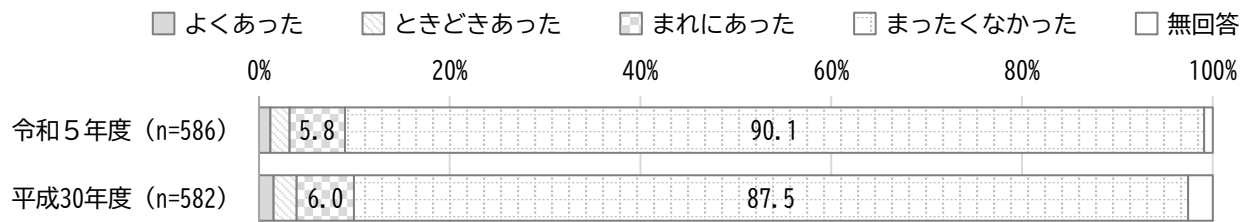


第2章 調査結果 ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者調査

問15 過去1年間に次のような経験はありましたか。(それぞれ1つに○)

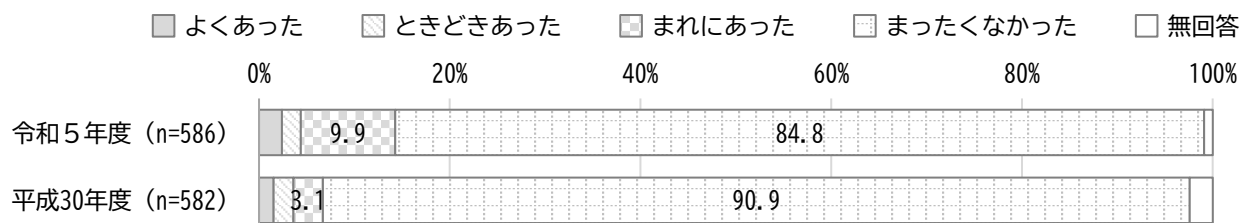
【お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験について、「まったくなかった」の割合が90.1%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が5.8%となっています。



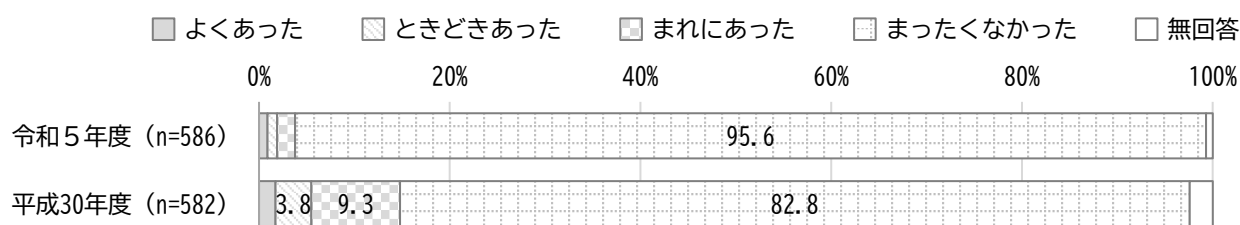
【お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験について、「まったくなかった」の割合が84.8%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が9.9%となっています。



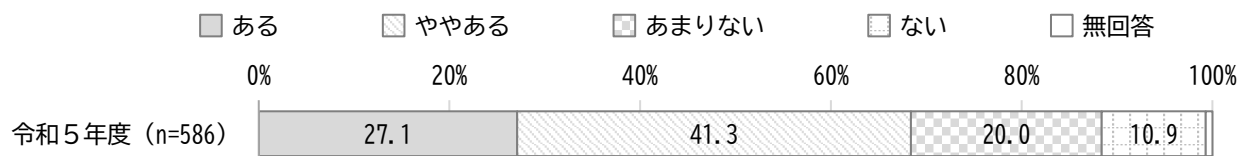
【お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験】

お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験について、「まったくなかった」の割合が95.6%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が1.9%となっています。



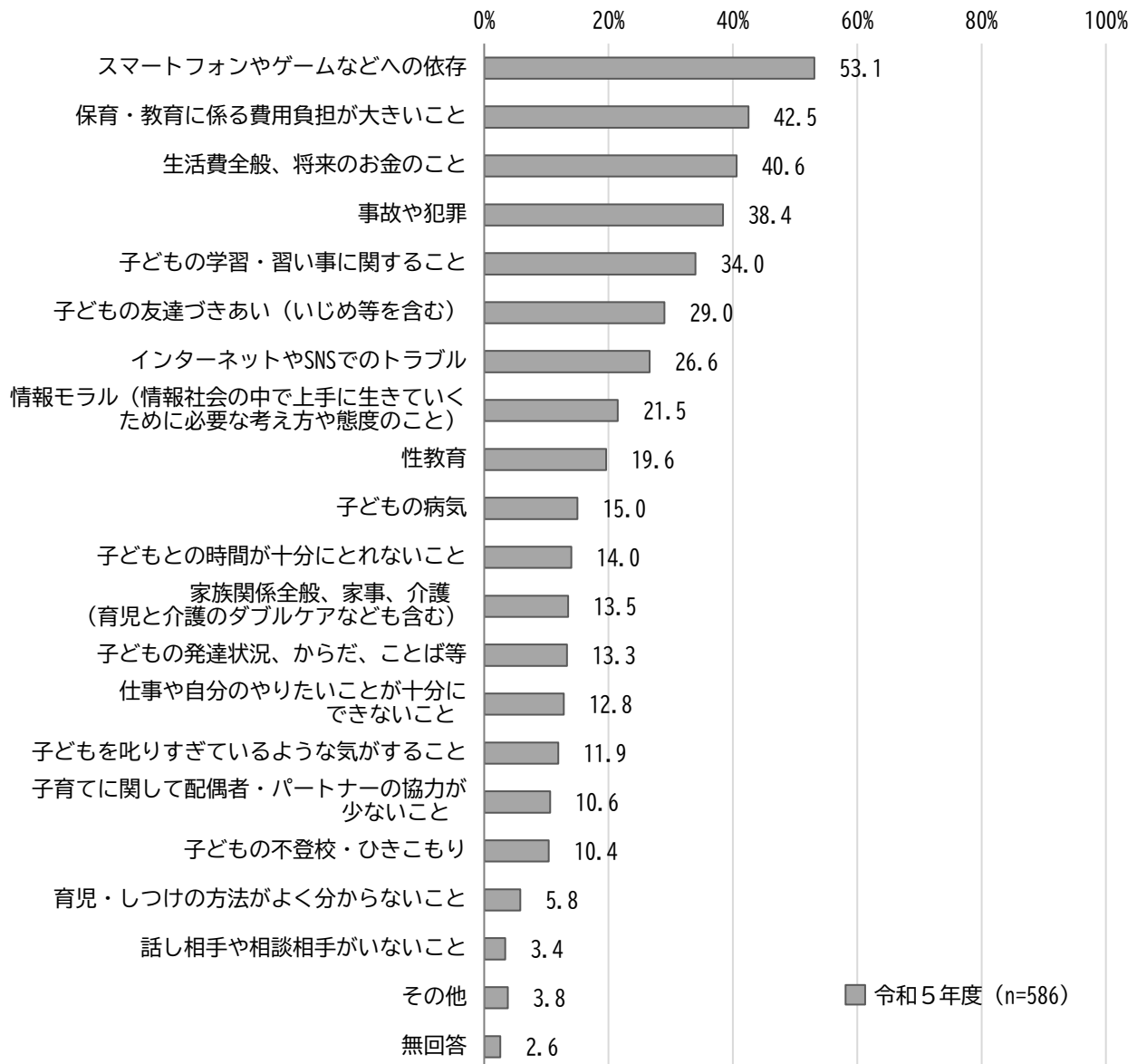
問16 今後の暮らしに不安がありますか。(1つに○)

今後の暮らしへの不安について、「ややある」の割合が41.3%と最も高く、次いで「ある」の割合が27.1%となっています。



問17 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(あてはまる番号すべてに○)

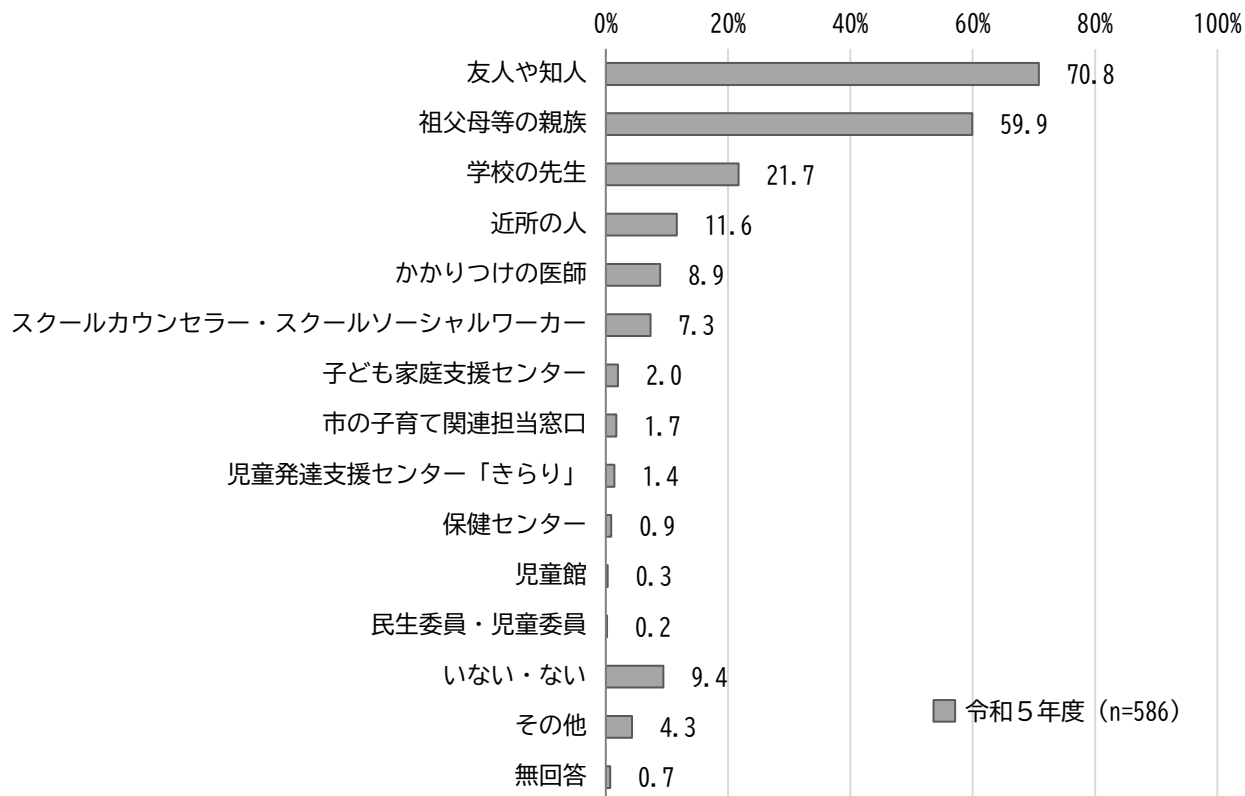
子育てに関して、日頃悩んでいることや気になることについて、「スマートフォンやゲームなどへの依存」の割合が53.1%と最も高く、次いで「保育・教育に係る費用負担が大きいこと」の割合が42.5%となっています。



問18 子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所はありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

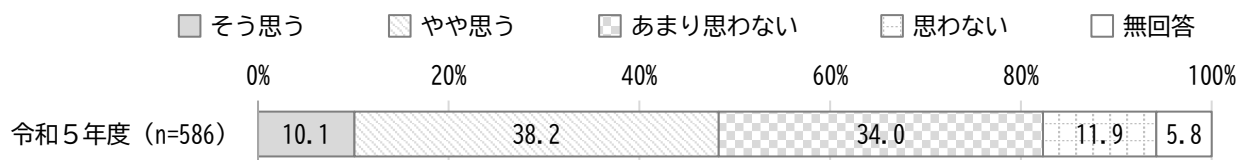
子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所があるかについて、「友人や知人」の割合が70.8%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が59.9%となっています。



E. 小金井市の子育て環境や子育て支援施策について

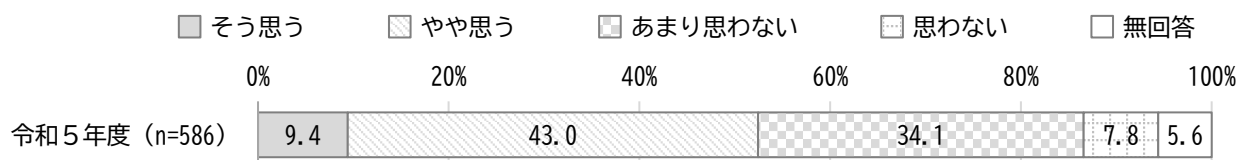
問19 子どもがのびのびと遊べる環境が整備されていると思いますか。(1つに○)

子どもがのびのびと遊べる環境が整備されているかについて、「やや思う」の割合が38.2%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が34.0%となっています。



問20 子どもが自然、社会、文化、芸術などの様々な体験をしやすいと思いますか。(1つに○)

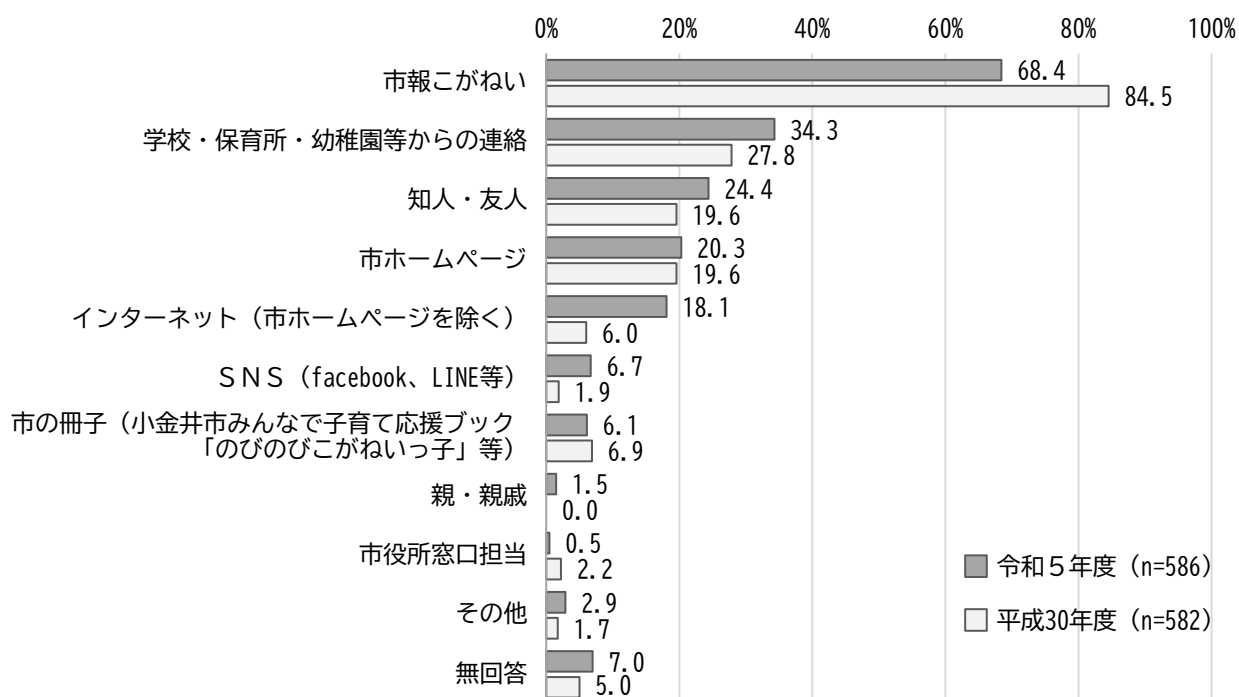
子どもが自然、社会、文化、芸術などの様々な体験をしやすいかについて、「やや思う」の割合が43.0%と最も高く、次いで「あまり思わない」の割合が34.1%となっています。



問21 小金井市で実施している子育て支援策について、どこから情報収集していますか。

(あてはまる番号すべてに○)

子育て支援策の情報をどこから収集しているかについて、「市報こがねい」の割合が68.4%と最も高く、次いで「学校・保育所・幼稚園等からの連絡」の割合が34.3%となっています。

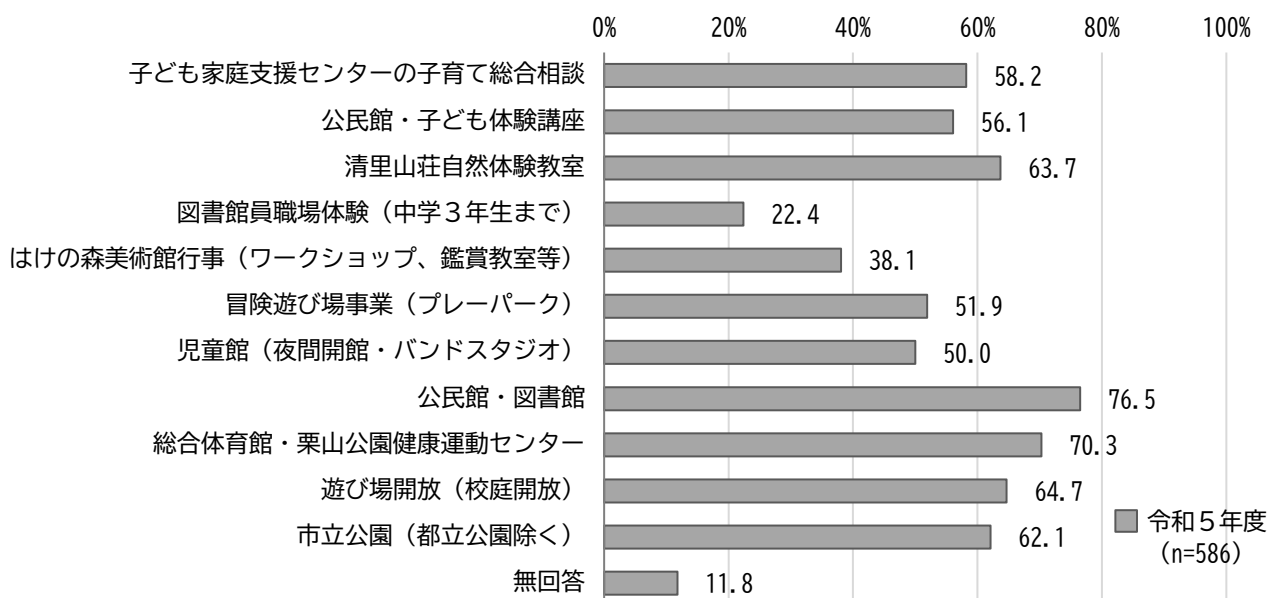


第2章 調査結果 ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者調査

問22 下記のサービスや制度、事業について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、利用したことがある場合は、満足したか、今後も利用したいかお答えください。(それぞれ1つに○)

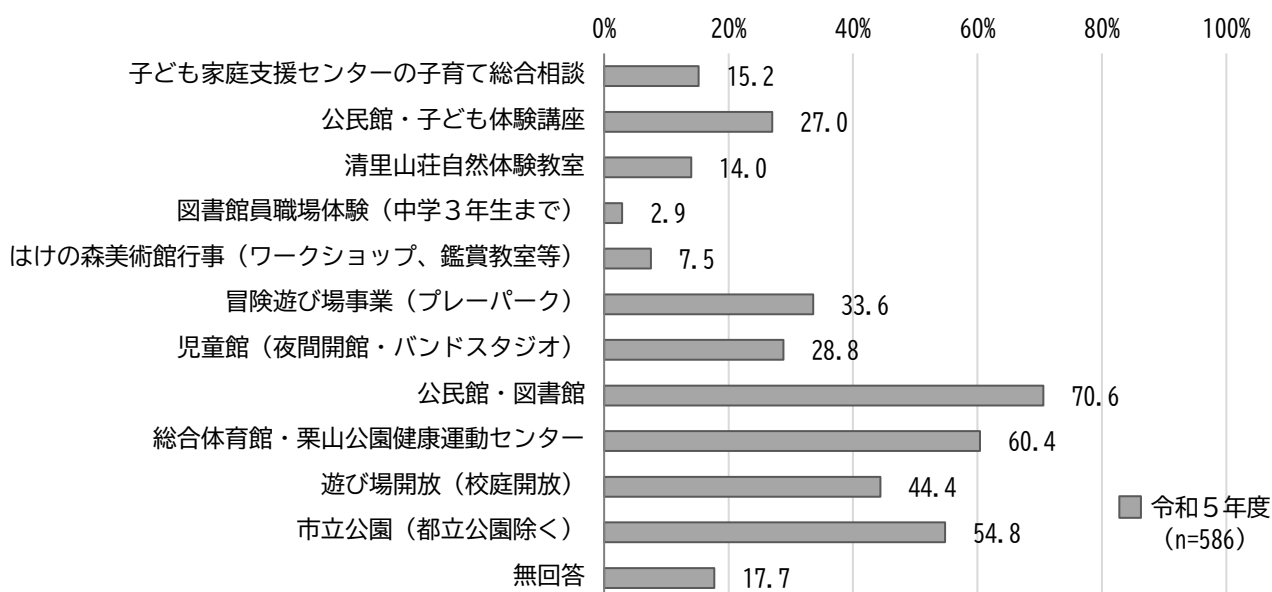
【知っているか】

各事業の認知度について、「公民館・図書館」の割合が76.5%と最も高く、次いで「総合体育館・栗山公園健康運動センター」の割合が70.3%となっています。



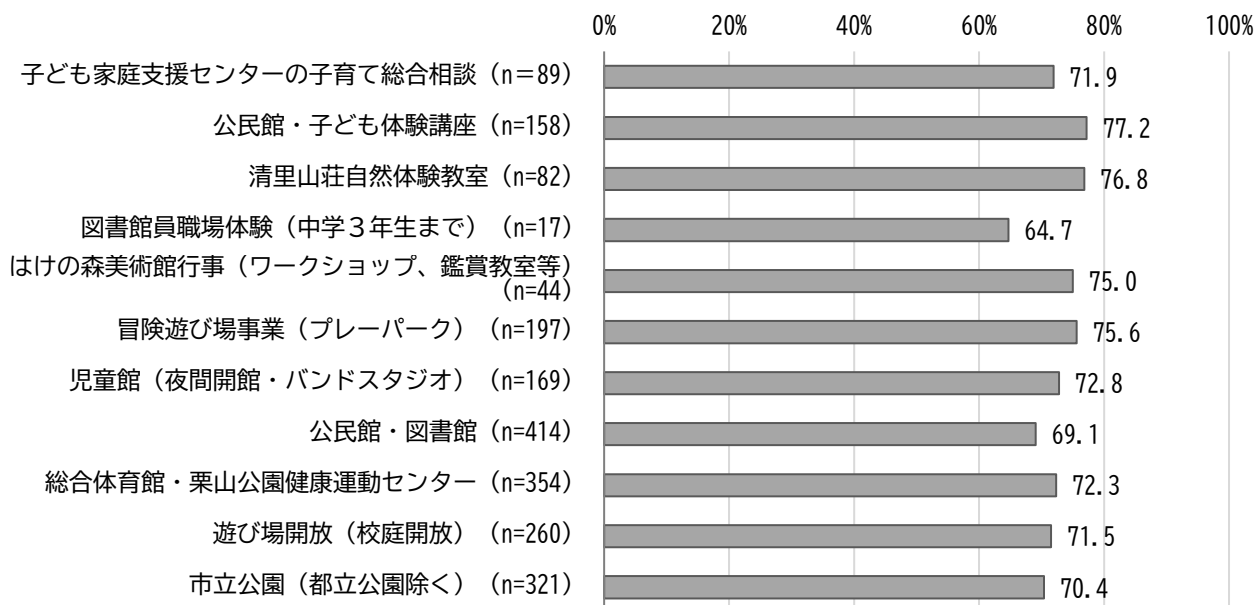
【これまでに利用したことがあるのか】

各事業の利用率について、「公民館・図書館」の割合が70.6%と最も高く、次いで「総合体育館・栗山公園健康運動センター」の割合が60.4%となっています。



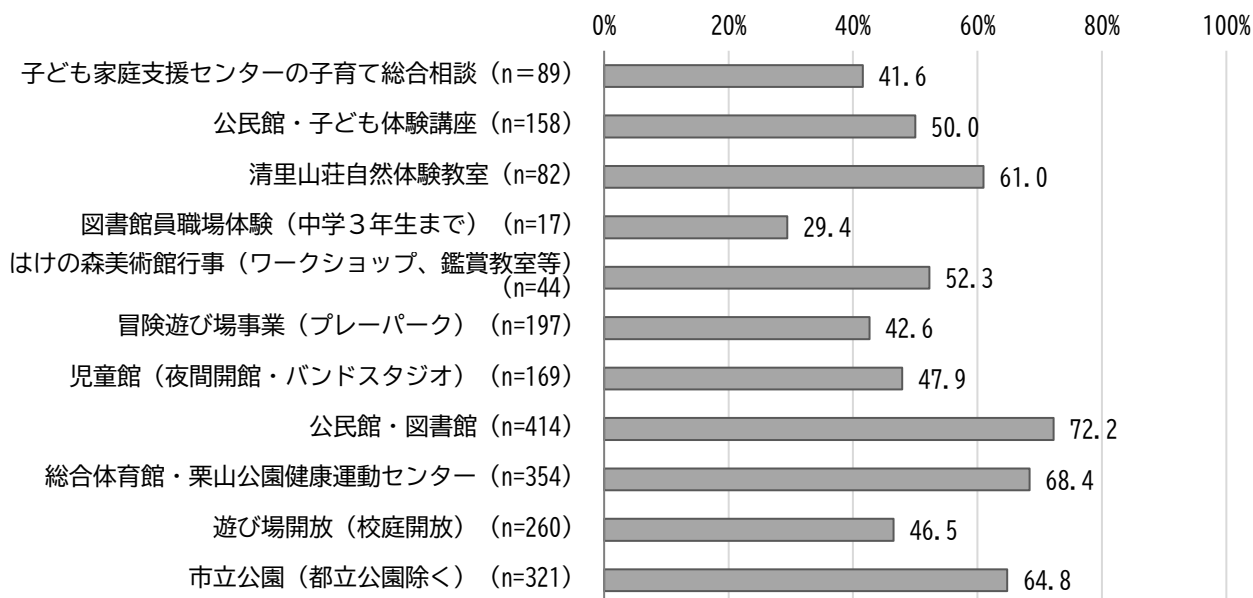
【利用したことがある場合、満足したか】

各事業の満足度について、「公民館・子ども体験講座」の割合が77.2%と最も高く、次いで「清里山荘自然体験教室」の割合が76.8%となっています。



各事業の今後の利用意向について、「公民館・図書館」の割合が72.2%と最も高く、次いで「総合体育館・栗山公園健康運動センター」の割合が68.4%となっています。

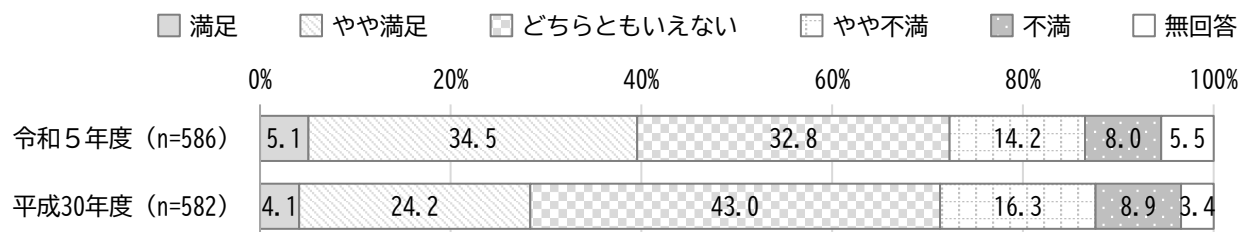
【今後利用したいか】



第2章 調査結果 ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者調査

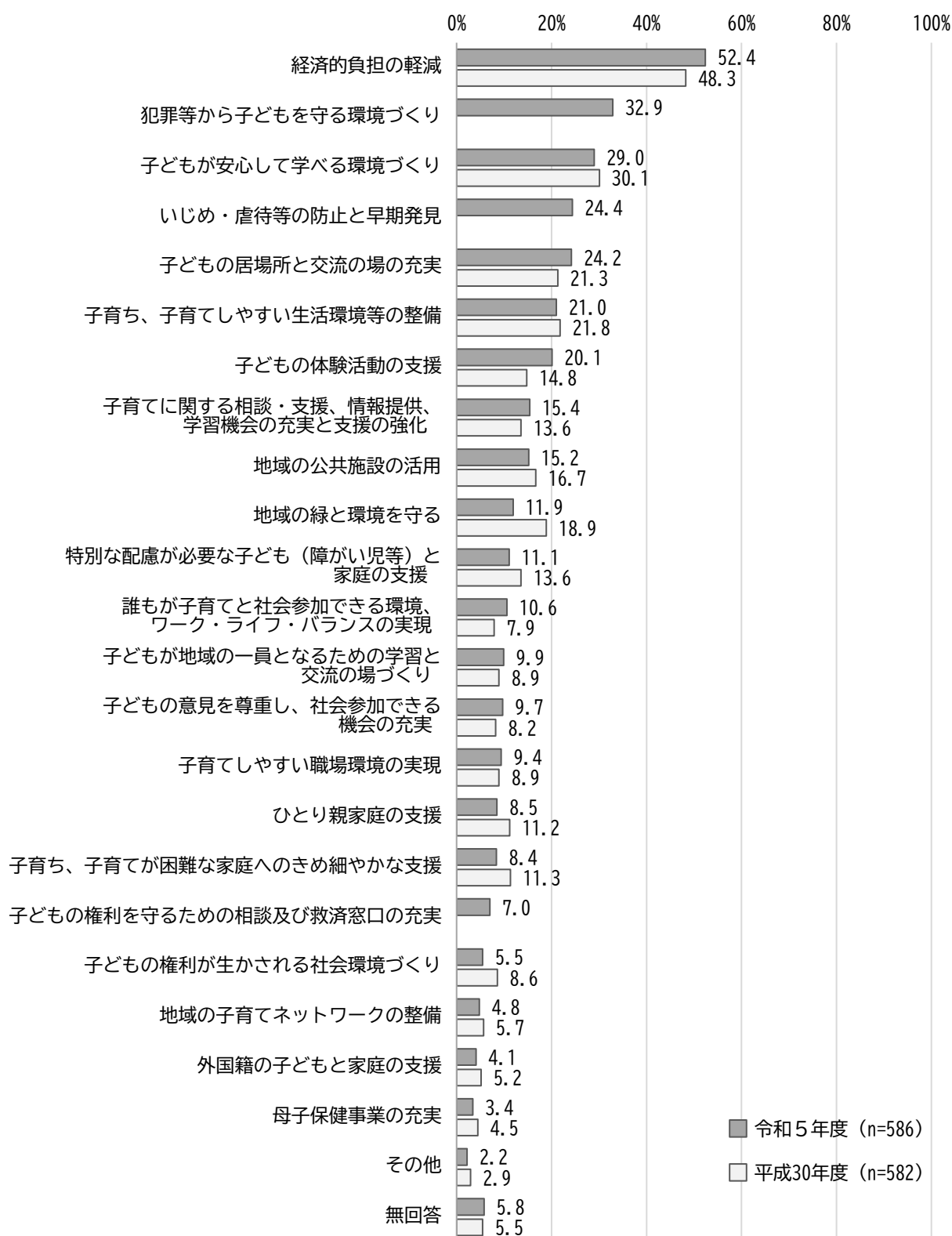
問 23 小金井市の子育ての環境や支援への満足度についてお答えください (1つに○)

小金井市の子育ての環境や支援への満足度について、「やや満足」の割合が34.5%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が32.8%となっています。



問24 子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことはありますか。
(3つまでに○)

小金井市や地域で充実してほしいことについて、「経済的負担の軽減」の割合が52.4%と最も高く、次いで「犯罪等から子どもを守る環境づくり」の割合が32.9%となっています。



※平成30年度は「子どもの権利を尊重する社会環境づくりを進める」8.6%を「子どもの権利が生かされる社会環境づくり」に、「子どもの社会参加を推進し、意見の表明など子どもの自己実現を応援する」8.2%を「子どもの意見を尊重し、社会参加できる機会の充実」に、「自立を育む体験活動を応援する」14.8%を「子どもの体験活動の支援」に、それぞれ表示しています。

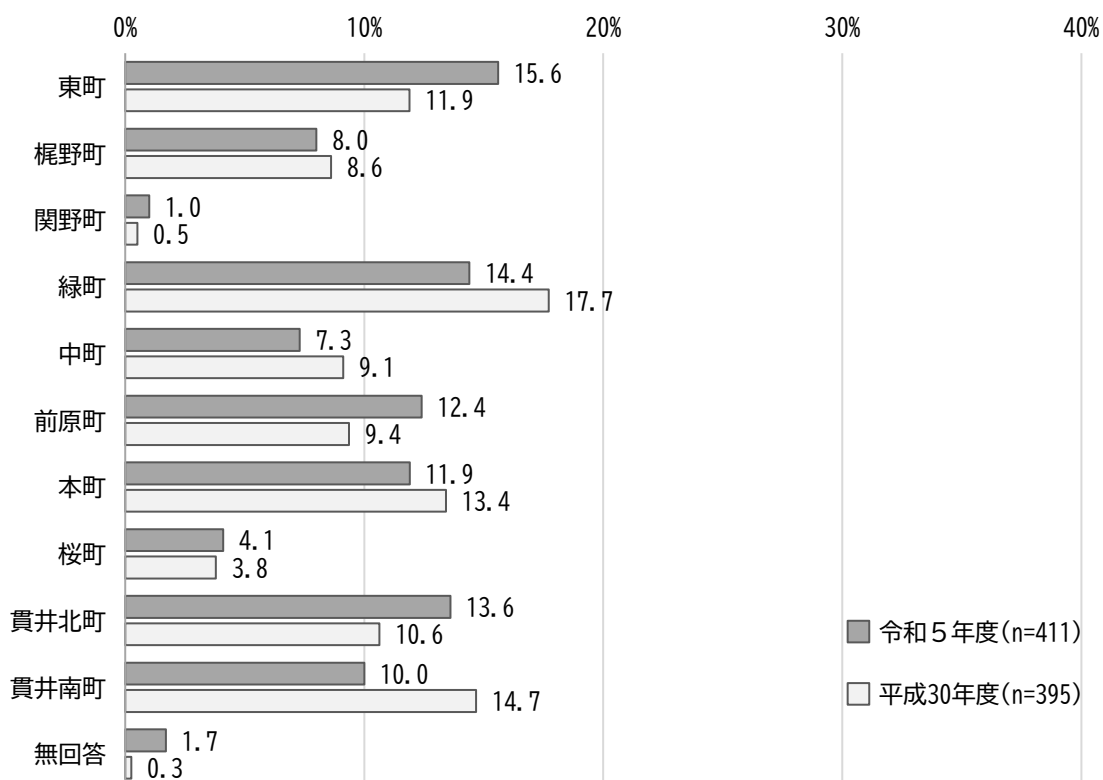
工) 中学校・高校年代の青少年本人調査

調査名	分類	分類のしかた
工) 中学校・高校年代の 青少年本人調査 (n=411)	年代	問2 生年月日 令和5年4月1日現在の年齢で「中学生」と「高校生年代」に分類した。
	居場所	問6 自宅・学校以外でここにいたい場所「ある・ない」 「ない」を「0か所」 問7 その場所（複数回答） 選択した数に応じて「1か所」から「5か所以上」に分類した。

A. 回答者属性

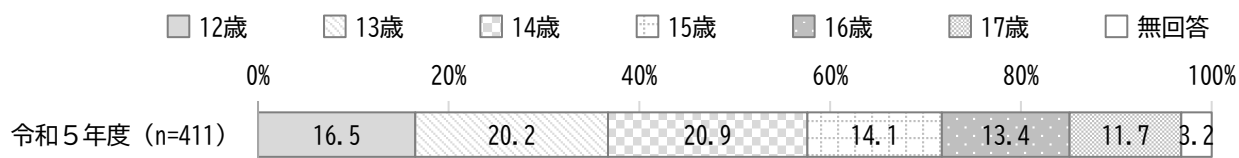
問1 お住まいの地区はどこですか。(1つに○)

お住まいの地域について、「東町」の割合が15.6%と最も高く、次いで「緑町」の割合が14.4%となっています。



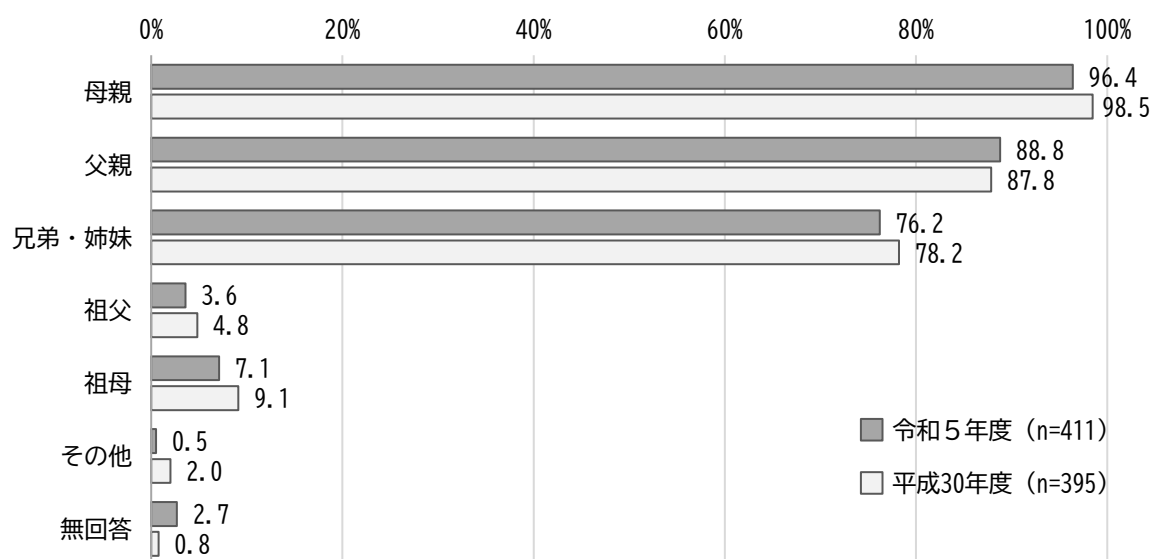
問2 生年月を記入してください。(数字を記入)

生年月について、「14歳」の割合が20.9%と最も高く、次いで「13歳」の割合が20.2%となっています。



問3 どなたと同居していますか。(あてはまる番号すべてに○)

同居している方について、「母親」の割合が96.4%と最も高く、次いで「父親」の割合が88.8%となっています。

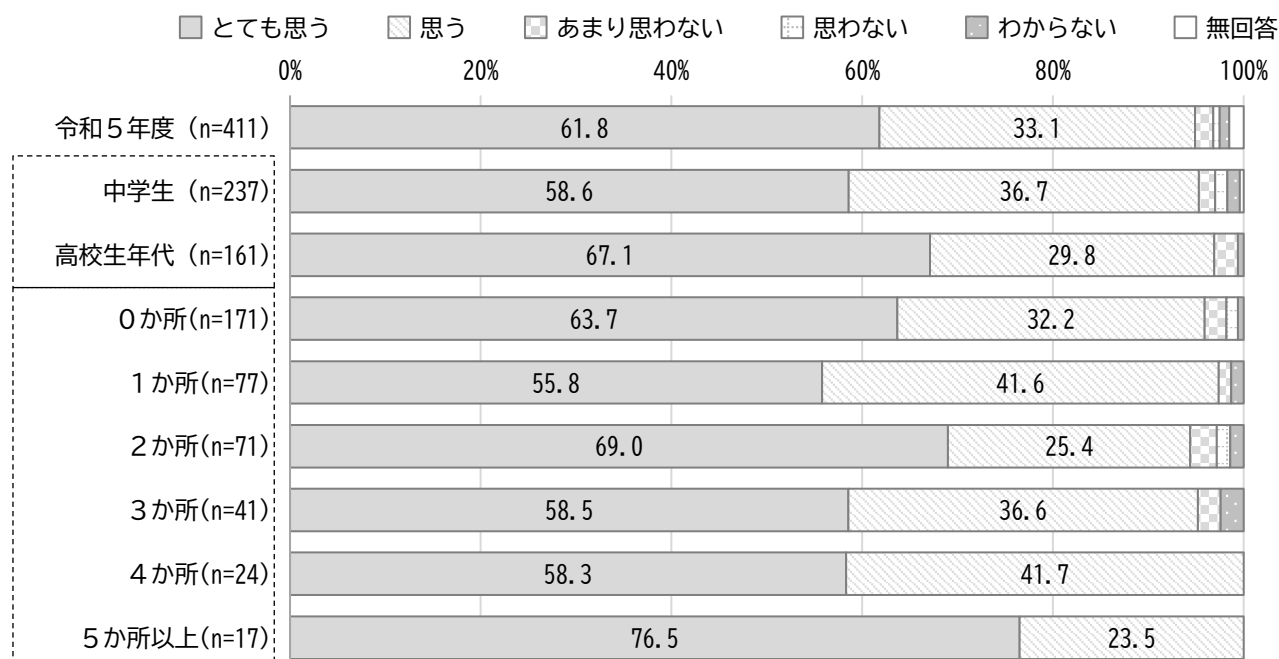


B. 考え方について

問4 あなたが大事だと思うことは何ですか。(それぞれ1つに○)

【行きたい学校へ進学できること】

行きたい学校へ進学できることについて、「とても思う」の割合が61.8%と最も高く、次いで「思う」の割合が33.1%となっています。



第2章 調査結果 工) 中学校・高校年代の青少年の本人調査

【自分のやりたいこと（スポーツ・音楽・ファッション・趣味など）に取り組めること】

自分のやりたいことに取り組めることについて、「とても思う」の割合が 81.3%と最も高く、次いで「思う」の割合が 15.6%となっています。



【性別や出身国、肌の色、障がいの有無などで差別されないこと】

性別や出身国、肌の色、障がいの有無などで差別されないことについて、「とても思う」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「思う」の割合が 19.7%となっています。



【暴力や言葉や態度で傷つけられないこと】

暴力や言葉や態度で傷つけられないことについて、「とても思う」の割合が78.1%と最も高く、次いで「思う」の割合が17.5%となっています。



【安心できる場所で休む時間を持てること】

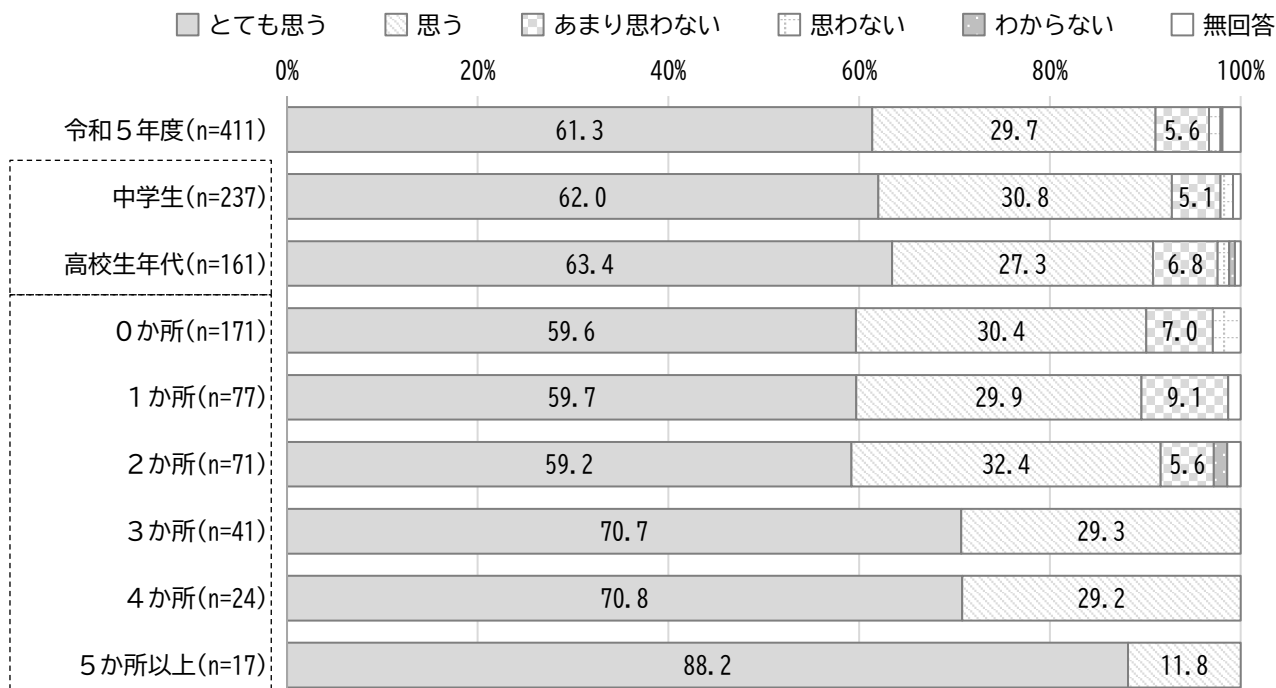
安心できる場所で休む時間を持てることについて、「とても思う」の割合が79.8%と最も高く、次いで「思う」の割合が17.0%となっています。



第2章 調査結果 工) 中学校・高校年代の青少年の本人調査

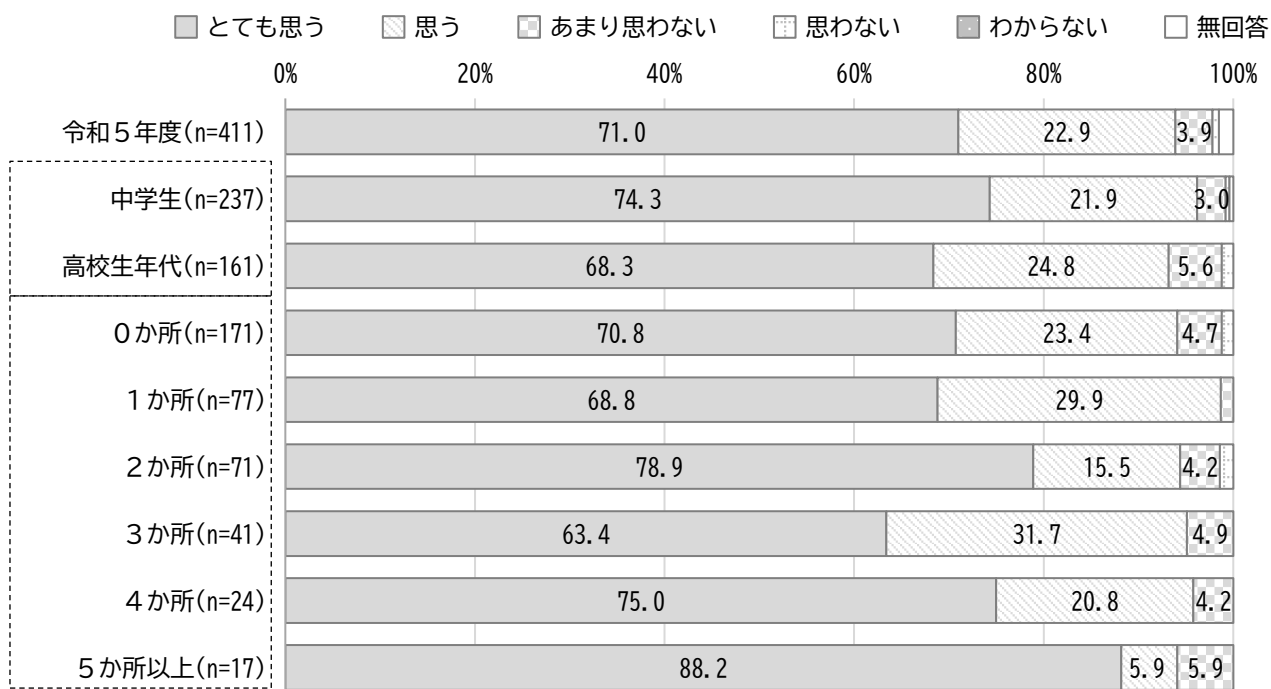
【友人などとグループで自由に行動ができること】

友人などとグループで自由に行動ができることについて、「とても思う」の割合が61.3%と最も高く、次いで「思う」の割合が29.7%となっています。



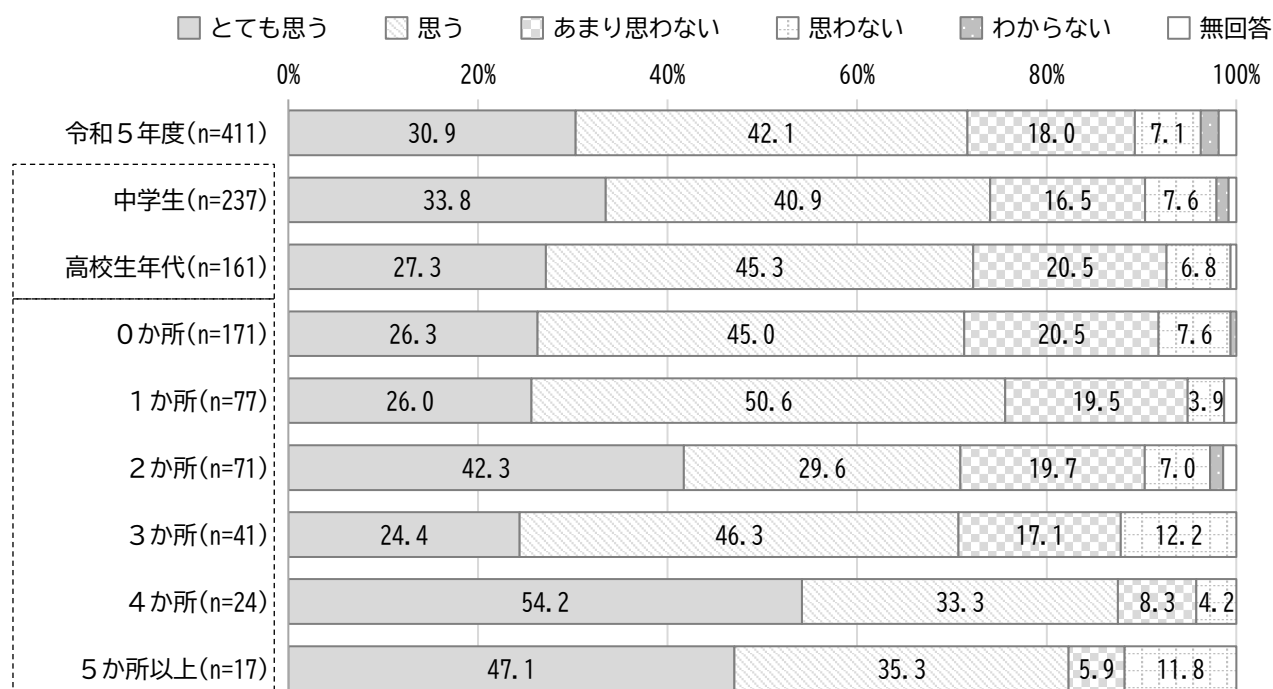
【家族と一緒に仲良く暮らすこと】

家族と一緒に仲良く暮らすことについて、「とても思う」の割合が71.0%と最も高く、次いで「思う」の割合が22.9%となっています。



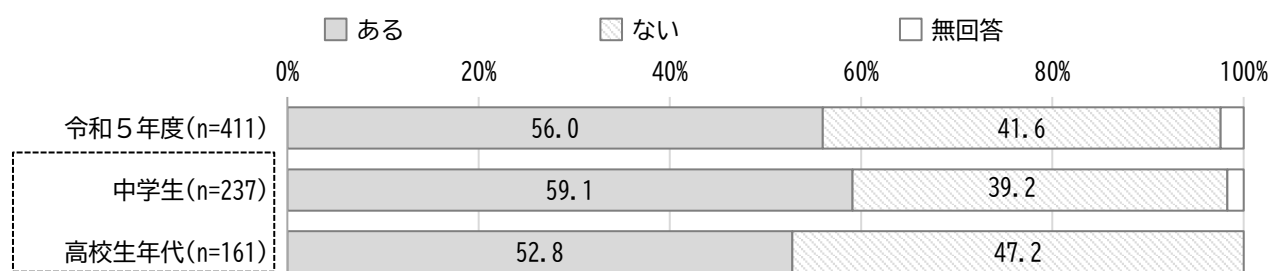
問5 自分のことが好きですか。(1つに○)

自分のことが好きかについて、「思う」の割合が42.1%と最も高く、次いで「とても思う」の割合が30.9%となっています。



問6 あなたは、家（普段寝起きをしている場所）や学校（授業や部活、クラブ活動）以外に、「ここに居たい」と感じる居場所がありますか。(1つに○)

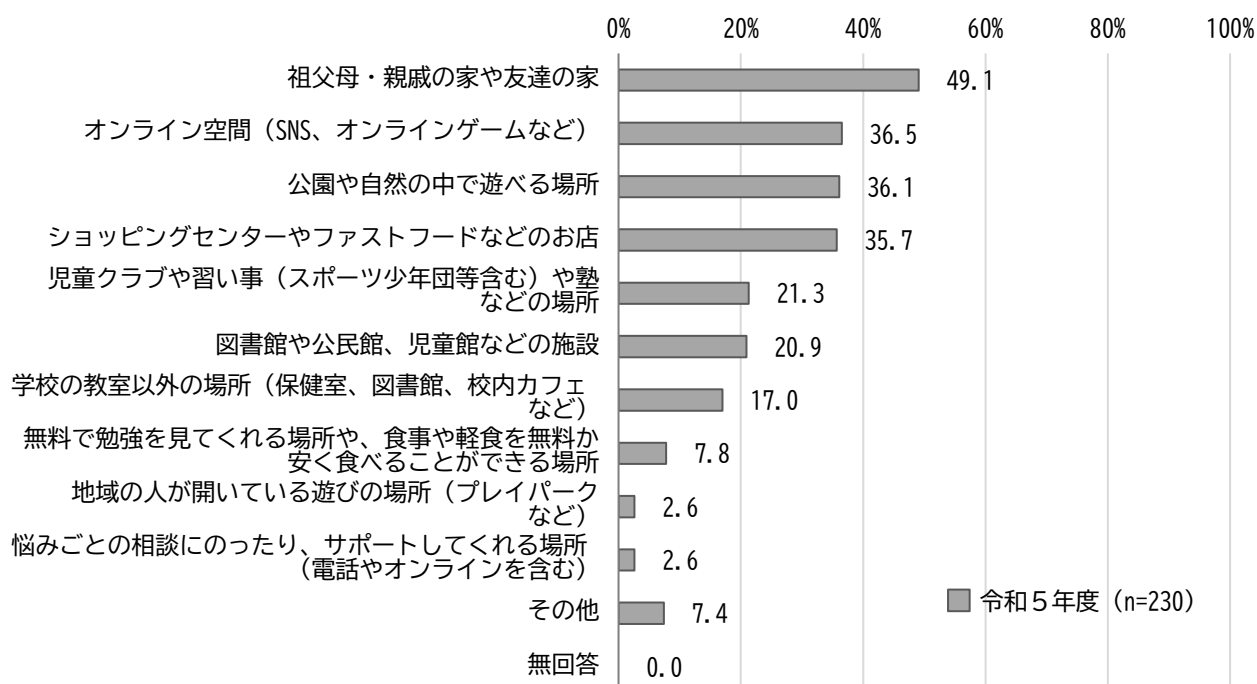
家や学校以外の「ここに居たい」と感じる居場所について、「ある」の割合が56.0%となっています。



第2章 調査結果 工) 中学校・高校年代の青少年の本人調査

問7 そこは、どのような場所ですか。(あてはまる番号すべてに○)

どのような場所かについて、「祖父母・親戚の家や友達の家」の割合が49.1%と最も高く、次いで「オンライン空間（SNS、オンラインゲームなど）」の割合が36.5%となっています。

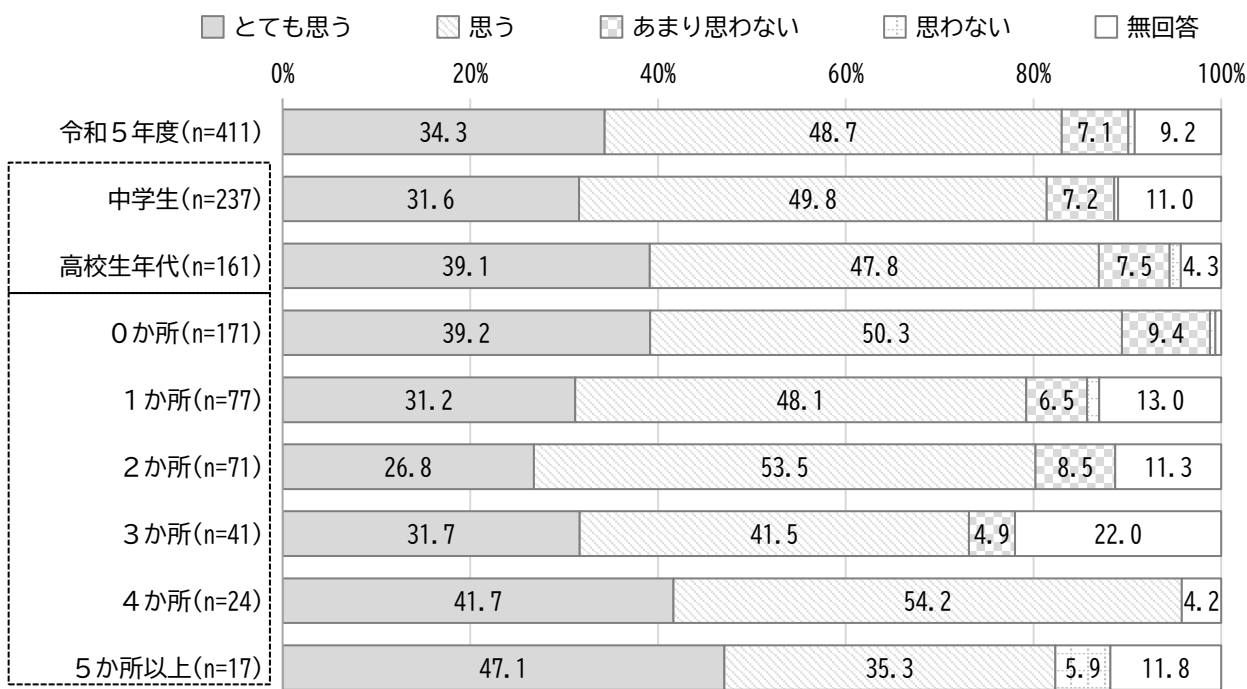


(単位：%)

区分	回答者数 (人)	祖父母・親戚の家や友達の家	児童クラブや習い事 (スポーツ少年団等含む) や塾などの場所	学校の教室以外の場所 (保健室、図書館、校内カフェなど)	公園や自然の中で遊べる場所	ショッピングセンターやファストフードなどのお店	図書館や公民館、児童館などの施設	地域の人が開いている遊びの場所 (プレイパークなど)	無料で勉強を見てくれる場所や、食事や軽食を無料で安く食べることができる場所	悩みごとの相談にのったり、サポートしてくれる場所 (電話やオンラインを含む)	オンライン空間 (SNS、オンラインゲームなど)	その他	無回答
令和5年度	230	49.1	21.3	17.0	36.1	35.7	20.9	2.6	7.8	2.6	36.5	7.4	0.0
中学生	140	48.6	23.6	17.1	36.4	40.0	21.4	2.1	7.9	3.6	42.1	5.0	0.0
高校生年代	85	49.4	17.6	17.6	34.1	29.4	18.8	3.5	8.2	1.2	27.1	11.8	0.0

問8 あなたは、自分の言うことを聞いてもらえていると思いますか。(1つに○)

自分の言うことを聞いてもらえているかについて、「思う」の割合が48.7%と最も高く、次いで「とても思う」の割合が34.3%となっています。

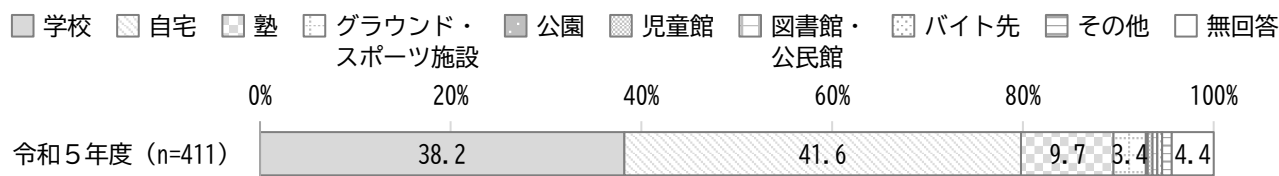


C. 放課後や休日等の過ごし方について

問9 ふだん、放課後や休日を「どこで」「どのように」過ごしていますか。過ごし方で一番多いものについて教えてください。(それぞれ1つに○)

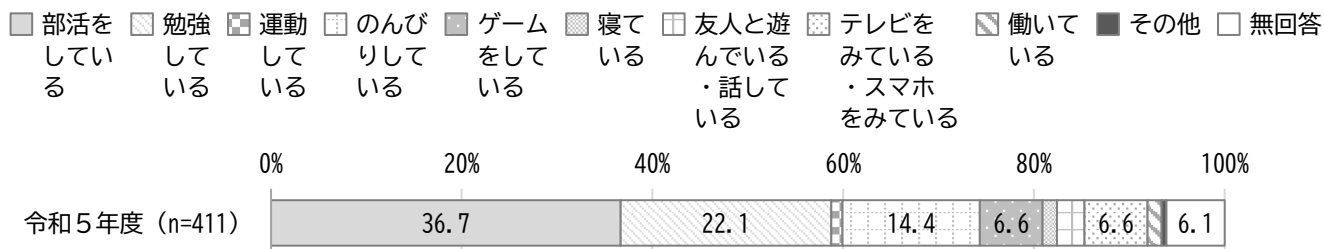
【放課後 どこで】

放課後にどこで過ごしているかについて、「自宅」の割合が41.6%と最も高く、次いで「学校」の割合が38.2%となっています。



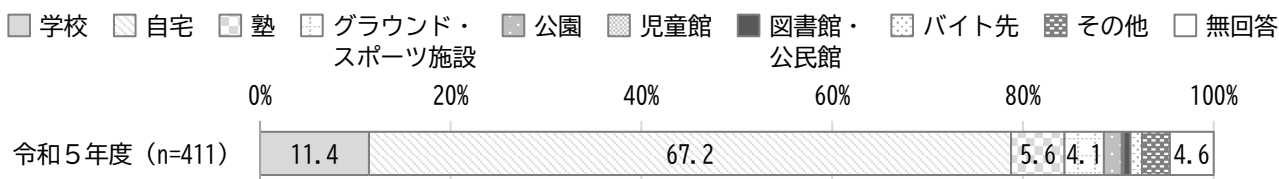
【放課後 どのように (何をしているか)】

放課後にどのように過ごしているかについて、「部活をしている」の割合が36.7%と最も高く、次いで「勉強している」の割合が22.1%となっています。



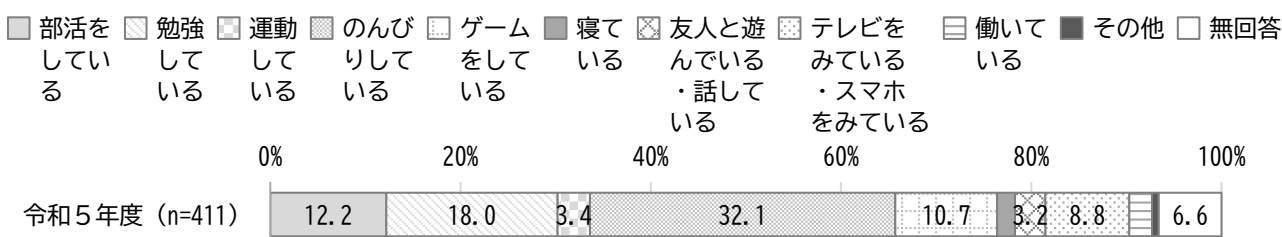
【休日 どこで】

休日にどこで過ごしているかについて、「自宅」の割合が67.2%と最も高く、次いで「学校」の割合が11.4%となっています。



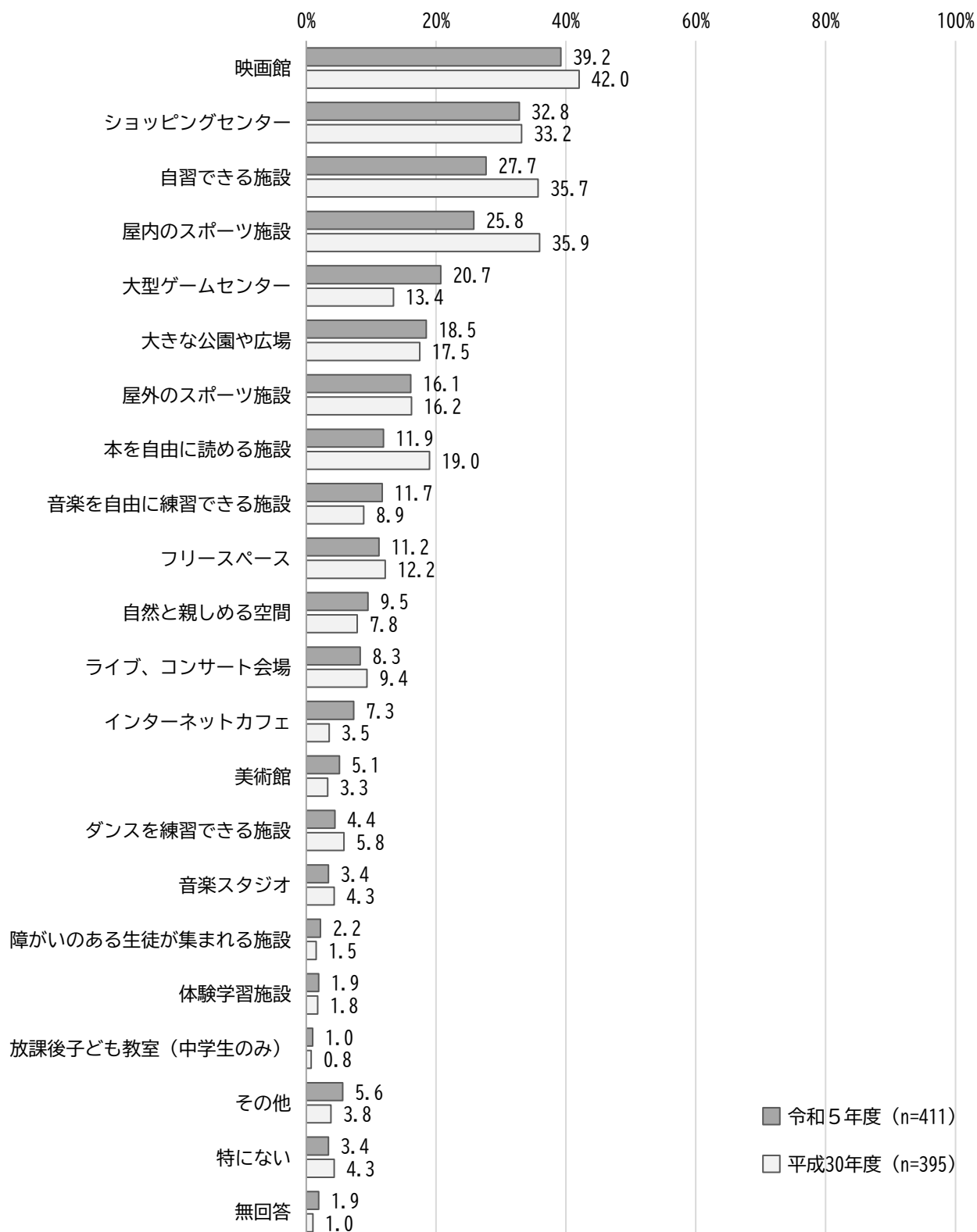
【休日 どのように (何をしているか)】

休日にどのように過ごしているかについて、「のんびりしている」の割合が32.1%と最も高く、次いで「勉強している」の割合が18.0%となっています。



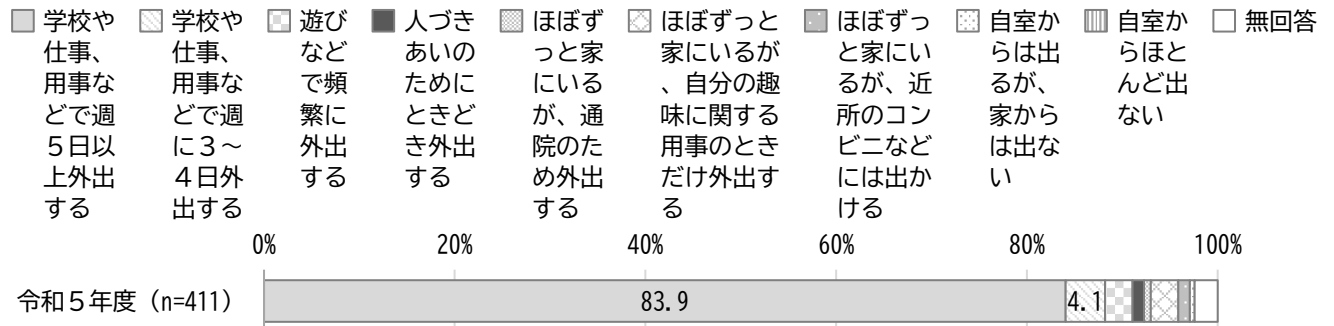
問10 放課後や休日を過ごすのに、どのような施設や遊び場が家の近所にあるとうれしいですか。
(3つまでに○)

放課後や休日を過ごす施設や遊び場について、「映画館」の割合が39.2%と最も高く、次いで「ショッピングセンター」の割合が32.8%となっています。



問11 あなたの最近6か月の外出状況についてお答えください。(1つに○)

最近6か月の外出状況について、「学校や仕事、用事などで週5日以上外出する」の割合が83.9%と最も高く、次いで「学校や仕事、用事などで週に3～4日外出する」の割合が4.1%となっています。

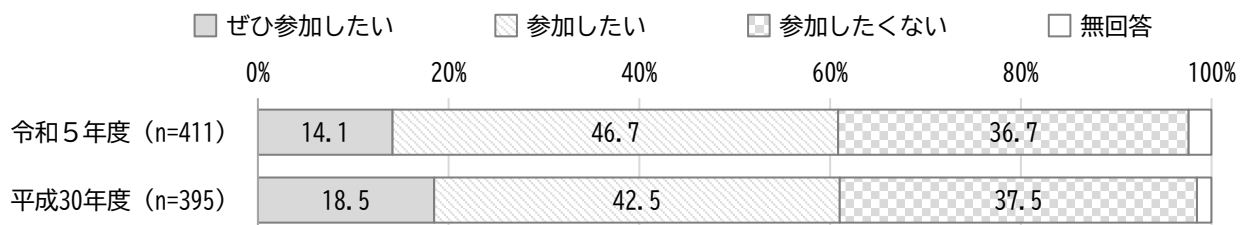


D. 体験の機会について

問12 あなたは次のような活動に対する体験の機会があれば、参加したいですか。(それぞれ1つに○)

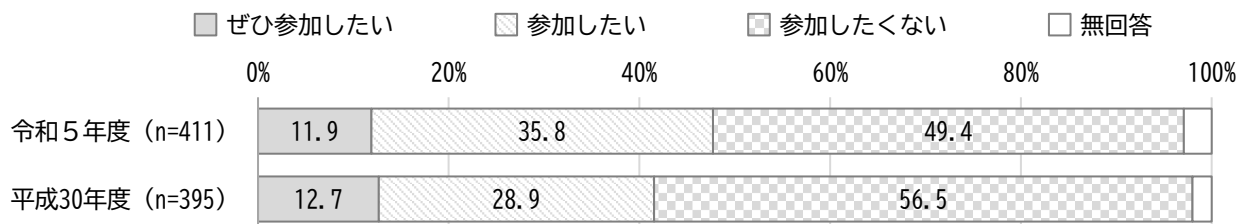
【ボランティア活動】

ボランティア活動について、「参加したい」の割合が46.7%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が36.7%となっています。



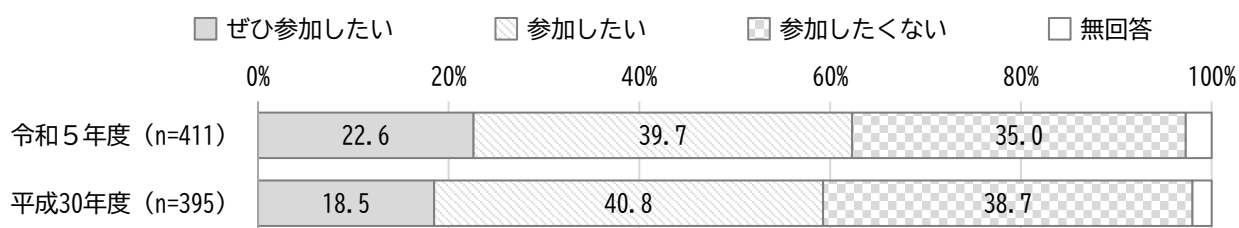
【農林水産業等の体験活動】

農林水産業等の体験活動について、「参加したくない」の割合が49.4%と最も高く、次いで「参加したい」の割合が35.8%となっています。



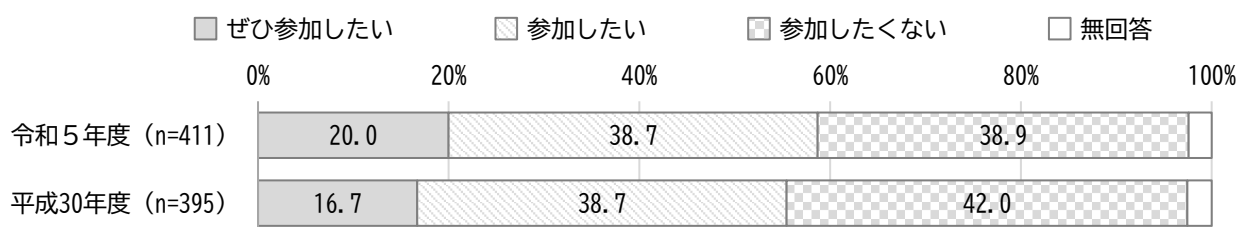
【商店や企業等の職業体験活動】

商店や企業等の職業体験活動について、「参加したい」の割合が39.7%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が35.0%となっています。



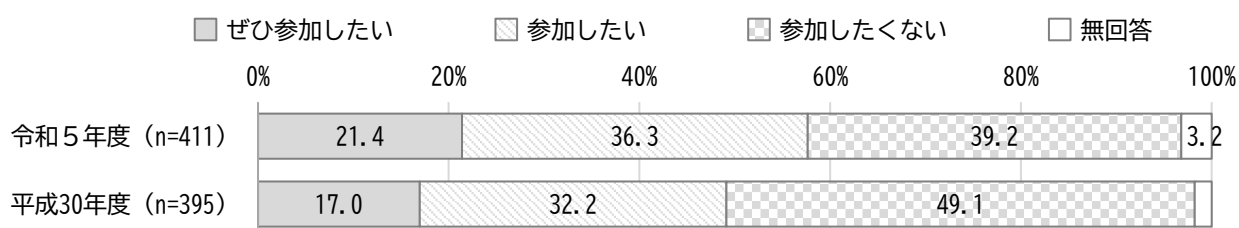
【芸術・文化体験活動】

芸術・文化体験活動について、「参加したくない」の割合が38.9%と最も高く、次いで「参加したい」の割合が38.7%となっています。



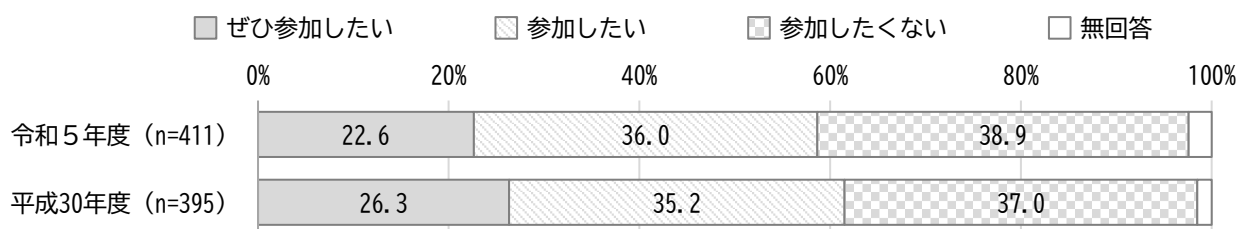
【科学技術体験活動】

科学技術体験活動について、「参加したくない」の割合が39.2%と最も高く、次いで「参加したい」の割合が36.3%となっています。



【国際交流体験活動】

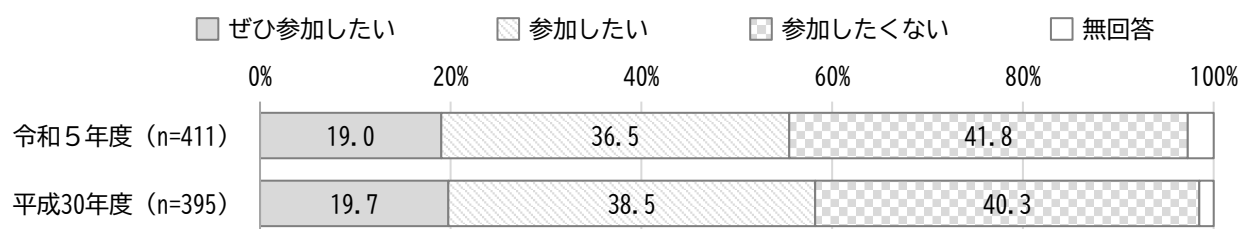
国際交流体験活動について、「参加したくない」の割合が38.9%と最も高く、次いで「参加したい」の割合が36.0%となっています。



第2章 調査結果 工) 中学校・高校年代の青少年の本人調査

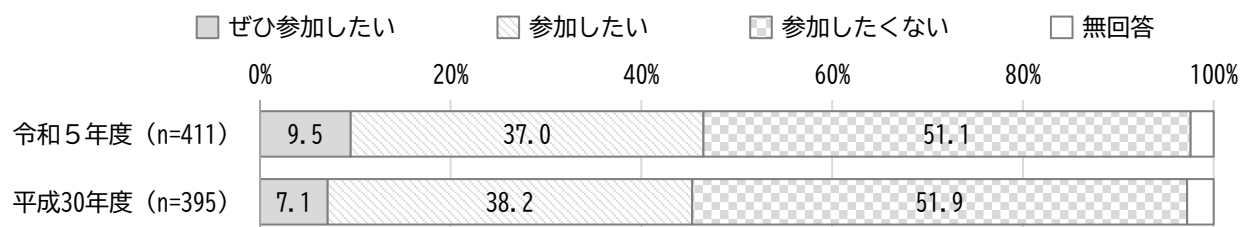
【乳幼児との交流体験活動】

乳幼児との交流体験活動について、「参加したくない」の割合が41.8%と最も高く、次いで「参加したい」の割合が36.5%となっています。



【高齢者との交流体験活動】

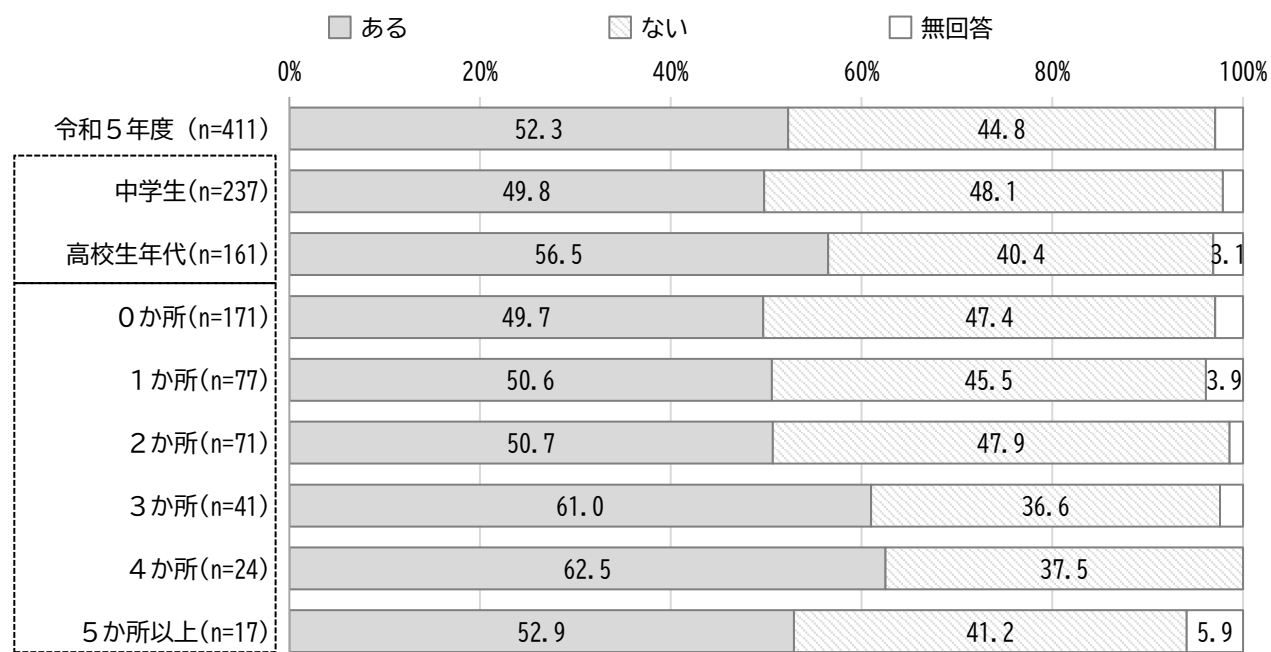
高齢者との交流体験活動について、「参加したくない」の割合が51.1%と最も高く、次いで「参加したい」の割合が37.0%となっています。



E. 将来のことについて

問13 将来の夢（やってみたい仕事）はありますか。（1つに〇）

将来の夢について、「ある」の割合が52.3%となっています。



問14 その夢や、つきたい職業はどんなことですか。

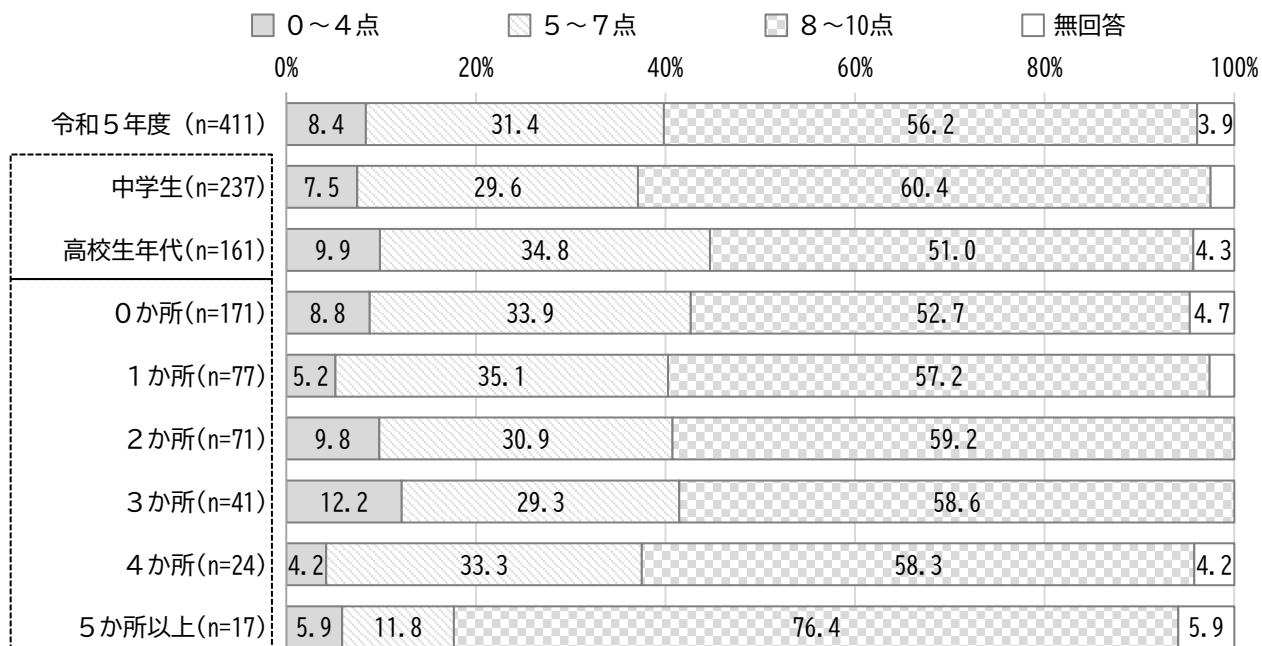
将来の夢（やってみたい仕事）については以下のとおりです。

項目	内容
医療 (26)	医師 (8)、看護師 (7)、製薬 (2)、薬剤師 (2)、医療従事者 (3)、歯科衛生士、助産師、マッサージ師、人の生活、命を守ることに出来る職業
理工製造 (26)	建築士 (9)、エンジニア (2)、宇宙関連 (2)、運転手 (2)、化学、建築デザイナー、スポーツシューズなどの開発、数学者、大工、鉄道関連、都市開発、飛行機関連、飛行操縦士、おもちゃメーカー、何かを作る職業
芸術芸能 (24)	イラストレーター (3)、画家 (3)、ファッションデザイナー (3)、俳優 (2)、グラフィックデザイナー、ダンサー、バンド、K-POPアイドル、音楽、演劇、歌手、声優、芸能マネージャー、アパレル店員、美術関係、漫画家、遊園地のキャスト
スポーツ (20)	スポーツ関連 (5)、サッカー選手 (4)、サッカー関連 (3)、野球選手、ML、野球に関わる仕事、テニス選手、ハンドボール選手、剣道、アスリートを支える仕事
国際 (14)	外交官、外国との関わりも持てる職業、インドネシアと日本をつなぎたい、ドイツかスイスで働く、ドバイで会社員、海外で働ける仕事、海外で暮らしたい、海外の大学に進学、空港関係の仕事、国際関係、国際的な仕事、世界の国々と訴え合うことができる職業、世界中旅をしたい、旅行関係
教育 (12)	教師 (8)、幼稚園教諭、養護教諭、模試試験官、子どもに関わる仕事
福祉 (12)	保育士 (2)、人を幸せにする職業 (2)、介護福祉士、児童相談所、周りの人や大切な人を幸せにする、人の役に立つこと人を助けること、人を助ける仕事、貧しい暮らしをしている子どもたちの支援、福祉係、スクールカウンセラー
人文 (11)	テレビのスタッフ (3)、ウェディングプランナー (2)、出版社 (2)、本に関わる仕事 (2)、アナウンサー、小説家
動植物 (10)	獣医 (2)、動物に関わる仕事 (2)、飼育員、トリマー、水族館の飼育員、動植物保全、バイオベンチャー、梨農家を鳥取県で成功させる
食品栄養 (9)	パティシエ (4)、カフェ (2)、管理栄養士、調理師、食に関わる仕事
公務 (9)	公務員 (4)、軍隊、警察官、消防士、地域や国に貢献したい、スイスで刑務官
法律政治 (9)	弁護士 (4)、法律家、司法書士、天下統一!!、女尊男卑社会である日本を変え、男性差別を無くし、本当の男女平等社会を目指す、誹謗中傷などのない平和な世界に少しでも近づけるために働きたい
IT (8)	プログラマー (2)、IT・情報系、webデザイナー、ゲームクリエイター、システムエンジニア、開発職、情報系のなにか
経営 (7)	公認会計士 (2)、会社経営 (2)、父親と同じ会社、マーケティング、地理 (社会) に関すること
美容 (4)	美容師 (3)、理容師
その他 (10)	幸せに生きる、自由にやりたい事をして生きたい、障害はあるけど、1人で住んで仕事をしたい、人に関わる仕事 (2)、税面で優遇を受けられる職業、東大行き研究者になる、日本を支える仕事をしたい、友達と一緒に生活したい

F. 幸せについて

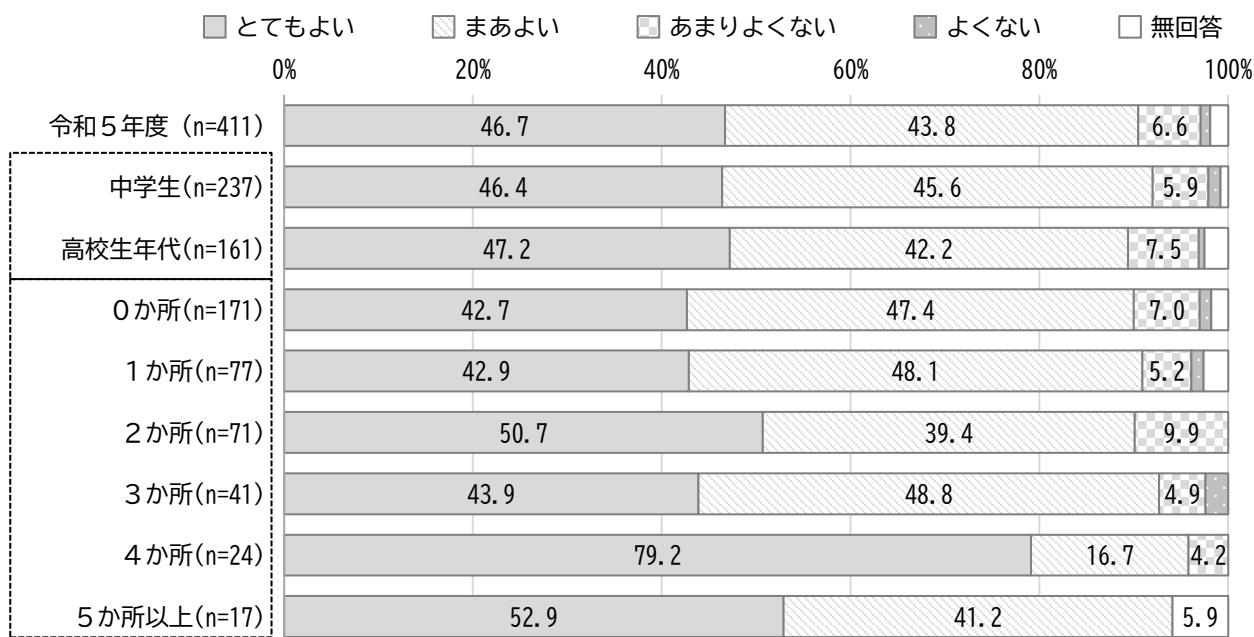
問15 あなたは、現在どのくらい幸せですか。
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、1つに○)

あなたの幸福度について、「8～10点」の割合が56.2%と最も高く、次いで「5～7点」の割合が31.4%となっています。



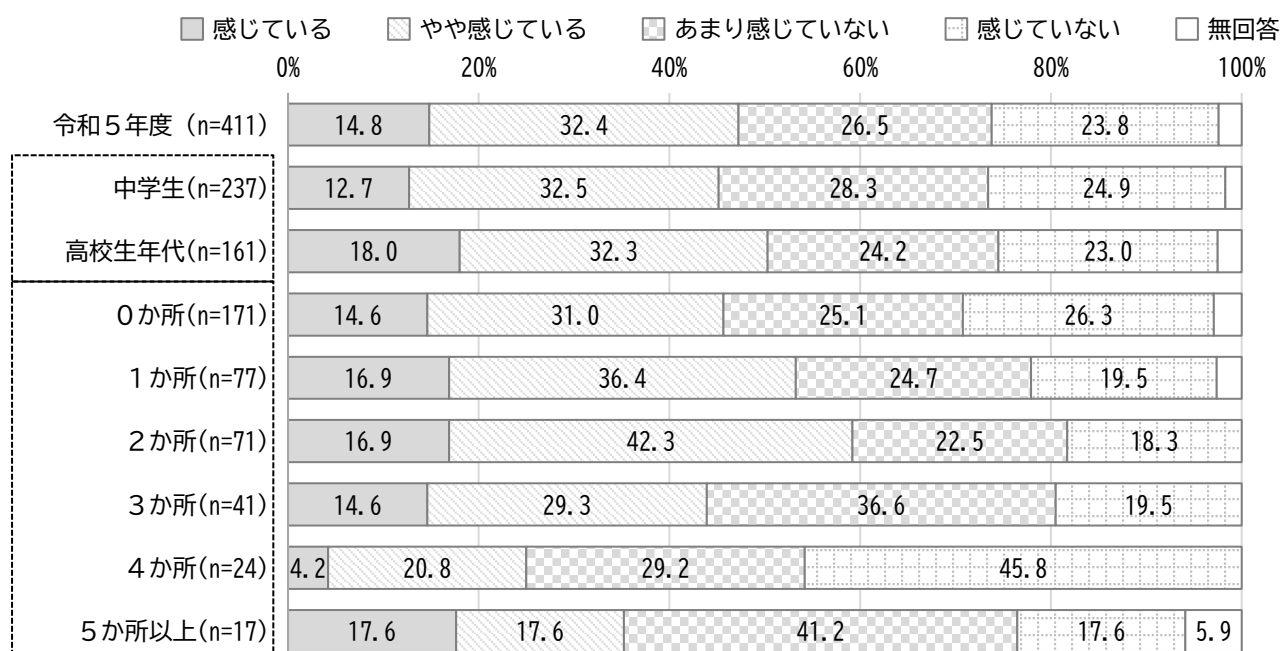
問16 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

あなたの健康状態について、「とてもよい」の割合が46.7%と最も高く、次いで「まあよい」の割合が43.8%となっています。



問17 普段の生活に不安や悩みを感じていますか。(1つに○)

普段の生活での不安や悩みについて、「やや感じている」の割合が32.4%と最も高く、次いで「あまり感じていない」の割合が26.5%となっています。



G. 困ったときの相談について

問18 困ったときの相談相手はいますか。(1つに○)

困った時の相談相手について、「いる」の割合が84.7%となっています。

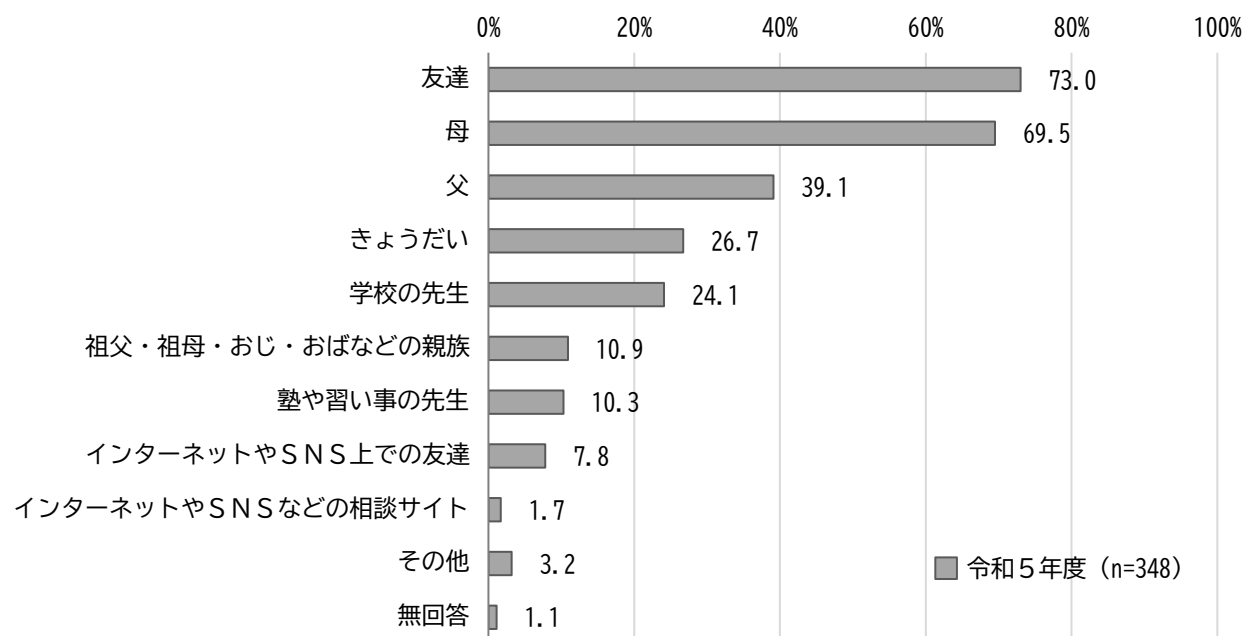


第2章 調査結果 工) 中学校・高校年代の青少年の本人調査

問18 で困ったときの相談相手がいると回答した方

問19 困ったときの相談相手は誰ですか。(あてはまる番号すべてに○)

困ったときの相談相手について、「友達」の割合が73.0%と最も高く、次いで「母」の割合が69.5%となっています。



(単位：%)

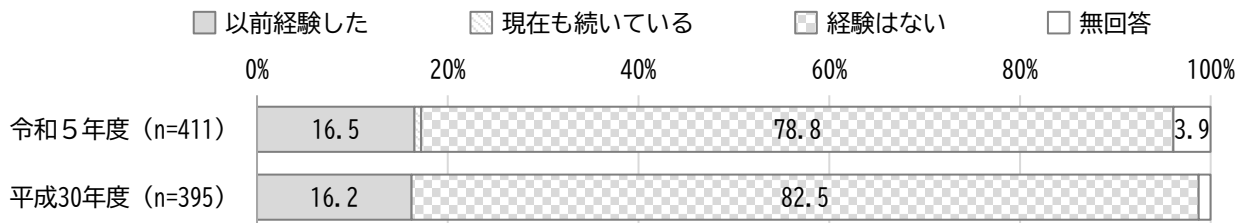
区分	回答者数 (人)	父	母	きょうだい	祖父・祖母・おじ・おばなどの親族	友達	インターネットやSNS上での友達	学校の先生	塾や習い事の先生	インターネットやSNSなどの相談サイト	その他	無回答
令和5年度	348	39.1	69.5	26.7	10.9	73.0	7.8	24.1	10.3	1.7	3.2	1.1
中学生	200	42.0	69.5	28.5	14.0	72.5	8.0	26.0	13.0	1.0	3.5	2.0
高校生年代	138	34.8	71.0	23.2	6.5	74.6	8.0	21.0	6.5	2.9	2.2	0.0
0か所	141	38.3	69.5	29.1	5.0	73.8	2.8	19.9	9.9	1.4	2.1	2.1
1か所	62	25.8	62.9	19.4	6.5	66.1	9.7	17.7	4.8	4.8	3.2	0.0
2か所	61	45.9	75.4	27.9	19.7	70.5	13.1	29.5	14.8	0.0	3.3	0.0
3か所	38	39.5	68.4	23.7	21.1	78.9	15.8	21.1	5.3	0.0	2.6	2.6
4か所	23	52.2	65.2	34.8	8.7	82.6	4.3	30.4	17.4	4.3	0.0	0.0
5か所以上	15	53.3	86.7	26.7	20.0	80.0	13.3	60.0	20.0	0.0	13.3	0.0

H. いじめや虐待などについて

問 20 いじめや虐待、不登校の経験はありますか。(それぞれ1つに○)

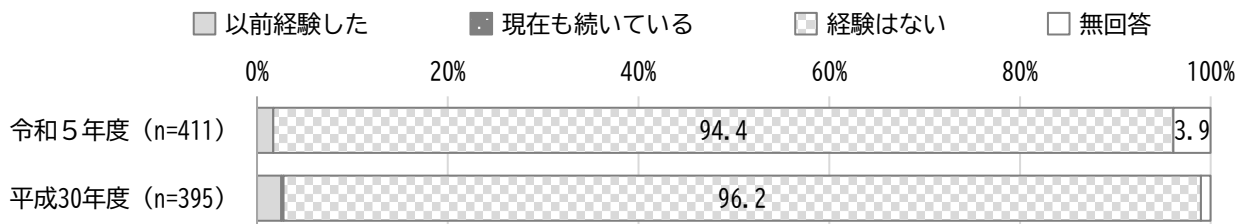
【いじめを受けたこと】

いじめを受けたことについて、「経験はない」の割合が78.8%と最も高く、次いで「以前経験した」の割合が16.5%となっています。



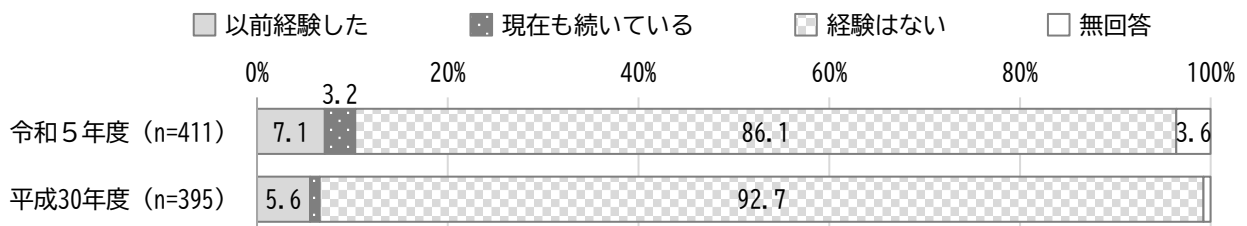
【虐待を受けたこと】

虐待を受けたことについて、「経験はない」の割合が94.4%と最も高く、次いで「無回答」の割合が3.9%となっています。



【不登校】

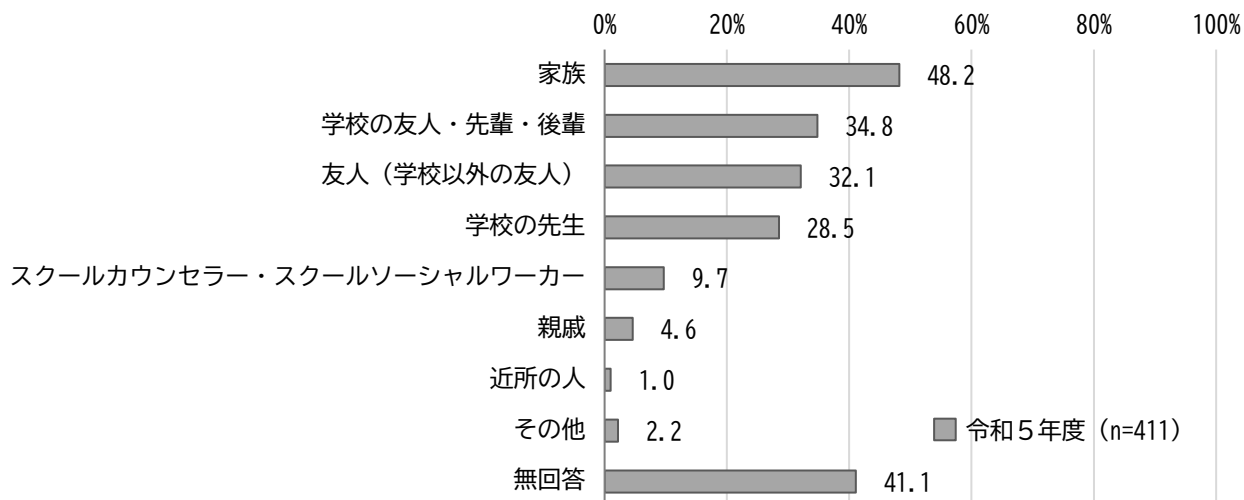
不登校について、「経験はない」の割合が86.1%と最も高く、次いで「以前経験した」の割合が7.1%となっています。



問 21 下記の相談先について、いじめや虐待、悩んだ時や困った時に相談したことがあるか、相談先として考えられるか教えてください。また、相談したことがある場合は相談結果について教えてください。(それぞれ1つに○)

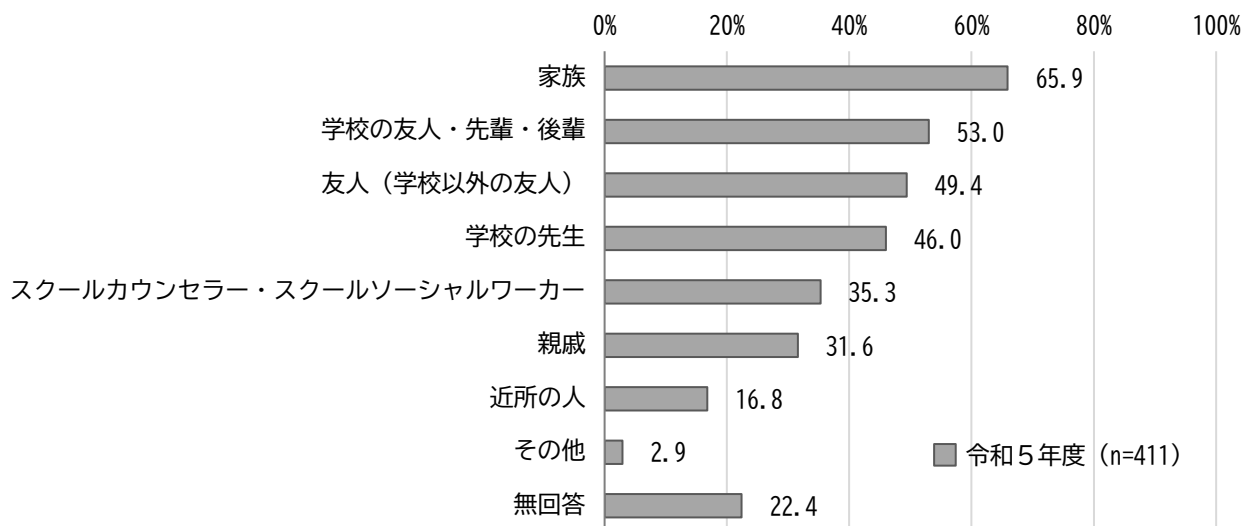
【相談したことがある】

相談したことがあるについて、「家族」の割合が48.2%と最も高く、次いで「無回答」の割合が41.1%となっています。



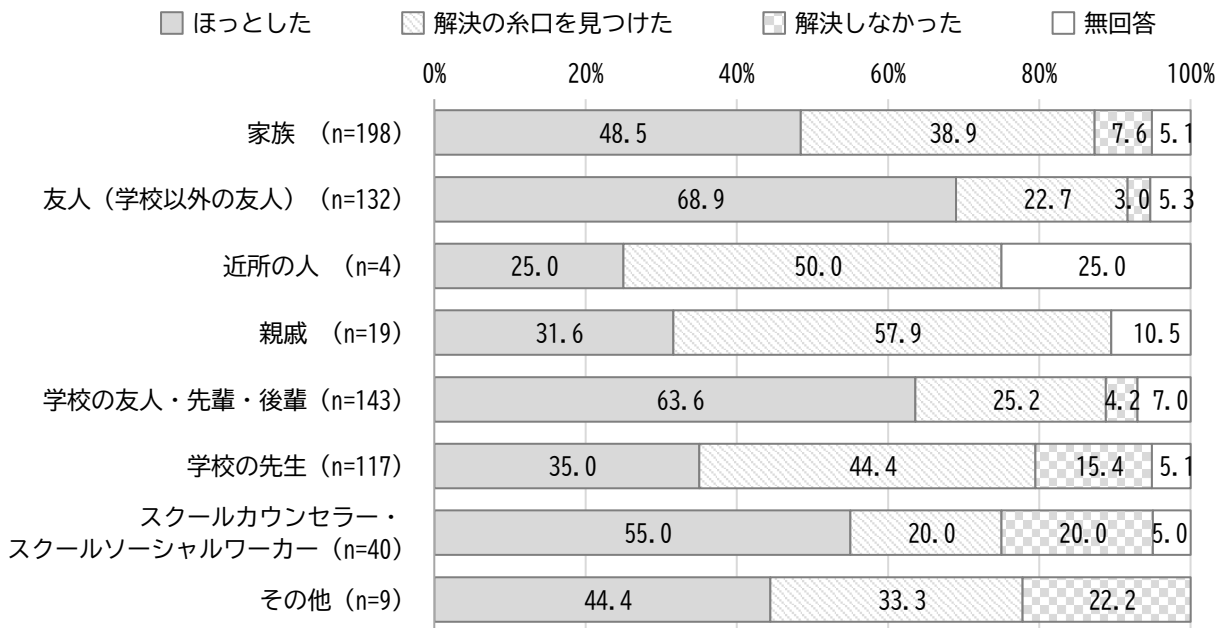
【相談先として考えられるか】

相談先として考えられるかについて、「家族」の割合が65.9%と最も高く、次いで「学校の友人・先輩・後輩」の割合が53.0%となっています。



【相談結果】

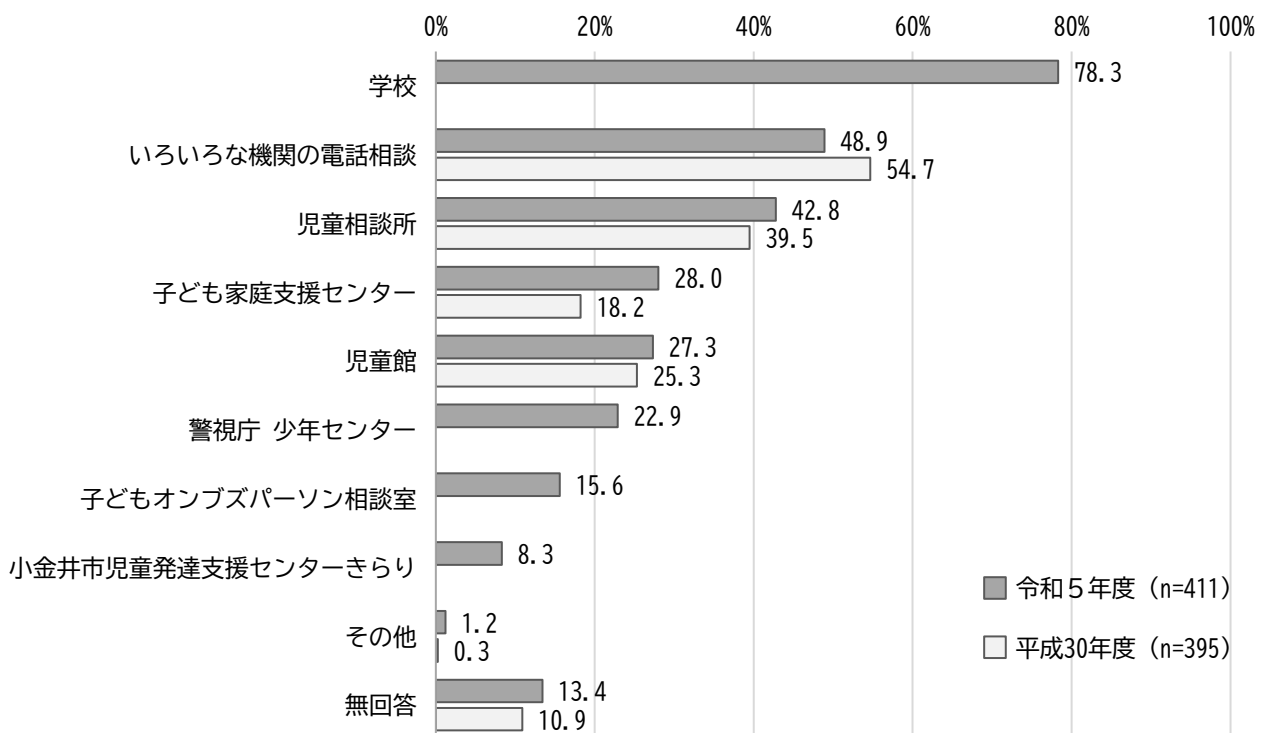
相談結果について、「ほっとした」では、「友人（学校以外の友人）」の割合が68.9%と最も高く、「解決の糸口を見つけた」では、「学校の先生」の割合が44.4%と最も高くなっています。



※nが小さいため、「近所の人」「親戚」「その他」は考察からは除外しました。

問 22 悩みごとや困ったことがある場合、次のような相談する場所があることを知っていますか。
(あてはまる番号すべてに○)

悩みごとや困ったことを相談できる場所を知っているかについて、「学校」の割合が78.3%と最も高く、次いで「いろいろな機関の電話相談」の割合が48.9%となっています。

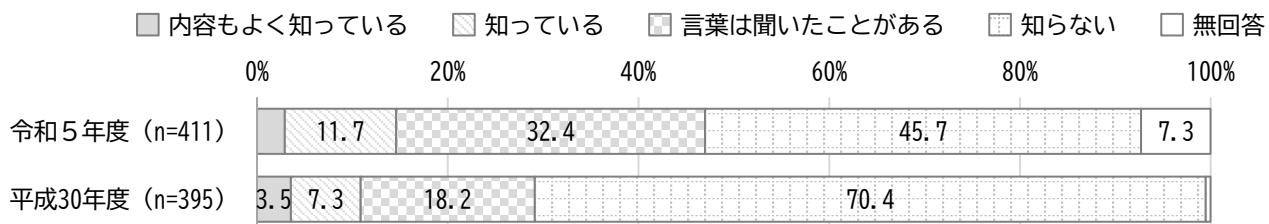


I. 子どもの権利について

問 23 「小金井市子どもの権利に関する条例」および「子どもオンブズパーソン」について、どれくらい知っていますか。(それぞれ1つに○)

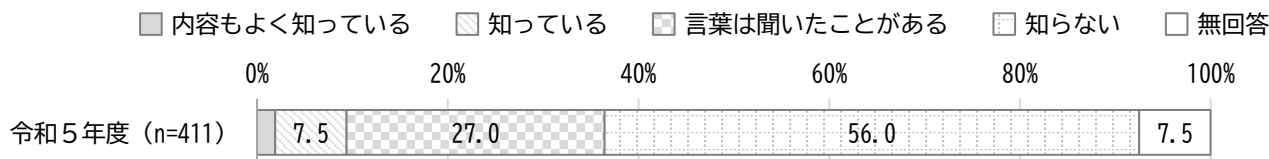
【小金井市子どもの権利に関する条例】

小金井市子どもの権利に関する条例について、「知らない」の割合が45.7%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が32.4%となっています。



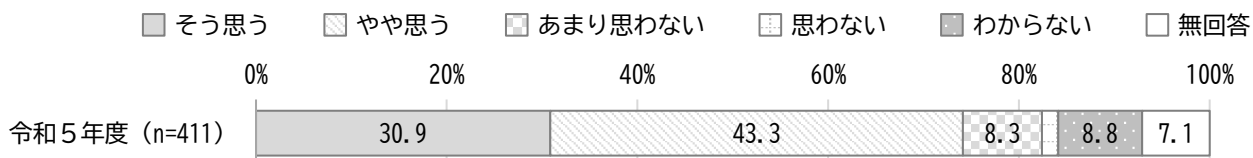
【子どもオンブズパーソン】

子どもオンブズパーソンについて、「知らない」の割合が56.0%と最も高く、次いで「言葉は聞いたことがある」の割合が27.0%となっています。



問 24 あなたは子どもの権利が守られていると思いますか。(1つに○)

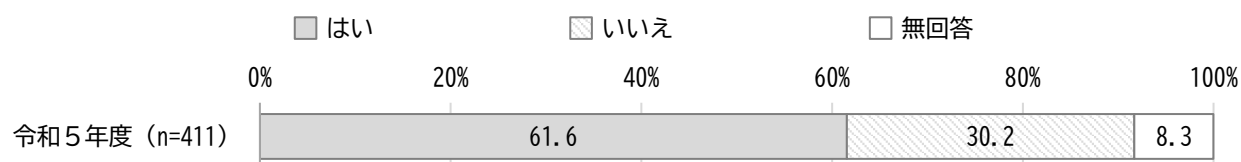
子どもの権利が守られているかについて、「やや思う」の割合が43.3%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が30.9%となっています。



J. ヤングケアラーについて

問25 ヤングケアラーという言葉を知っていますか。(1つに○)

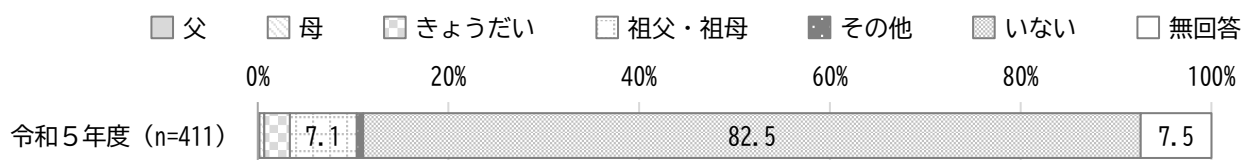
ヤングケアラーを知っているかについて、「はい」の割合が61.6%となっています。



問26 あなたの家族に育児・看病・介護やその他ケアなどお世話が必要な人はいますか。

(あてはまるものすべてに○)

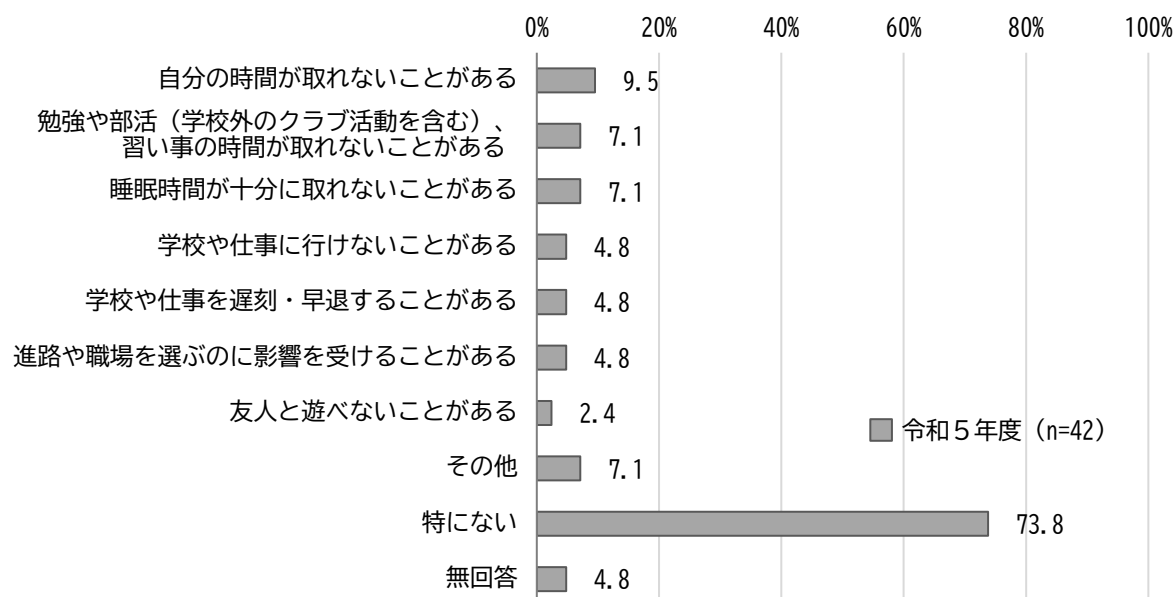
家族にお世話が必要な人がいるかについて、「いない」の割合が82.5%と最も高く、次いで「無回答」の割合が7.5%となっています。



問26で「いない」以外を回答した方

問27 あなたには次のようなことが起こっていますか。(あてはまるものすべてに○)

あなたに起こっていることについて、「特にない」の割合が73.8%と最も高く、次いで「自分の時間が取れないことがある」の割合が9.5%となっています。

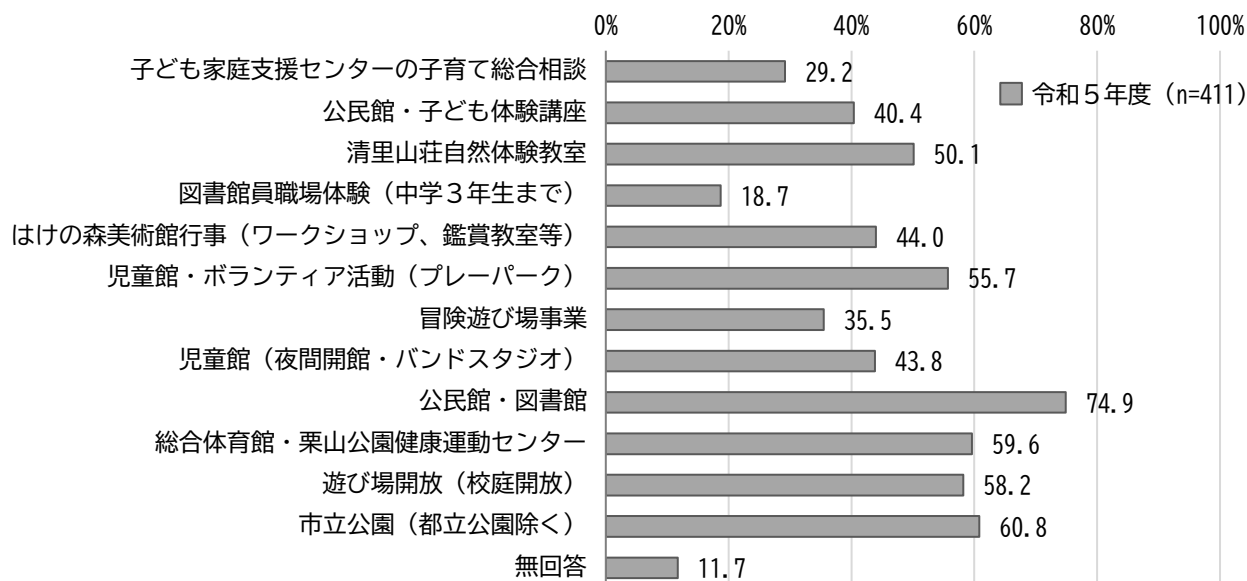


K. 市の施設等について

問 28 下記の活動や施設について、知っているか、これまでに利用したことがあるか教えてください。また利用したことがある場合は満足したか、今後も利用したいか教えてください。(それぞれ1つに○)

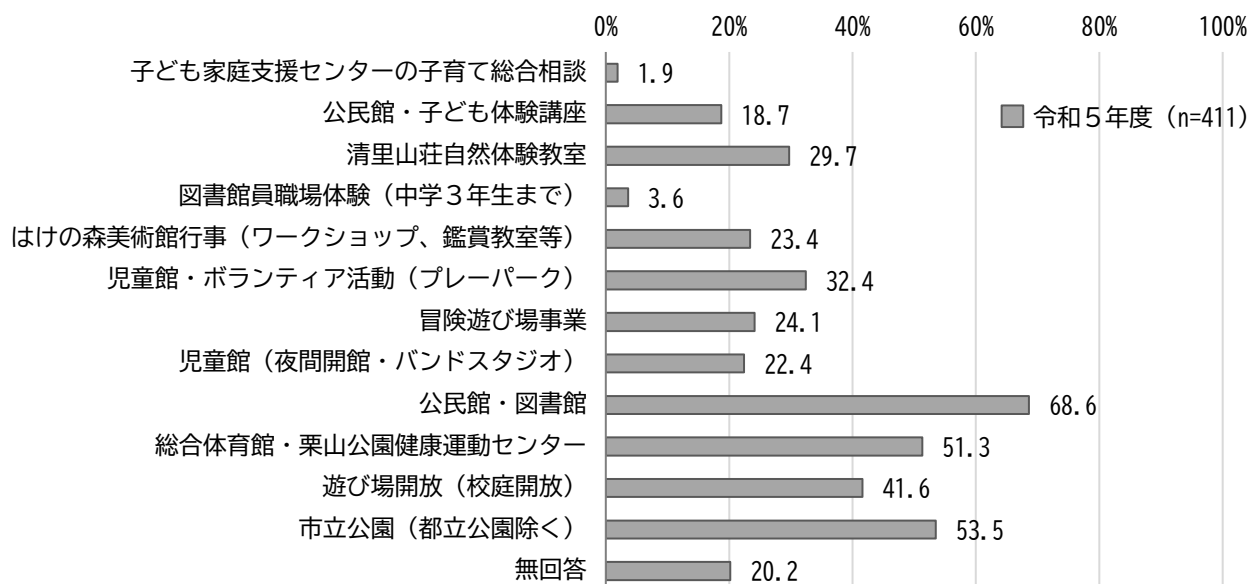
【知っている】

各事業の認知度について、「公民館・図書館」の割合が74.9%と最も高く、次いで「市立公園（都立公園除く）」の割合が60.8%となっています。



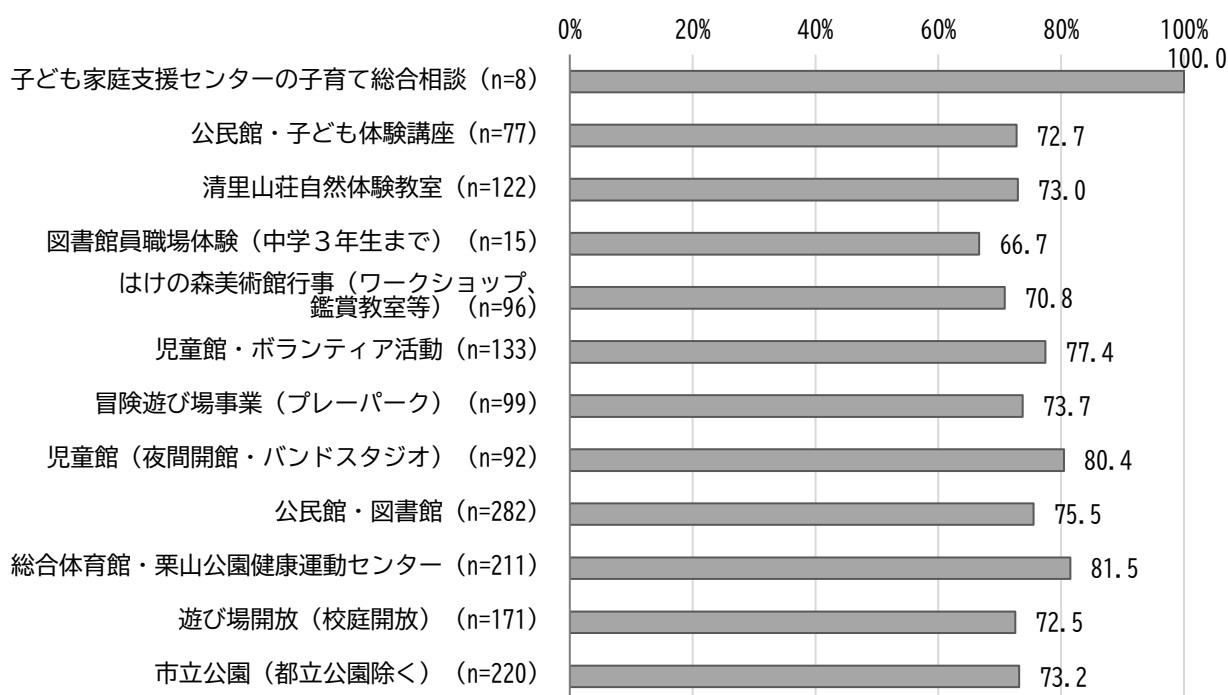
【これまでに利用したことがあるか】

各事業の利用率について、「公民館・図書館」の割合が68.6%と最も高く、次いで「市立公園（都立公園除く）」の割合が53.5%となっています。



【利用したことがある場合、満足したか】

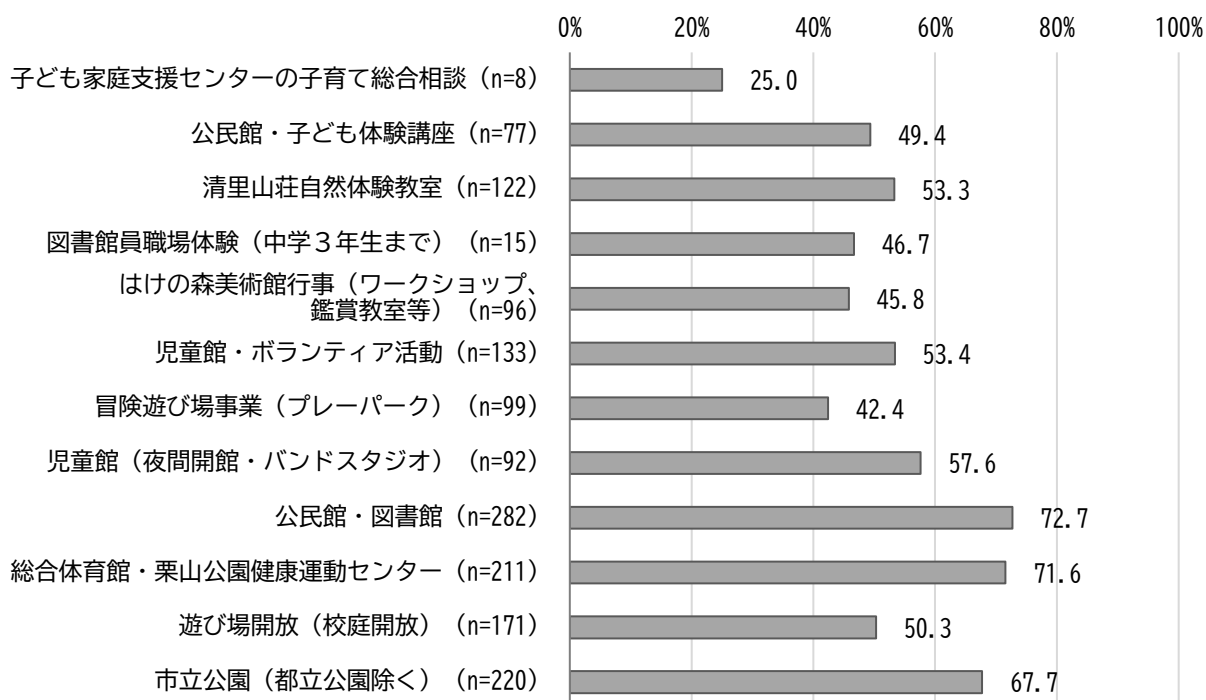
各事業の満足度について、「総合体育館・栗山公園健康運動センター」の割合が81.5%と最も高く、次いで「児童館（夜間開館・バンドスタジオ）」の割合が80.4%となっています。



※nが小さいため、「子ども家庭支援センターの子育て総合相談」は考察からは除外しました。

【今後利用したいか】 37

各事業の今後の利用意向について、「公民館・図書館」の割合が72.7%と最も高く、次いで「総合体育館・栗山公園健康運動センター」の割合が71.6%となっています。



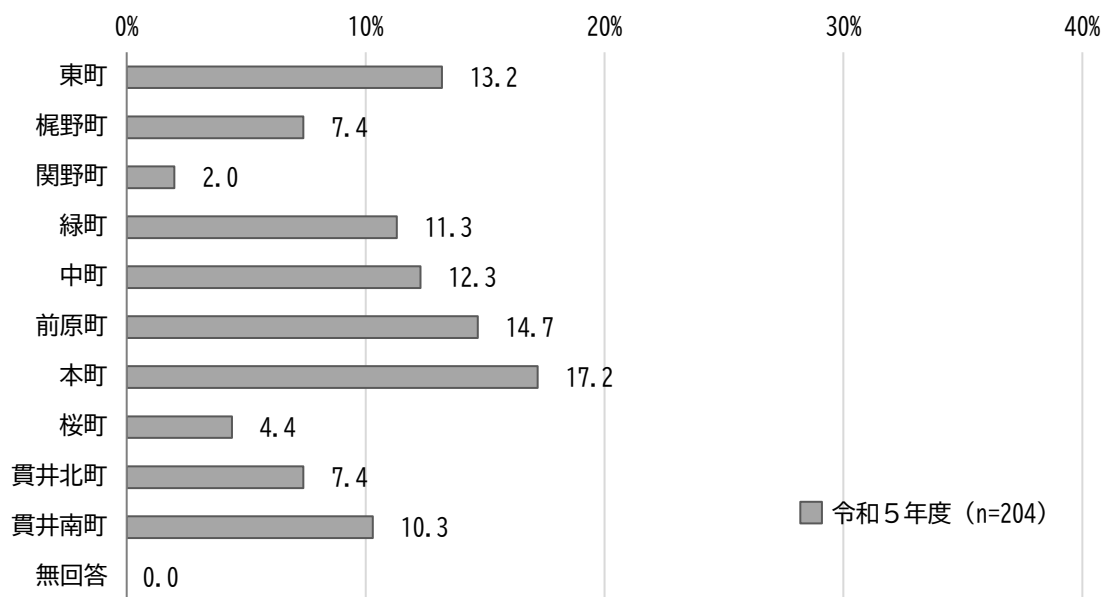
オ) ひとり親家庭の保護者調査

調査名	分類	分類のしかた
オ) ひとり親家庭の保護者 調査 (n=204)	年代	問2 宛名のお子さんの生年月 令和5年4月1日現在の年齢で「未就学」、「小学生」、「中高 校生年代」に分類した。
	年収	問15 世帯年収 「200万円未満」と「200万円以上」に分類した(相対的貧困 世帯を200万円と設定。ただし、200万円未満の世帯は56件 とあまり有意な分析とならない可能性)。
	ひとり親にな ってからの年 数	問18 ひとり親になってからの年数 「2年未満」「2年以上～5年未満」「5年以上」に分類した。

A. 回答者属性

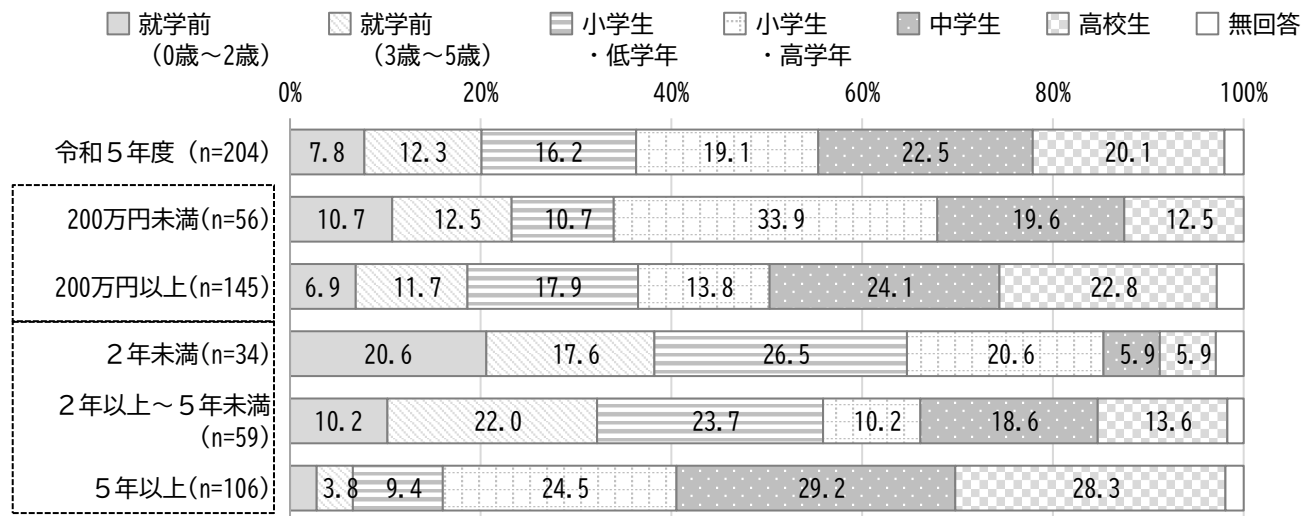
問1 お住まいの地区はどこですか。(町名・丁目、それぞれ1つに○)

住まいの地域について、「本町」の割合が17.2%と最も高く、次いで「前原町」の割合が14.7%となつて
います。



問2 宛名のお子さん（以降お子さんと記載）の生年月を記入してください。（数字を記入）

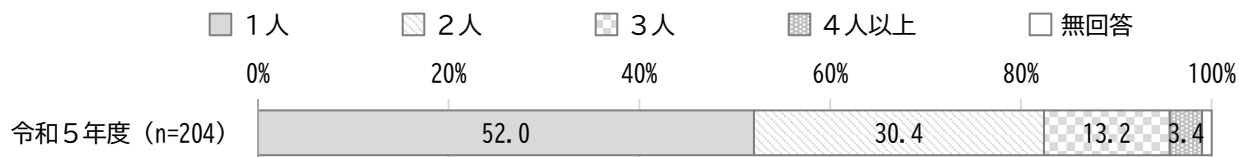
宛名のお子さんの生年月について、「中学生」の割合が22.5%と最も高く、次いで「高校生」の割合が20.1%となっています。



第2章 調査結果 オ) ひとり親家庭の保護者調査

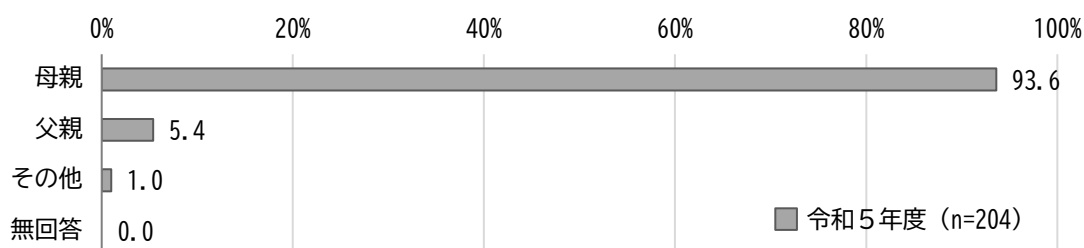
問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をお答えください。
(数字を記入)

宛名のお子さんのきょうだいについて、「1人」の割合が52.0%と最も高く、次いで「2人」の割合が30.4%となっています。



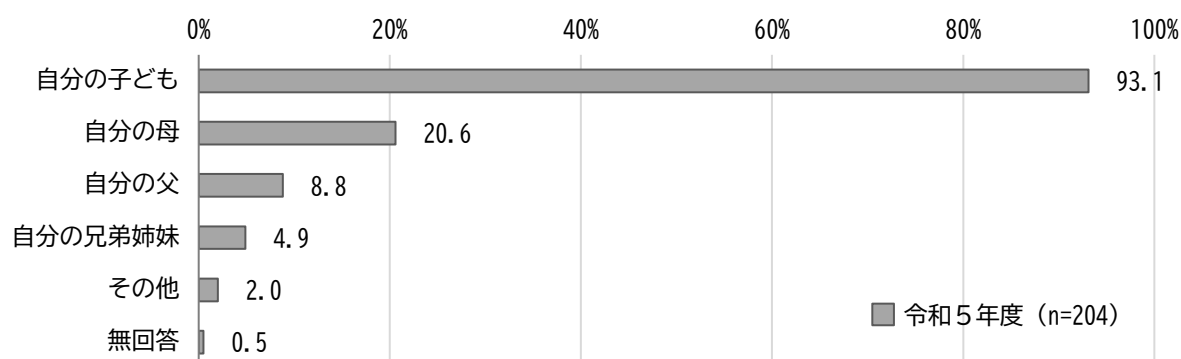
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。
(あてはまる番号すべてに○)

調査票にご回答いただく方のお子さんからみた関係について、「母親」の割合が93.6%と最も高く、次いで「父親」の割合が5.4%となっています。



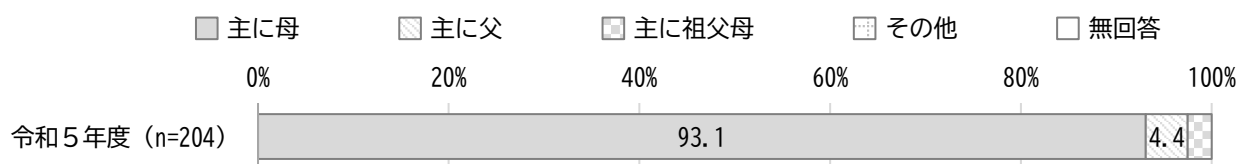
問5 同居している家族は、つぎのうちどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

同居している家族について、「自分の子ども」の割合が93.1%と最も高く、次いで「自分の母」の割合が20.6%となっています。



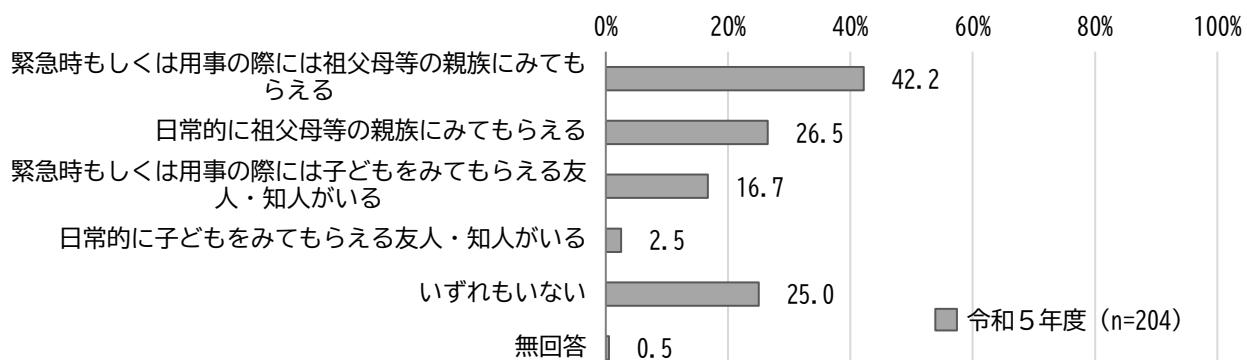
問6 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（1つに○）

お子さんの子育てを主に行っている方について、「主に母」の割合が93.1%と最も高く、次いで「主に父」の割合が4.4%となっています。



問7 日頃、お子さんを見てもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

お子さんを見てもらえる親族・知人がいるかについて、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が42.2%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」の割合が26.5%となっています。



(単位：%)

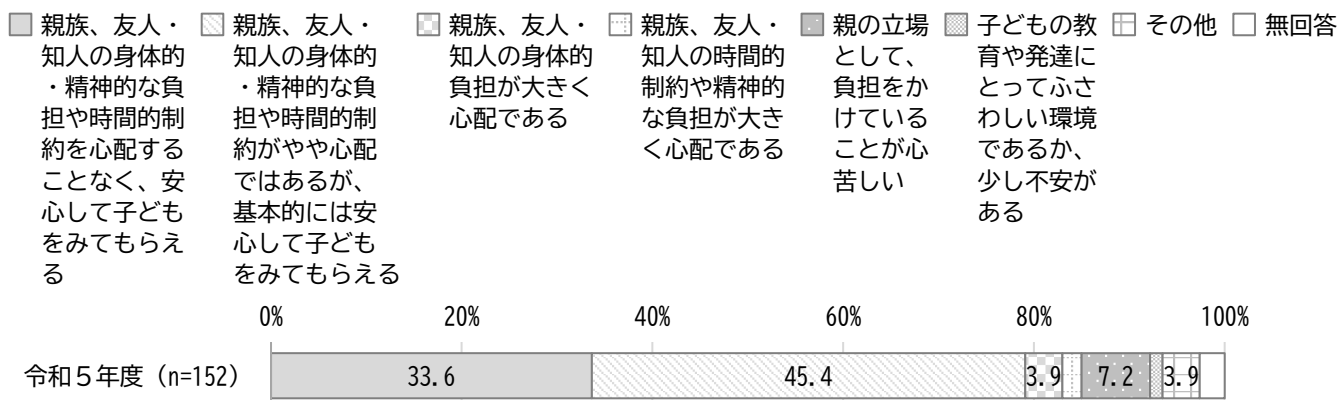
区分	回答者(人)	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	日常的に子どもを見てもらえる友人・知人がいる	緊急時もしくは用事の際には子どもを見てもらえる友人・知人がいる	いずれもない	無回答
令和5年度	204	26.5	42.2	2.5	16.7	25.0	0.5
就学前	41	34.1	53.7	0.0	14.6	19.5	0.0
小学生	72	29.2	44.4	2.8	18.1	16.7	1.4
中高生年代	87	21.8	34.5	3.4	17.2	33.3	0.0
200万円未満	56	29.0	44.1	3.4	17.2	22.8	0.0
200万円以上	145	32.4	35.3	2.9	23.5	14.7	2.9
2年未満	34	22.6	44.3	2.8	11.3	26.4	0.0
2年以上～5年未満	59	28.8	44.1	1.7	22.0	27.1	0.0
5年以上	106	22.6	44.3	2.8	11.3	26.4	0.0

第2章 調査結果 オ) ひとり親家庭の保護者調査

問7で「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」のいずれかに回答した方

問8 親族、友人・知人にお子さんをみてもらっている状況はいかがですか。(1つに○)

お子さんをみてもらっている状況について、「親族、友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約がやや心配ではあるが、基本的には安心して子どもをみてもらえる」の割合が45.4%と最も高く、次いで「親族、友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」の割合が33.6%となっています。

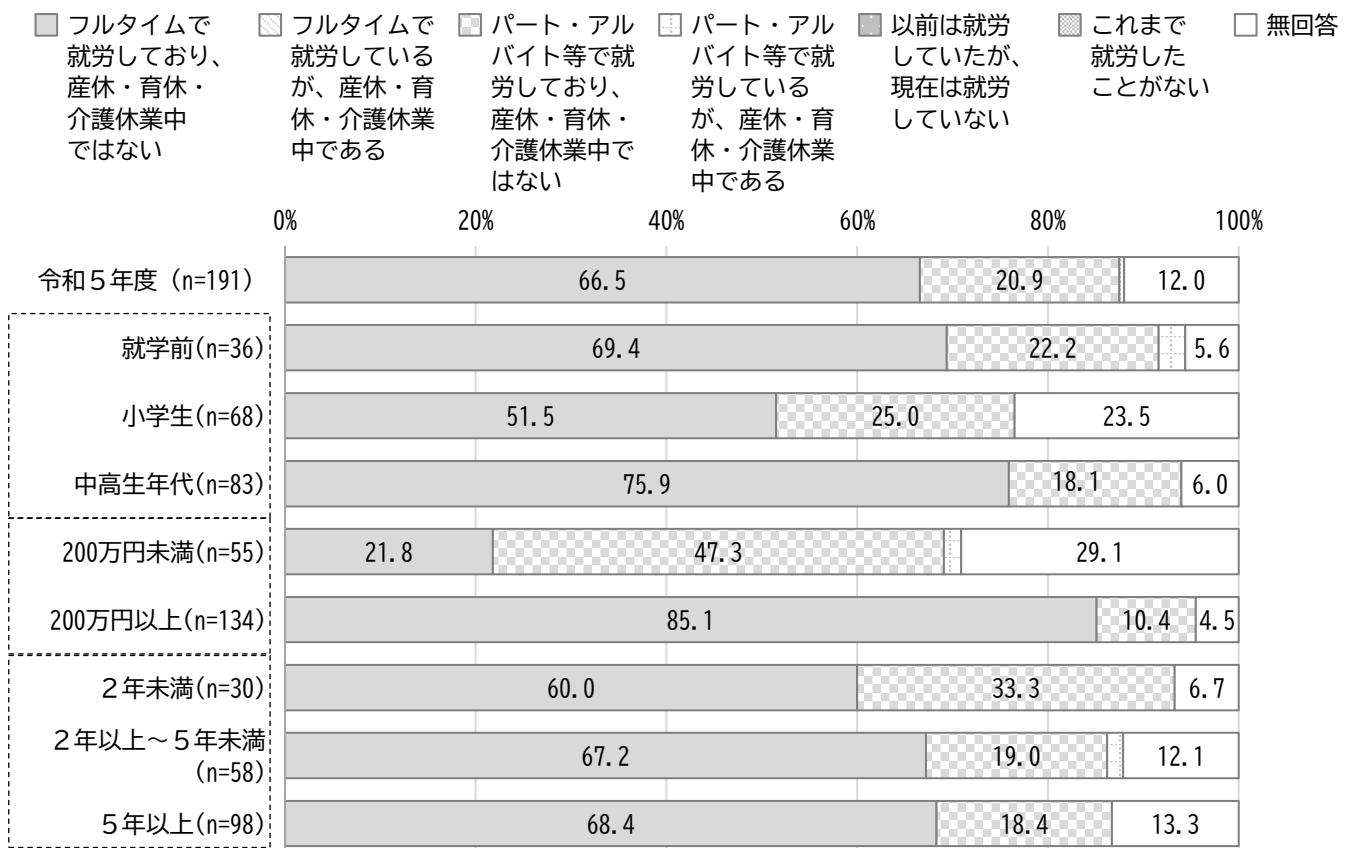


B. お子さんの保護者の就労状況について

問9 お子さんの保護者（以降保護者と記載）の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（1つに○）

【母親】

母親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が66.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」の割合が20.9%となっています。



【父親】 (n=11)

父親の就労状況について、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が11件でした。

第2章 調査結果 オ) ひとり親家庭の保護者調査

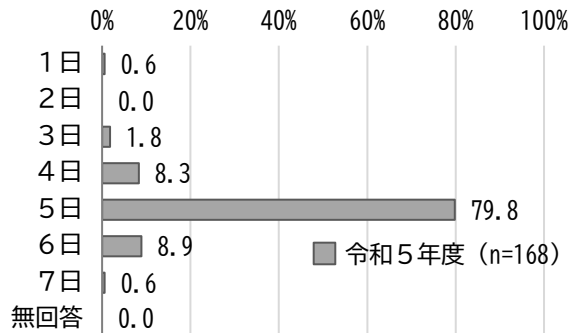
問9で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である」「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(就労している)と回答した方

問10 1週当たりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」、「家を出る時刻」、「帰宅時刻」についてお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンを、産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

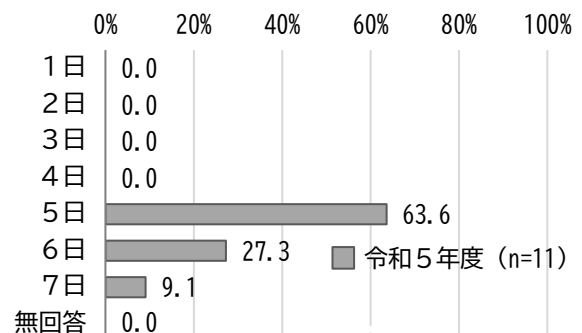
母親の就労日数については「5日」が79.8%、就労時間は「8時間」が48.2%となっております。

父親の就労日数については「5日」が63.6%、就労時間は「8時間」が45.5%となっております。

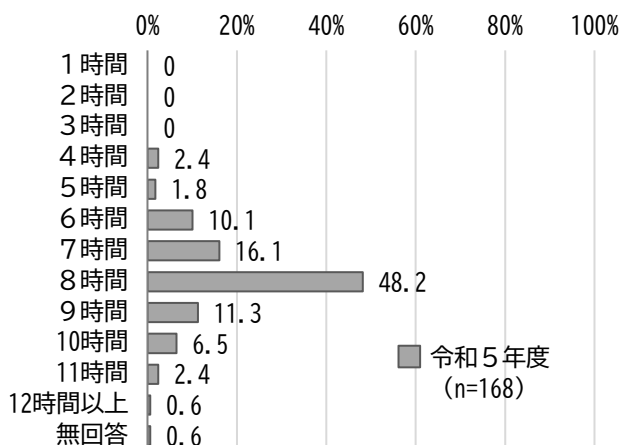
【母親】(1週あたりの就労日数)



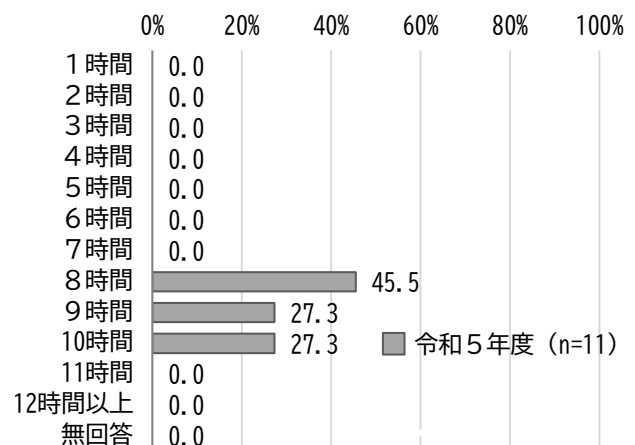
【父親】(1週あたりの就労日数)



【母親】(1日あたりの就労時間)



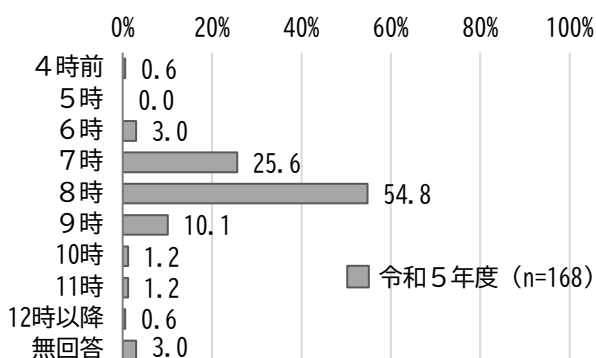
【父親】(1日あたりの就労時間)



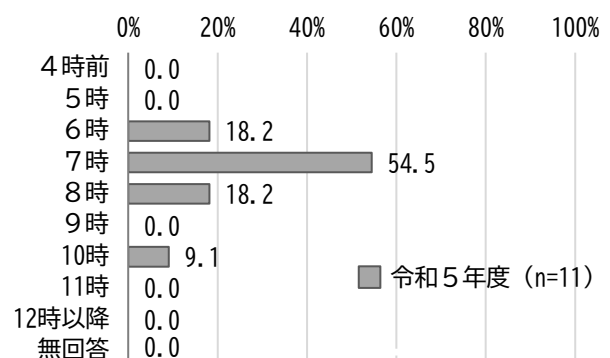
母親の家を出る時刻については「8時」が54.8%、帰宅時刻は「18時」が30.4%となっております。

父親の家を出る時刻については「7時」が54.5%、帰宅時刻は「20時」が36.4%となっております。

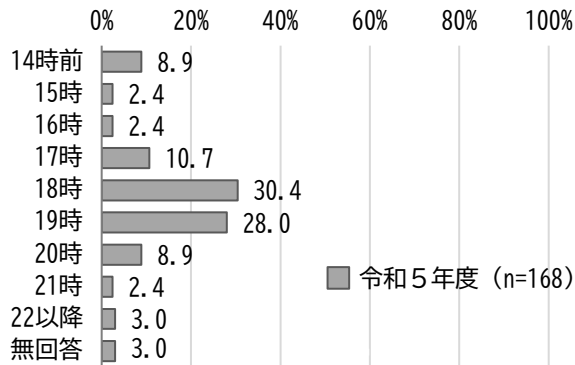
【母親】(家を出る時刻)



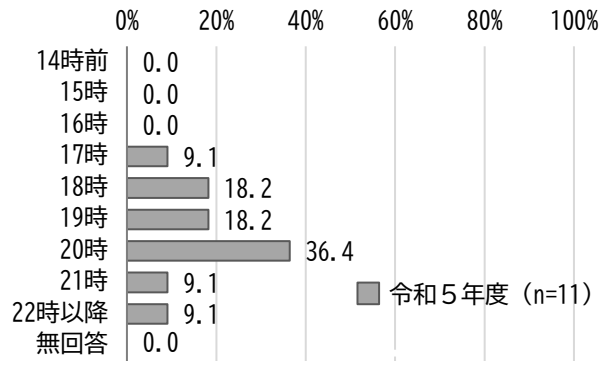
【父親】(家を出る時刻)



【母親】(帰宅時刻)



【父親】(帰宅時刻)

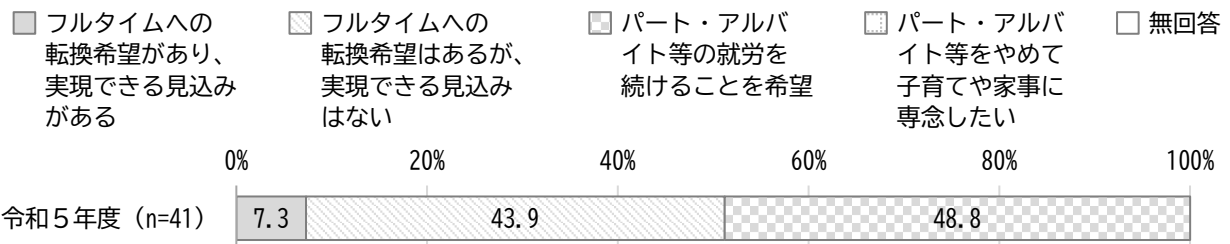


問9で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方

問11 フルタイムへの転換希望はありますか。(1つに○)

【母親】

母親のパート・アルバイト等で就労している方について、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」の割合が48.8%と最も高く、次いで「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」の割合が43.9%となっています。



【父親】

父親の「パート・アルバイト等で就労している方」については、該当者はありません。

問9で「以前は就労していたが、現在は就労していない」「これまで就労したことがない」(現在は就労していない)と回答した方

問12 就労したいという希望はありますか。(1つに○、□には数字を記入)

【母親】【父親】(就労希望)

就労を希望している方については該当者はありません。

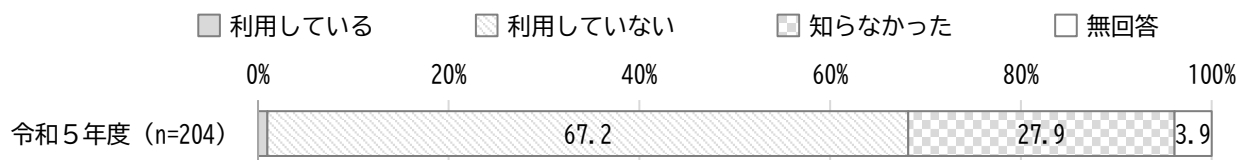
【母親】【父親】(すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい場合、希望する就労形態)

希望する就労形態については、該当者はありません。また、パートタイムを希望する場合の日数や時間(1週間あたりの日数、1日あたりの時間)についても該当者はありません。

問13 「ひとり親家庭ホームヘルプサービス」や、「ファミリー・サポート・センター」の制度の利用状況などを教えてください。(それぞれ1つに○) また、利用していない場合、理由もお答えください。

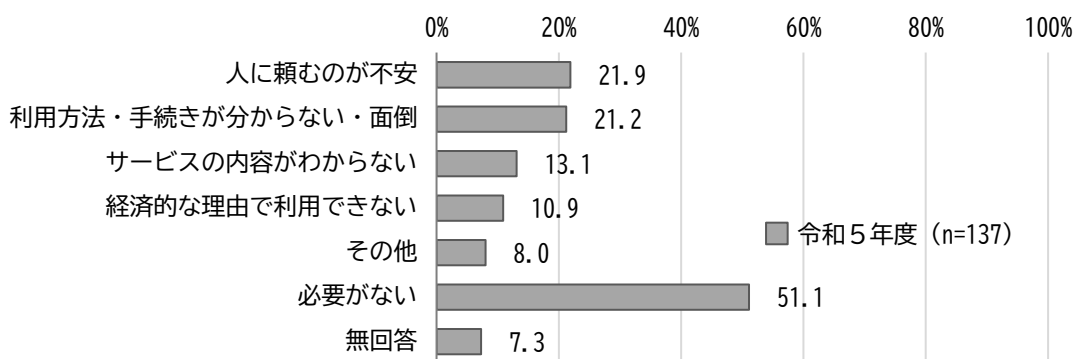
【ひとり親家庭ホームヘルプサービス】

ひとり親家庭ホームヘルプサービスについて、「利用していない」の割合が67.2%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が27.9%となっています。



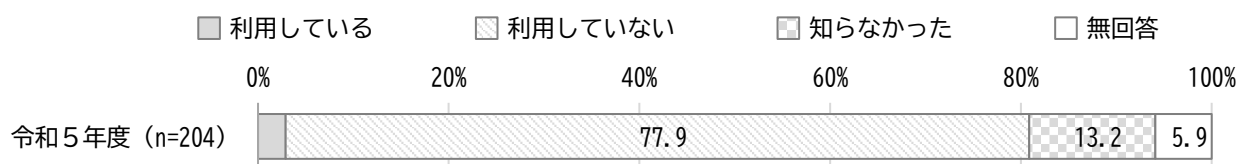
【利用していない理由 (いくつでも)】

ひとり親家庭ホームヘルプサービスを「利用していない方」について、「必要がない」の割合が51.1%と最も高く、次いで「人に頼むのが不安」の割合が21.9%となっています。



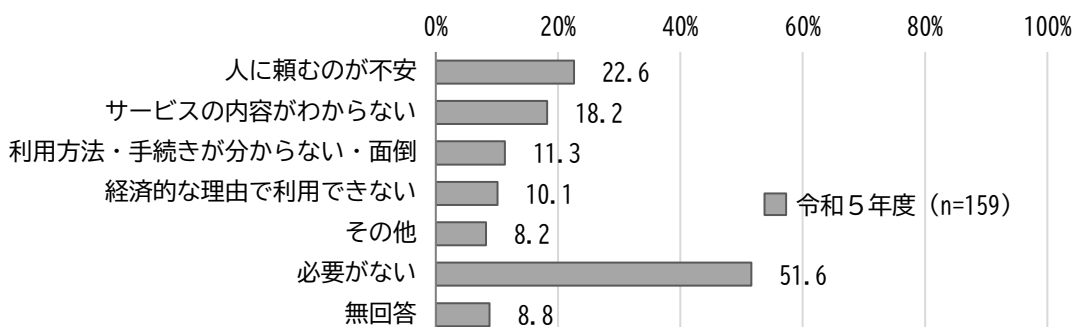
【ファミリー・サポート・センター】

ファミリー・サポート・センターについて、「利用していない」の割合が77.9%と最も高く、次いで「知らなかった」の割合が13.2%となっています。



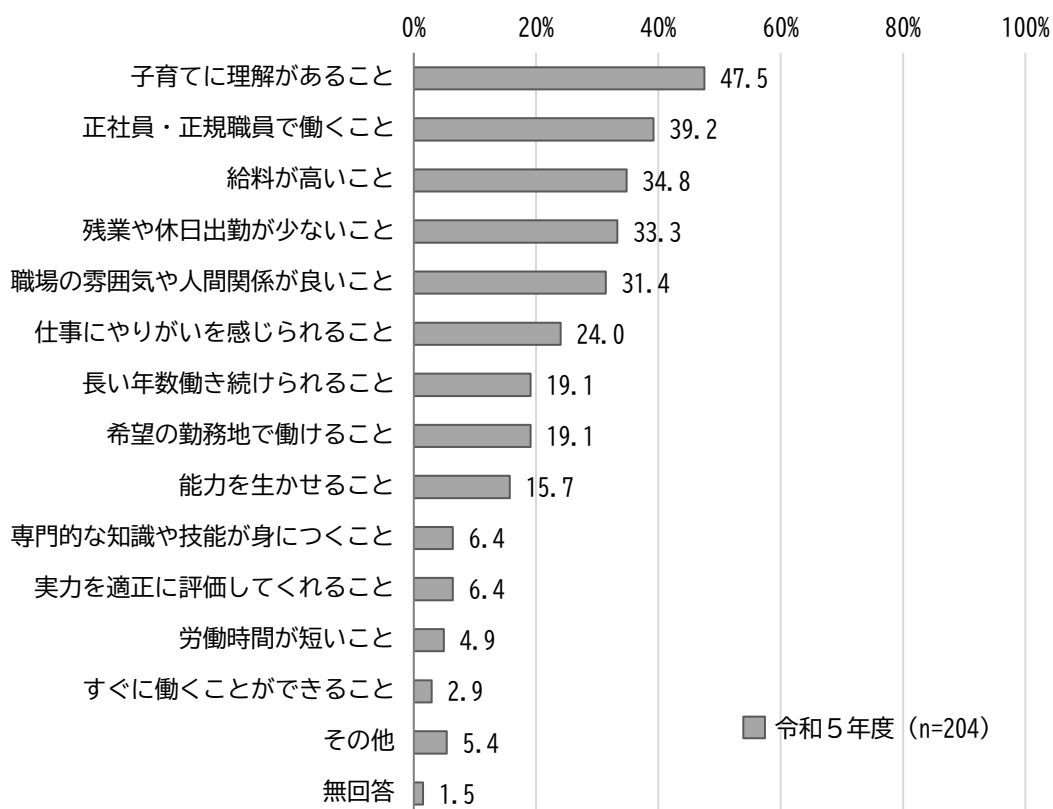
【利用していない理由 (いくつでも)】

ファミリー・サポート・センターを「利用していない方」について、「必要がない」の割合が51.6%と最も高く、次いで「人に頼むのが不安」の割合が22.6%となっています。



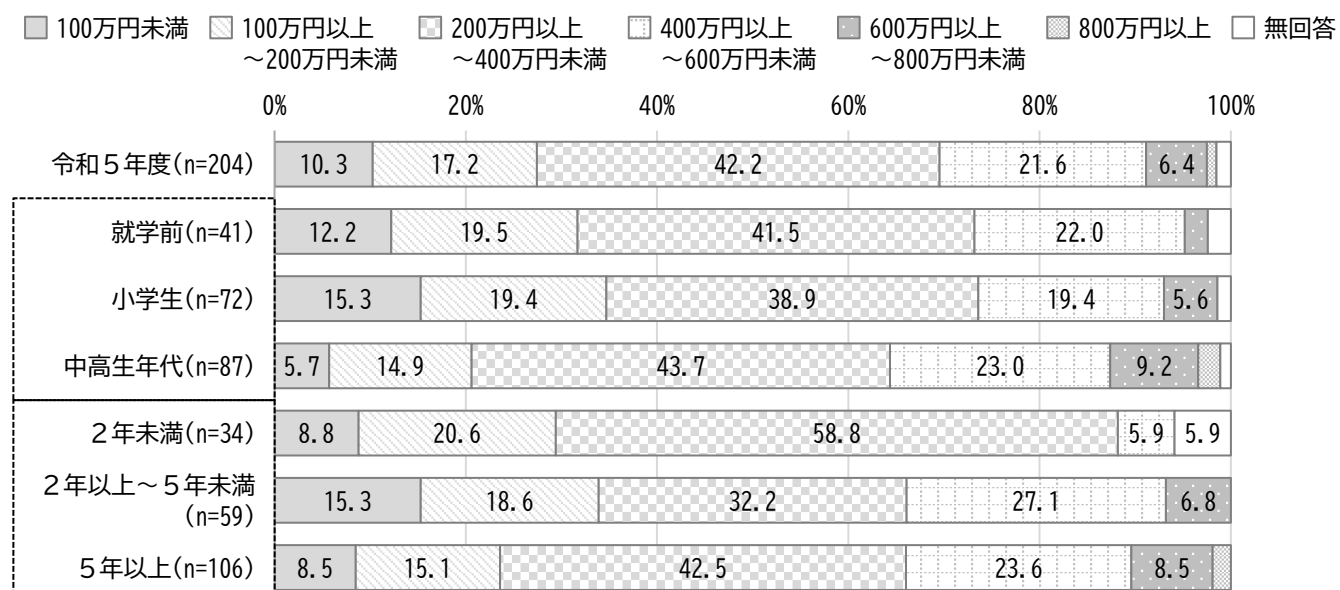
問14 現在の就労の有無にかかわらず、あなたは仕事を探す際に主にどのようなことを重視しますか。
(3つまでに○)

仕事を探す際に重視していることについて、「子育てに理解があること」の割合が47.5%と最も高く、次いで「正社員・正規職員で働くこと」の割合が39.2%となっています。



問15 現在の年間の保護者の世帯収入についてお答えください。(1つに○)

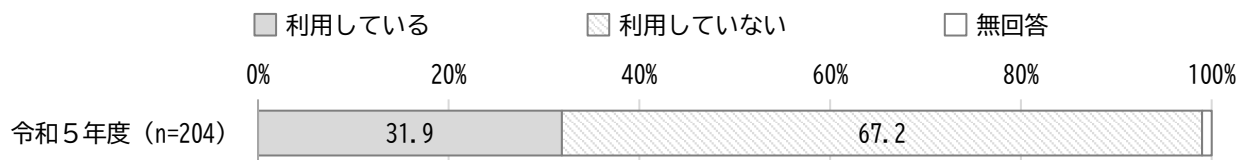
年間の保護者の世帯収入について、「200万円以上～400万円未満」の割合が42.2%と最も高く、次いで「400万円以上～600万円未満」の割合が21.6%となっています。



C. お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

問16 お子さんは、現在、幼稚園や保育所や学童などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。(1つに○)

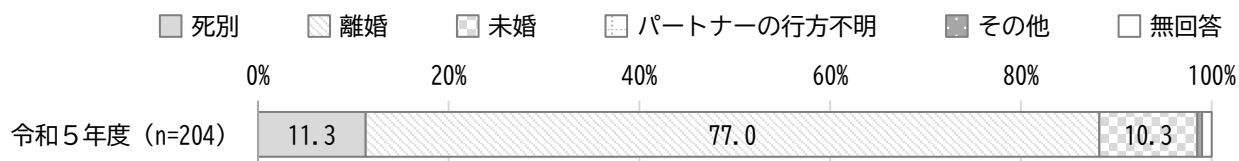
幼稚園や保育所や学童などの「定期的な教育・保育の事業」を利用しているかについて、「利用していない」の割合が67.2%と最も高く、次いで「利用している」の割合が31.9%となっています。



D. ひとり親家庭の経緯についてうかがいます。

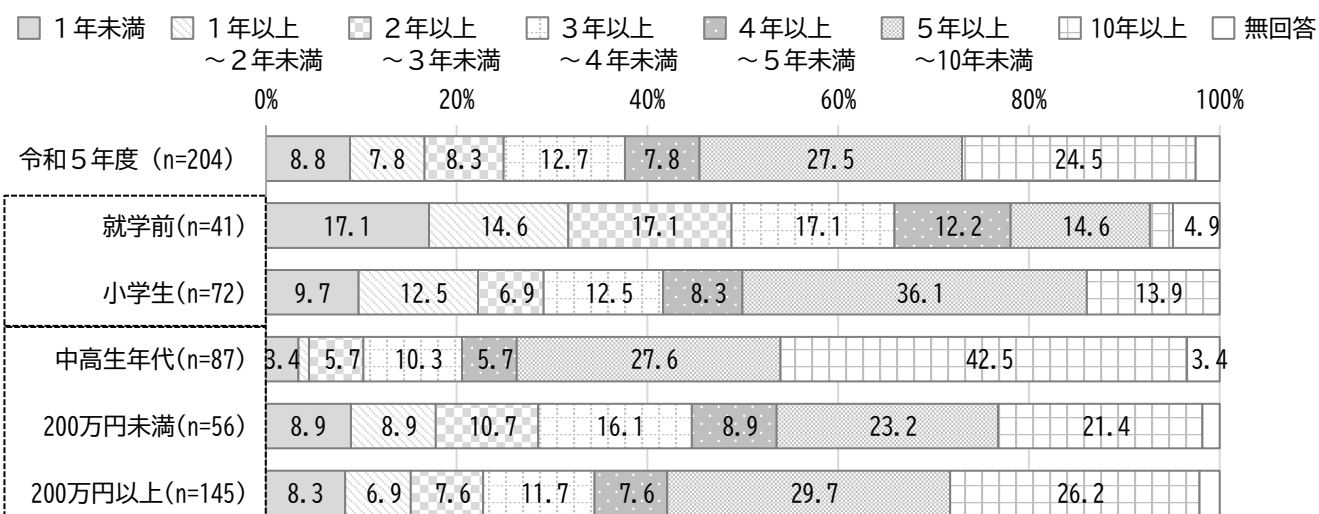
問17 ひとり親になった理由はなにですか。(1つに○)

ひとり親になった理由について、「離婚」の割合が77.0%と最も高く、次いで「死別」の割合が11.3%となっています。



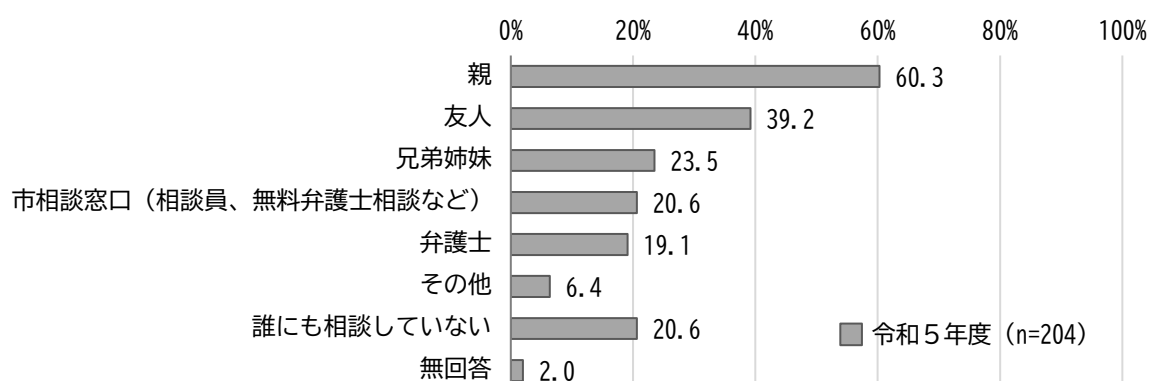
問18 ひとり親になってからの年数はどのくらいですか。(1つに○)

ひとり親になってからの年数について、「5年以上～10年未満」の割合が27.5%と最も高く、次いで「10年以上」の割合が24.5%となっています。



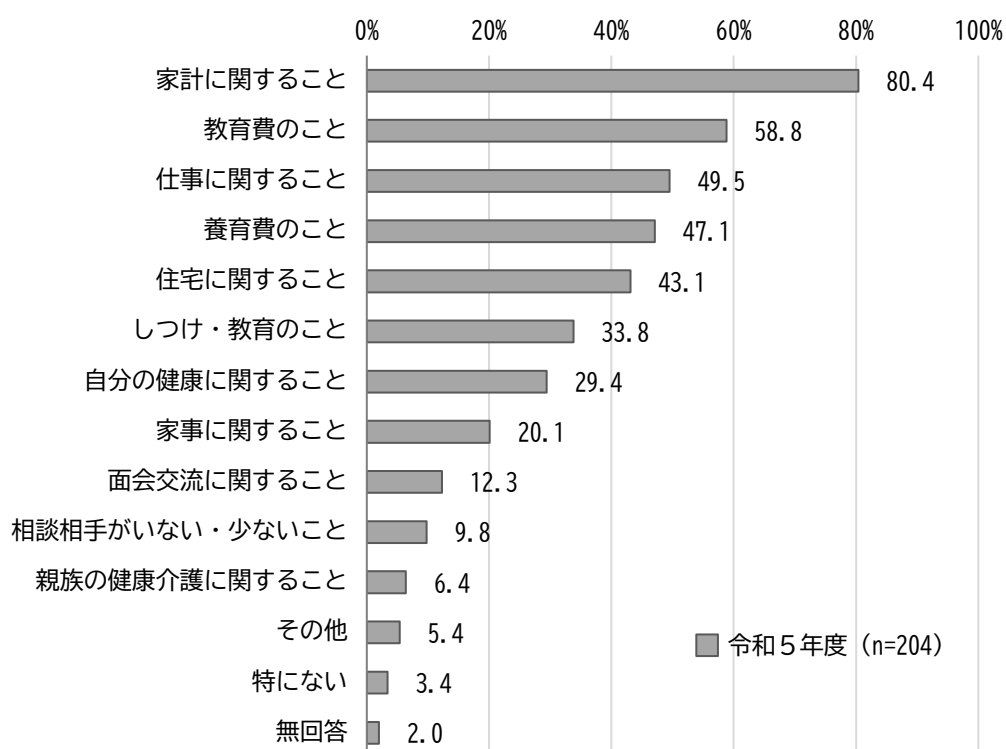
問19 ひとり親になる前に、誰かに相談しましたか。(あてはまる番号すべてに○)

ひとり親になる前に、誰かに相談したかについて、「親」の割合が60.3%と最も高く、次いで「友人」の割合が39.2%となっています。



問20 ひとり親になる前に、どんな心配がありましたか。(あてはまる番号すべてに○)

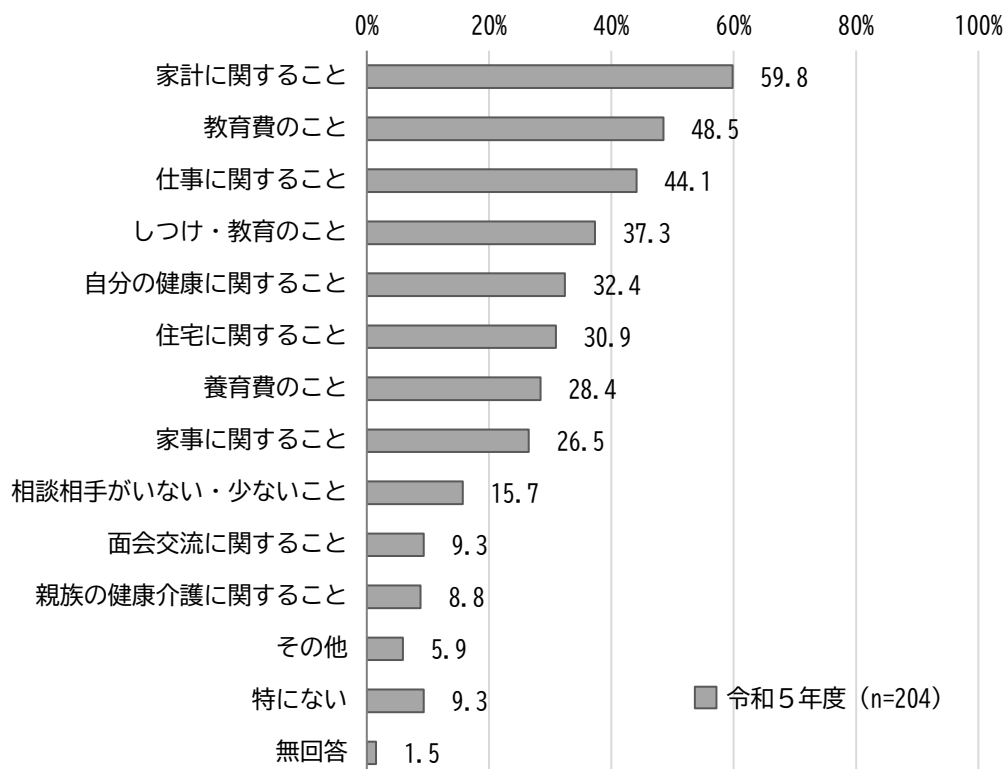
ひとり親になる前にどんな心配があったかについて、「家計に関すること」の割合が80.4%と最も高く、次いで「教育費のこと」の割合が58.8%となっています。



E. ひとり親になってからの状況についてうかがいます。

問21 ひとり親になって困ったことはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

ひとり親になって困ったことについて、「家計に関すること」の割合が59.8%と最も高く、次いで「教育費のこと」の割合が48.5%となっています。



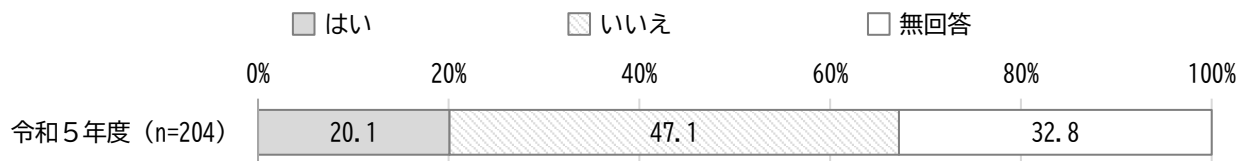
(単位：%)

区分	回答者(人)	家計に関すること	住宅に関すること	仕事に関すること	養育費のこと	教育費のこと	しつけ・教育のこと	自分の健康に関すること	親族の健康介護に関すること	家事に関すること	面会交流に関すること	相談相手がない・少ないこと	その他	特になし	無回答
令和5年度	204	59.8	30.9	44.1	28.4	48.5	37.3	32.4	8.8	26.5	9.3	15.7	5.9	9.3	1.5
就学前	41	58.5	31.7	46.3	26.8	39.0	29.3	34.1	7.3	34.1	7.3	12.2	4.9	9.8	2.4
小学生	72	55.6	30.6	48.6	29.2	40.3	40.3	30.6	8.3	29.2	12.5	13.9	6.9	8.3	0.0
中高生年代	87	63.2	31.0	40.2	27.6	59.8	37.9	32.2	10.3	20.7	8.0	18.4	4.6	9.2	2.3
200万円未満	56	71.4	28.6	55.4	21.4	51.8	37.5	41.1	5.4	25.0	12.5	14.3	5.4	3.6	0.0
200万円以上	145	55.9	31.7	40.7	31.0	47.6	37.9	29.7	10.3	27.6	7.6	16.6	6.2	11.7	0.7
2年未満	34	52.9	41.2	35.3	35.3	41.2	29.4	32.4	2.9	20.6	8.8	8.8	0.0	11.8	2.9
2年以上～5年未満	59	54.2	28.8	52.5	25.4	45.8	40.7	30.5	15.3	33.9	15.3	18.6	6.8	3.4	0.0
5年以上	106	67.0	29.2	43.4	28.3	52.8	38.7	34.0	7.5	25.5	6.6	17.0	7.5	10.4	0.9

問22 ひとり親になる前に、それぞれについて取り決めはありましたか。(それぞれ1つに○)

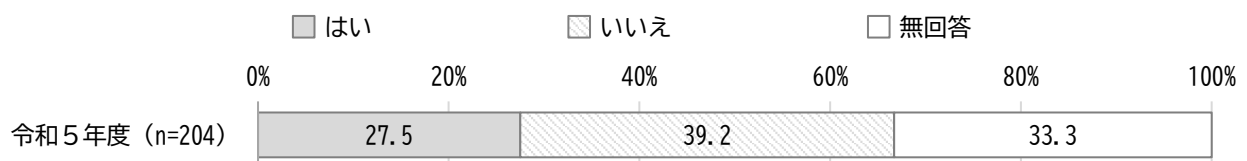
【養育費 調停で取り決めている】

養育費を調停で取り決めているかについて、「いいえ」の割合が47.1%となっています。



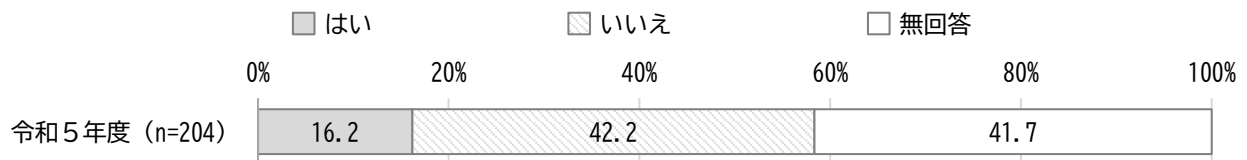
【養育費 公正証書で取り決めている】

養育費を公正証書で取り決めているかについて、「いいえ」の割合が39.2%となっています。



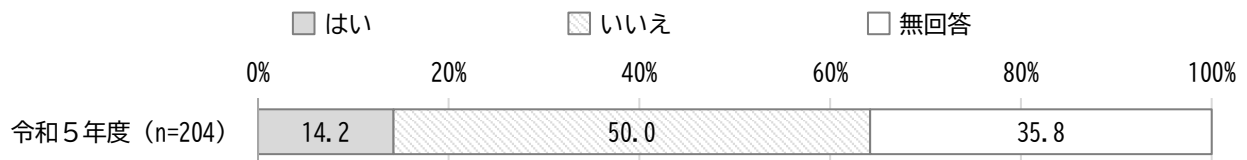
【養育費 口頭(口約束)で取り決めている】

養育費を口頭(口約束)で取り決めているかについて、「いいえ」の割合が42.2%となっています。



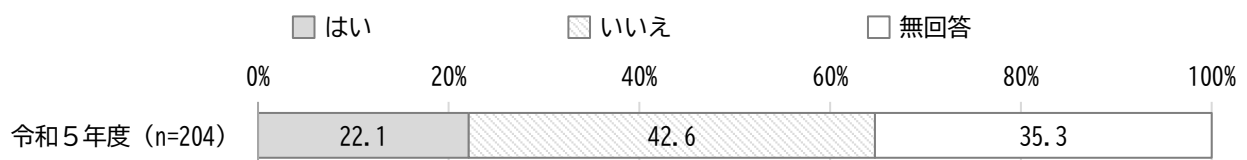
【面会交流 調停で取り決めている】

面会交流を調停で取り決めているかについて、「いいえ」の割合が50.0%となっています。



【面会交流 公正証書で取り決めている】

面会交流を公正証書で取り決めているかについて、「いいえ」の割合が42.6%となっています。



第2章 調査結果 オ) ひとり親家庭の保護者調査

【面会交流 口頭（口約束）で取り決めている】

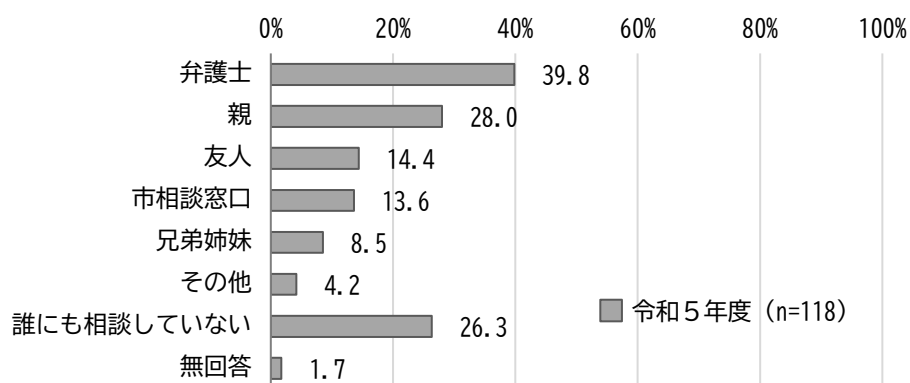
面会交流を口頭（口約束）で取り決めているかについて、「いいえ」の割合が44.1%となっています。



問 22 で養育費の取り決めていると回答した方

問 22① 養育費の取り決めの際に相談した先はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

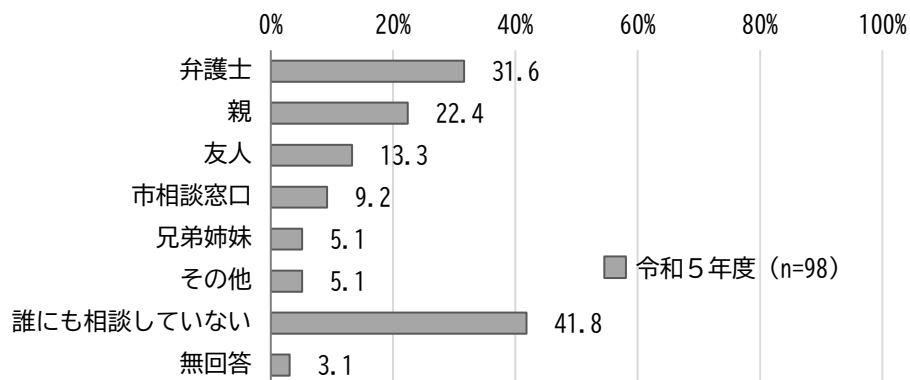
養育費の取り決めの際に相談先について、「弁護士」の割合が39.8%と最も高く、次いで「親」の割合が28.0%となっています。



問 22 で面会交流の取り決めていると回答した方

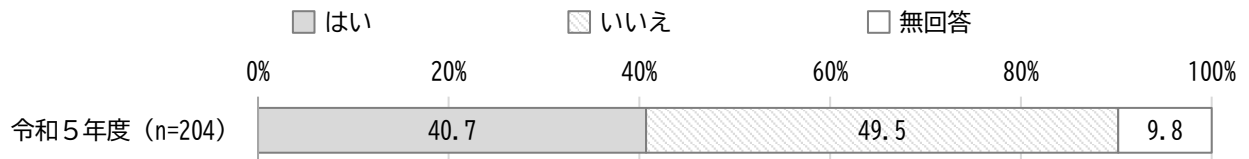
問 22② 面会交流の取り決めの際に相談した先はありますか。(あてはまる番号すべてに○)

面会交流の取り決めの際に相談先について、「誰にも相談していない」の割合が41.8%と最も高く、次いで「弁護士」の割合が31.6%となっています。



問23 養育費についてうかがいます。お子さんの親（相手側）から養育費をもらっていますか。
（1つに○）

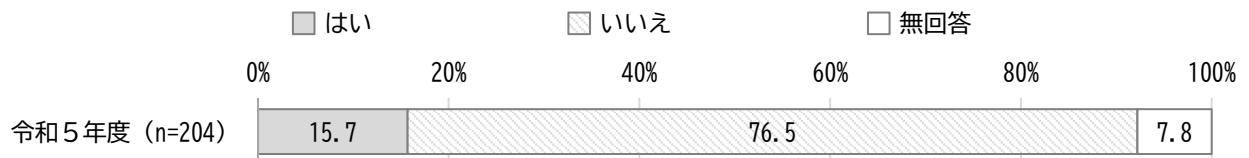
お子さんの親（相手側）から養育費をもらっているかについて、「いいえ」の割合が49.5%となっています。



問24 市では養育費確保支援事業を実施しています。この事業を知っているか、利用したことがあるかお答えください。（それぞれ1つに○）

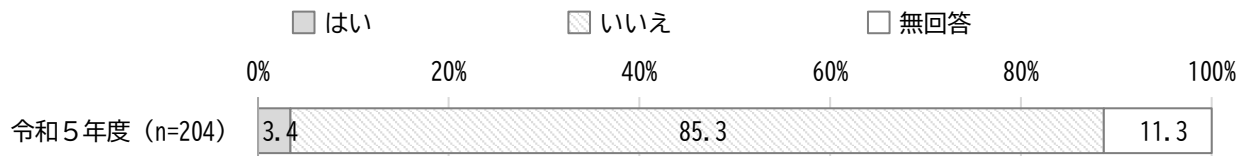
【知っている】

養育費確保支援事業を知っているかについて、「いいえ」の割合が76.5%となっています。



【これまでに利用したことがある】

養育費確保支援事業をこれまで利用したことがあるかについて、「いいえ」の割合が85.3%となっています。

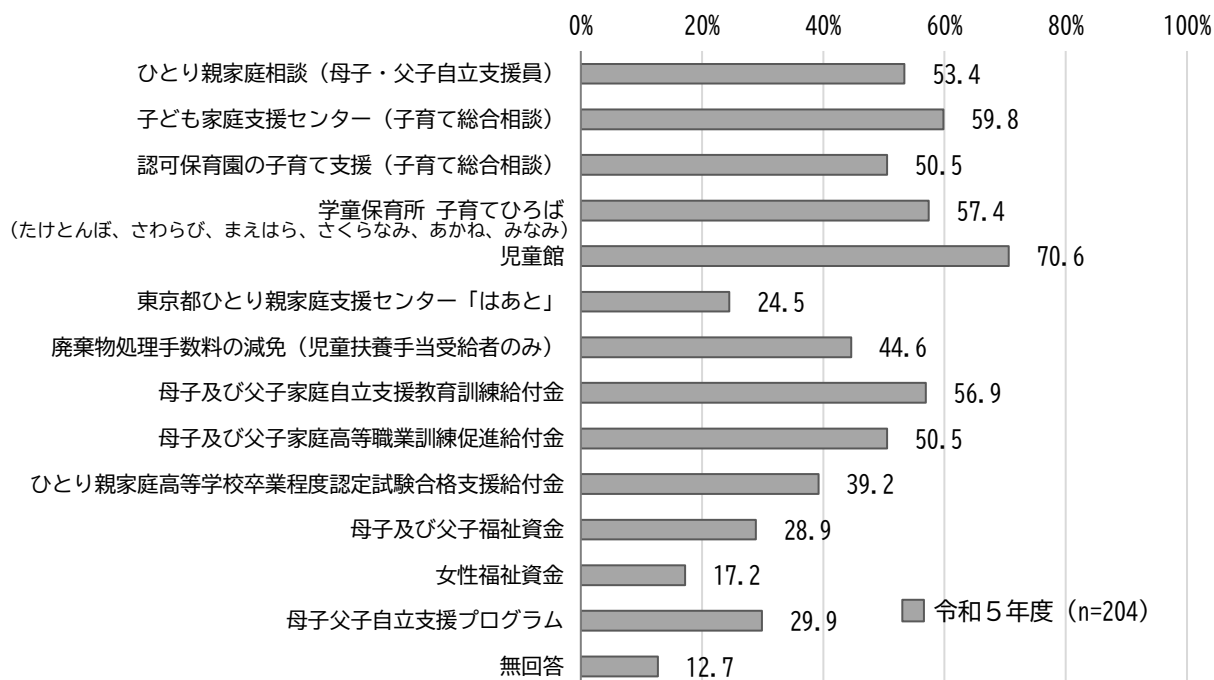


F. 支援制度についてうかがいます。

問 25 ひとり親を支援する各種支援制度や事業等について、知っているか、利用したことがあるかお答えください。また、今後利用したいかお答えください。(それぞれ1つに○)

【知っている】

各事業の認知度について、「児童館」の割合が70.6%と最も高く、次いで「子ども家庭支援センター」の割合が59.8%となっています。

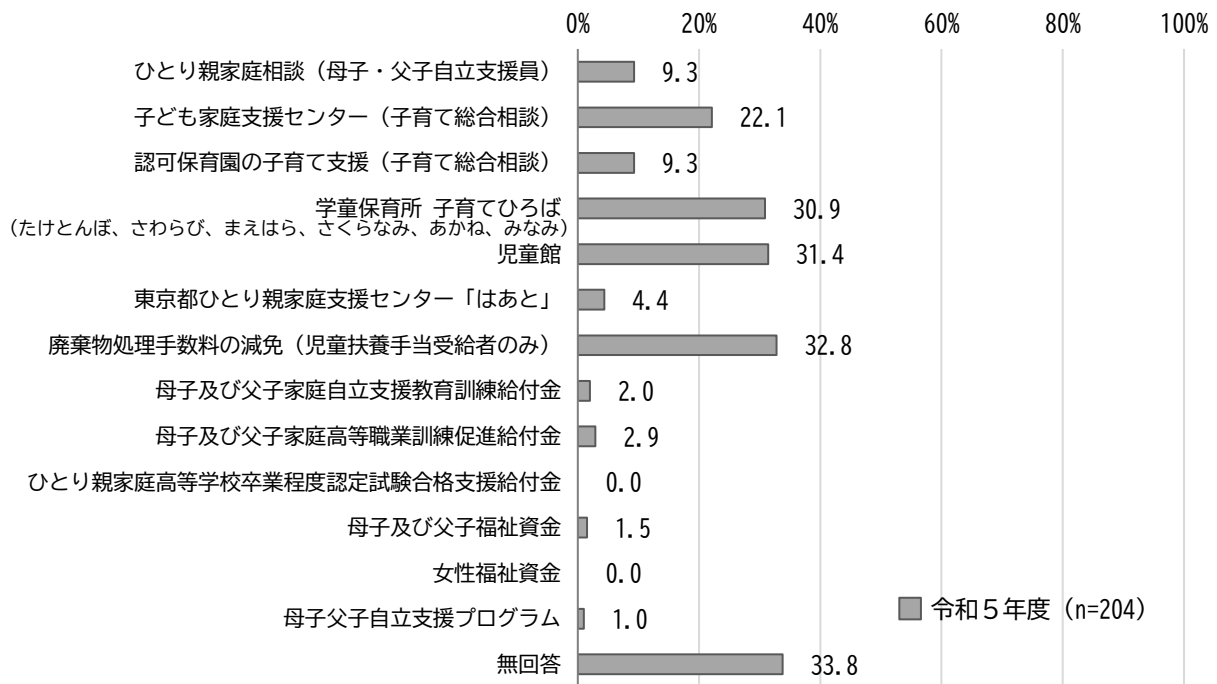


(単位：%)

区分	回答者 (人)	ひとり親家庭相談	子ども家庭支援センター	認可保育園の子育て支援	学童保育所 子育てひろば	児童館	東京都ひとり親家庭支援センター「はあと」	廃棄物処理手数料の減免	育訓練給付金	母子及び父子家庭自立支援教育訓練促進給付金	母子及び父子家庭高等職業訓練促進給付金	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	母子及び父子福祉資金	女性福祉資金	母子父子自立支援プログラム	無回答
令和5年度	204	53.4	59.8	50.5	57.4	70.6	24.5	44.6	56.9	50.5	39.2	28.9	17.2	29.9	12.7	
就学前	41	41.5	53.7	46.3	34.1	61.0	24.4	39.0	41.5	34.1	36.6	24.4	14.6	17.1	17.1	
小学生	72	58.3	65.3	54.2	68.1	75.0	23.6	44.4	61.1	51.4	36.1	26.4	16.7	29.2	11.1	
中高生年代	87	57.5	60.9	49.4	57.5	70.1	26.4	47.1	60.9	57.5	44.8	34.5	19.5	37.9	12.6	
200万円未満	56	57.1	67.9	53.6	55.4	71.4	32.1	48.2	62.5	51.8	46.4	35.7	17.9	39.3	10.7	
200万円以上	145	53.1	57.2	49.7	59.3	71.0	22.1	44.1	55.9	51.0	37.2	26.9	17.2	26.9	12.4	
2年未満	34	38.2	58.8	44.1	44.1	67.6	20.6	23.5	44.1	44.1	29.4	20.6	8.8	14.7	17.6	
2年以上～5年未満	59	50.8	61.0	52.5	54.2	69.5	22.0	44.1	55.9	45.8	39.0	20.3	16.9	28.8	11.9	
5年以上	106	59.4	59.4	51.9	64.2	73.6	26.4	50.9	62.3	56.6	42.5	36.8	20.8	35.8	10.4	

【これまでに利用したことがある】

各事業の利用率について、無回答を除き「廃棄物処理手数料の減免」の割合が32.8%と最も高く、次いで「児童館」の割合が31.4%となっています。



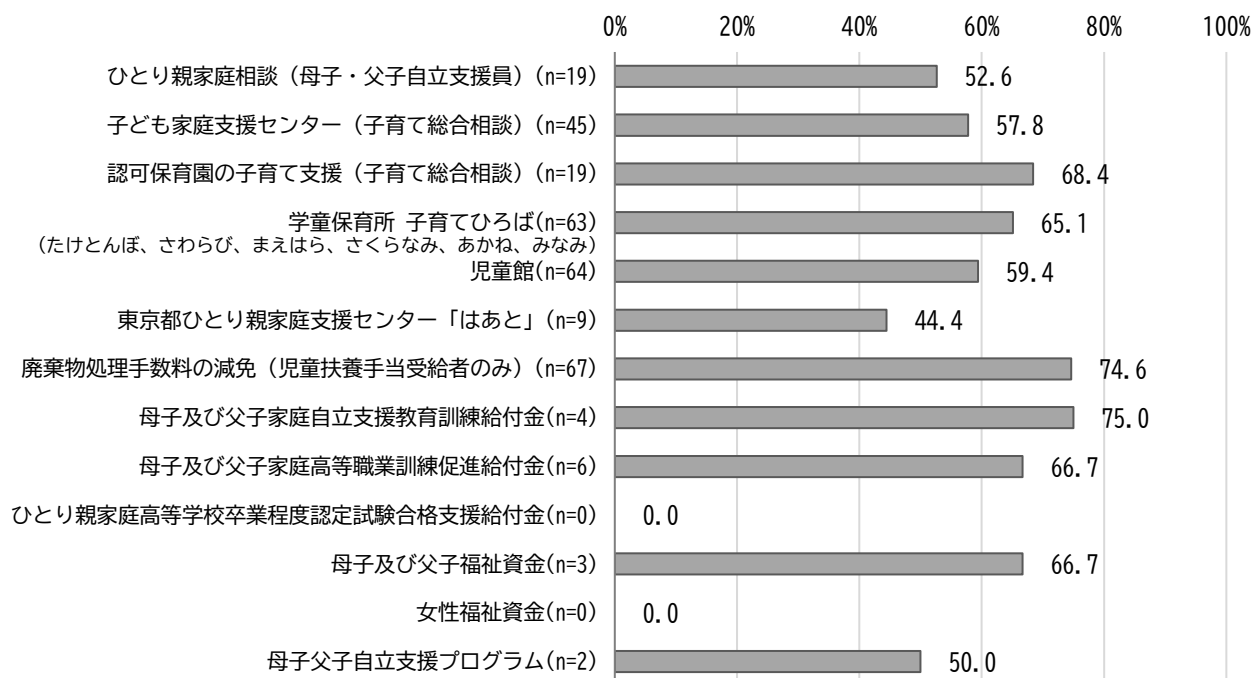
(単位：%)

区分	回答者(人)	ひとり親家庭相談	子ども家庭支援センター	認可保育園の子育て支援	学童保育所 子育てひろば	児童館	東京都ひとり親家庭支援センター「はあと」	廃棄物処理手数料の減免	育訓練給付金	母子及び父子家庭自立支援教育訓練促進給付金	母子及び父子家庭高等職業訓練促進給付金	ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金	母子及び父子福祉資金	女性福祉資金	母子父子自立支援プログラム	無回答
令和5年度	204	9.3	22.1	9.3	30.9	31.4	4.4	32.8	2.0	2.9	0.0	1.5	0.0	1.0	33.8	
就学前	41	0.0	26.8	7.3	7.3	26.8	4.9	29.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.0	
小学生	72	16.7	22.2	11.1	43.1	33.3	5.6	38.9	1.4	4.2	0.0	2.8	0.0	0.0	34.7	
中高生年代	87	8.0	20.7	8.0	31.0	33.3	3.4	29.9	3.4	3.4	0.0	1.1	0.0	2.3	29.9	
200万円未満	56	12.5	28.6	12.5	25.0	26.8	5.4	35.7	0.0	1.8	0.0	1.8	0.0	0.0	35.7	
200万円以上	145	8.3	19.3	8.3	33.8	33.8	4.1	32.4	2.8	3.4	0.0	1.4	0.0	1.4	32.4	
2年未満	34	8.8	23.5	5.9	20.6	32.4	8.8	14.7	0.0	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	44.1	
2年以上～5年未満	59	6.8	22.0	10.2	20.3	30.5	3.4	32.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.7	
5年以上	106	11.3	21.7	10.4	40.6	32.1	3.8	37.7	3.8	4.7	0.0	2.8	0.0	1.9	27.4	

第2章 調査結果 オ) ひとり親家庭の保護者調査

【利用したことがある場合、満足したか】

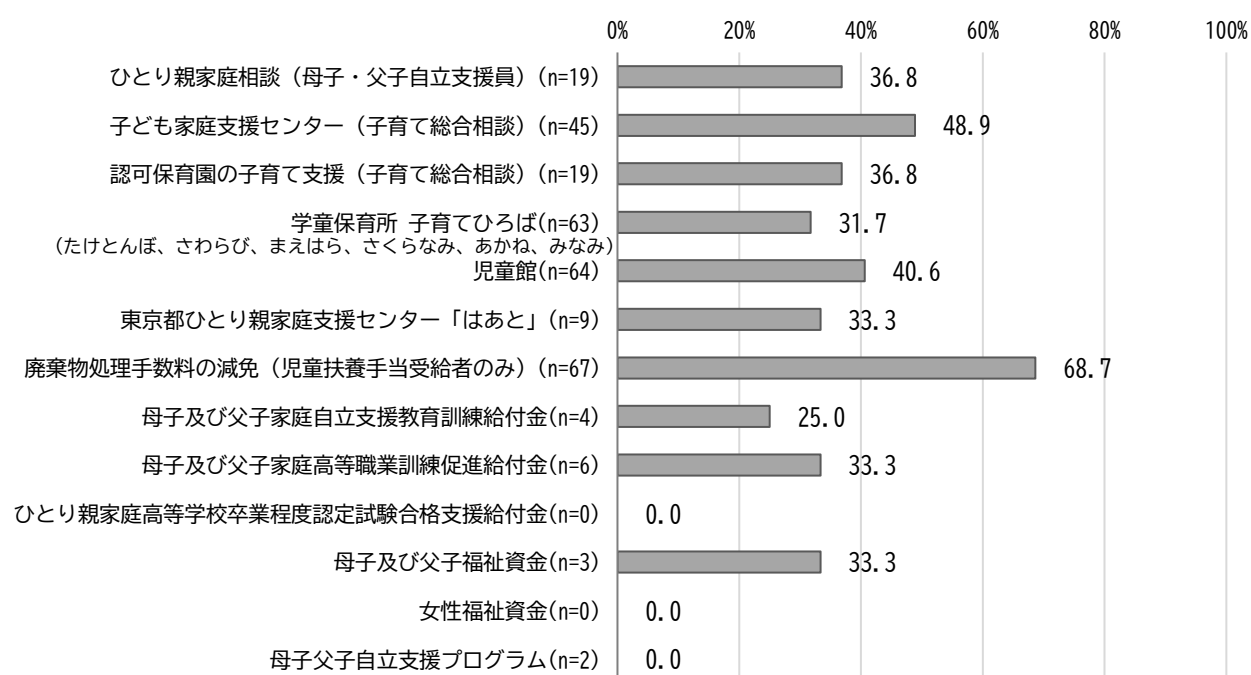
各事業の満足度について、「廃棄物処理手数料の減免」の割合が74.6%と最も高く、次いで「学童保育所 子育てひろば（たけとんぼ、さわらび、まえはら、さくらなみ、あかね、みなみ）」の割合が65.1%となっています。



※nが小さいため、「母子及び父子家庭自立支援訓練給付金」「認可保育園の子育て支援（子育て総合相談）」「母子及び父子家庭高等職業訓練促進給付金」「母子及び父子福祉資金」は考察からは除外しました。

【今後も利用したいか】

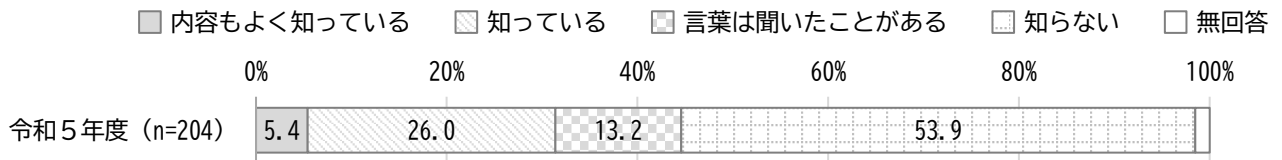
各事業の今後の利用意向について、「廃棄物処理手数料の減免」の割合が68.7%と最も高く、次いで「子ども家庭支援センター」の割合が48.9%となっています。



問26 「のびのびこがねいっ子」「ひとり親家庭のしおり」を知っていますか（それぞれ1つに○）

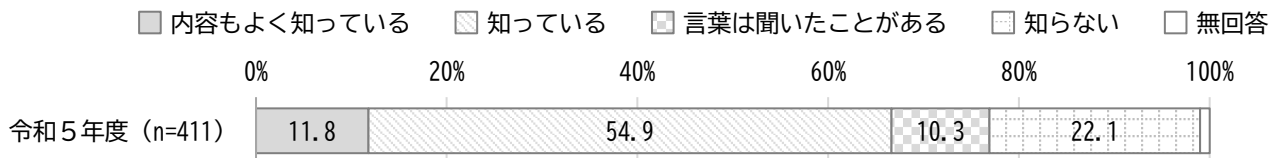
【のびのびこがねいっ子】

のびのびこがねいっ子について、「知らない」の割合が53.9%と最も高く、次いで「知っている」の割合が26.0%となっています。



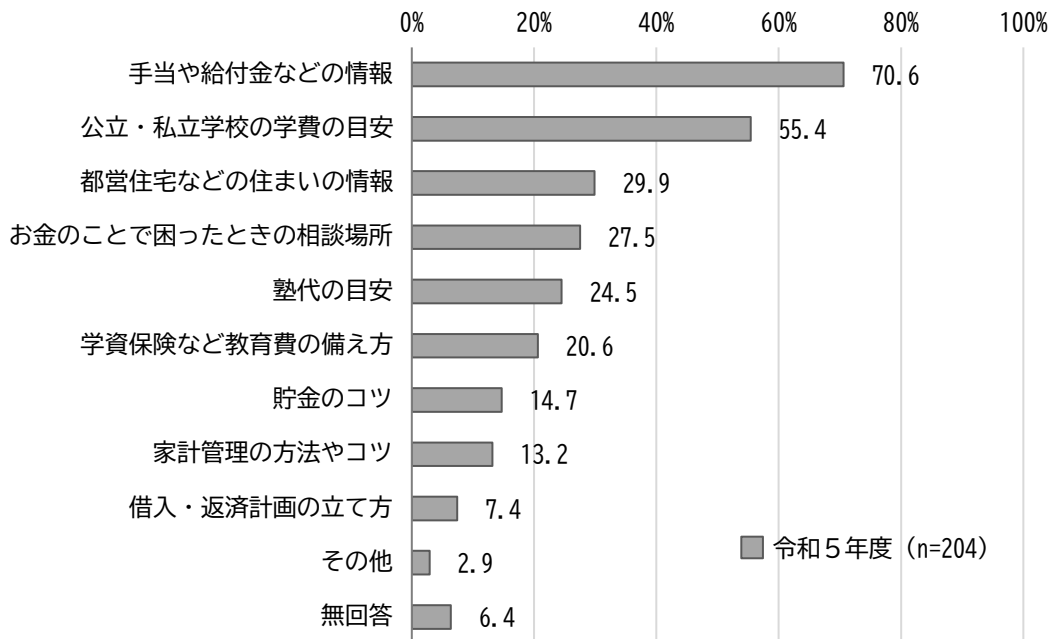
【ひとり親家庭のしおり】

ひとり親家庭のしおりについて、「知っている」の割合が54.9%と最も高く、次いで「知らない」の割合が22.1%となっています。



問27 家計に係る情報でほしい情報はありますか。（あてはまる番号すべてに○）

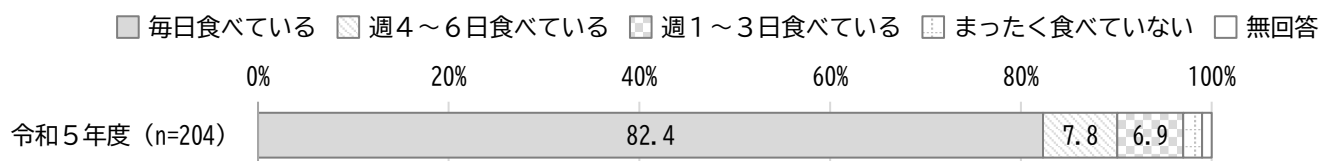
家計に係るほしい情報について、「手当や給付金などの情報」の割合が70.6%と最も高く、次いで「公立・私立学校の学費の目安」の割合が55.4%となっています。



第2章 調査結果 オ) ひとり親家庭の保護者調査

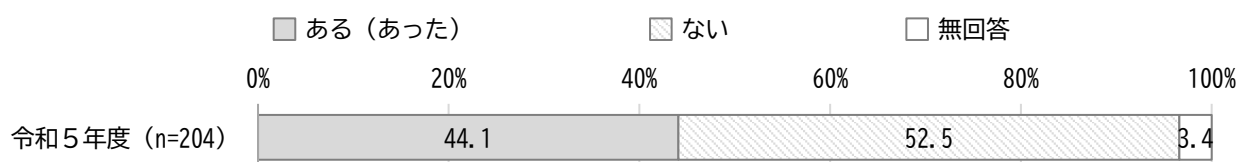
問28 お子さんは、朝食を食べていますか。(1つに○)

朝食について、「毎日食べている」の割合が82.4%と最も高く、次いで「週4～6日食べている」の割合が7.8%となっています。



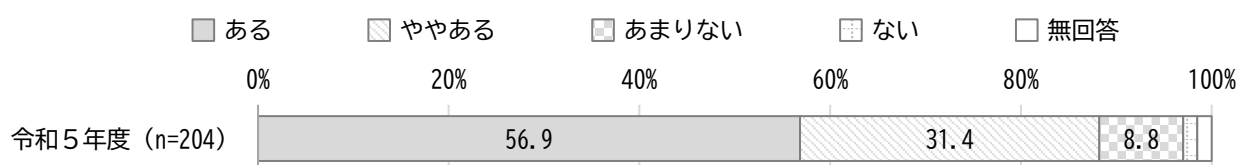
問29 不登校ではないですが、子どもから「学校に行きたくない」と言われたことはありますか。(1つに○)

「学校に行きたくない」と言われたことについて、「ない」の割合が52.5%となっています。



問30 子育て・教育にかかる費用負担に不安がありますか。(1つに○)

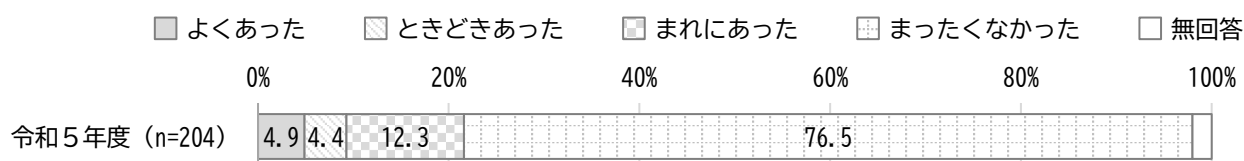
子育て・教育への費用負担に不安があるかについて、「ある」の割合が56.9%と最も高く、次いで「ややある」の割合が31.4%となっています。



問31 過去1年間に次のような経験はありましたか。(それぞれ1つに○)

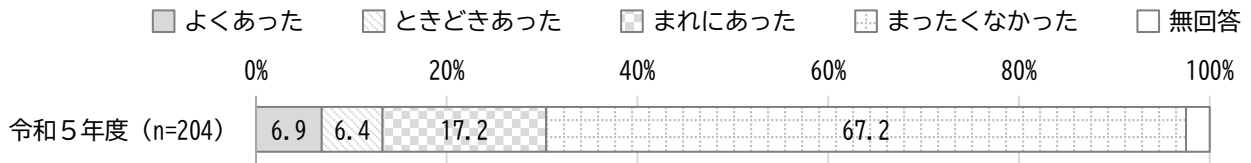
【お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えなかった経験について、「まったくなかった」の割合が76.5%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が12.3%となっています。



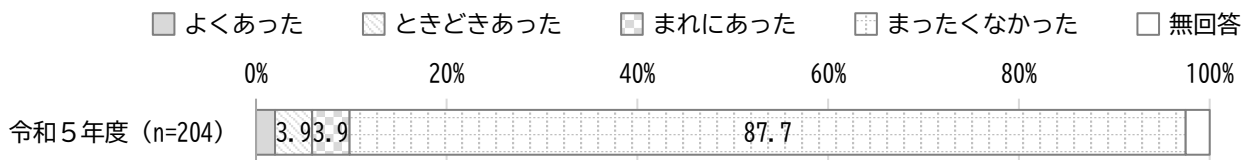
【お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験】

お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えなかった経験について、「まったくなかった」の割合が67.2%と最も高く、次いで「まれにあった」の割合が17.2%となっています。



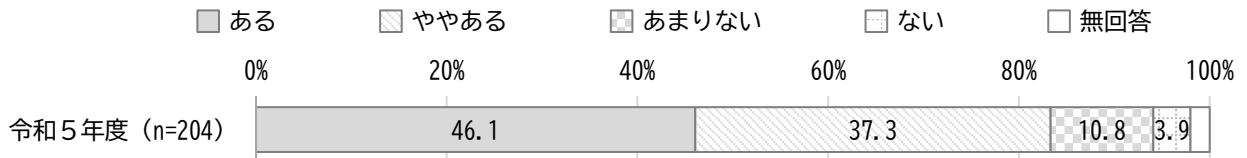
【お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験】

お金が足りなくて、家賃や水道光熱費等を滞納した経験について、「まったくなかった」の割合が87.7%と最も高く、次いで「ときどきあった」「まれにあった」の割合が3.9%となっています。



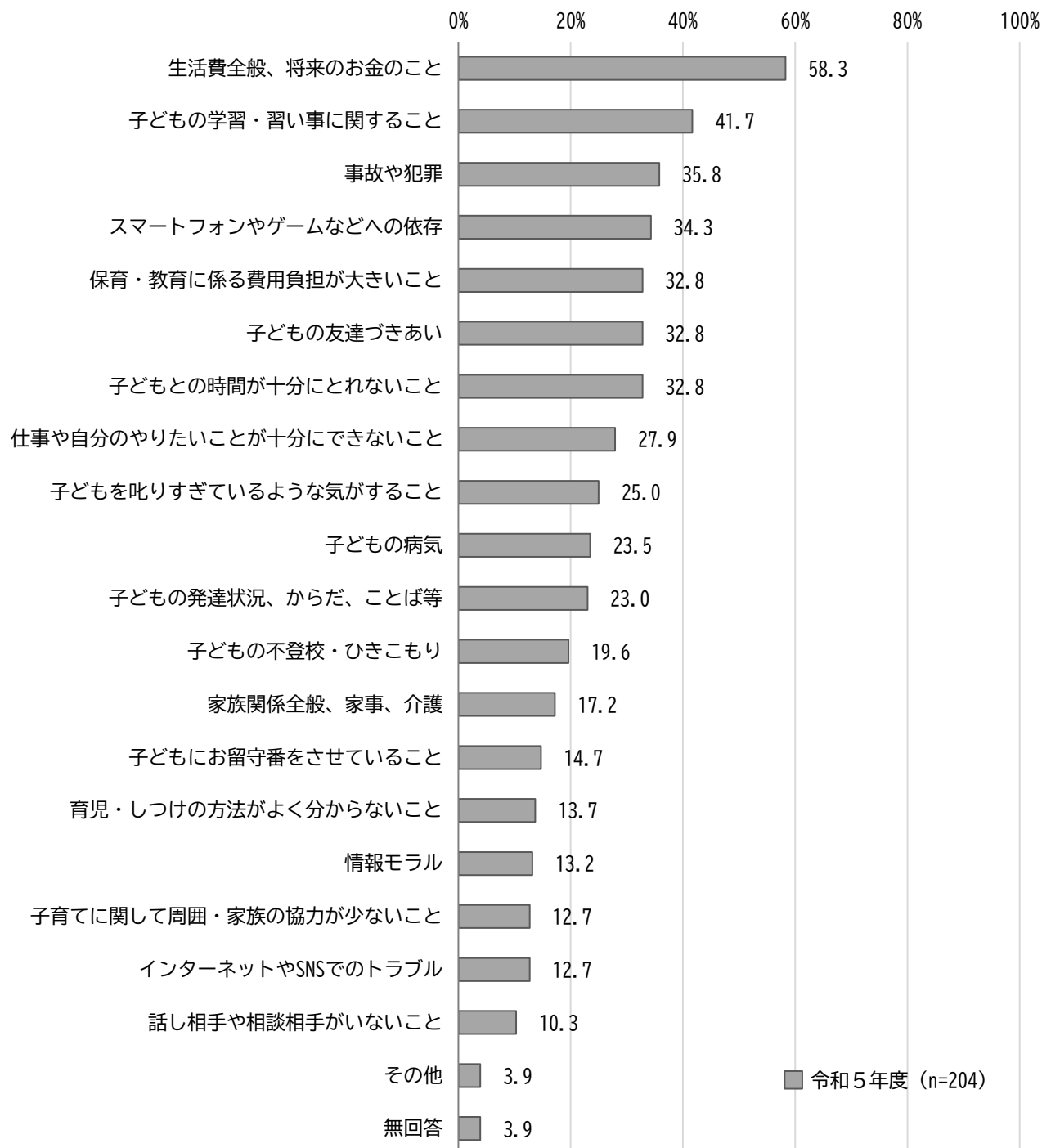
問 32 今後の暮らしに不安がありますか。(1つに○)

今後の暮らしへの不安について、「ある」の割合が46.1%と最も高く、次いで「ややある」の割合が37.3%となっています。



問33 子育てに関して、日頃悩んでいること、または気になることはどのようなことですか。
(あてはまる番号すべてに○)

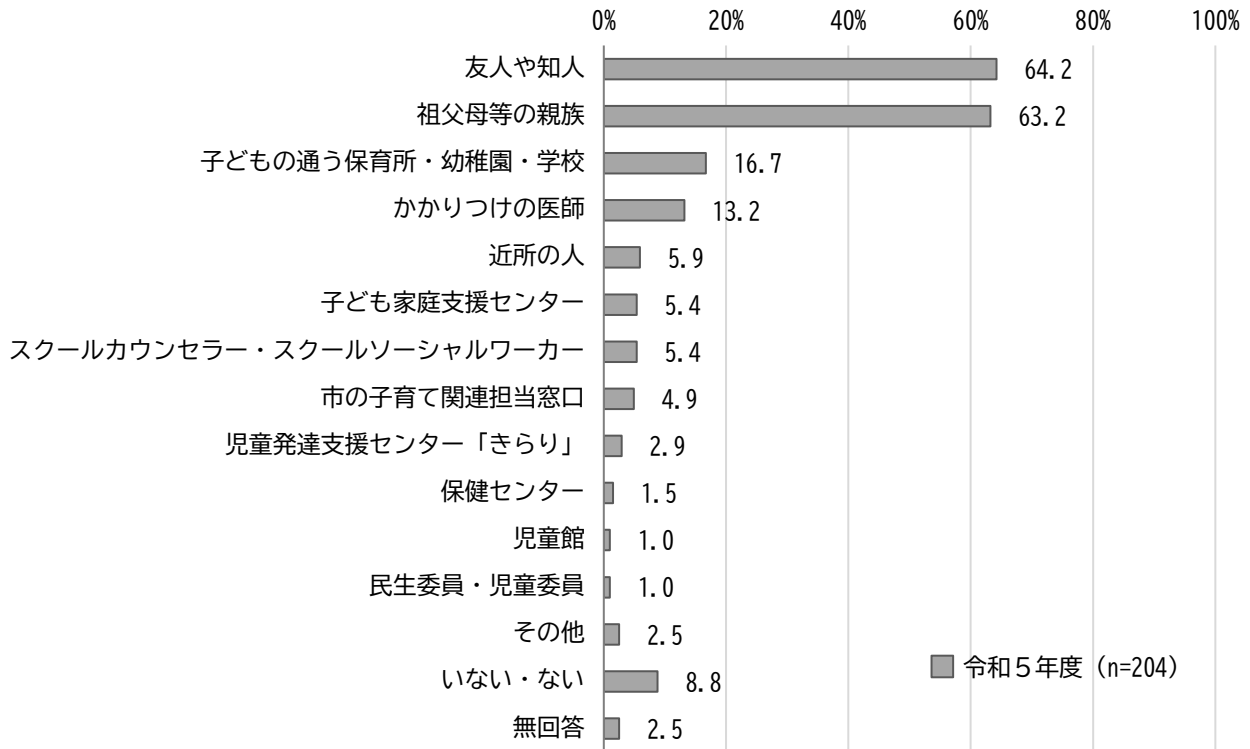
日頃悩んでいること、または気になることについて、「生活費全般、将来のお金のこと」の割合が58.3%と最も高く、次いで「子どもの学習・習い事に関すること」の割合が41.7%となっています。



問 34 子育て（教育を含む）をする上で、相談できる人や場所はありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

子育てをする上で相談できる人や場所について、「友人や知人」の割合が64.2%と最も高く、次いで「祖父母等の親族」の割合が63.2%となっています。

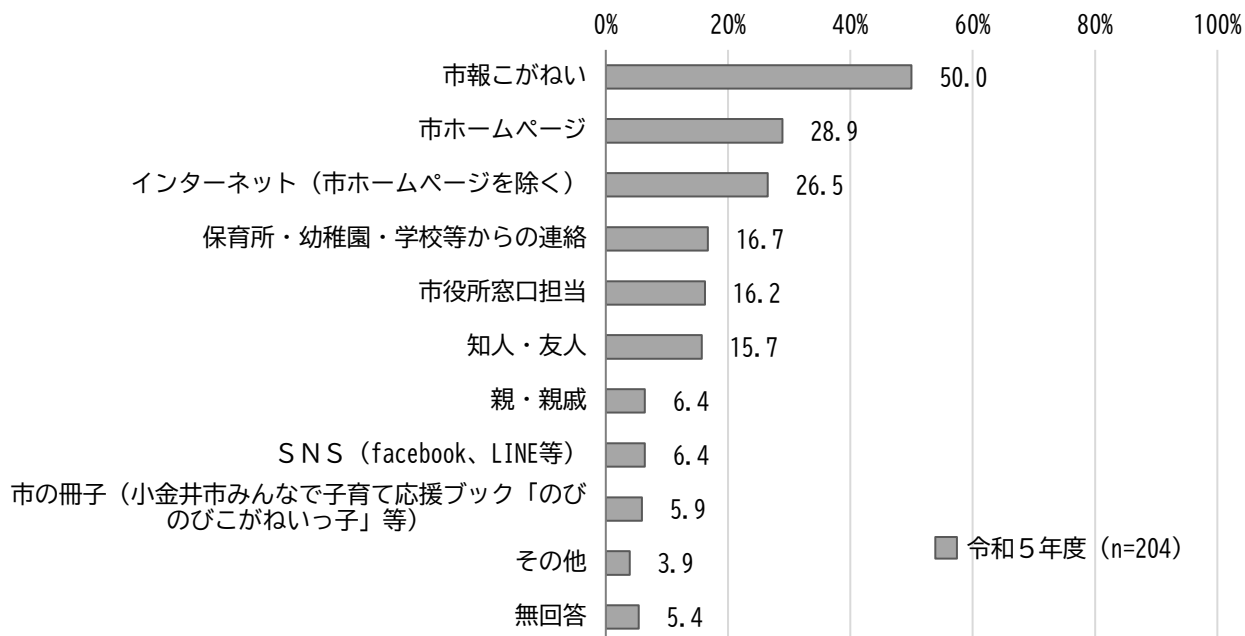


第2章 調査結果 オ) ひとり親家庭の保護者調査

問 35 小金井市で実施している子育て支援策について、どこから情報収集していますか。

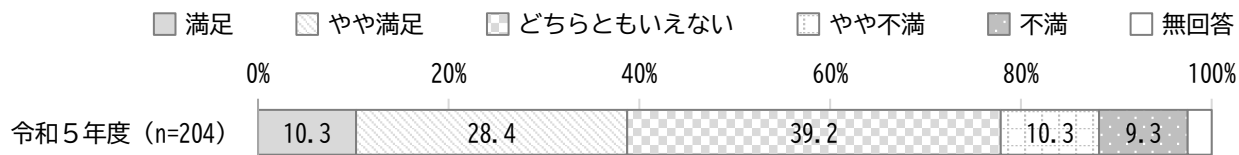
(あてはまる番号すべてに○)

子育て支援策の情報収集について、「市報こがねい」の割合が 50.0%と最も高く、次いで「市ホームページ」の割合が 28.9%となっています。



問 36 小金井市の子育ての環境や支援への満足度についてお答えください。(1つに○)

子育て環境や支援への満足度について、「どちらともいえない」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「やや満足」の割合が 28.4%となっています。



問 37 子ども・子育て支援に関して小金井市や地域で充実してほしいことはありますか。
(3つまでに○)

地域で充実してほしいことについて、「経済的負担の軽減」の割合が67.2%と最も高く、次いで「ひとり親家庭の支援」の割合が56.9%となっています。



資料編 子どもの環境や子育て環境、子育て支援に関するご意見

ア) 就学前児童の保護者

子育て環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、自由に記入してください。

() 内は同様意見の数

◆施設・環境整備について・・・98件 (公園について)

- ・小さな公園に遊具が少ない。草木の手入れをもっと定期的にしてほしい。(5)
- ・公園の遊具を早く直して下さい。点検で危険と判断され、その後ずっと黄色いテープが貼られ禁止になったまま動きがなくて困っています。子供が残念がつているので早く遊べる状態にして頂きたいです。(4)
- ・公園の整備をお願いしたい。あまり利用されていない公園はゴミがあったり、又薄暗かったりします。せっかくの土地があるのもっと地域の人達が利用したくなる公園になると嬉しいですね。(4)
- ・公園がきたない。武蔵野市の公園で遊ぶ事が多くありますが小金井市の公園はきたないと感じる事が多いです。(3)
- ・小金井市は子育てしやすい街だと思います！3年ほど暮らしていますが、公園が多く、子供と楽しめています。公園のトイレを使うときだけ嫌な気持ちになります。汚い、古い、虫が多い…トイレがキレイになったらもっと過ごしやすくなると思います。どうぞよろしくお願いします！(3)
- ・小金井市の小さな公園に行くところの所で遊具が使用禁止になっており遊べない事が多いです。安全性を重視して下さっているのは分かりますが、子どもは何で遊べば良いのでしょうか。また、ボールでの遊びも禁止とされ、あちこちに使用禁止の紙が貼ってありますが、子どもは何で遊べば良いのでしょうか。多少の広さがある公園でも使用禁止です。子どもに外遊びをさせたいし、出来たら球技をさせたいのに、その場所が近所に無いというのは絶望的な環境です。毎日通える近所の場所で継続的な球技使用を許可してもらいたいです。そのための公園整備を急務として行って頂きたいです。子どもの成長は待ってられません、1日、1月、1年は大人のそれとは比べ物にならない程貴重で早いです。よろしくお願いします。(2)
- ・家の周辺の公園のベンチ下や横に、たばこの捨いがらや、空き缶が捨てられていることが多く、遊び場としての環境や治安にやや不安を感じています。(2)
- ・土が雨でどろどろのところもあり、雨のあとでもすぐあそべるような素材の床の公園もあるとうれしい。(2)
- ・放課後、遊べる公園を増やして欲しい。小さな公園ばかりある。(2)
- ・徒歩圏内に気軽にに行ける公園がないので、作って欲しい。(2)
- ・貫井北町周辺に公園を増やしていただきたい。国分寺市との境界のためか、本地域には、子供が集まり、走り回れる公園がありません。(2)
- ・水道がない公園があり、不便です。砂遊びで手が汚れてもあらえないので。武蔵野市の「あそべえ」のように、毎日放課後、雨でも学校で遊べる環境があると助かります。低学年は帰宅時間が早いので、パートだと長時間働くことができません困ります。
- ・誰も遊んでいない公園が多いので有効活用して欲しいです。
- ・園庭のない保育園も多いので、公園をもっと充実させてもらえると嬉しいです。
- ・市内には小さな公園がいくつかあるが、それぞれのイス等の設備の劣化がひどく、管理されているとは言い難い状態であると感じる。せっかく公園があっても、使えない状態ではもったいないと思うので、改善をお願いしたい。
- ・他自治体と比較して、公園、児童館、図書館等施設の規模が小さく、古く、質が低いと思います。積極的に使用したいと思える施設がなく、周辺自治体の施設を使用することが多いです。
- ・都立公園以外に、子ども達のびのびとボール遊びなどができる公園を整備してもらいたい。限られたスペースでボール遊びをしている子ども達にむかって、止めるよう注意している大人を見かける。
- ・4年前に墨田区から引っ越して来ました。公園や自然が多く、近所や知り合う方々みんな子供に優しく、伸び伸びと子供を育てられるいい環境だと思います。改善して欲しい点としては栗山公園の外の女子トイレや時計がずっと壊れているので直して欲しいと思っています。

(保健センターについて)

- ・保健センターが遠くて利用の際、不便を感じています。施設が使いやすい場所にあると、ありがたいです。(5)
- ・保健センターが遠いので、早く、新しい市役所建設を進めて、同一の場所にまとめて欲しい。
- ・小金井市の最東端地域に住んでいるため、健診(3才児等)で保健センターに行くのが大変。地域の児童館などでやって頂けると助かります。
- ・保健センターで行う健診が常に時間がかかること、子どもの一般的な昼寝の時間に行うことが甚だ疑問である。
- ・施設(保健センター、貫井南児童館、市役所、図書館)は年季が入っているので、乳幼児をつれていくのに抵抗があり、新設できたらもっと利用したいなと思っています。子育てするすべての家族、支援してくれる職員さんもみんな気持ちよくくらせる(働ける)市になることを願っております。
- ・子育ては毎日の積み重ねなので、日常によりそったサービスや環境をもっと充実させてほしい。保健センターは市の中心にないと、みんな利用できない。せめてCOCOバスが通っていないとおかしいと思う。

(児童館について)

- ・西東京市から転居してきましたが、児童館を2箇所(緑町と本町)見ましたが、あまりにも老朽化が目立ち二度と利用したくないレベルでした。(2)
- ・児童館のおもちゃが古いと思います。ガムテープが貼ってあるのは衛生的にどうなのかと思います。名札を作るとか負担がある。子供のふれあい場所に利用したいが、1度行ってから行きたくなくて行ってません。(2)
- ・隣の武蔵野市さんがとても良いとりくみをしているので参考にさせていただきたいです。武蔵野市の0123はらっぱやおもちゃのぐるりんのよう施設

資料編 ア) 就学前児童の保護者

をつくって下さると助かります。今は市内施設がイマイチなので桜堤児童館までかよっています。大変なのでどうか検討して頂けると助かります。

- ・ 近くの児童館が汚い。道路に面した掲示板は貼り紙が剥がれてひどいし、職員の対応力も低い。
- ・ 近隣に児童館や図書館等、子どもが利用できる施設がない。子育て支援センターも遠いため、利用しづらい。分園等小さくても良いので、近隣にもっと利用できる場所があると良い。
- ・ 市内の児童館が古く、子育て広場にあるおもちゃも赤ちゃん向けのものばかりだと思う。2才頃からはすぐに飽きてしまい、短時間しか楽しめない。また電池切れのおもちゃも沢山ある。

(図書館について)

- ・ 図書館について・東分室、緑分室を利用したことがありますが、いずれも蔵書数があまり多くなく子どもたちがお気に入りの本に出会うチャンスが少ないように感じました。取り寄せをしていただけることは存じ上げておりますが、正直ハードルが高いと感じます。今は「武蔵野プレイス」を利用することが多いです。ただ市外在住者は予約等の制限もあるので、小金井市でも同様の施設ができると嬉しいです。
- ・ 図書館が17:00で閉まってしまうので、借りに行くことが難しいです。さいたま市に住んでいたときは21:00までやっていたので驚きました。せめて、18:00まではやってほしいです。返却ポストが駅前にあり助かっています。絵本が大好きなので、子どもコーナーも20:00まで開ける曜日があると良いと思います。
- ・ 小さな子どもが気兼ねなく利用できるように図書館を拡充してほしい。主に東分室を利用していますが、小さいので子どもが少し大きな声を出すや響いてしまいます。もちろん大声はダメだよと注意はしますが、2歳だとなかなか難しい面もあり、周りを気にして、気軽に子どもを連れていけない。
- ・ 学びの場として、図書館の充実をはかってほしい。学習スペースや書籍の充実。(2)

(小学校について)

- ・ 小学校の施設が古い気がします。本気で子育て環境に取りくむのであれば、そのあたりも改善されていくと良いと思います。(2)
- ・ 小学校の建て替えをお願いしたい。あまりにも古く汚く子供にとっての環境をしっかりと整えてもらいたい。(2)
- ・ 小学校や学童の拡充、設備(エアコン、洋式トイレ等)の改修を進めてほしい。

(子ども家庭支援センターについて)

- ・ 小金井市と府中市の市境周辺に住んでいますが、子供家庭支援センターの所在地はアクセスが悪く(遠い為)、活用してみたいと思っているけど、なかなか足を運べません。もっと近くにそのような施設が新設されて欲しいです。COCOバスのルートも、変更して欲しいです。(2)
- ・ 支援センターの整備を希望します。近くにも支援センターがありますが、古くスペースも小さいです。皆様とても良い方々ですが、施設がもっと充実していれば通いやすいと思います。また、小金井の支援センターはやっている時間も限られていて土日やっていない所がほとんどです。以前住んでいた区は土日もやっていてよく利用していたので、小金井もそうならっていただけるとありがたいです。

(その他の施設・環境整備について)

- ・ COCOバスをより子供がいる世帯に使いやすいようにしてもらえたらと思います。緑町のあたりなど、家が多いにも関わらず公共交通機関の便が悪く、自転車に乗るにも道路が狭く危ないです。
- ・ 新庁舎建設に伴い無くなってしまいうち広場 子どもが自由に走り回ったり、サッカーや野球の練習ができる貴重な広場を残してほしいかた もしくは違う場所につくって欲しいです。今ある公園は色々な制限があったり、小さかったりするがこの広場はとても自由で、他にはない場所だと思うので。
- ・ 就労のため武蔵小金井駅から電車を利用しています。子供を幼稚園に連れて行ってから、駅に行きますが、駅前の駐輪場の数が少なく自転車を停められないため、歩いて行っており、大変不便です。しかも子供乗せ自転車は幅をとるためなかなか空気がでも入れず、1年くらい待っています。空いている土地も見受けられるので、早急に駅前に大きな駐輪場を作ってください。子育てを支援するなら子供乗せ自転車を優先的に入れるようにして下さい。
- ・ 小金井3・4・11号線の計画については、有事の際の利用がその目的であるようですが、本当に目的が達成されるのか(そもそも物流が機能する前提や、物資や援助などが滞らないということが担保されていない)疑問が残ります。市民の生活、こどもの未来を守るという観点からも様々な生活環境を他に頼らず市で完結できるような体整を整えていくことが重要であると考えています。
- ・ ゆりかごや保健センターが遠いのに検診では車禁止なのは、子育て中にはなかなか辛い。(2)
- ・ ヴィラ学びの森の園庭遊具が近隣トラブルで作られず、遊び時間にマラソンばかりさせられています。市役所の方からも子供が遊べる環境整備のサポートをいただきたいです。
- ・ 東小金井駅付近に教育系・習い事の場所が少ないと思います。(武蔵境駅・武蔵小金井駅にはあるように思います) その様な施設があればありがたいです。

◆保育園について・・・66件

(保育園の入園について)

- ・ 保育園等に預ける条件を広げてほしい。延長保育に関しても、より使いやすい条件にしてほしい。(急な利用により柔軟に対応してほしい。)女性も社会進出しやすいよう、保育施設を充実させてほしい。(7)
- ・ 兄弟姉妹であれば、必ず同じ保育園に入れるような制度にして欲しい。(3)
- ・ 認可保育所を増やしてほしい。公立も少なくしてしまった分、作ってほしい。
- ・ 保育園入園申請について、入園予約制度を設けていただけないでしょうか。下の子は11月下旬産まれですが、兄弟同園と確実な入園を優先し、育児休業を切り上げて復職(4ヶ月で入園)しました。親子ともに無理のない時期に入園・復職できるようになれば良いと思います。
- ・ 未就園児を預ける先、日数が増えてほしいです。一時預かりをしているという私立の保育園でも日程や年齢で受け入れてもらえないことがありました。公立で受け入れられる環境を増やしてもらえたらありがたいです。
- ・ 私の仕事がフリーランスの為、保育園を探す時、信用性がなく希望の保育園に預けられませんでした。フリーランスでも、フルで働く人もいる時間が決まっていないので娘が寝たあとも働く時もあり正社員の方より働いている人もいます。確定申告の書類や取引先の証明など、ご指示があれば書類を提出するのでもう少し信用していただいて保育園を選べる権利がほしかったです。

- ・武蔵小金井ばかりに保育園が出来ていて、新小金井周辺は選べない。またコスモばかり出来ていて選べる選択肢がないのも不満。認定こども園や幼稚園の預かり保育なども小金井市はほとんどなく、認可保育園以外の選択肢も東町周辺だと選択肢がない。
- ・小金井市南側、坂下エリアの保育園が少ないので増えると助かると思います。
- ・我が家や長男と双子の弟が2人いますが、一緒に保育園に入れていない現状です。私がパート勤務なので保育園入園のための指数が低く入れなかったというのは仕方ないのですが、毎日2ヶ所の保育園の送迎は負担が大きいのでいずれは同じ保育園に通ってほしいと思っています。双子なので別々の園というのも今後の成長に影響が出てくるのかなと不安もあります。指数を上げるためにもフルで働こうかと思いますが、3人子育てしながらフルで働く勇気もなく、チャレンジすることができません。多胎児の家庭は小金井市内にもたくさんいるのを見かけます。もう少し入園の指数を上げていただいたり、支援していただけるとありがたいです。
- ・保育園によって食事内容（レパートリーが少ない）や補食あるなし延長時についてなどありますが希望園になかなか入れないので、ある程度差異のない基準がほしいと思います。

（公立保育園の廃園について）

- ・廃園予定の公立保育園に通っています。ずっと廃園理由や廃園後の見通しについて納得のいく説明がないことに不信感があります。市議会からの保護者からの質問状に関する回答も見当違いのものが多くかかりました。集団保育と家庭保育を比較して少人数保育に問題があるとは思えない、など。少なくとも過半数の保護者が納得いくまで廃園は保留していただきたいまたは柔軟に廃園を撤回していただきたいです。（6）
- ・公立保育園廃園をやめて下さい。園庭が無かったり電車など騒音がある場所に保育園を作り、数だけ増やせば良いわけではない。（6）
- ・公立保育園がなくなることはどうにかならないのか。現在はたらいしている保育士の離職も増えるし、就職する保育士もいなくなる。保育の質も落ちるし、残った園に通う子が心配。数少ない広い園庭のある保育園がなくなることは悲しい。子どもの生活にかかわる大切なことに力を入れず、ヘルメットの助成をしていて、本当に無駄だと思った。お金を子ども達のために大切にに使っていただきたい。（2）
- ・現在上の子が通っている保育園が廃園になる予定で、下の子を入れることができない。廃園にする園の近くには同じような規模の保育園が無く、下の子が4月以降入園できるか不安です。

（その他保育園に関することについて）

- ・保育園の質が上がるような取り組みをしてほしい。（4）
- ・保育園を義務教育化して、保育の質を上げ、保育士さんを公務員にして給料を上げてほしい。
- ・認可保育園に通っていますが、子ども的人数に対して明らかに先生の数が足りていません。ギリギリの状態のため保育内容が子どもの成長ではなく、我慢させている場面が多いです。働かなくてはならないので預けていますが、保育環境が適切だとは思えません。先生達は一生懸命にいただけていますが、どう頑張っても人数が少なすぎます。
- ・保育園での加配の先生を付けることをもっと充実してほしい。学校での通常学級の支援員さんを増やしてほしい。（2）
- ・加配保育対象児に該当すると平日8：30～17：00のみの保育時間で親の就労時間はかなり限定される。保育の質は落とさたくないが、上記条件を緩和してほしいと保育課で話すと「その条件が嫌なら転園して下さい。」と捨て台詞的に言う。全く家庭や家族の気持ち・状況に沿っていないと悲しくなる。
- ・親のリフレッシュで預けても良いというのを全ての保育園に浸透させてほしい。例えば月2回まではリフレッシュOKとか決まりを作ってほしいです。基本は労働していないと預けられないという認識が強いので、フルで働いていると自分の時間が無さすぎていつも追い込まれている気分になってしまうのが辛いです。（2）
- ・園近隣の住民の方から騒音の苦情をいただき、子どもから「今日もおまわりさん来たよ」と言われます。騒音に対して園の方々は注意深く対策して下さい、誠意を持って対応して頑張ってくださいというのでクレームを言われていると思うと心が痛みます。近隣住民の方との調度よい妥協点を見つけただけよう条例等がないのでしょうか、と思う日々です。（2）
- ・市立保育園のオムツ持ち帰りは衛生上やめていただきたいです。（2）
- ・保育園早退したときに、帰宅後熱がなくても兄弟全員次の日も休まされるのはしんどい。体調悪かったら休むので、体調が良いときは兄弟は行かせてほしい。1人早退して兄弟も早退させられると、通院できない。保育園から小児科に行ってくださいと言われても他の子は家に置いていくのか？と先生に何度も聞いたことがある。未就学児を置いて通院しろというのはムリがある。
- ・保育園に兄弟で通わせているのですが、どちらか1人に幼児教室がある時に2人共保育園を休ませているが他園では預ってもらえている。幼い子は教室の問診児所を利用しているが、慣れている保育園（通っている保育園で）みてほしいです。誰でも登園が始まるのであれば、兄弟1人だけの登園も可能にしてほしいです。保育園に通っているにもかかわらず託児所を利用しなくてはいけない状況はおかしいと思いますし、経済的負担も大きいです。
- ・保育園において、兄弟片方だけでも預けられるようにしてほしい（どちらかが、病気の時は別）。例えば、上の子と2人だけで過ごしたい際なども預けられるようにしてほしい。小金井市内の認可保育園でそれができる保育園とそうでない保育園が混在しているのは何故でしょうか…？
- ・末子が生後6ヶ月のときに母である私が緊急入院し、約1ヶ月半入院しました。小学生と保育園に通っている上の子たちは問題なかったのですが、末子の預け先にとっても困りました。市立保育園の緊急枠の一時保育を利用しましたが、後から保護者の入院は緊急に該当しないと保育園からも市役所からも言われ、その後は一時保育を利用できませんでした。小金井市は赤ちゃんとその親を見捨てたのだと思います。
- ・保育園の土曜保育が“理由なく”（必ず父母ともに働いていること）使うことができないと言われ、とてもびっくりしていました。母親が病院に行くときも、兄弟の子が運動会など行事のときも、相談しましたができませんでした。前に住んでいたところは土曜保育が自由だったので、共働きの我が家にとって、親の検診や美容室、兄弟の子との時間など（月に1、2回ぐらい）に使えて、とても重宝していました。
- ・私立保育園であっても認可の場合はきちんとした運営がなされていることを小金井市としてきちんと監督していただきたいです。突然休園されると全く仕事にならず、とても大変な思いをしました。
- ・定員割れしている保育所の枠の有効活用と保育園の園庭確保をお願いします。
- ・貫井北町周辺には預かり保育、給食がある幼稚園がない。市は保育園を増やしてばかりいるように感じる。
- ・保育園で近くの公園（上水公園）を利用しましたが、近所の方の苦情？で利用できなくなった時期がありました。他の公園では複数の保育園が利用されていて、窮屈そうだなと思ったこともあります。もっと子どもたちがふらっと行ける公園設備が増えるといいな、と思います。
- ・市立保育園に通っているのですが、連絡帳を電子化してほしいです。

◆遊ぶ場所・居場所について・・・47件

- ・小金井市内に利用しやすい室内遊び場が増えてほしい。国立市の矢川プラスのような施設ができるとすごく良い。近年夏は暑く、とてもじゃないが公園ではあそばせられない。また、うちは夫が日曜仕事が多く、日曜に乳幼児を安全に遊ばせられるのは室内遊び場しかないが、小金井市の無料室内遊び場（児童館など）は日曜休みのため結局家であそぶか、遠い室内遊び場にお金を払って行くかしかない。（5）
- ・天候を気にせず遊ばせられる施設（有料でもいいので）があると良いです。児童館等は日・祝休館となるため。（3）

資料編 ア) 就学前児童の保護者

- ・室内で未就学児がのびのびと遊べる場所を増やしてほしい。親もゆっくりできるような空間。(6)
- ・土・日屋内で遊べる場所を作って欲しい。
- ・小金井市内には公園や児童館が多くありますが、天候を気にしたり、年の離れた兄弟を遊ばせるには中々、良い場所がありません。新たに室内の遊び場、学童に入れない4年生以降の居場所、不登校の子の居場所、ママ達の相談施設が一体化したスポットがあったら子育てがより良いものになると思っています。調布市にある「a o n a」や府中市の「子ども家庭支援センターたち」のような施設ができれば嬉しいです。子供が大きくなっても、次々と悩みは生まれます。そんな時、「ここに行けば気持ちが楽になれる場所」行政で作ってもらえたら、子育てがもっと楽しく思えるのではと思います。
- ・先日、多摩市にある「パルテノン多摩こどもひろばO L I V E」という施設を利用し、とても良かったので小金井市でも参考になればと思い記入します。多摩市が運営している無料の子育てひろばなのですが、市外の人でも簡単な手続きで利用でき、木製のおもちゃや知育玩具・滑り台などが完備されている、とても綺麗な施設でした。土日も営業しており従業員の方が多数いて管理が行き届いている。比較的新しいので綺麗でおしゃれなスペース・カフェやミーティングルーム・ちょっとした図書コーナーも併設している。大きな公園と隣接している。有料だが一時保育も行っている。イベントも開催している。
- ・長期休暇中は行き場がなくなって本当に困る。(2)
- ・ボールあそびが出来る公園があると良い。(2)
- ・遊ぶ場所が少ない。自宅前の道路でキャッチボールやサッカーをしているとうるさいと近所より警察に通報される、非常に悲しいし、困っています。
- ・公園の利用について、ボール禁止の公園が多いですが、子供達のボール等で遊ぶ所はどこなのでしょう？
- ・小金井市は公園や緑が多くの子育てできる環境が魅力だと思います。以前は学芸大の中に球技もできる自由な広場がありました。あのような、大きい子がボールで遊べる広場があった方が、大きい子(のびのび過ごせるため)、小さい子(安全に過ごせるため)、双方にとって良いと思います。車が多いので、子供達を含めた住民が安全に通れるように、歩道の確保や、オービス等を使いスピード制限を厳格にして頂けると良いと思います。
- ・1才~3才の子たちが遊べる公園が欲しい。ブランコ・すべり台の下が、転んでも安全なゴムマットみたいなものになっているなど、安心して遊べる公園がない。(2)
- ・ウォータースライダーがあるような市民プールがあると嬉しいです。もしくは、じゃぶじゃぶ池のような水あそびの出来る公園、ユニバーサルデザインの公園があると嬉しいです。(2)
- ・町で実施していたハロウィンイベント・もちつきはとても楽しめたので継続して欲しい。
- ・子育てする者として子供が安全・安心して遊べる場所や放課後に過ごせる場所や環境の充実を希望。(2)
- ・子どもの公園、特に3丁目広場は小さくないで欲しい。たくさん子どもが毎日あそんでいます。
- ・もう少し子供の遊べる施設や環境は充実してほしいです。隣の府中市は施設がきれいだったり公園も子供のために安全だったり夏になると公園で水遊びもできます。
- ・子供が放課後に遊べる場所が少ないと感じます。お友達と待ち合わせをして、体を動かして自由に遊べるような大きな公園が近隣にはありません。
- ・貫井北町エリアには、公園が少なく遊ばせるために、遠くへ出かける必要があり不便です。
- ・三楽公園で土日に野球をやっている遊べないことが多い。
- ・近年、小金井市は子育て世帯が増えている割には公園や、放課後遊ぶ場所が少ない。市が保有している空き地などをもっと活用すべきだと思う。

◆学童について・・・38件

- ・小学校高学年の学童保育を検討いただきたい。長期休み(夏休み等)子供の居場所がない。小学校内でのあずかりなども含め、4年生以降は居場所がないため心配です。(6)
- ・学童保育所について、現在は週4日就労していないと利用できないシステムになっておりますが、週3日の就労でも利用できるようになるとありがたいと思っております。近隣の小平市は週3日の就労でも利用できるようです。ぜひご検討宜しくお願い致します。(5)
- ・学童の定員より多くの希望があって、子どもたちが狭いスペースに押し込められてしまっているの、学校の教室をもう少し借りるなどして、広々とした所で過ごせると良いと思う。(3)
- ・学童に入れるか不安です。(2)
- ・学童保育の施設の拡充、内容の充実化。(2)
- ・保育園の預かり時間に比べ、学童の預り時間が短いので長くしてほしい。(2)
- ・学童保育の基準が少し厳しく、私はパートで就労時間が少なく申し込み出来ないのですが、小学校入学後は最初は午前授業なのでパートを辞めるか、お金を出してファミリー・サポートを利用するか、子どもに1人で留守番させるか悩んでいる為、学童保育の基準を緩くしてもらえると助かります。(2)
- ・民間の学童の補助金があると助かる。敏感な子で集団が苦手なので、民間の学童を利用する予定のため。
- ・来年度小学生になりますが長期休み(夏休み等)とその前後の給食がないことに職場の子育ての先輩はため息をついており、その様子を見て、学童に通う子どもはこんなにたくさんいるので、長期休み中も(全期間とはいいませんが)給食があれば助かるなど思っています。(2)
- ・小学校の学童を、パートでも長期休暇は利用できるようにしてほしい。低学年のうちはお留守番は心配。地震の時など不安。国分寺市では、パートでも長期休暇のみ利用ができるので羨ましい。
- ・学童決定の連絡、説明会の時期が遅くて仕事調整が間に合わない可能性あり。一月中には学童生活の予定を知りたい。小学校の長期休暇中に学童で弁当を販売してほしい。
- ・上の子が民間学童に通っていますが、費用が高いので、助成があるとありがたいなと思います。公立学童は施設があまり整っていなかったり、父母会があると聞いて親の負担が大きいく感じ、あまり利用したいとは思いません。また、日々仕事や育児が忙しく、自分の心身の回復が後回しになりがちです。リフレッシュしたいときに気負わずに子供を預ける場があると良いなと思うことがあります。
- ・学童保育所父母会の活動が多過ぎます。平日夜まで地域の子とは一緒にいるので、増やすべきは地域の子供の活動ではなく家族との時間ではないでしょうか。役員業務で土日の子供との時間が無くなるのは本末転倒ではないかと思えます。
- ・保育園(ずっと共働)に通わせていた世帯には学童クラブを優先的に入れるような制度を整えてほしいです。幼稚園で今まで生活できていた世帯の方が突然働き出して、今まで働いてきた私たちが蔑ろにされるのはいかになものかと思えます。
- ・小学生の子供もいます。子供が学童を卒業したら、保育先(民間の学童利用、習い事)のために、お給料が消えていくなと感じる。新しく市の管轄のメガロスの学童ができるようですが、市立の学童を卒業した中学年以上の子供達向けに、市の管轄の民営学童があってもいいのではないかと。 (保育料が市立とかかわらないままがよい。)市立学童が6年生までになるのもよいと思うが、カリキュラムが高学年にあった内容まで対応が難しいと思う。恐らく、中学年になれば、週2~3日または長期休みの利用ができると、安心して働ける親御さんはいれると思う。
- ・夏休みなどの休みになると学童の子育て広場が利用できなくなり、大変困っています。
- ・保育園期はもとより学童期の環境をより重視頂きたいと常々感じます。学童は満員の為、安全の為にルール規則が多すぎると言われ、子どもが行きしぶっています。学童(低学年)によりマンパワー、資金をふりわけて頂ければと思います。私立学童が少なく(貫井北側)は選択肢がありません。学芸

大併設の私立は入れてもらえませんが、カリキュラムも充実しており、小学生低学年からの経験格差を産むと思います。せっかく地域に大学や、経験あるシニアが豊富にいらっしゃる小金井市の地の利を生かして学童でも様々なワークショップを開催頂き、つめこまれただけの学童時期をより豊かにして頂ければ安心しておあずけできると考えます。

◆生活支援について・・・37件

- ・ベビーシッター利用支援事業（一時預かり利用支援）を実施して頂けたら嬉しいです。また、未就学児だけでなく、小学校低学年も対象にして頂きたいです。（3）
- ・給食費の無償化など、他の自治体と比べて遅れているため、子育て世帯にとって魅力的な市だと思えません。ぜひ、子育て世帯を応援していると誰もが感じることが出来る、施設を企画・実現していただきたいです。（3）
- ・医療費が収入制限なく年齢拡大していることはとてもありがたいです。給食費も補助やカバーしてもらえると助かります。
- ・所得によって、支援してもらえる金額が違うのが辛いです。頑張っても勉強して働けば働く程、収入が増え、支援してもらえる金額が少なくなる…頑張った分だけ損する社会はおかしいと思います。（3）
- ・妊婦のタクシーチケット補助 東小金井はバスが少なく、妊婦の方は移動が大変です。即効性のある補助として、一定額のタクシーチケット補助or割引をご検討をお願いします。（2）
- ・バスの利用料（運賃）が高いです。子どもがいるとバスを使う機会が多く、保健センターに行く際にもバスに乗る必要があるのですが、ご検討いただきたいです。
- ・今でも市からの助成金などのご支援には助けられています。とはいえ、物価高の問題もあり、この先の経済的負担にも不安があります。今後も、経済的支援やより良い子育て環境に期待しております。
- ・インフレなど経済的な不安が大きいと感じています。市の子育て支援については大変お世話になっており助かっています。今後どうぞよろしくお願いいたします。
- ・例えば、先日3人以上の扶養する家族がいる場合学費の一部補助をしてくれるということで話題となりましたが、扶養から外れた後も子どもは子どもなので、1、2人分は市が負担してくれたり、補助額を増やしていただいたりすれば、3人目を産む後押しになると思います。また、市内には大学もたくさんあるので、市内の大学に進学した場合学費の補助があると、若い世代の流出が防げるとも思います。（市内の大学は優秀な所が多いので、遊びただけで進学することは無理だと思いますし…）実際に子どもを3人産めば、全員の大学の学費の補助が出るのであれば、3人目を産むことも前向きに検討できるので、よろしく願います。
- ・夫婦ともに自営業で子育てしているため、子がふえるたび国保料の支払い額がふえて家計の負担になっています。明石市のように国保料の子ども均等割を無料にしてもらえないでしょうか。フリーランスのため産休・育休の手当てもなく、年金も3号になることができず、手取りがマイナスでも「子供がうまれたと同時に」税負担が増えるお知らせがくるのは子を持つことへのモチベーションを大きくそがれます。
- ・保育料の負担が多く、今後の教育費も不安です。補助や支援があると助かります。
- ・保育園は、第2子から無料になりましたが、働いていない母親の子は、幼稚園に入るまで、あずけるにはお金がかかります。子育て支援一環として、一時保育の補助をだしてほしいです。
- ・出産費用の支援についても拡充してほしいです。現在第2子妊娠中ですが、トータルの検診費用は10万円を超えます。分娩費用も含めるとかなりの負担になります。
- ・認可外だと補助金がなかったり少なかったりするので、もう少し他の幼稚園と同じように補助金が増額して欲しいです。小金井の豊かな自然の中で、のびのび過ごせる環境で幼稚園生活を送れる事はとても素晴らしいことなのに、園舎がないことなどから（認可外）補助金額が少ないと、泣く泣くあきらめる人も沢山いると思います。
- ・子どもが習い事するための支援など、23区のような補助などがほしい。

◆病児病後保育について・・・20件

- ・病児保育室が少なすぎるし、費用も他の市区町村と比べて高いです。気軽に預けることができず困っています。（3）
- ・病児保育はもっと利用しやすくなるとありがたいです突発的に必要になることが多いので、かかりつけ医の診断等が無くても利用できると良いと感じております。（2）
- ・病児保育が利用しにくすぎます。子どもの体調不良は突然で、共働きで子育てをしていて最も困る場面です。有償の病児保育シッターサービスを利用したくても、シッターが見つからないことがほとんど。会員制のシッターサービスは、利用の有無に関わらず月額の高額な会費がかかります。市の病児保育施設はそもそも利用ができないことが多いですが、仮に予約ができて、体調の悪い子どもをそこへ連れて行くこと自体が大変です。自宅へ病児シッターさんが来てくれるほうがはるかに助かります。どうか、病児シッター利用の補助をお願いします。（2）
- ・ファミサポに助けられているのですが、病児や病後児を預けられるファミサポさんがいれば助かります。親が遠方に住んでおり頼れないため。
- ・子どもが2人います。保育園のきまりで、1人が病気の場合もう1人も園を休ませなければなりません。でも病児保育室（武蔵小金井駅前こどもクリニック）は病気の子も1人しか預かってくれませんが、必然的に預け所がなく親が仕事を休んで自宅保育にならざるをえません。ファミサポさんは利用日の2週間前の予約なので、使えません。
- ・例えば、病気や高熱で子ども自身が大変な時や、病後で体力も消耗している時には、親も一緒に休める環境が、子どもにとっては一番なのだと思います。親目線のニーズだけでなく、子どもの立場からのニーズも汲み取りよりよい子育て環境や子育て支援を模索してほしいと思います。
- ・病児保育が利用しづらい。時間の制約や方法などが希望に合わずわかりづらいことと、風邪で弱っている子どもを預けてまで仕事に向かわなければいけないという状況が、あまり気が進まない理由。子どもを産んで育てることには責任は感じるが、自ら選択して結婚や子育てせずのびのびとした人生を送っている人にも、理解や協力を得られるような社会を実現できたら良いと思う。

◆安全について・・・15件

- ・子供と歩道を歩いていると、すごいスピードで走る自転車が多く、自転車の取り締まりを強化してほしい。（4）
- ・子供が一人であるくには危険な道があって、登下校が不安。狭い通りでも車通りが多い、かつスピードが速い、歩道が狭いなど。集団登校はやっていないようですが、低学年のうちだけでも導入検討していただけると安心です。（4）
- ・西の久保通りを通学路として使う予定です。この通りは交通量が多く、道幅が狭いため、子どもが一人で通学できるか心配しております。ガードレールや電灯の設置を強く望みます。時間帯によっては一方通行等も検討すべきと考えます。（2）
- ・上の子が小学校へ入学しますが、通学の際事故や事件に巻きこまれないかととても心配です。防犯カメラの設置や見守りの人を配置するなど市でも取り組んでいただきたいです。（2）
- ・自動車について、幅員の狭い道路の通り抜けを抑制する施策をお願いします。子どもが危ないです。朝の通勤・通学時間帯のスピードの出し過ぎも目に

資料編 ア) 就学前児童の保護者

余ります。

- ・安全に登園するためにも、市役所の建設より先にその裏のJRの高架下の歩道を連結させてほしい。歩道で自転車が通行することのないようにしてほしい。歩く際に左側通行なのか右側通行なのかを統一して決めてほしい。
- ・防犯ブザーの様に、GPSなど一歩進んだものも配布してくれると助かります。自分で持たせるのも可能ですが、種類が多すぎて悩んでいます。
- ・外人に関する治安が心配。
- ・三楽公園で子どもを遊ばせる際、すべり台や砂場の付近で遊ばせていたのだが、小学校高学年～中学生くらいの男子達がサッカーボールや野球ボールを飛ばして子どもに当たりそうになり、とても危なかった(悪びれる様子なし)。三楽公園は一応野球ができるようになってはいるが、決して広くないのに、なんで球技をできるように許可しているのかわからない。

◆産後ケアについて・・・14件

- ・産後ケアが利用しづらいです。登録をしたり、手続きなどがめんどろで使いたい時期に利用できず(産後すぐ～3ヶ月くらい)、あまり意味がないと思います。1ヶ月検診まで1回確実に利用できるようにするなど、産院で退院までに登録を終えて予約できるようにするなど、早期利用できるようなると嬉しいですね。(2)
- ・産後ケアの利用の幅をもう少し広げてもらいたい。(2)
- ・産後ケア事業に「産後ドゥーラ」のサービスを入れてほしい。府中市や中野区は産後ドゥーラを利用するのに補助がでていて1時間千円で利用できる。小金井市だと全額自費になるので1時間3千円程かかってしまう。産後(特に上の子がいる場合は)気軽に産後ドゥーラを利用できるようにしてほしい。(2)
- ・親の心のゆとりができる支援を強く求めます。産後ケアも他の地域では、充実しているが、小金井は整っていないと思います。第一子で余裕がないため、第二子を望んでいますが、子育てをする自信がありません。(2)
- ・産後ケア事業として、数日間のステイ型(母子共に)の支援がほしいとこの1年考えていました。0歳、2歳を自宅保育しており、この半年程は下の子の夜泣き対応で寝不足となり体調を崩しがちでした。数日間だけでも2人の子ともステイ型の育児支援が受けられたら寝不足も解消され、家事からは解放され、子どもとゆっくりとした時間が過ごせるのになぁ…と夢みていました。
- ・産後、保健師さんが訪問していただき、市のサービスや悩み事を聞いてくださいました。それがとても助かりました。また、産後サービスでヘルパーさんを利用して買い出しのお手伝いもしていただきました。ヘルパーさんとお話をする時間も私にとってはリフレッシュになり、本当に感謝しています。産後数ヶ月だけでなく、半年に1回程度、家庭訪問とかがあればなお嬉しいなと思います。
- ・産後のケアは、少しずつ充実してきているとは思いますが、どこも利用するには、金額が高すぎると感じます。産後のお母さんの心身は、とてもナイーブです。そのケアを、もっと充実させてほしいです。
- ・現在、子どもを保育園に預けて働いて3年が経ちます。私が本当に子育てを辛く感じていたのは、産後から仕事復帰するまでの1年ちょっとの期間でした。2020年はコロナもあったので一層、1人で子育てをしている気持ちになって暗い気分でした。その間に、こんなことがあったら良かったなと思うことは、やはり、預かってもらうことです。仕事をしているしていないに関わらず、無条件で半日でも預かってほしい。その時間に少しでも1人の時間を確保していれば、自分を取り戻して子どもと一緒にいる時間も大事にできたいと思います。最低でも週に2回、半日、0才児を安心して預けられる先を保証してほしいです。第2子、希望していますが、出産後の辛さを思い出すと諦めています。小金井市が子育てしやすい市になることを心から願っています。

◆医療支援について・・・11件

- ・子どもの数に対して、小児科が少なすぎる。人気の小児科は常に予約で満員。受診したくてもできない。(7)
- ・小金井市に休日・夜間診療所がないことに驚きました！休日に休日診療の病院に電話をしましたが、「小金井は小児科で休日診療をやっている所はないので日赤に行ってください」と言われました。しかし、日赤は2時間待ちますといわれ#8000で相談したところ、他の市の休日・夜間診療を紹介してもらいました。小金井市にも休日・夜間診療所をつくってほしいです。(2)
- ・コロナ拡大時、小児科へなかなか受診できなかったです。ただのケガもさせられないと不安になりました。発熱外来の枠が少なく、受診を断られたりしました。小児科の充実を希望します。休日診療してもらえる小児科の拡充をお願いします。
- ・病院が武蔵小金井駅に片寄っていて東小金井より東寄り少なすぎる。武蔵小金井駅近くを避けても駐輪場が空いてなかったり、前輪ロック式で子供のせ自転車かごめられない。もちろん病院前にとめるスペースもないところが多い。予防接種(補助含め)三鷹市、武蔵野市、国分寺市、府中市でも使えるようにしてほしい。
- ・医療証の保護者欄に両方の親の名前を書いて欲しい。都のゼロイチハチサポートの申請の際、親子関係の証明として使用ができず困った。

◆障がい児支援・発達障がい支援について・・・11件

- ・現在障がいのある子を育てています。来年からは小学生で、支援学校に通います。小金井市は放課後デイサービスの事業所が少なく、学童も利用するつもりですが、小学校高学年からは子供が放課後行ける場所が見つからない場合、母親は仕事を辞めざるを得ません。(一人で留守番できないので)保育園もやっとの思いで障がいに理解のある園を見つけ受け入れてもらえ、ここまで仕事を続けてこれました。障がいのある子の居場所の拡充、そしてその両親への支援を手厚くしてほしいと強く願います。(2)
- ・子どもが障害児の為、土日もサポートしてもらえる施設がもっと増えるとありがたいです。
- ・ダウン症児の子育てをしています。働きながら通える療育先がなく、特に小児の言語聴覚士や知育をしてくれる人がいません。(きりりなど平日のみ開所している所や病院では共働き家庭は利用できません。母親が失職しなければ療育を満足に受けさせられない構造的問題があります。)また、障害児の放課後の居場所がなく、小1の壁を越えられず失職する恐れもあります。放課後等デイサービスは数も少なく、空きがあるかは直前にならなければわかりません。
- ・4月から小学校1年生になる子供がいます。特別支援教室への入室を希望しているのですが、希望者が多い様で、優先度の高い子から順に入室となるので、入れない可能性もあります。受け皿を拡大してより多くの子供が支援を受けられることを望みます。また、知的遅れのない情緒級の設置を、強く希望します。
- ・発達障害(多動や癩癩等)に対する支援は充実していると思います。障害児だと説明すると発達障害だと思われ、話が噛み合わないことがあります。(うちの子は病弱児です)公立保育園の預り保育も癩癩持ちは困ると断られました。障害があると言っただけで、うちの子は癩癩ないのですが。(障害児=癩癩もち、という思い込み)保育士への勉強会をして理解を深めてほしいです。また、障害児の預り保育の充実をよろしく願います。
- ・姉が障がい児です。兄弟である本児を含め、障がいを持つ子の兄弟児のケアなどの支援があったら嬉しいなと思います。

◆学校生活について・・・11件

- ・小学校の学区を自由選択制（隣接学区から選べる）等にしてほしいです。共働きのため、学童の送り迎えと下の子の保育園の迎えなどが重なる時期に、小学校の場所が遠いと大変すぎる。学区の端の人はせめて、近い小学校を選択できるようにしてほしい。（2）
- ・いじめをした児童・生徒を転校させたり出席停止にし、更正するようにする制度、条例を作してほしい。
- ・小学校への補助が少なく感じます。子供が5人いて、4月から小学生が2人になります。毎月の学童費が2人分と、給食費やもろもろが×2人と考えるとかなり金銭的にきつと、子供も多いため今はフルタイムで働かず、労働時間を減らして、代わりに勤務日数が増えているじょうきょうです。子育てしやすいかんきょうには変わってきていますが、まだ全然足りません。お金で悩まなければ6人目もほしかったです。
- ・もし現時点でこの制度がなければ、不登校の小・中学生への訪問支援を考えてほしい。学校だけでなく、もくせい教室へ出向くのも難しい。またメタバース教室への参加も難しいと、なかなか公の支援を受けられない。公立の小・中学校に在籍していても、費用をかけて通信教育や家庭教師を手配しないと親が教える環境にない限り、学習も難しい。
- ・高IQ児（ギフテッド）の浮きこぼれによる不登校に対するサポートを希望します。
- ・小学校で放課後教室のようなものがあると助かるな、と思います。仕事をしていると習い事の送り迎えが出来ないがために習い事をさせてあげられないので。

◆情報について・・・10件

- ・情報の発信を分かりやすくしてほしい。市報に小さく表示だと見逃してしまうし、保育園と連携をとるなどして、子育て支援に関する情報を市報と分けて、必要な人に必要な情報だけが届くようにしてほしい。特に手続きが必要な事など重要なものは、目の届くように発信してほしいです。（5）
- ・小学校就学説明会など、子育てに関する説明会やイベントの開催日、開催予告をもっと早めて欲しい。また、イベント通知も小金井市内の幼稚園や保育園に限らず、近隣の施設にも情報を伝えて欲しい。（2）
- ・幼稚園の情報や、プレ保育、3歳児保育の情報をホームページなどでもう少し詳細に掲載されると助かります。
- ・今後、小学生になるのですが、どの学校なのか、その学校はどんな学校なのか、近所のコミュニケーションが引越してきたばかりで少ないので不明で不安が多い。学童などの情報はインターネットで調べるしかない。
- ・東京都のLINEのように小金井市のLINEも、同じ内容を繰り返してもいいので、どこで相談ができるのかやどの公園なら大声を出しても近所の方に注意されないかなどを広報していただけたら嬉しいです。

◆相談支援について・・・10件

- ・2人目がうまれて2か月～6か月位のときに、体力、精神力に限界で、市役所に死にたい。というような電話をなきながらしてしまったことがありました。その電話の先の相手は、「ゆりかご」かどこかの職員につないでくれて、今の状況を話せる方につないでくれました。今でも思いますが涙がでるくらいだったのですが、同時に救われた気持ちになり、今があります。同じような母親がいたら、また助けてあげてください。
- ・母親が定期健診より病気の疑いがあり、急きょ再検査する必要があり、その際、市役所に相談し、市立保育園の一時預りやファミリー・サポート・センター等の活動を教えていただき、助かりました。急な依頼にもかかわらず、保育園と調整いただき、連絡した日に利用させていただき無事に再検査を行うことができました。柔軟な対応はありがたい。
- ・「きらり」で5才児（年長）の相談に数回、うかがいました。他愛もないような相談をしてしまいましたが、とても親身になって話をさいてくださり、子どもとの関わり方やアドバイスをいただき、とても安心しました。次の予約も入れる予定でしたが、私のほうがあまりにも曖昧な相談内容だったため、そのために1時間も費やしていただくのは申し訳なく、中途半端な形で相談をやめてしまいました。ご相談させていただいた先生には申し訳なく思っております。そして感謝しています。ありがとうございました。
- ・子育て相談TELの窓口が分かりづらく、HP記載の番号へかけてもらい回しにされたことが何度もありました。職員の方の対応があまり良くなかった記憶もあり…安心して相談出来る環境「ここに相談すれば大丈夫！」と信頼出来る環境を整えて欲しいです。
- ・次女のことですが、秋頃保育園で原因はわかりませんが、骨折をしてしまい仕事を休まなくてはならなくなりました。保育園での事故なのに仕事を休まなくてはならなくなり、困っていましたが、市役所に問い合わせたところ親身になって話を聞いていただいたり、対策を考えてくれました。その際は大変お世話になりました。なんとか無事に怪我也治り、元気に過ごしています。窓口の方の対応がとても丁寧に対応いただき、少し心が軽くなりました。
- ・上の子の事で、教育相談書を利用したことがありますが、相談から一旦終了するまでに時間がかかり過ぎたと思った。予約が取れない、先延ばしにされたら今助けてほしいと思っていても我慢して待つ時間がとても辛かった。仕事していると中々休めない。平日は空いていると言われても休みが決まっているので変更するのは難しい、モヤモヤしながら子育ては辛いです。予約を取れやすいように相談を早急に受けられるように体制を整えてほしいと思った。

◆手続きについて・・・7件

- ・もっと手続きが少なく、気軽に子供を預けられると良いと思います。（2）
- ・すぐには難しいと思いますが各種問い合わせや申し込みがtelでなくwebで簡単にできるようになるとありがたいです。（2）
- ・ファミリー・サポート事業や一時保育、産後ケアなど、利用してみたい気持ちはあったが、申し込みが電話や書類のみであったり、一般的にすぐ利用できないらしいという話もあって利用にふみ切れなかった。今まで差し使って利用が必要なことがなかったため困ってはいないが、今後復職をした際には状況も変わってくると思う。専用サイトなどで空きが簡単に確認できるようになれば利用しやすくなると思う。
- ・保育園書類等の手続きオンライン化を要望します。
- ・保育園の入所申込みについて、オンライン申請ができるようになり大変便利でした。

◆教育について・・・6件

- ・武蔵野市と比べると、教育の環境はあまりよくないのかなと思います。せっかくたくさん大学のあったりするので、もっと教育の質を上げてほしいなと思っています。（2）
- ・近くの市と比べると学校や施設の高さや教材（タブレットなど）が足りてないようにも感じます。教育に財源を向けていただけたら、もっと子育てしやすい市になるように思います。
- ・これからの時代を生きるために必要な力を磨ける、先進的な教育に取り組んで頂きたいです。
- ・小金井市の教育費にける割合が低すぎて驚きました。

◆児童館について・・・6件

- ・子育て広場を利用できる曜日を増やしてほしい。利用開始時間が少し遅い。あと30分でもいいので早く利用できるようにしてほしい。(2)
- ・児童館の見守りスタッフの方とおしゃべりすることが自分の息ぬきにもなっていて子供が小さい時は本当に気持ちが楽になることばかりでした。今も大好きな場所です。
- ・1歳の娘がいるので児童館をたくさん利用させていただいています。以前住んでいた場所では、いつでも自由に行けるのですが、貸切り状態になることも多かったです。小金井市の子育て広場や児童館では、職員さんが遊び場にくださり母親同士をつないでくださるので、とてもありがたいです。利用時間が決まっているのでたくさんの方があつまるのもすごくいいと思います。

◆幼稚園について・・・6件

- ・小金井市内に幼稚園が少ない。
- ・預かり保育のある幼稚園が、極めて少ない。けやきの森の保育園枠に入りたいが、倍率が高すぎる。
- ・幼稚園の預かり保育の助成金が少ない。1日に450円では、長期休暇時は1日預けると1500円かかるため全く足りない。

◆育児休業について・・・5件

- ・育休中も保育園の預け時間を9時～17時にして欲しい。
- ・育休中の子どもが0歳ですが、1歳になる年に保育園に入れなかった場合、上の子(2歳)が今通っている保育園を退園しなくてはならない仕組みを変えてほしい。会社側は育休を2年取得出来る制度であるが、事実上、今の保育園に上の子を通わせ続けようとする復職せざるを得ず、子どもとの時間(0歳児との時間)を締めなくてはならない。逆に、上の子を退園させて、次復職するタイミングで2人とも保育園に入れなかった場合は、会社を退職しなくてはいけなくなる。市の仕組みと世の中全体の制度がミスマッチになっていると感じている。
- ・子どもが0～1才の間(育休期間)は、毎日、泣きやまない子どもと二人きりで、今考えると精神的に追いつめられていた時期がありました。「ゆりかご」にお世話になったり、主人に早く仕事から帰ってきてもらったりして、何とか乗り切った感じです。その時期(育休期間のように、母子(父子)が2人だけ)に少しでも子どもを預けられる(罪悪感なく)施設(父子)があれば、ありがたかったと思います。うつになったり、子どもに手をあげてしまったりする人と、そうでない人は、本当に紙一重だと思いました。

◆コミュニケーション・交流について・・・5件

- ・上の子連れで参加できず、あきらめたイベントがあった。離乳食教室、市のイベント以外でもそういう事があったので、誰もが参加できると良いなあと思った。相談相手はいても、時間が無い。1日2～3時間でも1～2時間でも集中して家事をしたり、大人と話す時間があれば、夜も心に余裕を持って子どもに接することが出来るのかな。
- ・昨年、小中高生の自死者数が514人であったことを受けて。→悩み事があったら相談してね、という電話番号やQRコード様々に見られるようになりましたが、自らの悩みを他者に打ち開けるというのはとても大変なことだと感じます。子ども側からのSOSを待つ体制ではなく、日頃子どものそばにいる大人がいかに気づき声をかけてあげられるかなと感じます。道を歩いていると(子どもと)声をかけてくれる高齢の方が多数いて(「かわいいね」など)それだけでも心穏やかになることがあります。誰もが子どもに微笑かけ、声をかけてあげられるような、子どもと大人の距離の近い、温かな地域であってほしいと願います。
- ・二重国籍(日本・韓国)を持つ子供達の交流の場、両親のうまれた国の文化や言語を学べる場をつくってほしい。

◆その他について・・・31件

- ・他の市の子育て支援で良さそうなものを取り入れてほしい。(2)
- ・これからの小金井市に期待して小金井で子育てをすることに決めました。どこにお金をかけるのか、未来の子どもたちのために考えて下さることを願っています。
- ・以前、子供がまだ1才頃に医療的ケア(鼻にチューブをしていた)をしていたこともあり、育児に対しての不安はもちろん、生活が孤立していたことや、精神的にも物理的にも眠れないような日がつづいていた時、医療的ケアの子供たちを連れていける児童館のような場があればいいのにとずっと思っていました。市の子育て相談窓口へ事情も含め相談したらさらっと「児童館はどなたでも行ってもいいんですよ」と言われたが、親の精神がけずられるだけなので、行くことは全く思いませんでした。発達障害やダウン症とはまた別に医療的ケア児の生活環境や保護者のサポートが充実するといいなと思っています。
- ・コロナが落ち着いてきたので、もっと子どもが体験できる様々なイベントを運営してほしいです。
- ・子育て支援について、サポートしてもらいたいことは多いが、果たして行政がどこまで介入すべきか、また、その財源をどこから拠出すべきか最近疑問に思うことがある。結論、子供自身の将来的な負担増になるのであれば、安易な子育て政策は意味がない。
- ・育児、家事だけでも日々手一杯の中、共働きが当たり前の流れに焦りを感じる。お金が必要なのは分かるし、それが子供のためと思って就労に時間を割く必要も分かる。でもいざ共働きとなると、負担は母親の持つことが多い。限られた時間で子ども優先に考えながら就労に集中するのに、企業側の理解がうすいとよく耳にする。働かなければ、育児しなければ、家事しなければ、の心の負担をいかに減らせるか。そこが個人意見として課題だと思う。(働いてないのが申しわけない、と思わせない社会を願いたい)
- ・プレーパークやNPO法人の遊び場が多くあるが、市政が認めたから安心!と言うだけで誰が何のためにしている団体なのかどこにも書いてない団体が多くあやしい。くじら山系のプレーパークや元ヒッピーの園長の保育・幼稚園があり、はらっぱ祭り問題もあって子供に自然とふれ合えると言いつつ大庭スズメられそう本当に怖い。信用できない。栗山公園の池が汚すぎる。必要ないと思う。よく子供が落ちて下痢になったと言われている。栗山公園に犬はなしがいのおじいさんと勝手に子供を連れてゆきボールあそびをしたがるおばあさんがおりケン。
- ・市長は発言に一貫性をお持ち頂けると、信頼する事ができます。市民ファーストをお願いします。
- ・3人分の書類、5人(家族分)分の書類が、同じものなのに大量に送られてくることがよくあります。その分の人件費、印刷代、紙代、郵送費等、少しでも子育てのお金にあてることはできませんか?
- ・ファミサポ利用料が高くして気軽に使えないので、もう少し安ければうれしい。
- ・子どもの権利についてや、子育て支援について知らない事が多いと気がきました。調べれば分かるはずの事を調べずに過ごしてきたという事は、必要でない、必要と思わずに生活ができていう事で自分は幸せなんだと感じました。ですが、今後必要になる事があるかもしれないので、一度調べてみようと思います。私の回答は小金井市の今後に役立つものではないかもしれませんが、私の今後役立つものだったと思い感謝します。みんなが楽しく生活できますように。
- ・市報に載っている子ども向けイベントの対象年齢について、4～6才児が参加できるものが少ない印象です。乳児向けと小学生以上向けの間に挟まれて、

穴になっているのでしょうか…。他の自治体に住み育児をした時期もあるのですが、それらの経験と比べ小金井市では、対象年齢外で参加をあきらめた回数が多い気がしています。(あくまでも体感ですみません。) 4～6才向けを増やしてほしいというよりは、ある程度は応相談とか、例えば「文字が読めるなら未就学児も参加可」等、幅を広げて頂けたら嬉しいです。就学前に近所の関わりを増やしておきたいという希望もあります。

- ・子供を対象にした自転車教室などやってほしい。防災訓練や、子供だけのときにどこで保護してもらえるかなど伝えたい。幼稚園年長の時に3ヶ月ほど不登園になり、きらりにお世話になってます。幼稚園以外の似たような子たちが遊べるスペース、対応してくれる職員さんに相手が出来る事でとても安心しました。
- ・妊婦面談や1stパースデーなどで子ども商品券をプレゼントしてくださり、小金井市の子育て支援の高さ、優しさがとても優しかったです。ありがとうございました。
- ・小学生以下の未就学児が、参加できるイベントが多いとうれしいです。昨年、宮地ホールの赤ちゃんコンサート等に参加でき、大喜びでした。参加費が高く、気軽には参加できません。大人はともかく、未就学児は補助があると嬉しいです。25日に間に合わずみません。よろしく願いいたします。
- ・小金井市の子育て環境（公園や図書館など）や、定期的で開催されるイベント（小金井公園でのイベント／地域の商店街のお祭りなど）が多い点は非常に子育てしやすく、親子共々小金井市での暮らしには満足しています。少子化に歯止めをかけるには、職場の育児への理解、多様性を受け入れる姿勢がより進む必要があると強く感じます。ハード面ばかりではなく、ソフト面も改善されれば少子高齢化は改善されると考えます。
- ・以前、上の子供の学校の公開授業でこどもオンブズマンについてのテーマがあり、保護者も参加できたのでよく知ることができました。もし就学前に知ることができたらもっと安心して入学できたなと思ったので、すでにご対応中かもしれませんがぜひ保育園幼稚園期の保護者にも広めて欲しいと思いました。おかげさまで、友人の中学生のお子さんがいじめられて学年崩壊にもなりかけている相談を受けた際にこどもオンブズマンを紹介することができました。こどもオンブズマンがいることで心強く思っています。また、こどもの地域への参加は積極的にしたいとは思いますが、普段仕事が忙しすぎてなかなか出かけたり定期的にイベントに参加もしんどいのが実情で、イベントをたくさん用意してくださっているのは分かっているにもかかわらずなかなか行けないのが悩みです。
- ・共働き家庭で親が近くにいない、高齢者だと、親が自分の時間を全く持てなく、子育てがしんどくなる。子育てにかかるお金ではなく、負担が大きいので、子どもは1人が限界。
- ・多胎支援として、タクシーチケット（こども商品券）を3年間頂けたのが大変助かりました。雨天時の保育園への送迎などで利用させていただきました。多胎支援について充実していると感じます。今後も続けていただけると嬉しいです。
- ・小金井市は近隣の市（武蔵野市、小平市、府中市）と比較して、地域の子育て活動が少ない印象です。小金井市での子育てイベント等が増え、参加しやすくなることを希望します。

イ) 小学校児童の保護者

子育て環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、自由に記入してください。

() 内は同様意見の数

◆遊ぶ場所・居場所について・・・44件 (ボール遊び・球技等のスポーツについて)

- ・ボール遊びができる公園を増やしてほしい(11)
- ・広場があってもボール不可であったりするので子どもが伸び伸びと安心して遊べる場所を増やしたいと願います。(2)
- ・バスケットゴールなどが使える公園があるとうれしいです。
- ・昔に比べのびのびとボール遊びができる場所が減った。チームに所属しなくても気軽に遊びに行けるような場所がもっと身近にあるといい。校庭、体育館の積極的解放やフェンスネット付きの公園
- ・遊べる場所を整備してほしい。近くに公園はあるが、サッカーやボールあそびが出来るように平らな場所がほしい。自由に使いたい。児童館がどこも遠く、放課後に子ども一人で行かせられないので小学校のちかくに作ってほしい。
- ・土日、長期休暇中の校庭開放をお願いします。スポーツ団体が利用していても、邪魔にならない場所で利用したいです。縄とび、バドミントン等を、道路でなくすすみます。よろしくお願いします。

(プレーパークについて)

- ・プレーパークを学芸大以外の場所に移してほしい。コロナ中予約が必要となり、予定が流動的で予約しづらく、行かなくなってしまった。
- ・プレーパークの運営日を増やしてほしい(月曜日希望)。

(放課後子ども教室について)

- ・放課後子ども教室が子どもの行きたい場所になるとありがたいな、と思います。
- ・放課後教室は基本的に校庭での外遊びで、室内は特定のイベント時しか過ごせない。もっと平日の多くの時間を室内で自由に過ごせるようになるとありがたい。

(公園について)

- ・近所に子どもがのびのび遊べる公園が少ない。
- ・市内にじゃがじゃが(水遊び出来る)公園が欲しかったです。

(その他の遊ぶ場所・居場所について)

- ・多摩地域に住む理由は自然も多く、のびのびと子育てができるのではないかと期待しているからです。ですが、市内の公園で自由にボール遊びができるのは何ヶ所ありますか？公園には、〇〇はダメ〇〇は禁止…と注意がきばかりです。その理由は大人としては理解もしますが、ではどこで子どもは遊べばいいのでしょうか。
- ・武蔵小金井駅南口周辺、第一小学校エリアに子どもが遊べる公園や場所が少なすぎる。ジャノメ公園まで市役所になるので子どもの遊ぶ場所がない。
- ・今回の対象の子供のことではないのですが、中1の兄が起立性調節障害のため不登校となっています。夕方～夜にしか体調が戻らず活動ができないのですが、その時間帯に交流ができるような居場所がなく困っています。
- ・不登校の子ども居場所や学習環境がより充実していくことを期待します。

◆施設・環境整備について・・・37件 (児童館について)

- ・以前、新潟県上越市に住んでいましたが、子供の遊び場はどこもキレイで職員さんも見守りがあり、子供・親共に交流が盛んでした。小金井市に越して来てからは、児童館に行ったこともありましたが施設がとても古くまた行きたいとは思いませんでした。図書館もリニューアルされておらず、武蔵野ブレイスで借りていました。
- ・一番近いのが緑児童館なのですが、もう少し整備してほしいです。置いてあるマンガがボロボロで破れていたり、おもちゃもおそらく寄付など頂きものなので、使い古されたものなので、仕方ないとは思いますが、きれいにメンテナンスしたものを置いてもらいたい。三小のそばにも児童館があれば、校庭開放がなくても子供達が遊んで待っていられますので、助かります。学童に入りたくても週4日以上での就労が必要なので、そこまで働くのは、現在は無理なので、子供達が安心して待てる居場所がほしいです。
- ・1小、南小学区域に児童館がありません。中学校区域で考えてもありません。(ちなみに南小学区域には図書館すらありません。)地域により利用できる公共施設に差があることは今まで問題提起されてこなかったのでしょうか？
- ・梶野町で武蔵野市との市境に住んでいるが、行政の違いで子どもたちの環境がこれほど違うのかと感じる。子どもだけで天候に関係なく安心して遊べる児童館や図書館も遠ければ、武蔵野市のようなあそべえというものもない。コロナ禍には、1番近い児童館でも在住市が異なるだけで入館できず、遊び場を失って遊び盛りだったわが子がそれに慣れてしまったのが残念。

(駐輪場について)

- ・市内だと、自転車で出かけることが多いが、東小金井駅前など駐輪場が少なく困る。

(小学校について)

- ・公立小学校のトイレの不衛生さを改善してください。非常に汚く、悪臭がひどいので子どもたちが学校でトイレを我慢してしまい、腸内サイクルが狂ってしまうことが何度ありました。保護者によるボランティア清掃だけではとても改善されません。早急に改修していただくか、プロによる洗浄作業が必要です。(5)
- ・公立の小中学校共に老朽化が気になる。大地震があったら、壁などが崩れてきそうで心配です。(3)
- ・小金井本町小学校、第二小学校の校庭のように、芝生だとケガなく安全で気持ちよく過ごせると思います。少しでも芝生の校庭が増えるといいですね。

(図書館について)

- ・図書館の本館について、蔵書数を増やして欲しい。また駐車場が欲しい。古くて狭いのも、何とかして欲しい。(2)
- ・市立図書館(本館)の建て替えをお願いしたい。手狭に感じるし、2階の児童コーナーは閉館が早い。もっと広い場所に、公民館や生涯学習センターもあるような施設ができればもっと活用できるのではと思います。
- ・小金井市立図書館で学習机が空いていたので子供と学習しようとしたら図書館の本を使用しないとダメと言われた。貫井北のように学べる環境にしてほしい。大学や企業と提携し、学習や体験の機会があるとよい
- ・図書館の充実。児童書の数を増やしてほしい。
- ・図書館の子供の本を増やして欲しいです。

(公園について)

- ・公園が少なく感じる。子どもたちだけで遊びに行けるような公園をもっと増やしてほしい。(4)
- ・公園の数を増やしてもらいたい。公園の遊具を新しく増やしてもらいたい。特にブランコが少ない。公園のライトを増やしてもらいたい。夕方暗いため、犯罪の防止のため。
- ・小金井第四小エリアで、もう少し大きな公園があると思う。団地公園や三楽公園、けやき公園ありますが、問題も多く聞き子供がのびのび遊べる公園をもっと増やしてほしい。ゲームやネットに依存してしまうと思います。
- ・中町4丁目付近に住んでいますが近くの子供も気軽に遊べる場所がシダレザクラ公園しかなく、しかもその遊具は修理が必要で使用不可です。早急に遊べる環境を整えてほしいのと、可能なら薄暗い立地なので木々を調整し、安心して遊べる公園にしてほしいです。
- ・公園の遊具について緑町2丁目児童遊園の、ブランコ滑り台が長い間使用禁止になっていて、早く安全に使用できるようにしていただきたいです。梶野公園について広い芝生があって、ボール遊びやフリスビーなどでよく利用しています。遊具がないことが梶野公園の良さだと感じていて、広い場所でのびのびとできるこの場所が好きです。時々、プレーパークつくして遊ぶこともできて、ありがたいです。

(子ども家庭支援センターについて)

- ・子ども家庭支援センターや、ファミリー・サポート・センターの処点が国分寺寄り、梶野町からだと遠くて利用しづらいため、もっと市の中央付近に移動してくると嬉しい。

◆生活支援について・・・34件

- ・給食無償化希望。お金がないわけではありません。ただ、給食の無償化であれば、全ての子ども、家庭が平等に恩恵を受ける事ができるのではないのでしょうか。お金をバラまいても、そのお金が子どものために使われているのかあやしすぎる。それならば、給食を無償化すれば、本当に貧しい子であれば、「学校に行けば、食べられる!」という希望へつながる。(7)
- ・隣の市(府中市)は高校生まで医療費が無料なので、小金井市もせめて中学生まで無料だといいなと思う。(5)
- ・所得制限がかり、長男が小学校～医療費助成を受けられない時期がありました。現在は高校生も200円負担で病院を受診できとても助かっています。高校生は予想以上にお金がかかります。高校の授業料に加え、大学進学のための予備校代、受験費用に入学金、その先の大学授業料etc…。2人を育てるのも大変です!!物価も上がっているの、所得や子供の人数関係なく子供1人1人への支援を充実して頂きたいです。
- ・医療費の無料(200円)期間が増えた事に満足している。他地域に比べ、すべての取り組みが遅いのが残念ですが、子は国の宝で地域の宝です。子供たちが安心して安全に育っていける環境を作ってほしい。小さな子はお金がかからないが、中高大と親の介護の時期はかさなる事もあるし、私は重なってしまいとても大変でした。少し大きな子供への補助があるといい。
- ・子育てが困難な家庭への支援は勿論のこと、長期的な経済支援(給食費、医療費などの無料、大学までの学費の負担減)を希望します。また小金井市を超えて東京都になりますが、子育てしやすい職場環境のある企業をもっと増やしていただきたく、働きかけシステム構築などを進めたいです。
- ・子供が4人います。4人全員を大学、あるいは専門学校に進学させるために、いくら必要かを考えると気が遠くなります。所得制限で受けられない支援もありますが、習い事など含め、中・高・大と多額の教育費がかかります。高校無償化の所得制限がなくなると非常に助かります。
- ・小金井市は近隣の市町村と比べても、教育費に掛かる費用が少ない。図書や学校設備などが充実されていなく、せい弱と言わざるを得ない。再開発が進み、今後、若い世代が流入してくることが予測される今、大胆な転換が必要だ。
- ・子供が3人おりますが、教育費用が高額で不安です。援助金などがもっと充実していれば、子供のために使える教育費が増えると考えます。学費については、家庭により考えが違っても知れませんが、社会の子供として育てる意味でも、もう少し思い切った支援が必要であると思います。このままでは、不安で本当に結婚し子供を持つ人はいなくなってしまうと感じています。
- ・障害児のいる家庭への金銭面の援助をしっかり行って欲しい。第3子が児童手当3万円になるのに、特別児童扶養手当の額は2級で35,760円、障害等級で基準を満たしているのに認定されなかったり、所得制限で手当支給されなかったりする。国及び都へ働きかけて欲しい。
- ・児童手当の所得制限と、小一以上の医療費(200円自己負担)を完全に市の責任において撤廃してほしいです。児童手当の所得制限はなくなりそうですが、政権が代わったり、その時々で政府の意向で変更するのはやめてほしいです。うちは世間一般からだと高所得世帯ですが、税金でものすごい金額を引かれており、働く意欲がそがれます。子どもへの支援は平等であるべきです。

資料編 イ) 小学校児童の保護者

- ・子育て応援券があればもっと地域とつながれると思うので作ってほしい。
- ・総合体育館、テクノスカレッジ体育館をよく利用させていただきます。ただ費用が掛かるため保護者の負担が大きいと感じています。
- ・シングルです。所得制限で扶養手当はもらっていません。自立して生活するために、給料をあげて、税金もしっかり払っています。働く時間が長くなったが故に子供との時間は平日ほとんどとれず、会話も少ししかする時間がありません。休日も、つかれて動けない時が多々あります。所得があがれば、当然、税金も増え、手取りが減ることが残念です。子供を見る人も私しか日常ではないんです。悪循環ですよ。好きでシングルになったわけじゃないのに。そりゃ子供の数も減りますよね。(2)
- ・貧困層や多子世帯に手厚いように感じます。子育ては平等に支援していただきたいと思っています。
- ・今は支援を受ける側だが、いずれ支援する側に回る身としては、将来の負担が増えるだけの支援は好ましくないと考える。
- ・経済的負担を無くすことを当たり前として、親が安心して仕事にフルタイムで働ける環境の整備をお願いしたいです。
- ・塾やその他習い事など、子供が興味を持って親の都合で行かせるのが厳しい。年収関係なく一律で補助をしていただけると大変助かるまた、広報でもいいのでアンケートの結果はできないことも含めて具体的な結果を知らせて欲しい。
- ・子供が大きくなるにつれて出費が大きくなるので将来の金銭面でやや心配になる部分がある。

◆学校生活について・・・30件

- ・「対話力」など、VUCA時代を自分らしく協働して楽しく生きるための力をつける場をつくってほしい。そのためには、教える側の待遇などをよくしてあげてほしい。先生達の環境を整備して下さい。給料アップ、休みやすい仕組み、相談・協力しやすい仕組みなど。(2)
- ・子育ては家庭・地域・学校の3本柱だと思います。私の一番の心配は学校の先生が自分の生活を犠牲にして、とても疲れていることです。学校の先生も親なの心に痛めています…。頑張っている先生がかわいそうに思うこともあります。小金井では学校の先生をどうにかして増やせないでしょうか。例えば、学芸大や農工大などから大学生や大学院生のサポートが得られないでしょうか。学校でも先生たちがいきいきとしていれば、子どもたちも元気を取り戻し、その姿を見てまた先生たちも元気になる良い循環が生まれると思います。(2)
- ・子どもが、「学校の給食がおいしい!!」とよここんでいます。ありがとうございます。質の維持を。
- ・小学校の給食の量が少ない。給食調理が委託になってからおいしくなくなり学校に行く楽しみが減ったと子供が話している。
- ・南中学校に娘が通学しており、現在小学生の息子も入学予定ですが、クラブの数が少なすぎると感じています。三鷹の第六中学校は沢山クラブがありましたが、こちらは10のクラブしかありません。そのうちのバトミントンとソフトボールは女子のみです。メジャーな陸上部など作ってほしいと学校に聞いたことがありますが、校庭や先生の配置などで難しいと言われました。しかし他校ですでにできていることが、なぜ南中ではできないのでしょうか。バトミントンなども入りたい男子がいるようですが、現在は女子のみということでした。校庭が分け合っただけの使用が難しいのなら、せめて文化系のクラブをふやしてほしいです。
- ・子どもたちが大人になった時にトラウマを引き起こして社会参加ができなくなるのを防ぐためにこれからもいじめ虐待体罰から守る社会環境づくりに取り組んでほしい。
- ・子供が学校でいじめなどのトラブルに遭ったときに相談できる、学校以外の機関を整備してほしい。
- ・子供に対する精神的ないじめ、いやがらせに対し、小学校4年の時から再三、第二小学校に対応を求めても、現在6年生になっても何も改善されていないため、学芸大にある「もくせい教室」や「小金井教育センター」でカウンセリングを受けている。小学校は、皆が平等？目に見える証拠が無い限り、何もしてくれなく、失望している。市の育環境より教育現場について考えた方が良いと思われる。
- ・学校でのPTAや役員の負担が大きすぎる。働きながらさらにやる事が増えて子どもとの時間が結果的に削られ何の為に活動しているのかわからなくなる。
- ・食物アレルギー(重症)に対しての学校対応が良くない。今後増えるであろう食物アレルギーは、命にかかわる事 給食の際、別室での対応をお願いしたいです。アレルギーのお弁当対応の子どもを集めて1つの部屋に先生(専門の)も1人ついてなど。
- ・もくせい教室を利用していますが、不登校の子どもの数に対して、キャパシティが圧倒的に足りていません。不登校はこれからも増加傾向であると思います。緊急に対策を取ってもらいたいと思います。子どもによって、不登校の原因や状況、段階も違います。もくせい教室だけではなく、様々なタイプの子どもの居場所が出来ることを期待します。同時に、保護者の為の不登校に特化した相談窓口(不登校110番)も設置していただきたいと思っています。不登校の子が増える中、不登校で苦しむ親子を少しでも減らしていく取組みが必要と考えます。
- ・もくせい教室を利用しているが、手続きの書類を在籍校の先生に提出しなければならず、親にも先生にも負担だと感じる。また、学校側にもくせいの基本的な理解があまりなく、親が質問される側になることも多いので、最低限でも知ってもらい、相談しやすくなってほしい。もくせいへの送迎でフルタイム勤務が難しく、ファミリー・サポートを利用すると経済的負担があり、子どもの足で通える範囲で支援を受けたい。
- ・情緒支援が通級しかなく、使いたいと思っても満室で使えない状況が続いている。固定の情緒支援級が小学校にあってもいいと思う。
- ・学校でやっている特別支援教室(通級)の支援が追いついていないので整備してほしいと思う。自分の子も1年生の時に利用していて、2年生でも利用したかったのですが、利用させてもらえませんでした。他の子に比べなかったのかもしれない。ただ支援教室の先生と話していてもまだ気になるところはある状況の中で入室不可となりました。子どものためにももう1年受けさせたかったのが叶わなかったのが当時は親としてとても不安でした。
- ・南小の放課後事業があまり盛り上がっていないように感じます。他の小学校では、放課後に子供たちが校庭で遊んで帰る話を聞きますが、南小では参加している人が少なく、誰もいないので行かないという雰囲気があり、放課後に校庭で遊ぶことがありません。放課後にお友達と遊ぶ機会があまりなく、ここに行けば誰かに会える、遊べるという場所づくりがあれば良いと思います。
- ・小学校の教員(中学校)を増やしてほしい。学校トイレに生理用品を置いてほしい。教室に戻るの、時間も足りないし、はずかしさを感じるらしい。
- ・ことばの教室などの通級を各学校に置いてほしいです。
- ・子供が学校を休んでしまった時の為に授業をリモートでみれるようになってほしいです。
- ・子どもがディスレクシアなので、これに特化した支援がほしい。字を書かせる機会が多すぎる。もっと、デジタルを活用してほしい。

◆学童について・・・24件

- ・共働きしており、勤務中に子供に事故や災害があった時にどうしようか悩んでいます。小金井市は学童も3年生までという事で、4年生以降の居場所がありません。安心して両親が働ける環境があると有難いです。居場所を確保する事が必要になります。(7)
- ・学童保育所は現状3年生までですが、6年生までにしてほしいです。難しいとは思いますが、せめて長期休暇中の夏休みや冬休みの午前中だけでも預けられると助かります。(2)
- ・学童を4年生から5年生まで対象にしてほしいです。
- ・学童保育の利用基準が厳しく感じる。もう少し緩和してほしいと思う。(3)
- ・駅前に学童保育の施設があり、夏休み等の長期休み中も利用可能であれば、有償でも利用者は多いと思います。長期休み期間は、働く親にとってはかな

り負担が増える時期です。

- ・13時など短時間のパートだと学童への預けが不可、又、自分の両親も田舎でフルタイム勤務中だったりなんと長期休みを乗り切るのに必死でした。学童で夏休みのみの預かりOKな自治体もあるそうですが、学童の広さや夏休みのみ雇える人がいるのか…色々難しい問題だとは思っています。
- ・学童施設が狭い。学童施設を増設してほしい。
- ・小金井市は希望すれば全員が学童に入ることが出来ます。しかし、そうすると1人あたりのスペースが狭かったり、職員が目が届きにくいのではないかと心配があります。東小の方にメガロスの学童ができることと、市として学童を増やす方向なのかな？と期待しております。今後もぜひ、放課後の学童で子どもたちが伸び伸びと過ごせる物理的スペースと、人員配置をお願いしたいと思います。親が安心して仕事に専念できることにもつながると思います。
- ・学童保育の料金が他自治体に比べて高い。ただでさえ累進課税や所得制限による補助金・支援金がカットされてる中、この料金は非常に腹立たしい。
- ・学童を卒所した後の居場所について、放課後こども教室以外の選択肢を充実させて欲しい。民間の学童等。

◆保育について・・・15件

- ・前市長の保育園閉鎖はありえない。子育て家庭を優遇して、他の自治体から転居する人が増える位の事をした方が良くと思います。
- ・市立の保育園(3園)について、「廃止」がものすごくものすごくショックです。小金井市は何を考えているのかと、今でも怒り心頭です。西村前市長のやりっぱなし、市政をぐじゃぐじゃにして逃げた姿勢に恥ずかしくて市民として情けないです。白井さんには期待しています！
- ・昨年、日曜日に朝早くから夕方まで、国家試験の為、預け先が大変困りました。主人が、単身赴任で不在。他のお友達のお母さんをお願いし、何とかできましたが、市に問い合わせ、いくつか探しました。土曜日は可能でも日曜日はどこも無理という事でした。幸いな事に、お友達のお母さんが前の日に泊まらせて頂きましたが、その時は小学1年生。娘にとっては、すごがまんした2日間でした。日曜日にサービス(面倒をみてくれる)がないのは、非常に残念でした。
- ・このアンケートで答えている子ども(10歳)は、保育園に入れず育休延長をして苦労しましたが、下の子(2歳)の時には保育園が増えている、希望する園に入れたことに感謝しています。
- ・南小学区には児童館がありません。学童をおえた小4～小6の子が雨でも安心してすごせる場所をつくっていただきたいです。放課後の見守り活動をして下さっている保護者もいますが、特定のメンバーであり、負担が大きいです。
- ・娘が食物アレルギーがあり、エビパンを所持しているのにもかかわらず居場所がなかったです。頼れる一時保育の場はなく、自分が体調を崩したらいけないと何年も何年も気を張った育児をしてきました。一時保育の申込先の保育園では断られる事が多数、午前のみ、食事は対応できないと言われ、ずっと孤独でした。アレルギー児同士の交流の場もなく、ネットでひたすら探るばかり。幼稚園ではほとんど対応できる所が小金井にはなく、府中の幼稚園へ行きました。とにかく、食物アレルギーがあると居場所がありません。小学校ではクラスに必ず2～3人はいて、アレルギーの児童が多い事におどろきました。この様にアレルギー児の人数が多いので市として、居場所作りをやってほしいです。
- ・共働きできているのは、保育園、学童の先生のおかげです。共働き家庭へ金銭的な支援をするより、保育園、学童の先生のお給料にあてて質の高い保育をよりしてほしい。先生の余裕やゆとりが質の高い保育や人材確保につながると思っています。子供を多く産めない、ちゅうちよする理由の1つに、PTAや学童父母会の役員があります。子供以外の大変なことが、もっと時代に合って減ってくるのを望みます。
- ・保育所や学童保育所等の箱物は新たに作るのではなく民間機関を利用して補助金を出すような支援をして欲しい。そうでないと市民人口の増減により将来負の遺産となりがねない。

◆障がい児支援・発達障がい支援について・・・9件

- ・特別な配慮が必要な子供への支援がとて少ないと感じています。支援の場所を増やす、利用したい時にすぐ利用できる等環境を整えて欲しいです。配慮が必要な子供の居場所が無いと思っています。(3)
- ・障害児の子育てのため、多数派ではない経験があります。保育園の利用を考え問い合わせた際も受け入れ体制の難しさを実感しました。預り保育も特別支援枠は想定外だったようで丁寧に断られました。他の障害児の保護者も同様のエピソード多数。一昔前の話なので多様性が求められる現在対応も変化しているのかも知れませんが。障害児の受け入れが難しい、出来ないケースは皆承知の上です。頭から拒否ではなく話を聞いていただき、無理なら説明をしていただける等、今や少なくはない支援が必要な子供達への想定を広めていただけたら大変嬉しいです。
- ・現在小学2年 私の子供は読み書き障害で、現在、病院でリハビリを月2回受けています。小金井はあまり、読み書き障害に対して、学校での対応が他の地域と比べ、遅れていると聞きました。今は、クラスに2-3人は、そうゆう子供達がいると聞いています。その子供達が、普通の学級でも、勉強できるような学校での環境があると大変嬉しく思います。それは、きつとすぐに対応できることではないと思います。でも私の子供は、特別支援教室ではなく、たくさんの友達と普通に勉強して遊ぶことを望んでいます。
- ・障害があるため放課後等デイサービスに子供を預けて働いていますが、報酬決定に伴う基本方針の変更などで簡単に事業所から契約を更新できないと言われてしまいました。今年一番のショッキングな出来事でした。子供本人の人生や権利はもちろんのことですが、親が自分らしい人生を選択していくこともできるように支援をお願いします。
- ・子どもに障害があるため市内で放課後デイサービスを利用したかったが、混み合っていたため、利用が叶わなかった。体制整備をお願いしたい。加えて、福祉制度の移動支援について、利用条件や利用回数が他市に比べて厳しくなかなか利用できない。要件の緩和をお願いしたい。
- ・未就学児の発達支援としてはきりりがあるが、就学後の療育の受け入れ先がないのが気になっている。発達凹凸がある子どもが増えている中で、幼稚園や保育園と小学校の連携がとれていないように感じている。困っている保護者、子どもはたくさんいると思うので、その支援をお願いしたいです。

◆安全について・・・8件

- ・子供たちを学校に通わせるにあたって、道路の歩道の整備を推進してほしい。(2)
- ・道路の整備をお願いしたい。小金井街道を自転車で通行する際、車道を通るのは危険すぎます。歩道を広くしてもらい、歩行者も自転車も安心して通行できるようにして頂きたいです。又、前原小入口の横断歩道を渡る際、駅の方から来る自転車が信号を気にせず直進していくので、渡る際危険です。
- ・小金井第一小学校に子どもが通っています。朝の通学時間に農工大通りを車がかなり速いスピードで走ることがあり、危険を感じます。時にスピード違反をしているのではないかとと思われる時もあります。農工大通りの主要な交差点の入口に短時間でも警察官やガードマン、市職員や学校職員が立つだけでも、かなり改善されるのではないのでしょうか。
- ・公園の大小に関係なく、防犯カメラの設置を、できれば希望致します。冬期などは、17:00にはもう真っ暗になるので、公園内や周辺の街灯が、明るく、すぐ人目につくようだと良いと思います。緑豊かな、大好きな小金井市なので、子どもたちが安心して遊べる公園であって欲しいと願います。見通しの悪い暗い道や、人通りの少ない危ない路地裏にも防犯カメラの設置や、おまわりさんのパトロールなどが、不審者に対する抑止力となると思います。
- ・武蔵小金井駅北口の環境改善をお願いしたい。歩きタバコ、喫煙所、パチンコ屋など。
- ・スクールゾーンの交通違反が多い。スピード違反。大半が守られておりいないと感じる。スクールゾーンはきっちり設定されているのか。
- ・不審者対策、外で自由に遊ぶ子どもを守ってほしい。

◆情報について・・・6件

- ・東小金井で小学校4年生以降の学童終了後、子供達がどのように過ごしているのか情報を発信してほしい。また、校庭開放以外に利用できる公的機関が東小金井にあれば知りたいです。
- ・それぞれの施設で情報発信をしていると思うが全てチェックする時間はママにはない。市で一括し、情報発信してほしい。施設ごとの競争ではなく、市の協創です。
- ・私立小学校に通学中だが、小学生が対象となる地域のサポートやイベントなどの情報が全く分からないので、取り残されているように感じている。公立・私立の区別なく子育て支援を計画してほしい。
- ・市の情報発信がとにかく下手だと感じる。ホームページも見づらく、情報を得てほしいのか、探させたいのか分からない。子どもが見ようと思えるページ作りをするとういのではないが。

◆相談支援について・・・5件

- ・悩んでいる場合はすぐに相談できる場があればいいと思います。きつと悩んだ末に相談することになると思うので、スピードが大事なのではないかと思います。
- ・子供が小学校入学後にてんかんを発病し、昨年外科手術を受けました。回復状況は順調で、発作も止まりましたが、手術で体力が落ちたこと、また学校にフルで復帰出来ていないこと、治療により学校を休み学習の遅れがあります。現在は祖母が交代でサポートしてくれていますが、体力的な限界もあり、今後学校へのお迎え、放課後のみまもりと家庭教師を兼ねた宿題のサポートの相談を市にしたいです。
- ・不登校に対応できる専門家を各学校や市の窓口に配置してほしい。スクールカウンセラー、教育相談の方々は対応できていません。高い相談料を払って民間の不登校専門家に具体的な対応策を聞くしかないのでは、家計に負担がかかっています。

◆児童館について・・・5件

- ・児童館や東センターなど毎日のように利用。また、上記の場所に入出入りすると保護者もなんとなく安心感があるので(身近で好きな場所)助かっています。また、幼児の頃から通っているのでもちろん気軽に行けるよう。職員の方々も良く対応してくれています。現在は子どもの数も増えています。職員の方々の方々の人数を増やしていただけたら、働く環境を充実してもらえると良いなあと思います。
- ・一小の学区内に児童館がない。雨の日に子供が遊ぶ場所がないのがこまります。
- ・南小学区域に児童館がないため、小4以降の子はとて不便を強いられています。
- ・東八道路の南側に住んでますが児童館が遠く気軽に行けない。近くにあると嬉しいと思います。

◆交流・コミュニケーションについて・・・4件

- ・多様性とよく言われるが、世代や国籍、障害を問わず交流できる機会がないように感じる。コミュニティーナースのような存在を増やしても良いのではないかなと思っています。(2)
- ・高齢者と子供が関わりを持てる機会がもっと増えればと思う。地域のひととのコミュニケーションの場が減っている。以前、学校で開催されていた会をまた復活したらどうか。顔見知りになる事で、安心、安全だけでなく、核家族では得られない体験が増えると思う。いきなり怒鳴りつけてくる高齢者も減ると思う。お互いを知る事が大事。
- ・三宅島との交流や、清里山荘を利用したことがあります。個人の力ではできない良い体験を子供たちにさせることができました。

◆手続きについて・・・3件

- ・学童に子が1年ほど通ったが、連絡のやりとりがすべて手書き・電話だったので大変だった。全部ではなく一部で構わないので、しきみをデジタル化してほしい。そうすれば、職員と保護者、双方の負担が軽減されると思う。
- ・感染症の登校許可証を市ホームページでダウンロード出来るようにしてほしい。溶連菌等の登校許可証は、学校でしか受け取れないが、平日は仕事で学校に行く事が難しい。土日は受け取れない為、許可証の入手が中々出来ず、子供の登校再開が遅れてしまう事があった。新型コロナウイルスやインフルエンザ用の許可証は市のホームページからダウンロード出来るので、その他の感染症も同じようにしてほしい。よろしくをお願いします。

◆教育について・・・3件

- ・コロナ禍でタブレット学習の機会が増えたが、他市町村と比べると充実していないので教育現場で積極的に取り入れて欲しいです。
- ・地方自治体レベルの話ではないかもしれませんが、日本の教育IT諸外国と比べて遅れていると思います。早期の少人数学級の実現を希望します。子供たち一人一人の進度や個性に合わせた教育がなされ、みんなと同じことが尊ばれるのではなく、一人一人が違うことが尊ばれる社会になれば良いと思います。

◆放課後子ども教室について・・・3件

- ・放課後子ども教室が平日ほぼ毎日利用できるようになり感謝しております。学童保育と異なり、就労の有無に関わらず、当日申込みで利用できるもので、急用の際にもすぐに利用することが可能で助かっています。誰でも利用可能ということで選択肢が広がり、親の就労支援、育児疲れへの支援、子どもの居場所づくりなど、それぞれの目的に合わせて利用できる、良いと思いました。また、低学年は安全、安心な居場所が大切ですが、高学年になると、体験や交流の場などが充実してくると嬉しいです。学芸大学やNPOとの連携等で魅力ある活動が展開されることを期待しております。

◆医療支援について・・・2件

- ・小金井市は小児科が少なく、急な病気の際は予約が取れず困ります。
- ・5歳児健診を実施して欲しかったです。保育園時代にも発達について気になる点はありませんでしたが、保育園側からも発達について特段ご指摘をいただくこともなく、まだ保育園児だからこんなものかなと思ひ、様子を見ていました。入学してから、やはり発達に懸念があり、検査を受けたり、支援を受けるべく色々動いていますが、入学前に動くことができれば、1年生からくじらぐも教室に通級させることができたり、娘はもう少し学校生活を過ごしやすくなったのではないかと思います。発達に懸念のある行動により、保育園時代のお友達ではない同級生からも色々指摘を受け、学校への意欲が低下してしまうこともありました。入学してから気付く親御さんも少なくないので、是非5歳児健診の導入をお願いします。

◆アンケートについて・・・2件

- ・勤務時間の回答の前提にフルリモート勤務への配慮がなく残念だった。

◆病児病後保育について・・・1件

- ・保育園児が病気の際は病児保育施設があるのに、小学生が病気の際は、預け先がなく困る。小学生が利用できる病児保育施設がほしいです。

◆その他について・・・23件

- ・子供の文化に親しむ心を育んでいくイベントを充実させてほしい。音楽や芸術、スポーツ等。
- ・スポーツや学びのイベントがもっとあったら嬉しいです。
- ・子供向けの体験イベントの数は増えていると思いますが、珠玉混在です。同じような世代向けの似た内容、家庭でもできる内容である事も多く、今後内容の多様化・刷新があるとさらに良いのではないかと思います。
- ・ミステリートレイン、学童の運動会など地元根付いた事業がありとてもすてきな事だと思っています。コロナにより、地元密着の子供の為の事業をいかに取りもどすか、また新築が増加し流入してきた人々にいかに地域に関わりや思いを持ってもらえるかが小金井市の発展には必要であると思います。さらに住みやすい優しい小金井市になる様に協力したいと思います。
- ・外国籍の子供への支援についてあまり聞いたことがないですが、これからは充実してほしいです。小学校の施設や衛生面の配慮、保育園の保護者のためのコミュニケーションの場を増やしていただきたい。
- ・子どもが大きくなって使わなくなったおもちゃや道具などでまだ使えるものを捨てるのがもったいないと思うことがよくあります。売るほどではないけれど児童館や保育所等でリサイクルなど回収して欲しい人にもらってもらえたらありがたいと思います。
- ・小金井市内でも、地域格差があると思います。
- ・子育て中の市民だけではなく、高齢者や、単身世帯など全て（より多くの）の市民から、子育てについての理解を得られるような活動もして頂きたい。
- ・民間にしか頼れないと思うが、子育てする中で親の休息をとれるところがない。都心に比べて社会資源が少ない。
- ・親の状況により、余裕があったりなかったり様だと思いますが、余裕があるからといってボランティアなど積極的に参加できるか、したいかというのは別話。とはいえ、ゆるやかに参加できる枠組があれば、人数は増えてくるかなと思います。ゆるやかな参加には、中心にプロやベテランがいるのが安心になると思います。
- ・各自治体単体ではなく、近隣自治体との連携、ネットワークを子供、保護者の立場を最優先で考え構築し柔軟に対応できるようにしてほしい。
- ・子育て環境や子育て支援に関して、既存の事業に関して馴染みがあまりなかったことを改めて感じま tyuugaku。
- ・ココバスに乗った時、ベビーカーで子供が寝ていたのですがベビーカーを畳まずにのったことがある。いつもなら畳むが、空いていたので子どもを起こしてだっこしながらベビーカーを畳むということはとても大変なのでそのままにしたが、おばさんに降りる時に一方的に文句を言われた。「すみません」としか返せずとても悲しかった。通路が狭いし降りにくいのもよくわかる。ただ、車も運転出来ない、自転車は子どもが小さくて乗れない、雨の日で危険などいろんなシチュエーションがある中で、荷物も多い子連れとしてはココバスはありがたい。どうしたら子連れの親やお年寄り、その他の方々も気持ちよく乗ることが出来るのかなと思う。そういう小さな部分を解決していけば、子育てしやすい環境や支援になっていくと思う。

ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者

子育て環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、自由に記入してください。

() 内は同様意見の数

◆生活支援について・・・52件

(教育費について)

- ・中学校までの経済的負担が少しずつ減ってきていますが、高校・大学進学とその年代の子育ての経済的負担が気になってきます。高校生・大学生への金銭的援助を希望します。(2)
- ・多子世帯への大学無償化を続けて頂きたいです。高校生の医療費(中学生も)200円は助かりました。子供も含め将来に不安を感じている人が多く感じます。(2)
- ・大学の学費等の軽減も考えて頂けたらありがたいです。(2)
- ・収入に関係なく、私立高等学校の学費無償化を早期に実現してくれる事に期待しています。
- ・一旦進学すると先が長いので将来的な不安が常にある。進学後に困窮し退学せざるを得なくなるなら初めから就職していた方が、子供も傷つかないので等々…。中間層への支援も必要と考えます。
- ・子供が4人いるため今後の教育費が心配です。子供が4人以上世帯に対する何らかの補助があると助かります。
- ・少子化であるからこそ、子ども3人以上への大学無償化だけでなく、子ども1人1人を尊重し大学無償化にして欲しいです。

(所得制限について)

- ・年収が平均より高く納税も多くしているにも関わらず、金銭的な子育て支援等に関してほとんど受けることが出来ないのは、理不尽を感じます。(5)
- ・ひとり親家庭に対して、収入関係なく色々対応して欲しい。
- ・世帯収入でひとくりにされ、高校無償化など受けられない子育て支援が多すぎました。0%か100%ではなく段階的に少額でも支援があればと思いました。1000万円以上の世帯と3000万、5000万世帯では暮らしぶりは全く異なります。
- ・子供が中学生、高校生になってくると塾の費用、高校、大学への費用と経済的負担がともあります。支援の年収制限を、幅広くしていただきたい。
- ・子育ての環境や支援にお金を回してもらうのはありがたいのですが、それが、未来の子ども達を苦めてしまわないようになんとか考えてもらいたいです。
- ・所得制限による教育費支援がなく経済的な余裕がない。小金井市は支援策を早急に行なって欲しい。

(医療費について)

- ・子供の医療費を無料にして欲しい。現在自己負担200円ではありますが、子供の人数が多い家庭では200円でも負担だと思ふ。特に乳幼児は医療機関にかかる回数がとても多いので無料にした方がよいと思う。23区では無料のところほとんどであり、同水準にしてほしい。(4)
- ・高校生までの医療費の無償化を実現して欲しいです。小金井市ではやっと所得制限がなくなり3割負担から開放されたが今までその負担が大きくてなかなか病院に行きづらかった。税金を多く納めているのに公費負担の人の格差があるのは納得できません。よろしくお願いします。(3)
- ・該当者が高校生で医療費を負担してもらえようになり、大変有難いです。(3)
- ・中学生以上についても医療費を0円になるよう補助して欲しい。
- ・子供の医療証が所得制限により、以前は受け取ることができませんでした。子供3人に持病があるため、通院が必要だったのですが、医療証がない3割負担は大変で、気軽に受診できませんでした。今は、小金井市から医療証をもらえるようになり、大変助かっています。子供にかかわることは、平等に支援がうけられるとうれしいです。
- ・小金井市は、コロナワクチンの時や、高校生等医療費助成制度の時など、対応がとても早く、すばらしいと感じています。ありがとうございます。今後とも宜しくお願い致します。
- ・医療費助成制度の所得制限はあった方がよい。本当に病院に行った方がいいと考える場合は、お金がかかっても行くものです。200円だからとあえず病院に行くという考えの方も一定数いるのではないのでしょうか。また病院の方でも無駄にたくさんの薬を出すところもあると感じております。医師によっては薬をなるべく減らしてほしい旨を伝えると不機嫌になったり、怒り出す方もいるので、自己負担なしであればとあえず出された薬をもらおうと思います。(私は今後その病院には行きませんが…。)無駄な医療費の削減に努めてほしいです。

(給食費について)

- ・給食費の無償化をすすめてほしいです。(6)
- ・公立中学校とは言え、入学準備に結構お金がかかります。制服、体操着、うわばきなど。給食があるのは大変助かるが、給食費はいがいにかかります。支給で補助するのではなく、給食費は市持ちになるとかのサポートしてくれた方が助かる。

(その他の生活支援・助成について)

- ・若年者(例えば高校生)の健康診断を無料に、もしくは補助して頂けたらと思います。
- ・子育てへの助成金等は、所得関係なく平等に一律にすべきだと思う。
- ・年の離れた多子家庭にも年の近い多子家庭と同様の支援をして欲しい。当時は保育料などの減免もありませんでした。
- ・京王バス西の久保循環が昼～夕方にかけて廃止されたことにより、通学に利用していた定期が使用できなくなり、経済的に大変大きな負担となり困っています。この路線利用の学生にとって大変不利になっています。C o C oバスも定期利用できる、あるいはC o C oバスの学生料金を安く設定するなど、救済措置を考えていただけないでしょうか。

◆施設・環境整備について・・・43件

(図書館・自習室について)

- ・自由に使える施設、子どもたちが勉強できる自習スペースを大規模に備えた施設、おしゃべり、食事、などができるような施設、を作ってほしい。武蔵野市の武蔵野プレイスのような場所。(3)
- ・図書館を充実させていただきたいです。子どもたちが自ら行きたくなるような広くて、明るく勉強、読書スペースが多くあるような図書館があったらいいと思います。(2)
- ・自習できる場所が少なすぎる、家の近くにないので、家では出来ない場合に使用できる場所が限られ、ファーストフード店に行ったりしている。学習に集中できるようなフリースペースがほしい。(2)
- ・東町エリアの人が増えている中で十分な図書館・公民館が少なく感じます。学習スペースの充実を求めたいです。
- ・図書館を筆頭に、公共施設が古く、滞在時間が短くなる。他市(武蔵野市)に行ってしまう。図書館の本の量も少なく古い本が多い。
- ・子供が学べる場所 図書館とカフェ、図書館と美術、のような大人が利用しても心地良い図書学習施設を日本一多く設置して、小金井に住むと子供達が自ら、学習する姿を親が体験できるし子供達も友人と学習出来て子育てしやすくなると思います。大人の居場所と子供の居場所が心地良いと魅力ある街になると思います。
- ・室内で子供が集まれる場所が少ないと思います。東町図書館1Fのような公民館などのスペース等が一小エリアにもある助かります。
- ・子供も積極的に使えるような図書館を作って欲しい
- ・貴井北町の公民館で勉強するのに、満席で諦めなければいけない時があるので、もう少し席数が増えたら嬉しいみたいです。

(学校について)

- ・市立小・中に通っていました。設備(トイレなど)が古くなっているのになかなか改善されないように感じました。楽しく通学できるよう、整備していただけたらと思います。(4)
- ・公立小学校の校舎の老朽化が目に見える 日々、生活する場所が汚く、暗く、トイレさえ我慢する状態です。明るく、清潔で、すぐれたデザイン環境で育つと、子どもの未来もかわると思います。(3)
- ・能登地方の地震の報道を見て、小金井市の学校は古い建物が多く、耐震性や安全性に心配があります。漏水や火災報知器の誤作動など実際に起きている不具合も聞いています。

(公園について)

- ・現在子供は中学生ですので直接関係ありませんが、一小学区内に公園と児童館がないことが残念です。
- ・板橋区から引越してきて、小金井市の公園には時計、ゴミ箱、トイレが無くて驚きました。子供達だけで遊ぶ場所なのであったら便利だと思います。駅前に子供が安全に使いやすい広い駐輪場が欲しいです。
- ・小金井市には美しく広大な公園が沢山あります。子ども達をデジタルの世界から現実の美しい世界に生きてもらえるよう願ってやみません。

(その他の施設・環境整備について)

- ・子供が遊ぶ児童館などの設備が古く安心して遊ばせられないことがあった。窓ガラスにヒビが入っていたがガムテープで補強していたなど。綺麗にするばかりでなく、子供の施設で怪我・トラブルの起きないような配慮してある施設を希望します。(2)
- ・武蔵小金井駅前北側の靴屋横の喫煙所を廃止するか、排煙措置を講じるよう市から要請して頂きたい。排煙措置を講じていない駅前は武蔵小金井以外でみたことがない。
- ・市の東側に、市の施設が少ない。小さな市なのに東西に移動する手段が公共機関で無い。児童館で良い催しがあっても、子どもが一人で行くには遠すぎる距離、情報や利用を容易に使える使えない地域の差があると思う。子どもの行動できる範囲を、考慮した、施設の場所を考えていただくと良いと思う。
- ・通学では、武蔵小金井駅(特に北口)周辺の駐輪場や通学時間帯のバス便がほぼないので、雨の日など大変不便。市内には、普通科高校の進学校も少ないので、市外へ進学することもあるかと思われるが、もう少し駅前周辺の交通の便が良くなる様改善してほしい。また、下校時遅くなると、駅周辺の大通り以外の街灯が少なくしかも照明も暗くて危ないので、改善してほしい。
- ・東小金井駅前に駐輪場を作ってほしいです。現在、駅のノゾフで買い物をする時も、駅を利用する時も駐輪場がなく、不便です。梶野公園に自転車を置いておける人が増えていますが、無料で開放しているのでしょうか。駅前にクリニックが増えていますが、駐輪場も駐車場も少なく、大変不便です。
- ・武蔵小金井駅北口の環境がとても悪いと思います。歩きタバコをしている人も多し、マナーがなっていません。子供の教育上とても悪いと思います。道もとても狭いので自転車と歩行者の接触事故もよく聞きます。まず安心して子供を外に出せるよう、インフラの整備を願います。
- ・COCOバスの走る場所をもっと増やして欲しいです。
- ・塾や部活などで帰宅が遅くなるのでココバスの最終便をもっと遅くしたり街灯を明るくして増やして欲しいです。
- ・市営グラウンドをもっと使いやすいようにして頂きたい。予約団体が優先に使うのはもちろんですが、空いているスペースを少しでも使うと叱られてしまうとのことで不便です。邪魔にならないように隅で使っているのですが、せっかく市の広いグラウンドなのでもっと自由に子ども達が見えるようにしてほしいです。

◆遊ぶ場所・居場所について・・・33件

- ・子供が野球やサッカーをしても怒られない公園を増やしてほしいです。(6)
- ・学校のグラウンドの芝が傷むからといって雨が上がったあと等子どもが遊べないのはおかしい。子供と芝生のどちらが大切なのか。スポーツや遊びが制限されるならば芝生は不要。(2)
- ・中・高生が遊べるような公園、例えばバスケットコートやゴールがある公園が欲しいです。息子がバスケ部でシュート練習したくても、練習できるところが少なく、ゴールの数も少なく、あきらめて帰ってくるのが昔、多々ありました。
- ・ボールで遊べる公園等がどんどん少なくなっていくのが残念ですが上水公園が近くにあるので利用させていただきました。ただ校庭が芝生であるが故にできなかったことが小学生の時に多くあり、中学校の校庭も開放してもらえたらと思ったことがありました。

資料編 ウ) 中学校・高校年代の青少年の保護者

- ・子供がのびのびと外で遊べる環境が近くに欲しいです。市営上水公園グラウンドや三楽公園等がありますが、団体予約や学童が使っていて、遊ぶスペースがない事も多いです。ボール遊びやスポーツをする環境、子供たちが元気に遊べる場所が欲しいと思います。又、植物のあるテラスのような所で、子供と一緒に食事や話ができると素敵だなと思います。立川のGREENSPRINGSのような場所が小金井にもできたら、赤ちゃん連れのママや、高齢の方のお散歩や、癒しスポットになるのではないのでしょうか。
- ・市立公園、自然公園の整備は行われていますが、ボール遊びの禁止や限定的な遊具など、のびのびと子供が遊べる環境にはなっていないと感じています。両立することは難しいことかと思いますが、自然豊かな町並みが残っていくことを願います。
- ・野川公園、武蔵野公園にたまに遊びに行くと、木が切られていることが目につき気になります。子供達の幼少期から慣れ親しんできた場所の桑の木やいろいろな木々がとくに老朽化でもなく、通路や家々の邪魔にもならない場所で伐採されているのを見る度、寂しくなります。虫を探す場、木登りする場、実を摘む場がなくなっているということです。必要な場所以外のむやみな伐採はやめていただきたいです。遊び場として大事な場所です。
- ・近隣の府中、調布などはグラウンドが多くあるので、小金井にももっとグラウンドやテニスコートが多くあると市民が健康でいられると思う。バスケコートやテニスの壁打ち場などもあったらよい。ジャンメ跡地に市役所ができれば、更に遊び場がなくなってしまい、小学生はどこで遊ばよいか。くじら山横のはらっぱは夏は1回しか芝刈りがされず、草ボーボーの中、市民がスポーツをしているが、年に数回は芝を刈るべきではないかと思う。整備されていないため、雨がふると水たまりがいっぱいできるのも何とかしてほしい。
- ・水遊びできる場所がほしいです。子供たちが屋内で遊べる施設・スペースがほしいです。真夏・真冬の居場所を外にするのは、現在の気候では厳しいです。
- ・現在通学している中学校で、土・日など教室や図書室の開放を可能にしてもらえたらなあ、と思います。勉強にくるのは前提ですので、おしゃべり厳禁など、ルールを作らなくてはいけないと思います。座席はくじ引きなど。ボランティアやシルバー人材の方々へ依頼し、監視してもらっても良いかと思っています。学校に現在来られてない子供達も、学校を少し久しぶりに見にいってみようかな。と思ってもらえるかもしれません。不登校の子どもたちが、学校に足を一歩踏み入れて、そこから何かかわるきっかけにもなるのかなあとも思います。
- ・障害のある子供(知的)が大きくなって遊べたりする場があると外出する機会も増えてありがたいです。体は大きくても精神は子供だったりするので
- ・学校でダンスの課題があり、日曜日に数名で集まって練習をすることになりましたが、雨で、練習する場所がない…と困っていました。児童館は休みですし…どこか手軽に屋内で集まれる場があればいいなあと思いました。
- ・二枚橋のバスケットゴールを常に開放していただきたいと思います。休みの日に使えないのは、あまり意味がないと思います。
- ・子どもたちが気軽に遊べる場所が少なくなってきていると感じる。ジャンメ跡地もなくなってしまおうと、近所に広場がなくなり、遊び場がなくなってしまふ。図書館には勉強スペースをもっと作って欲しい。武蔵野市のむさしのプレイスのような場所が欲しい。
- ・小金井市は緑が多く、大きく自然豊かな公園があることが魅力だと思っています。そこをもっと活かして、そういった公園から少し離れた地域の子ども達ももっと外遊びができるよう誘導して欲しいと考えます。また、反対に、中央から離れた地域に住む子ども達ももっと図書館や自主学習ができるような施設にアクセスできるようにして欲しいです。
- ・老人やマイノリティの意見を聞けば市政は崩壊する。コロナ禍から、勝手な大人の意見を聞いて、市営グラウンドを使わせなかったことは、一生忘れなから。子どものストレス発散の場を奪った貴方がたを許しません。
- ・中町付近に子どもが使えるコミュニティセンター的な居場所があったら嬉しい。今後、ジャンメ広場が無くなると遊び場や居場所が無くなり困ります。

◆学校生活について・・・26件

- ・小学生の時教員不足で先生(担任)がいなくなるなどの状況があった。安心した環境であると言えなかった。
- ・学校教育の充実(早くから塾に行かなくてもすむような授業内容や受験に向けた情報提供、文化的・芸術的な体験、適切な量・質の部活動等)を望みます。教員だけで賄うのは大変だと思うので、色々な機関との連携を図って、成長期を大切に過ごせるようにして欲しい。
- ・コロナ禍以降、タブレット教育が進んだように思いますが、他市町村に比べると遅れを取っている印象があります。積極的に授業に取り入れて欲しいと思います。
- ・小金井の生活環境は良いと感じていますが、10年前に第一子が小学生になった頃と比べて、今の方が配慮が必要そうな生徒が多いように思います。人手不足はどれも同じなんだろうなと思いつつ…先生の負担が大きいだらうと推測します。保護者として何か手助けできることがあれば、と思います。
- ・校則について、多様性を認め合える時代に論理的な説明が可能か総点検を。
- ・子育ては家庭と学校と地域の3つで行えると理想だと思いますが、今は学校に過度に負担がかかっていると思います。まずは先生方が元気になってエネルギーを取り戻すために、小金井だけでも教員を増やしたり、教科制を導入したり、保護者からの問い合わせは9~15時までとしたり、何かすることにできないのでしょうか。先生たちは限界までやってくれていると思います。学校が元気になれば、それが地域や家庭にも良い循環をもたらすと思います。
- ・不登校で悩んでいる子ども多いと聞くので親子共に孤立しないようにしてほしいです。(4)
- ・他県より引っ越し。不登校であり、周りに友達がいないので、子どもが、同年代の子と関わる事が出来ずに心配しています。本人も、外出したがいらないので、四六時中自宅で過ごす毎日です。ソーシャルワーカーさんの訪問もして頂いています。お会いする事は出来ていませんが、その様な支援が今後も増えると助かります。
- ・不登校の子供への支援をもっと充実させてほしいです。東小学校にはステップルームもなく、先生たちも忙がしくて不登校の子供が置き去りにされていると感じます。また、もくせい教室(不登校の子が通う場所)への現役世代の教員の配置を是非お願いしたいです。
- ・いじめで不登校になった生徒のフリースクールや学力低下を防ぐための塾の費用がかかっていることに納得がいけない。加害者人間が費用の負担もなく過しているのになぜ被害者が自腹でしかも自分達でどうにかしなければいけないのか。いじめが終わってもフラッシュバックをして長い間通学が出来ない。なぜ被害者が苦しまなければならないのか。以前やっていたバーチャル空間など費用がかからず出席できるシステムを早急に用意していただきたい。
- ・増え続ける不登校の問題を解決するためにも、学校を誰にとっても居心地のよい居場所になるように改革してほしいと思います。また、障がいなどを理由に子どもたちを分けることなく、多様性のある学校づくりをしてください。
- ・小学校での役員が負担でした。見直しが必要だと思います。
- ・重度の食物アレルギーの子供がいる家庭にも支援がほしいです。食物アレルギーが重度であると、乳幼児期以降もアレルギーが続き、日々の生活において購入できる食品の選択肢が限られ、割高なアレルギー対応の商品を購入しなければならなかったり、学校行事でも宿泊先によっては食事の提供を断られ、自費ですべての食事メニューを用意しなければならなかったり、家庭の経済的負担や精神的負担がとても大きいです。少しでも経済的なサポートや、年齢に合わせた情報提供等の支援があれば、と思います。
- ・子どもが、だれかにいじわるをされたり、からかわれたりした時、被害者は大抵おとなしい子だったり、我慢強い子なので、本人が辛いだけで周りの人は知らんぷりです。そして特別な支援が必要なお子さん、とても守られていて、そうでない子は訳も分からずに振り回されて、支援が必要でなかったのに、心が病んでしまい、結局辛いのは本人と、その家族です。あなたのお子さんのせいで、こんなに辛い思いをしている子がいると、相手の保護者に、正確に話が通る学校環境にしてほしいです。
- ・校庭の開放が少ない。または、時間が短いので見直しを希望します。特に緑は短い、厳しいイメージがあります。
- ・特支に通わせていると、なかなか地域との繋がりが持てません。関わったとしてもお客さん扱いをされ、地域の一員という意識、地域に子供の存在を知ってもらうことが難しいです。

- ・特別支援に関して、間口が狭すぎる。知的障害がなく発達障害があり、通常級でうまくいかない子は全員受け入れるべきと考えます。それで不登校になってもくせい教室を使えるようにして欲しい。グレーの子供の居場所が無さすぎる。起こるかわからない未来の不登校や勉強についていけないなどの事を、可能性があるなら受け入れられないと言われるのは、発達障害の子供の権利を無視していると思う。
- ・中学を2学期制にしてほしい。3学期制だとテストばかりで勉強の負担が多いからです。

◆交流・コミュニケーションについて・・・7件

- ・外国ルーツの家庭の子育て支援やその子どもたちの言語と学習支援、地域との交流、障がい児への支援と地域での交流など、多様性&多文化、尊重、地域交流の重視、それらをこれからの子育て策に組み込んでいただきたいです。弱者にやさしい政策はすべての人にとってもやさしいはず。小金井は暮らしやすい、生きやすい、大好きなふるさと、そんなふう子どもたちに思ってもらえる街にしたいですね。
- ・日常的に学校との往復だけで、「市民」としての地域交流なく、地元愛や地元意識、一体感が育まれていないように思う。また、地理的・地形的構造からか、北と南の分断が埋まらない印象がある。
- ・子育て支援と言うとどうしても、乳幼児～小学生（低学年）ぐらいが中心になると思います。ですが、結局経済的にもお金がかかるのも小学校高学年から中学校、高校年代です。親、家族、学校の先生以外の「大人たち」と関わりを持つという点でも、積極的に行政の方がこの年代の子どもたちと関わる機会を作っていただければと思います。
- ・小学校入学の時に引越しをしてきたのですが、知り合いがおらず、学校の先生に聞くほどでもないような事を聞ける人がおらず、困ることが多かった。以前いた地域では、「通勤族の会」やら、引越ししてきた人同士や地域の人がつながりやすい工夫が色々あったので、そういうのがあると良いな、と思いました。
- ・もう高校生になり、公立中学までと異なり地元との繋がりが薄くなった気がします。その分、中学までが色濃く地元に影響されていると思いましたので、地元にいるときの子供同士の繋がりが、遊ぶ場の安全確保などが充実していただければいいな、と振り返ってみて感じました。

◆相談支援について・・・7件

- ・相談できる窓口が少ないように思います。特に不登校に関して。カラフルさんに助けられていると思うので、是非運営資金などを差し上げて欲しいと思います。
- ・本当に困っているのに困っている事を隠したい家庭がある時、どこに相談すればいいのか。自発的に相談に行かない家庭にも手を差し伸べてあげてほしい。
- ・反抗期への対応の仕方を知りたい。
- ・相談窓口相談したくとも予約がなかなか取れず、困ることがあった。
- ・子供も子育て環境に悩んだら、子供自身が相談できる窓口が市にもあった方がいい。どこかありますか。中学校から子供に教えてあげてほしい。思秋期、受験期、反抗期の中学生に市の人が出向いて、乗り切れるような話をしてほしい。心のケアをお願いしたい。

◆保育について・・・7件

- ・公立保育園の維持、保育園は数をつくれれば良いものではない。保育園と地域のつながり、学童と地域のつながりなど、そういったことが豊かな地域は子供がおちついている。
- ・とても自然も多く、よい環境ではありますが、保育園問題が一番大変でした。仕事に出れる環境づくりを引き続き充実していただくことが、これからの世代の方にも小金井の住みよい環境の1つの指針になるかと思っています。
- ・保育園で働いています。現状では一斉保育をするので手一杯です。一人ひとりの良さを伸ばす、というところまで手が回りません。保育士もメンタルが不調になり、休職→退職→新しい人の入職→退職を繰り返すばかりです。一番不幸な思いをしているのは子ども達です。1歳児6：1としているのは近隣の市では小金井だけです。複数園で勤務しましたが、自分の子どもを入れたいと思った園は市立の保育園のみです。株式会社の園に保育の質を求めるのは構造上無理があります。こんなに多くの認可園を乱立させては市の財政負担も大きく、利用している人達の理解を得るのは難しいのではないですか。
- ・保育園、学童保育等への共働かせ帯への公的支出が少ないことを改善して欲しい。公立の施設を維持すべき。
- ・公立保育園は未就学児の地区における拠点施設として残すべきと考えます。災害時の未就学児の福祉避難所としても整備・維持すべき。

◆アンケートについて・・・4件

- ・学級崩壊に関する選択肢がこのアンケートにない。
- ・本アンケートでは住所と生年月日で申告させるのは個人がほぼ特定されるにも関わらず、配偶者の有無や年収、不登校、貧困の度合いを問うのはその時点で子供の人権が守られているとは言い難くアンケートとして不適切かと思えます。更に、集計方法や委託の有無の明記もなく、個人情報保護に関する意識や姿勢に疑問を生じました。
- ・アンケートの回答がどう生かされるのかわからないと正直思いました。できるだけ、直接的な対話を通して、支援について考えていける機会があちこちにあるといいと思いました。

◆障がい児支援・発達障がい支援について・・・4件

- ・高校生になってから発達障害と分かりました。相談窓口も小さいお子さんが対象のようで相談に行きづらかったです。
- ・発達支援センター「きらり」を利用した。検査や相談などとても丁寧な対応でありがたかったです。ただ、中学生や高校生の子どもを対象とした通所の支援プログラムがなく残念でした。幼児や児童だけでなく思春期以降の子どもたちが発達や対人関係で困難を抱えた時に継続して支援を受けられるようになってほしいです。
- ・発達に障害がある子どもに対して、児童精神科の主治医のアドバイスにより診断書を学校に提出し学校生活における配慮をお願いしたのですが、学校の先生は口先だけの了解で実際には対応してもらえていません。小学生のときもクラスでいじめのような状態があり、学校に相談したことが何度ありましたが、抜本的な対応はしてもらえなかったため、学校には不信感がありません。市の相談窓口にも相談したことがありますが、学校に言うようにこのことで、解決には至りませんでした。せめて、話だけはまともに聴いてほしいと願っていましたが、もはや学校や市には諦めの感情しかありません。このようなアンケートも良いのですが、上がった意見はぜひ子育て環境や子育て支援の改善に活かしてほしいと思います。

◆安全について・・・3件

- ・子供が小さい時から、特に朝、車のスピードが早いので通学してる子達がいつも危ないと思ってました。見守り当番で何度も意見を言っても、なかなか何も変わらなかったの、他の危ない道路を含めて、看板や整備等を進めて頂きたいと思います。(2)
- ・自転車の交通ルールが明確化され、車道を走行する学生さんが危なくないように、側溝側の道路を舗装してほしい。

◆学童について・・・3件

- ・ほんちよう学童を利用していましたが、狭くて人が多すぎて遊ぶことに不自由しました。すべての学校に学童の併設と職員の手厚い配置を希望します。保育士含め非正規ではなく、先生方がまずは安定した生活基盤を築ける様にすることが最優先かと思えます。ただ、学童の親同士のネットワークには本当に助けられました。後世に残したい小金井の良さです。
- ・学童保育園を新しく建て直してほしい。古くてせまいので災害等に対応できないだけでなく子どもが伸び伸びして学ぶことができない。

◆その他について・・・29件

- ・保護者の収入状況により、子どもの権利が侵害されることのないよう、公平に対応していただきたい。公立学校でない国立、都立、私立の学校に通学する児童・生徒にも公平な対応をお願いします。
- ・小児化が進む中で、教育コンテンツが充実していること、長距離通勤が回避される中で、日常生活が充実していることは、市の魅力のポイントになっていくと思います。また教育は40～50年以來同じコンテンツであるため新技術や新しい価値観等の社会の変化に合わせた見直しが必要だと感じます。更には、AI等の台頭により従来職業の消滅が想定され、人が集まる空間や集まるためのコンテンツ、そして、人々のネットワーク上の評価が重要となりつつある中で新しい教育のあり方があるように思います。
- ・子供の幼少期とフルタイムの仕事との両立は想像をはるかに超える大変さがありました。特に子供の病気時、放課後、夏・春・冬休み等の長期休み時の過ごし方、また家事等のアウトソースもよい頃にできると良いのかと思います。
- ・周辺自治体と比べて、また23区と比べて、小金井市の子育て支援が充実しているのかどうか重要なのではないのでしょうか。都内でも特に小金井市が子育て支援に注力していると認知されるような政策を実行されることを期待します。
- ・小金井市は治安がよい上に、緑も多く、子育てに適した町です。子供が小学生の時は児童館や子供会、学芸大でのイベントに参加するなど、安心かつ楽しい行事が多くて、とても恩恵を受けました。今の子供たちにも同じような楽しい活動が経験できるよう、引き続き支援をお願いいたします。
- ・小金井は公園が多く子どもにとっても良い環境だと思います。子育てについては子育て世代だけでなく大人もきちんと協力して取り組んでいかないといけない課題だと思います。地域社会が希薄になっている今日この頃子どもも大人にとって良い社会にするためには大人の意識も変えていかないとはいけません。自分自身の課題でもあります。
- ・高校になってから子育ての情報が取りにくくなったように感じます。
- ・子供がまだ小さい頃、保健師さんが家庭訪問をしていただいて、妻の悩みを聞いてもらって大分助かったことがあります。子育て支援センターや公園も整備されているので、自治体サービスとしては充実している方だと思います。民間施設の保育士さん含む、子育て支援に従事する方々の処遇に行政として力を注いでいただき子どもの心理的・身体的な安全確保のさらなる向上を目指してください。
- ・支援は自ら求めなければ受けられないように感じています。本当に大変な時、孤独な時は自ら情報収集し助けを求めることは難しいと経験からも思います。支援が必要な人を見付けられる仕組みが必要だと強く思います。
- ・転居が4月だったため、学童が小学校の学区でないと決まり、困っていたところ、ファミサポさんの制度を知り、送迎してもらい大変助かりました。ファミサポの選定も本来かかる日数を短縮してくださり、臨機応変に対応してくださったので、すぐに利用することができました。
- ・子育てしている人も少しごう慢に思えることも多い。保育料や手当支給など。とは言え、また子育てを終えた人、子育てをしていない方も、子供への温かいまなざしを感じないと思うこともある。二極化・分断化が著しいスピードで進んでいる。地域が子供を守る環境作りを考えることも必要だと感じる。様々な問題があるとは思う。

工) 中学校・高校年代の青少年本人

子育て環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、自由に記入してください。

() 内は同様意見の数

◆多様な居場所について・・・32件

(まちの居場所について：12件)

- ・図書館小さい、遊び場、公園少ない。
- ・武蔵野プレイスのような場所を増やしてほしい
- ・18歳以上でも利用できる場があると嬉しいです。
- ・武蔵野プレイスのような充実した施設の図書館が欲しい。医療費を無料にしてほしい。大学の学費支援が欲しい。
- ・もっと色々な事を自由にできるスペースがほしい。(例えばむさしのプレイスのB F 2のような所) おまつりをたくさん開催してほしい。
- ・武蔵野プレイスの地下にある空間のような自習ができたり自由に過ごせる子供だけの空間が欲しいです。勉強できる場所を沢山増やして欲しいです。
- ・子どもたちのための遊び場をつくるのもいいが、もっとフリースペース(遊具などはない、いわゆる「空き地」)があると子どもの創造力の育成につながると思う。
- ・武蔵野プレイスのような、子供が自習できるスペースや活動できる場所を作ってほしい。夏休みなどの長期休暇中に小学生が留守番ではなく、遊びや学べる場所を作ってほしい
- ・東小金井の北口にショッピングモールか図書館がほしい。むさしこがねいやむさしさいのようにオシャレにしてほしい。白井さんお願いします!!! (中3、小5、赤ちゃんより)
- ・高層マンションを建てるのではなく、もっと子ども達が使える体育館や公園が増えたらうれしいです。駅まわりだけ整備するのではなく、市全体を整備した方がいいと思います。歩道と自転車道と車道の区別がないところが多いので、整備してほしいです。
- ・子どものための施設が子どもに知らされていないのは問題があります。上の選択肢も少しわかりにくいです。小学生のころ、友人の姉が本町小学校のアップルルームに相談したところ、親につづぬけで、むしろ事態が悪化したことがありました。気をつけてほしいです。
- ・私の夢を叶えられる環境も、やりたいことも、なりたいものも、何も無かったから中学受験をして私立に出た。育ってきたし、小学校も小金井市のところに一応通ったし交通の便もいいしそれなりに愛着？はあるけど、今の小金井市にはなにもない。子供目線から見ても何も無いです。でも小金井市に住んで後悔したことはない。

(自習スペースについて：7件)

- ・自習スペースをつくってほしいです。
- ・勉強できる場所を増やしてほしいです。
- ・夜まで自習できるスペースが欲しいです。
- ・自習ができる場所がほしいです。校則だるいです。
- ・近くに図書館がないです。放課後、静かに勉強できる場所がほしい。図書館でなくても自習ができる場所がほしい。
- ・近くに無料で学習できるスペースがあれば、と切望しています。学校の学習スペースもすぐ満席になり、ファミレスやファーストフード店で勉強することもありますし、小金井市内の図書館はスペースがないので、市外の図書館を利用しています。
- ・小金井市立図書館貫井北分室で机がおいてあるんですけど、そこが最近「ここは本を読む場所です。」という紙が置かれて自習できなくなりました。私的には静かでもいい場所だったので、とても残念だ。たしかに本を読むところだけけど、周りにはたくさんのソファがあるのでそこでよめるやんと思いました。

(スポーツの場について：7件)

- ・球技のできる公園を増やしてほしい。
- ・バスケコートをもっと増やして欲しい。
- ・ゲームせんたーとあにめいとをつくってほしい。
- ・もっとボール遊びができる公園などを増やしてほしい。
- ・バスケットコートやバスケットゴールなどを増やしてほしいです。
- ・公園が小さく少ないので増やして欲しい。ボールなどを使って運動できるような広さが欲しい。
- ・小金井市に公園はたくさんありますが、少し遠かったり、気軽に立ち寄れる運動場やテニスコート、スポーツを習う場が少ないように感じます。私も高校生ですが、運動不足なので、近所にスポーツ施設などがあれば、休日にも気軽に運動が出来るので嬉しいです。

(娯楽施設について：6件)

- ・小金井市に映画館がほしい。
- ・ショッピングモールをつくってほしいです。
- ・小金井市にも映画館をつくって欲しいです。
- ・何かを楽しむという環境があまりないようにみえるので、娯楽施設をふやしてほしい。
- ・もう少し大きなショッピングモールが欲しい。カフェやゆっくりできる飲食店が少ない。

資料編 工) 中学校・高校年代の青少年本人

- ・小学校高学年～高校生くらいが自由に利用できるような屋外サッカー施設（芝生が望ましいです）や、雨時でも楽しめるような屋内アミューズメント施設などが増えると、日頃の生活のモチベーションにも繋がるのではないかと考えました。

◆施設の整備について・・・19件 (学校の施設について：11件)

- ・学校が古い。
- ・第三庁舎反対！！あと、学校のトイレ等をきれいにしてほしい。
- ・中学校にエアコンが付いていない教室があるので、季節によって出来る授業が変わる。
- ・学校があまりにも時代にあっていないので、子育て環境としてはそこから改革してほしい。
- ・学校の技術室に、エアコンが無く、夏場などは特に熱くて辛いのでエアコンを設置してほしい。
- ・小金井市立小金井第一中学校の理科室に冷暖房を付けてほしい。(夏は暑すぎて実験ができないから)
- ・部活のソフトテニスのコートが暗くなると光がこないからすぐできなくなってしまうから光がくる物がほしい。(東中学校)
- ・学校にエアコンが無い教室があり、夏はとても暑く、冬はとても寒いです。授業に集中できない日もあるのでとりつけていただきたいです。
- ・学校のトイレを清潔で、綺麗な場所にするべきだと思う。昔、学校の天井から雨漏りしたことがあったので、学校の設備、状態を定期的に点検する必要があると思う。
- ・小・中学校のトイレがとても汚いです。臭いもひどく入る気が失せる。一部のトイレしか改修されていません。市長や市議会の皆さん市内全部の学校トイレをチェックしてください。
- ・学校に男子更衣室がない。私が在籍していた小金井一中では、女子更衣室が2つもあるのに男子更衣室がひとつもない。そのため、体育のとき男子は教室や廊下で着替え、さらにひどいことに外部活の男子は校庭の体育倉庫、つまり外で着替えさせられている。

(市街地整備について：8件)

- ・坂下を開発してほしい。
- ・公園やプレーパークの清掃をもっとしてほしい。
- ・坂下と坂上であるものとなないものの差が激しい。
- ・武蔵小金井駅北側の喫煙所は廃止してほしい。全ての路上喫煙は禁止してほしい。電子タバコを含めてです。
- ・普段武蔵小金井駅を利用していますが、駅前の景観（特に北口）が少し寂しいような雰囲気だなと感じております。
- ・草木が生い茂るなどにより、子どもだけで遊ぶには危険と感じる公園の対応をしてほしい。また、街灯が少ない道では、部活帰りに通るときに危険を感じる。
- ・駅前に、市営の無料駐輪場を開設してほしい。
- ・駅前の駐輪場を通学時に利用するのですが、8時間100円の所が多くなりました。朝に停めて、授業や部活、自習をして帰ると、8時間を超えて、1日に200円を払うこととなります。学生に1日200円は厳しいです。1日100円の駐輪場を増やしてほしいです。

◆学びの機会について・・・6件 (学習支援について：3件)

- ・参考書や問題集等を気軽に買えるような図書券等を配布してもらえると勉強をしやすいく嬉しいです。
- ・YAサポーターの回数を増やしてほしいです。(毎回本当に楽しくて大満足なんですけど、もっとサポーターのみんなや職員さんと関わりたいです！)あと、図書館や公民館でのYA向けの事業を増やしてほしいです。
- ・不登校の子どもが勉強を教えてもらえないのはおかしい(現在もくせい教室に通っているが、居場所としては機能してるけど授業を受けられるわけではない)学校に行っている子と同じような教育を受ける権利があるはずなのに、置いていかれるようで悲しい。

(進学機会確保について：3件)

- ・子どもが3人以上の家庭でなくても、金銭的な理由で進学先を諦める人も多くいるので、そのような人も平等に進学機会が得られるようなサポートをお願いしたいです。
- ・校区外通学の許可をもっと柔軟にしたほうがいい。私は2年他県に行って、中3の夏休みに2年ぶりに元の中学に転入したが、はじめは校区がとなりでなかなか許可してもらえないことを親から聞いていてすごく不安だった。
- ・子どもの生きる権利の中に進学先を自由に選べることも入っていると思います。親の所得でいきなり学校に行けないのは不公平です。高納税者をあまりにもATMの様にあつかわれないでほしい。多子世帯なので早くNN方式を園で導入するように進めてほしい。

◆その他・・・12件 (経済的支援について：4件)

- ・お金、大学、高校 あそびば
- ・高校生まではお金がかかるので、所得に関係なく補助が欲しいです。
- ・中流階級の支援もふやしてほしい。3人子どもがいる。手あてをあつくりてもらわないと子どもはふえない。
- ・子育て環境に特に不満は無いです。施設も利用しやすく、たまに家族で市民公園に行ったりしています。給食費は無料にしてほしいです。

(学校の人間関係について：3件)

- ・嫌な子がいなくなればいいのに。
- ・学校の先生が生徒に対して八つ当たり気味な時がある。
- ・先生の思いこみで怒られた経験がある。子供の意見をまっすぐ聞いてくれない。伝えようとしても、聞いてくれない。部活も、〇〇を持ってこないと参加できない、とかきょうはくのようなことが行われているが、それは部員にとって良いことなのか疑問がある。

(その他：5件)

- ・いまの市長さんがいいです。
- ・僕は今、環境がよく勉強しやすいので、とても充分です。
- ・学校の時間割が急がしすぎる。テストがありすぎて学校生活が楽しめない。友達と遊ぶ時間がほしい。
- ・受験生なのに、こんな長文のアンケートをおくりつけないでほしい。これこそが小金井市政府が子供へのぎゃくたい。
- ・正直、今のありがた(?)に不満はありません。昔と違い子どもの権利が~みたいなことを気にしなくてはならなくなって大変かもしれませんが、これからもよろしくおねがいします。

オ)ひとり親家庭の保護者

子どもの環境や子育て支援に関してご意見がありましたら、自由に記入してください。

()内は同様意見の数

◆生活支援について・・・28件

(所得制限について)

- ・所得が少し上がったことにより、手当の支給が全て停止しました。仕事を頑張りたい、しっかりと養いたい、育てたい、一方で、そういった支給がもらえなくなり、どう頑張ればいいのか、わからなくなります。逆に仕事をしない方が、お金をもらえるのでしょうか？日常的に使えもしない支援より、ハードルの低い支援を取り入れて欲しいです。どうぞよろしくお願い致します。(5)
- ・シングルのため働き手は1つ。所得を伸ばすには限界があります。子供に直接かかる費用の手当てには、所得基準を下げて頂くか、段階的に設定して頂くなど、ぎりぎりもらえない一人親世帯にも、分けてほしかったです。低所得世帯で、全ての手当てを手に入れている家庭の方がよほど、よゆうのある生活をしています!!
- ・ひとり親の所得制限を見直してほしい。一定以上の所得があると、手当てが支給されないがその分(長時間親が働いているため)子どもの居場所を確保するための習い事費用がかかっているため。
- ・ひとり親控除対象者が年収金額のみで判断されていることに不満を感じています。子育て世代並みの生活に近づけようとフル稼働で働いて年収が規定金額を超えているから受けれないと言われました。賃貸に住んで会社員と住宅ローンありの自営業では日々の支払いに差が出るものだと思います。年収金額のみで判断するのは如何なものですか。

(生活費について)

- ・ひとり親になって、意外と支援(金銭面)が少ないと感じました。我が家の場合は子供が多くなっており、私も仕事ができる環境でしたので、特にこまりませんでしたがお子様小さい家庭はなかなか生活して行くのが大変なのはと感じました。もっとひとり親に対してのサポート特に金銭面に力を入れて頂ければと思います。(2)
- ・実際に支援を必要としている家庭は、日常の支金(食費など生活費、交共料金などの支払い等)が必要な為、クオカードや金券などではなく現金支給が助けになります。また、衣服・くつ等のリサイクル事業も充実してくれると経済的負担が軽減でき、あったらいいな、と思います。

(教育費について)

- ・ひとり親世帯には高校以上の就学支援が足りないと感じる。

(医療費について)

- ・高校生や大学生への支援が足りなすぎる。小さい子や妊婦さんばかりとどんどん充実されるが本当に大変なのは高校大学。やっと高校生の医療費が安くなったが、今まで病院行くのをおさえていたし、上の子は大学生で、医療費がとても高い。

(住居費について)

- ・ひとり親へ住居の相談や紹介などや優遇して欲しい。家庭構成にもよるが、物価が上がりが家賃がこの先どこまで支払うことができるかなど先行き不安になる。(2)

(給食費について)

- ・給食費を無償化してください。給食は子どもたちの心身の成長にとっても重要で、家庭だけでなくすべての人で支えるべきシステムと考えます。東京都でも無償化の地域が増えています。何卒無償化をお願いいたします。(2)

◆保育について・・・10件

(保育園について)

- ・保育園の時、保護者会が土曜日にあったが、仕事の為出席できず、勝手に委員長になり、本番の日も出席できず、文句を言われた。保護者会やイベントの負担が大きかった。協力できる事があれば、子供の為にもやりたいと思っていますが、難しかった。
- ・死別でひとり親になりましたが、夫ががん診断された際、保育園の申し込み時期でした。生死にかかる病気なので、仕事を辞めるわけにいかないのに、入院で保育園申し込みはフルタイムより点数が少なく結局待機児童になりました。なんとか認証保育園から認可保育園と入る事ができたので、仕事を辞めずにすみましたが、そういう人の為に別枠がほしいと心底おもいました。

(学童について)

- ・小4～の放課後、長期休み中の居場所の不安が大きい。職場は小学校に子どもがあがると理解のある職場でないと時短がとれなくなるためサポートがうすくなる。そのため学童のような安心してあずけられる居場所がなくなるのは不安。あっても金額が高く利用できない。習い事も支援があると居場所づくりの1つとなるが毎日習い事するには経済的負担が大きい。保育園の充実、学童への入所では手厚く感じていたが学童卒所が不安である。
- ・民間の学童保育の補助金があると助かる。敏感っ子で集団が苦手な民間の学童を利用したい。

（病児保育について）

- ・病児保育で昼食を注文できるようになると大変ありがたいです。（回復途上で食欲もあるものの、保育園での集団生活が難しい時に利用したいが、現状、持ち物の準備にかかる負担が大きいため）

（児童館について）

- ・児童館の職員は、子のトラブルやいじめについて、学童ではなく児童館なので、何もしないのだなと感じました。それから児童館へは行くのをやめました。こうして子の遊び場、居場所が一つなくなりました。こんなささいなことも、孤立や喪失につながっていくんだなと思いました。1人子育てをしている以上、日中は子を見られない状況にあります。だからこそ、児童館に行っていたら、大人もいるし、安心だなと思っていました。緑児童館の対応には残念でなりません。

◆学校生活／教育について・・・10件

- ・家計の関係で塾に通わせられないので、学校での補講などをしてほしいです。
- ・小・中学校で配布頂いているタブレットの使用時間制限（例えば夜10時以降から朝6時までの間は全面使用出来ないようにする。など）
- ・PTAについて、「ひとり親」というのは、役員除外にあたりません。下の子が小さくても上の子が面倒をみていれば役員活動できるだろうと、言われているのを耳にしました。仕事のあと遅い時間に集まって作業したりするのにその間子ども2人で留守番させると平気で考えています。ひとり親は家事、仕事、子育て全てを一人で担っているのにそこにPTA役員までさせるのはひどいと思います。市から働きかけて、除外要件としてもらう事はできないのでしょうか？ちなみに私は、フルパートの時PTA役員をやり、提案しましたが却下されました。（2）
- ・発達障がいのある子供を育てています。文京都市、学力が高いと評判の良い市と思っていましたが、小学校に入ってみると、他の子供達は習い事や塾で優劣をつけられているためか、差別やできない子をバカにする雰囲気があるのすごくありました。家庭で言われていることを他の子にぶつけているようで、20人以上から意地悪をされ、全て学校に報告しましたが、さほど目立った改善は見られませんでした。親も差別的な人が多く、傷つけられることが多々ありました。ひとり親で生活のことを気にしてもらえるのもありがたいですが、子供の居場所である小・中学校でなじめなかったり子供のフォローにもっと力を入れてほしいです。子供が安心して学べれば、親は頑張っただけです。
- ・発達障害児の支援をしてくれる場所等が沢山あれば心から願います。
- ・小金井市立中学でスクールカウンセラーにもとてもとてもお世話になり、学校で問題児扱いされ障害をうたがわれた時相談ののって来て、受診や学校との間に入って来て、教師から言われっぱなしで苦しかったが彼女のおかげで子どもと何とか乗りこえられた。現在は高校へ行き、成績もまん中より上で小・中の先生には当時の悔しさをぶつけてやりたい。学校でのスクールカウンセラーはとてもとても大切だと思います。
- ・子供達の教育費を1番最後にまわし、東京都の中で教育費が最下位の小金井市で子育てをする事へのマイナスは、改善される見込みが無かった中、白井市長により、引越越しをする事とまりました。私は、田無出身で田無の行政は、子供の教育費を1番に持ってくるので、小金井市と田無の教育に対する愛情に愕然とした差を見てきました。私は、田無出身で田無の行政は、子供の教育費を1番に持ってくるので、小金井市と田無の教育に対する愛情に愕然とした差を見てきました。

◆手続きについて・・・6件

- ・次男の出生時、当時ひとり親でしたが、児童手当等の申請に来庁しなければならず、産後1ヶ月に満たない中、市役所へ出向き、非常に体力的に厳しい状況で辛い思いをしました。当時状況を説明し他の方法がないか確認しましたが、他の手段の提示はありませんでした。本人確認や状況確認など必要かとは思いますが、そのような状況の場合、郵送やインターネット手続きなど、本当に必要であれば、臨機応変に対応していける環境は必要かと思えます。（2）
- ・ひとり親になり私が健康を害してしまい不安があります。色々な手当を頂けることは有難いですが、手続きが大変で定期的に市役所に行っている気がします。もっと簡単な方法で対応して頂けないでしょうか？※色々な書類を書いたり取得しなければならぬのは面倒です。（2）
- ・パソコンが苦手なので手続きがインターネットを利用することが多く大変。書面の方がやりやすい。
- ・以前、児童手当を申請した際「お宅に男性が出入りしていたら手当はストップとなります」と言われた。ひどいと思った。女性差別です。出入りを誰かが見張っているのか？それを男性が申請に来たら言わないですよ。おどされたようなもので、知人の子（成人男子）を家に呼ぶのすらためらわれました。そのような「ストップ」の要件があるならどこかに市の責任で明文化すべき。「窓口で一応言っときましょう」みたいなトークのモデルになってたら最低だと思います。今一度、窓口対応を見直して下さい。

◆相談支援について・・・5件

- ・子供がスクールカウンセラーではなく、普段の生活に全く関係ないところでの心理相談室を利用しています。スクールカウンセラーは学校とのつながりがあるから信じてあげられない。第三者的な相談室の利用についても補助があれば嬉しいなと思いました。（2）
- ・子育てに困ってどこに相談すれば良いかわからないです。サービスが認知されにくい。市HPどこを検索するのか…東京都のLINEサービスのように集約して探しやすいと必要な人にサービスが届くと思います。
- ・9才、4才の子供を連れて離婚し、小金井市に来ました。当時住まいお金がなくまだ給与も少なく貯金ゼロで不安しかなかった時代がありました。市の窓口で相談に行き、力になってもらいました。ありがとうございました。子供が小さい時の急な病気の対応が大変でした。今後小さい子を育てる働く親のサポートの充実をお願いします。

◆遊ぶ場所・居場所について・・・4件

- ・子どもが安心して放課後過ごせる場所がない。図書館や児童館が不便な場所にあたり、魅力的な空間ではない。小金井公園が生かされていない。武蔵野市はステキな図書館があったり、あそべえ、まなべえといった放課後クラブが充実しています。
- ・小学校高学年以上の体が大きくなった子供達の遊べる場所や球技ができる場所が欲しい。子供達の声など、厳しい意見が多いので、地域一丸となって子供を育てていくような理解をしてもらえたらと思う。
- ・学童保育以外に、就労していない親も子供を預けられるような遊び場（指導員がいる）があればいいと思います。

◆施設・環境整備について・・・4件

- ・歩道が狭く平らでは無い所が多く、ベビーカーを車道に出て押している方をよく見かけます。小金井市出身ですが、私が小さい頃から感じている事なので環境整備は何も変わっていないんだと思います。
- ・小金井市の雰囲気が好きなので住み続けたいが家賃が高すぎる。都営住宅に入居するにも、エアコンがない、網戸がない、給湯設備が古すぎるということがネックとなり、幼児を連れて住む気持ちになれない。都と協力して都営住宅の整備を推進してほしい。また、市営住宅の建設をお願いしたい。
- ・移動は自転車が多い子どもたちなので、自転車レーンの整備を早急に行っていただきたいです。特に連雀通りは歩道すらない箇所があるので、いつもヒヤヒヤします。安心して子どもが色んなところへ出かけられると親の心配が減るのでありがたいです。

◆コミュニケーション・交流について・・・3件

- ・普段フルタイムで仕事をしている為、ママ友は東京でほほいしません。保護者会等ではもう決まった集団が出来ており、中々輪に入りにくいです。インターネット上で交流できる場や気軽に集まれるコミュニティがあれば、参加したいです。(2)
- ・学芸大学の学生(留学生)の方たちをお願いして、英会話カフェやあそびの中で子どもたちが自然に英語に触れられる場を作りたい。

◆情報について・・・3件

- ・ひとり親のための支援制度などがわからず、利用にいたらなかった。もっとわかりやすくこういった支援がある!!というのを発信して頂けるとありがたいなと思います。(2)
- ・奨学金制度について、いつ募集しているのかなどが良くわからず、今年度は申し込みできませんでした。何かわかりやすい方法で募集していただけると助かります。

◆アンケートについて・・・3件

- ・配偶者との死別でひとり親となりました。同じひとり親でも、行政の支援から除外されることもあって、マイノリティーの中でも疎外感を感じます。そういう視点からは、このアンケートも相当ひどいものです。さらに職業も自営業なので、いくつかの質問では想定外なのか選択に困りました。もっと多様な視点の子育て環境を考えてくださるといいかと思います。

◆その他について・・・7件

- ・ひとり親ですが、フルタイムで働いているため、残業しなくてはならない場合が多くあります。会社には私は定時で帰宅したいという希望を伝え、周りの方にも大半は協力してもらっているのですが、やはり毎日残業しているのが現実です。私からは仕事の途中であがりたいたいとも言えず、早くあがるためにお昼休憩を取らないで仕事をしているという事実もあります。ですので、このような現状を少しでも改善できるよう行政から企業側に体制改善を求めています。
- ・現在、役所で働いていますが、ひとり親の状況でコロナに罹患した際、「子どもは夫婦で看病できるとみなし、半分の日数しか職務免除できない」と言われました。上司が私の状況をくみとってくれて、ひとり親なのでということで全日免除にもらうことができましたが、その他にも子どもの体調不良で色々休むことがあり、有休がすぐなくなってしまいます。それは仕方ないにしても、看護休暇が4日ほどしかなく、あとは欠勤扱いになるのが非常にやりづらく、肩身が狭いです。せめてひとり親に対しては、コロナの時のことを考えると、看護休暇だけでも2倍にいただけないかと、ずっと思いつながら仕事をしています…。無給でもよいので正式な休みとして認めてほしいです。ひとり親がもっと働きやすくなる環境作りがすすみますように。
- ・全体的に市民サービスが悪い。江戸川区、港区などのサービスを目指してほしい。
- ・自発的に調べて支援をもらえるより、市や国が管理して、自動的に支援をしてもらえるシステムにしてほしい。
- ・子育てパスポートを使える場所を増やしたり、制度を浸透させて使いやすいようにしてほしい。

小金井市子ども・子育て支援に関するニーズ調査
報告書

令和6年3月

発行 小金井市 子ども家庭部子育て支援課

〒184-8504 東京都小金井市本町六丁目6番3号

TEL : 042-387-9836 (直通) FAX : 042-386-2609
